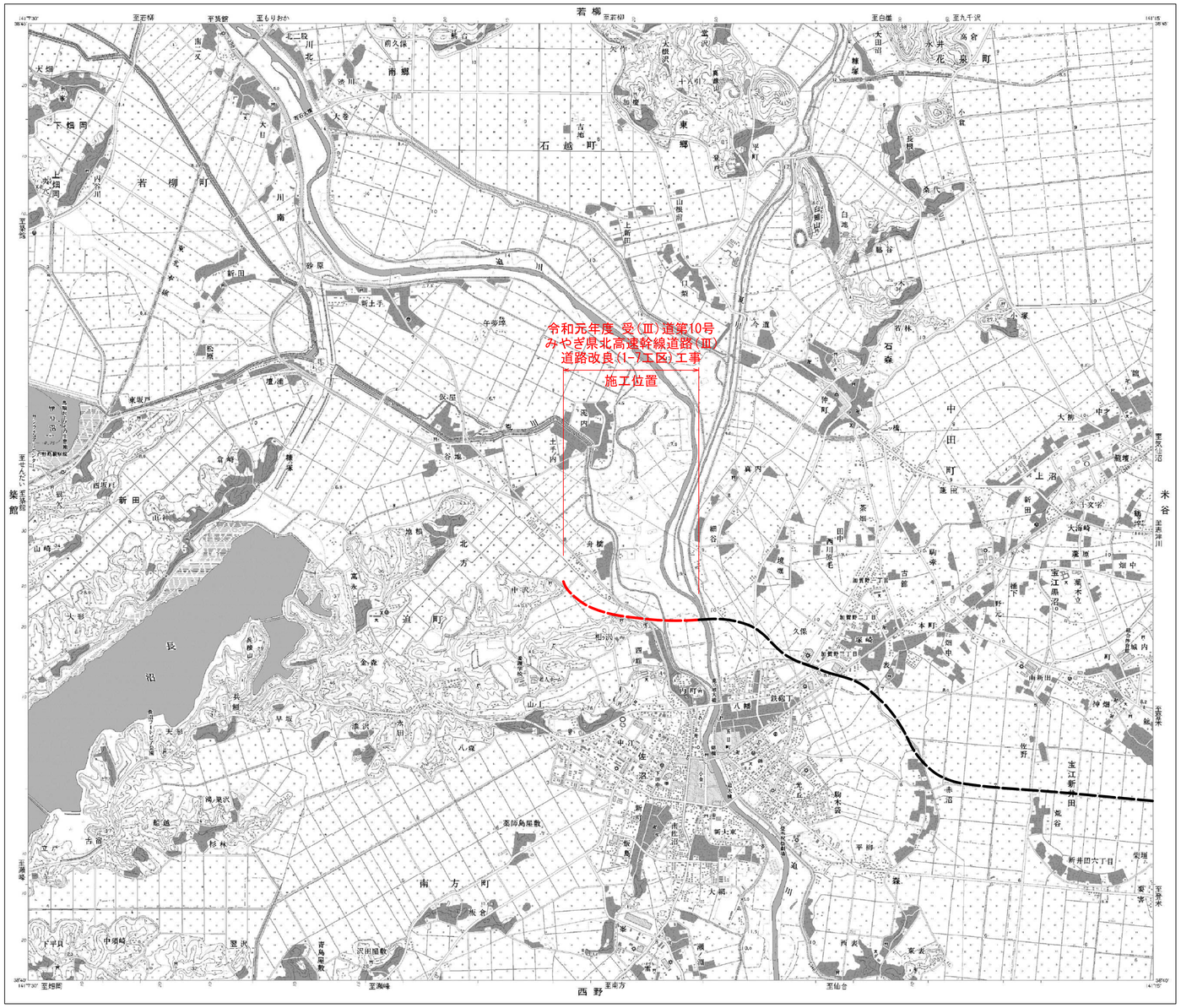
令和元年度　受（Ⅲ）道第10号　みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-7工区）工事

図　面　目　録

実　施

図　面　名	図　番	図　面　名	図　番
位　置　図	1	排　水　系　統　図　(2) ～ (3)	72 ～ 73
平　面　図　(2) ～ (3)	2 ～ 3	管　渠　工　詳　細　図　(6) ～ (7)	74 ～ 75
縦　断　図　(1) ～ (3)	4 ～ 6	函　渠　工　詳　細　図	76
側道縦断図（左側）　(1) ～ (2)	7 ～ 8	管　渠　工　詳　細　図　(8) ～ (10)	77 ～ 79
側道縦断図（右側②）	9	呑　吐　口　部　詳　細　図　(6) ～(10)	80 ～ 84
線　形　図　(2) ～ (3)	10 ～ 11	排　水　工　詳　細　図　(1)・(2)・(4) ～ (7)・(10)	85 ～ 91
標　準　横　断　図	12	地　盤　改　良　縦　断　図　(1) ～ (2)	92 ～ 93
土　工　区　分　図	13	地盤改良標準横断図　(4) ～ (5)	94 ～ 95
横　断　図　(9) ～ (24)（道路改良時(沈下後)	14 ～ 29	地　盤　改　良　横　断　図　(9) ～ (12)	96 ～ 99
1号・2号補強土壁平面位置図	30	動態観測計画平面図　(2) ～ (3)	100 ～ 101
3号補強土壁平面位置図	31	動態観測計画 標準断面図（4）	102
1号補強土壁背面展開図　(1) ～ (2)	32 ～ 33	沈　下　板　詳　細　図	103
2号補強土壁正面展開図	34	仮　設　撤　去　計　画　図　(3) ～ (4)	104 ～ 105
1号補強土壁材料表	35	仮設横断図（本線）　(10) ～ (20)	106 ～ 116
2号補強土壁材料表	36	工事用道路撤去平面図	117
1号・2号補強土壁排水詳細図	37	工事用道路撤去縦断図	118
横　断　図　(9)・(2) ～ (3)	38 ～ 40	工事用道路撤去(側道部) 縦断図	119
補強土壁詳細図　(1) ～ (5)（部材詳細）	41 ～ 45	工事用道路撤去標準横断図	120
補強土壁詳細図　(6)（施工計画）	46	工事用道路撤去横断図　(1) ～ (4)	121 ～ 124
3号補強土壁詳細図　(1/3) ～ (3/3)	47 ～ 49	工事用道路撤去(側道部) 横断図　(1) ～ (5)	125 ～ 129
2号函渠補強土壁平面位置図	50	撤　去　排　水　工　詳　細　図	130
2号函渠補強土壁展開図	51	工事用道路復旧平面図	131
2号函渠補強土壁横断図	52	仮　桟　橋　撤　去　計　画　図	132
補強土壁工法詳細図	53	仮設排水撤去詳細図	133
FCB　工　一　般　図　＜田尻橋＞	54	排　水　工　撤　去　詳　細　図　(9)	134
FCB工縦断図（A1橋台側）	55		
FCB工縦断図（A2橋台側）	56		
FCB　横　断　図　(その1) ～ (その2)	57 ～ 58		
剛性防護柵基礎詳細図　(その1) ～ (その6)	59 ～ 64		
A1橋台側　FCB工一般図　＜紫雲山大橋＞	65		
A1橋台側　FCB工縦断図　(その1) ～ (その2)	66 ～ 67		
FCB工　壁面部詳細図	68		
剛性防護柵基礎詳細図　(その1) ～ (その3)	69 ～ 71		

位　置　図　S=1:25000


若柳
至若柳
至もりおか
至白鳥
至九千沢
至若柳
至築館
至相関
至海峰
至南方
至仙台
西野
令和元年度 受(Ⅲ)道第10号
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)
道路改良(1-7工区)工事
施工位置
若柳町
石越町
迫町
南方町
西野
長沼
新田
中田町
米谷
東郷
北方
佐沼
八幡
上沼
下福岡
上福岡
北二段
南一又
南郷
大幸
吉地
矢作
大根沢
十八町
氷井
花泉町
高倉
大田沼
糠塚
小倉
東郷
登米
平町
条代
台ノ原山
白地
脇谷
大林
石森
中田
町裏田
大師
甲才
二ノ橋
上沼
新田
文字
大治崎
家屋
中畑
宝江黒沼
萬木立
野元
本町
四中
久保
駒幸
古館
加賀野一丁目
加賀野二丁目
細谷
茶畑
西川原毛
堤塚
舟橋
真円
東
大
川
追
川
南
川
北
川
新
川
迫
川
北二段
南一又
大畑
下福岡
上福岡
内谷川
若柳町
東大畑
新田
砂原
新土手
午房沼
松原
東堀戸
堰浦
仮屋
泥内
土手内
谷地
新田
山崎
地頭
北方
中沢
大杉
長沼
金倉
山上
早坂
滝沢
大田
八窪
滝見沢
船道
古宿
杉林
至海峰
下平貝
中畑崎
堅沢
青島屋敷
沢田屋敷
至南方
至仙台
至登米
至米谷
至高清川
至築館
至相関
至海峰

平面図(2)

S=1:1000

令和元年度 受(Ⅲ)道第10号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事

施工延長 L=880.0m 幅員 W=6.5(8.5)m

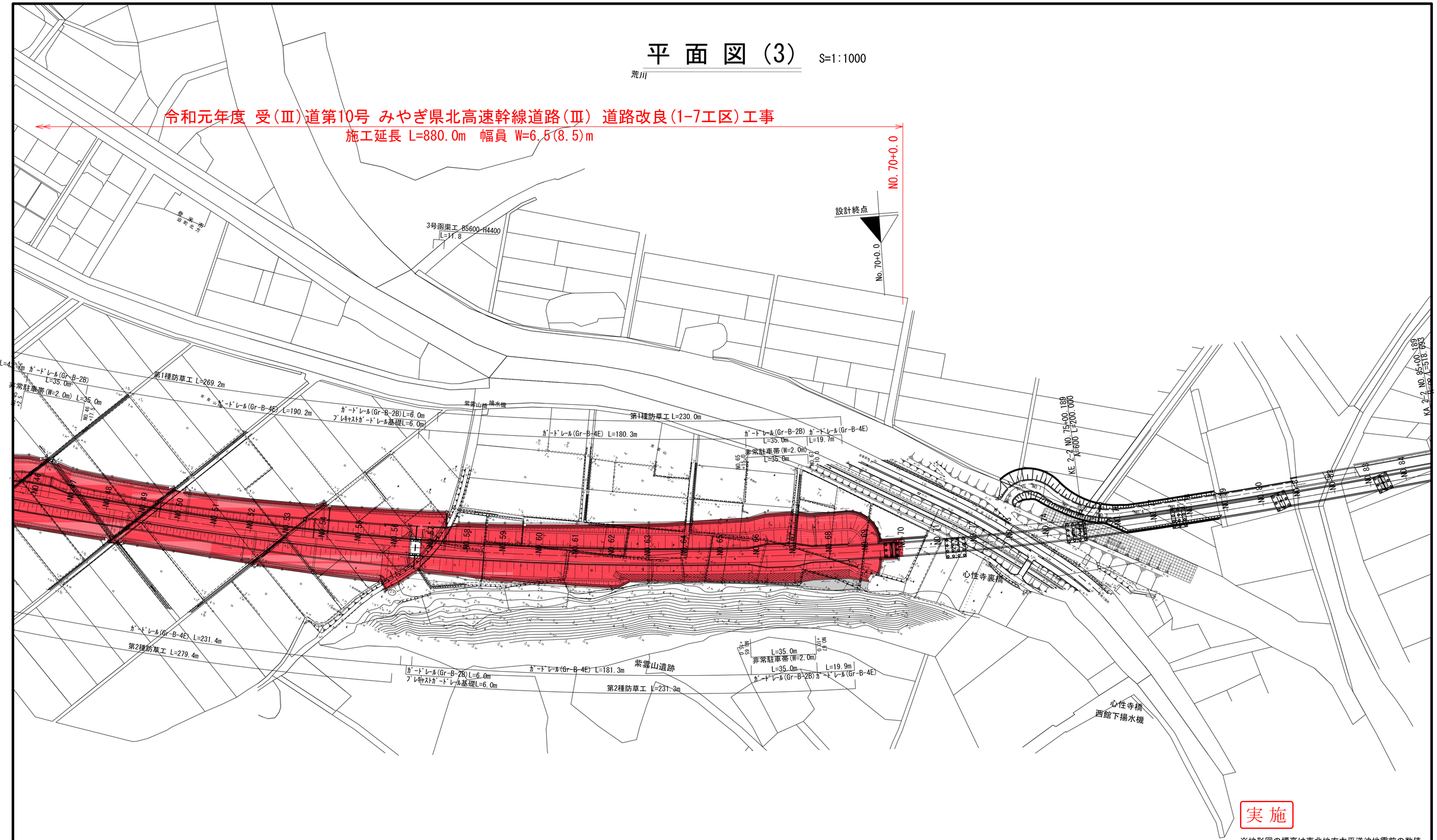
実施

※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	平面図(2)		
縮尺	1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	2 / 134

平 面 図 (3)　S=1:1000

令和元年度 受(Ⅲ)道第10号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事
施工延長 L=880.0m　幅員 W=6.5(8.5)m



実 施

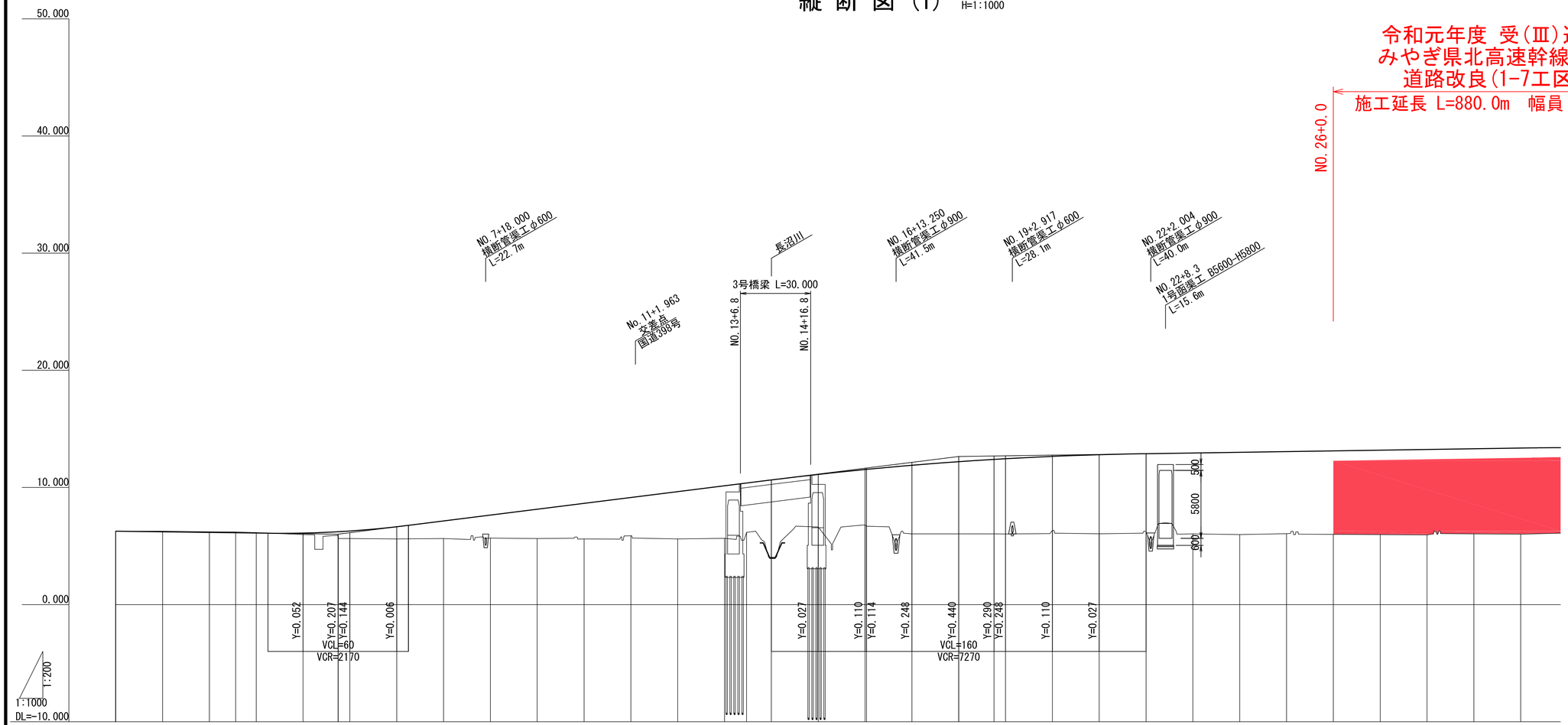
※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	平 面 図 (3)		
縮尺	1：1000	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	3 / 134

縦 断 図 (1)

V=1: 200
H=1:1000

令和元年度 受(Ⅲ)道第10号
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)
道路改良(1-7工区)工事
施工延長 L=880.0m 幅員 W=6.5(8.5)m

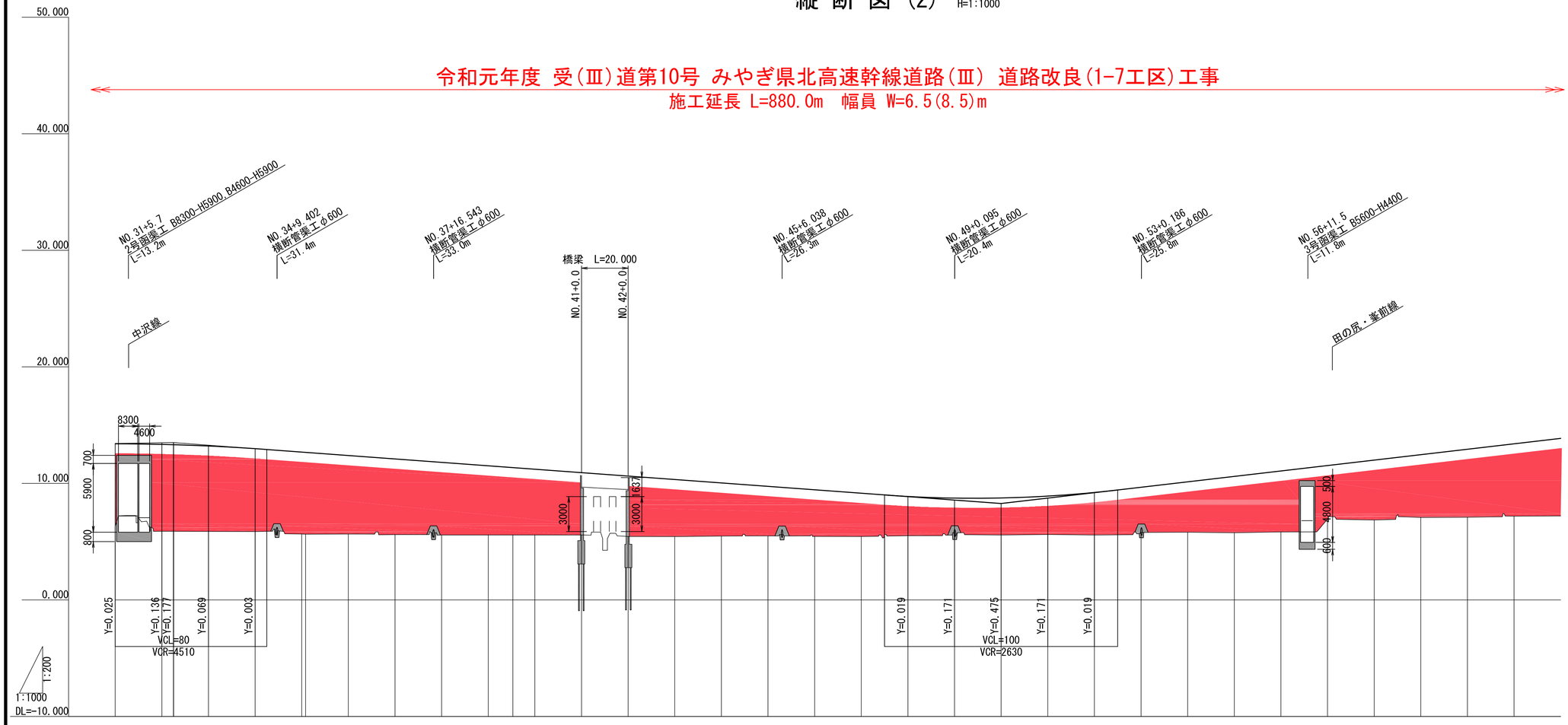


| | | |

縦 断 図 (2)

V=1: 200
H=1:1000

令和元年度 受(Ⅲ)道第10号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事
施工延長 L=880.0m 幅員 W=6.5(8.5)m

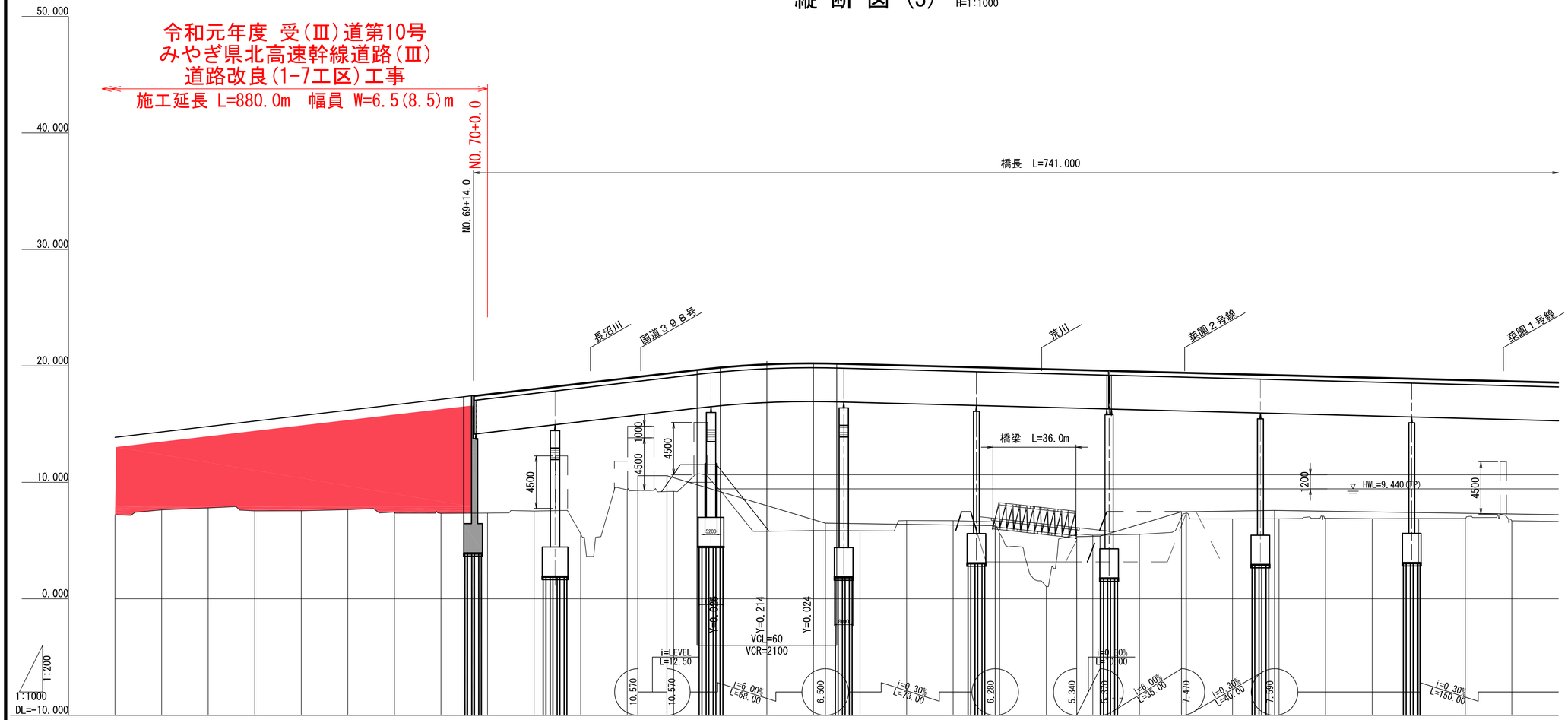


| | | |

縦 断 図 (3)

V=1: 200
H=1:1000

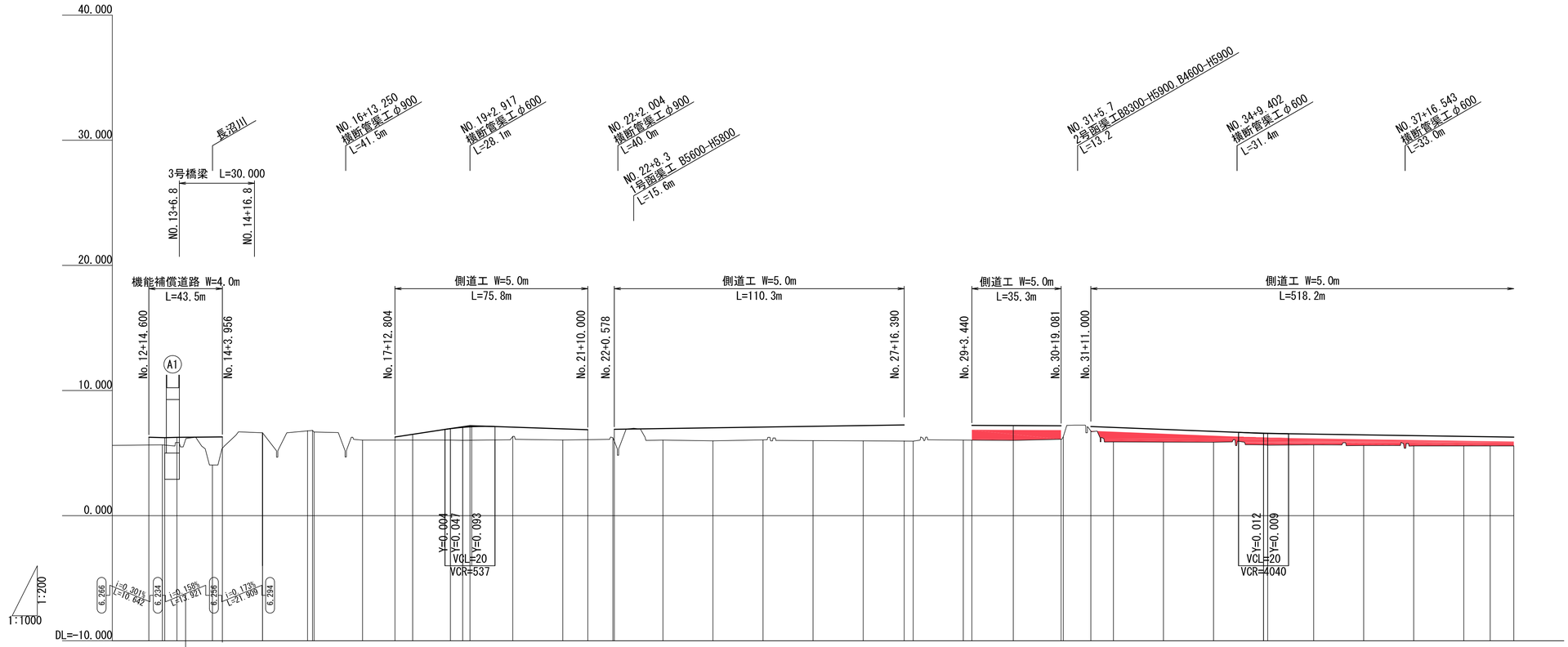
令和元年度 受(Ⅲ)道第10号
みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)
道路改良(1-7工区)工事
施工延長 L=880.0m 幅員 W=6.5(8.5)m



| | | |

側道縦断図（左側）（1）

V=1：200
H=1:1000



測点		NO.12	+14.600	NO.13	+5.954	+9.831	NO.14	+3.956	NO.15	NO.16	KA	1-2	NO.17	+12.954	NO.18	KE	2-1	NO.19	+2.917	NO.20	NO.21	+10.000	NO.22	+0.578	NO.23	NO.24	NO.25	NO.26	NO.27	+16.390	NO.28	+3.440	NO.29	+19.081	NO.31	+11.000	NO.32	NO.33	NO.34	NO.35	KEE	2-1	NO.36	NO.37	NO.38	NO.39	KAE	2-1	NO.40
単距離		14.600		5.402	4.877		4.169	3.956	17.703	20.000	0.832		19.368		12.954	7.046		15.077	4.923	2.917	17.083	20.000		10.000	0.578	19.422	20.000	20.000	20.000	20.000	16.390	3.610	20.000	3.440	20.000		11.000	9.000	20.000	20.000	20.000	1.660		18.340	20.000	20.000	20.000	10.549		9.451
累加距離		256.600		260.002	264.879		280.000	283.956	300.000	320.000	320.832		340.000		352.954	360.000		375.077	380.000	382.917	400.000	420.000		430.000	440.000	440.578	460.000	480.000	500.000	520.000	540.000	556.390	560.000	580.000	583.440	600.000		620.000	631.000	640.000	660.000	680.000	700.000	701.660		720.000	740.000	760.000	780.000		790.549	800.000
地盤高		6.266		5.003			6.294		6.625	6.605			6.035		6.035	6.035		6.035	6.025	6.031	6.335	6.045		6.072	6.235	6.053	6.035	5.975	6.055	5.995	5.975	5.959	5.955	6.035	6.032	6.015		6.315	6.315	6.760	5.895	5.875	5.865	5.655	5.635	5.655	5.605	5.575	5.575	5.575	5.575
		(A1橋台下部底)		(A1橋台下部底)																																														
計画高		6.266		6.234		6.256	6.294						6.285		6.499			6.951	7.058	7.100	7.074	6.935		6.865	6.898		6.957	7.018	7.078	7.139	7.200	7.250	7.237	7.215		7.199		7.180	7.125	7.053	6.894	6.734	6.587	6.579	6.515	6.454	6.394	6.333	6.301	6.273
切土高									0.135																																									
											0.272																																								
											0.150																																								
盛土高		0.000		1.231		1.253	0.000						0.559		0.250	0.464		0.916	1.033	1.069	0.739	0.890		0.793	0.662	0.845	0.922	1.043	1.023	1.144	1.225	1.291		1.183		1.184		1.076	0.365	1.158	1.019	0.869	0.932	0.944	0.860	0.849	0.819	0.758	0.726	0.698
勾配		6.266					6.294						6.285		i=-3.030%			7.193	i=0.697%		6.865			6.898	i=0.319%							7.250		7.215	i=-0.099%			7.180	7.125	i=0.797%		6.575					i=0.302%		
															L=29.962				L=47.083						L=110.328									L=35.269						L=69.000								L=135.700		

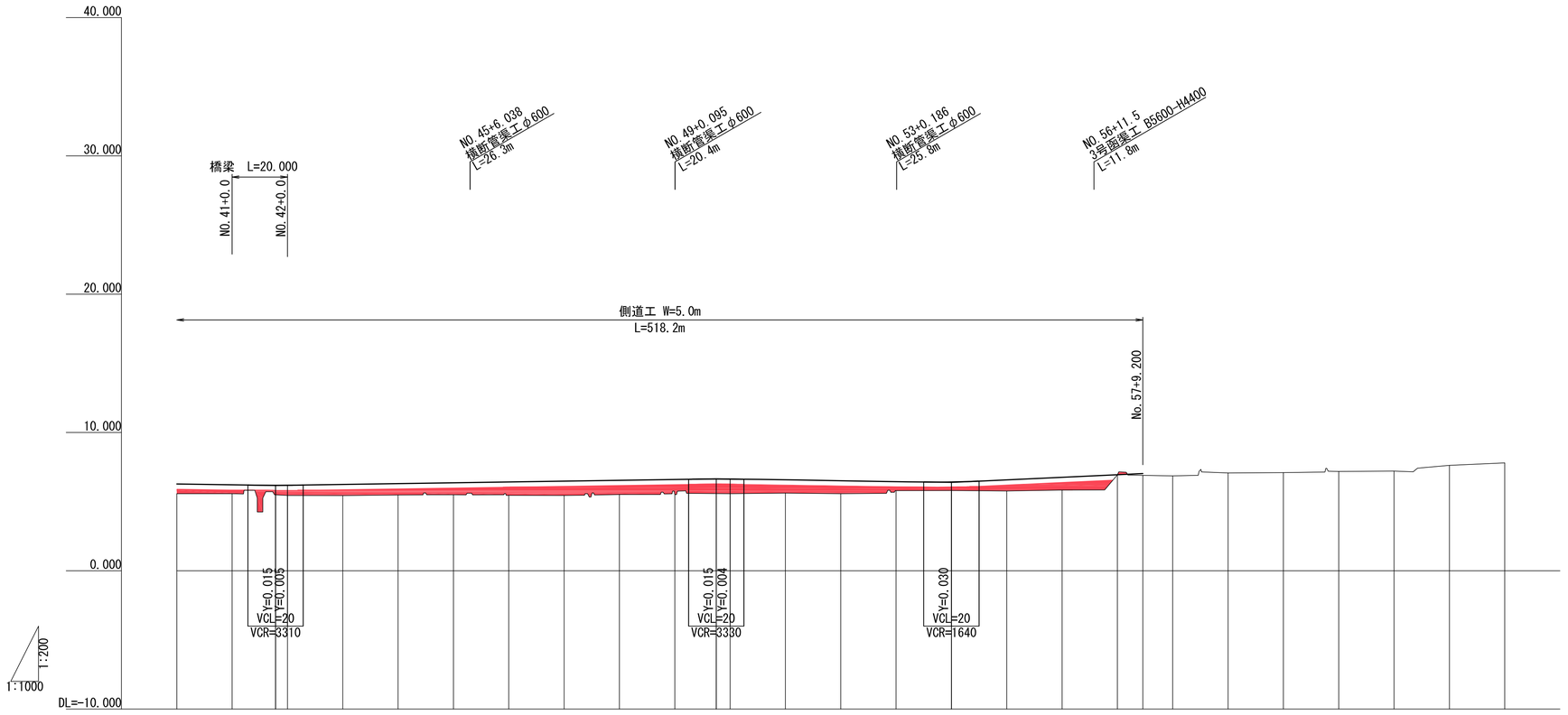
実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	側道縦断図（左側）(1)		
縮尺	V=1:200 H=1:1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	7 / 134

側道縦断図（左側）(2)

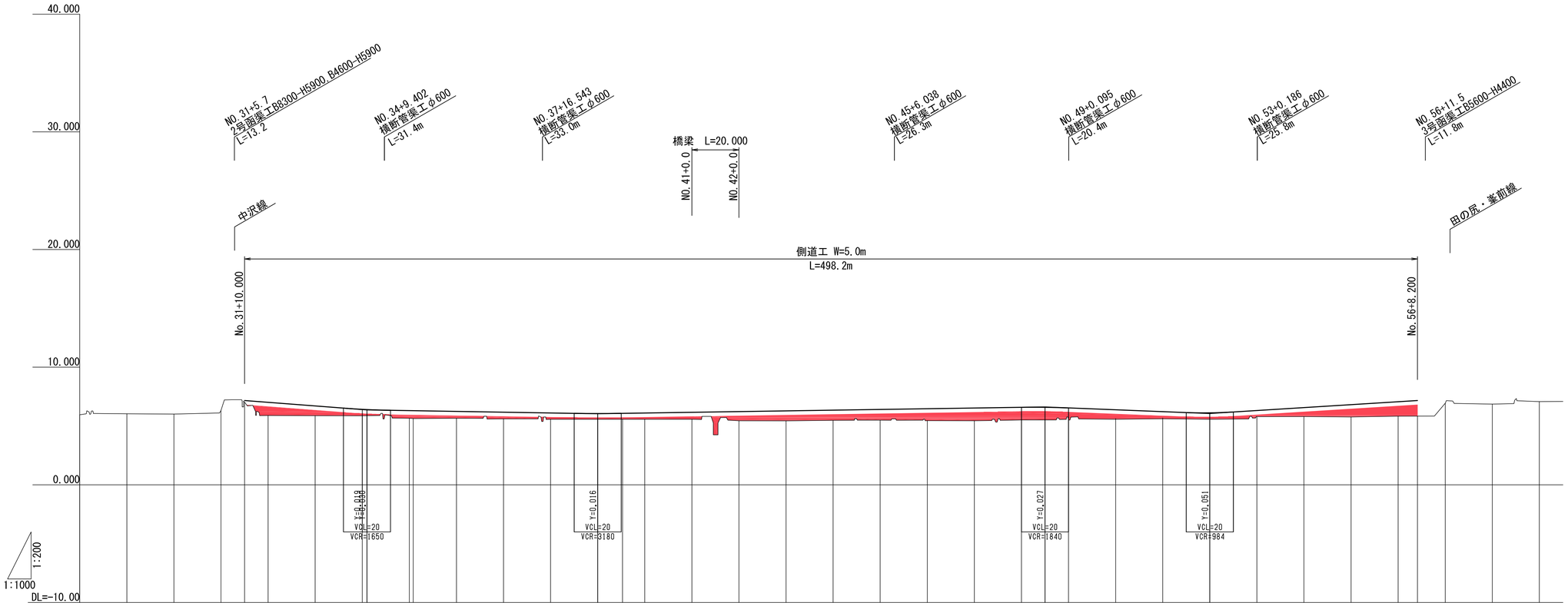
V=1: 200
H=1:1000



| | | |

側道縦断図（右側②）

V=1: 200
H=1:1000

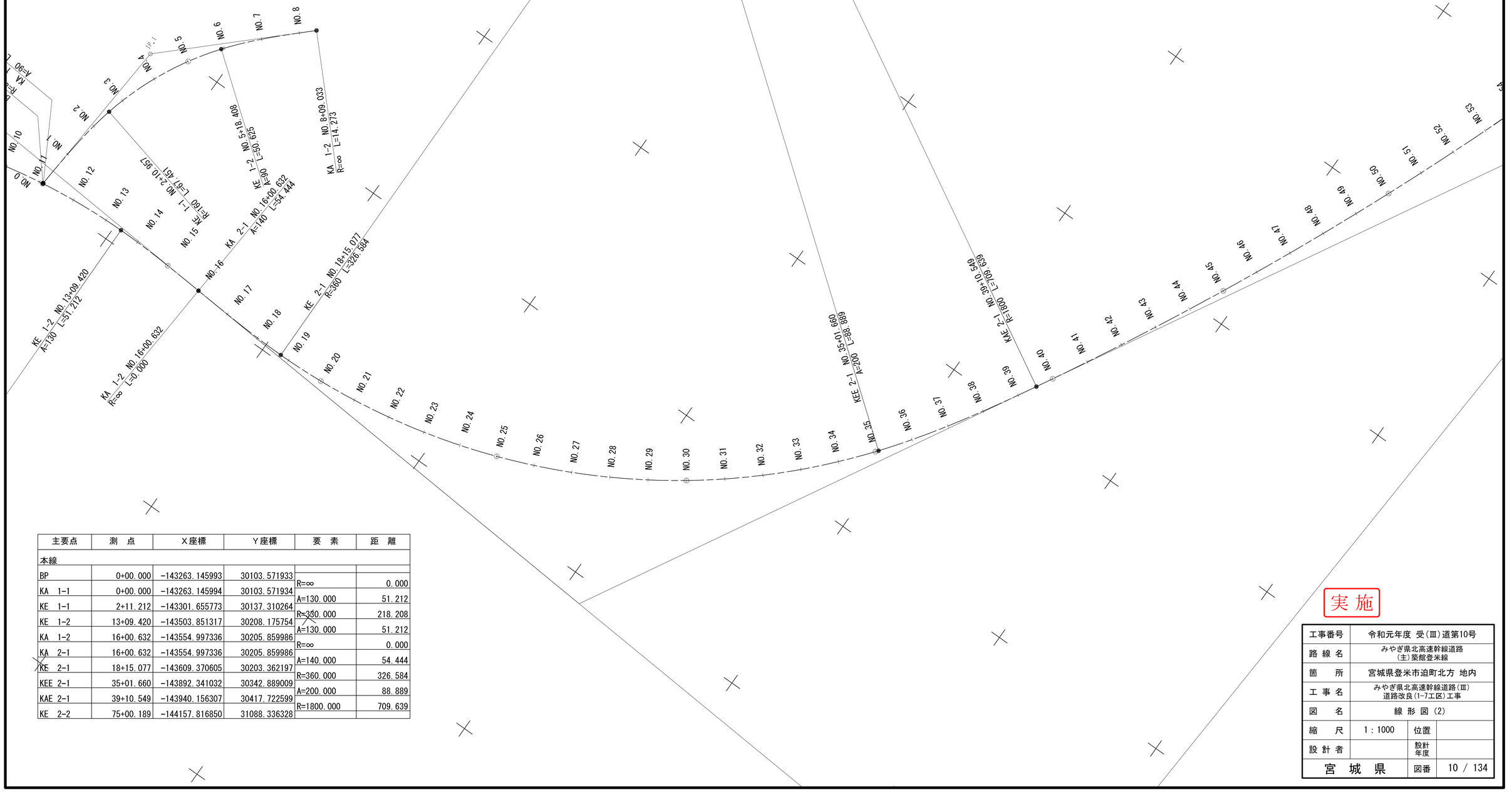


| | | |

線 形 図 (2)

S=1:1000

主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
V60交差道路					
BP	0+00.000	-143456.580173	30204.462581		
				R=∞	0.332
KA　1-1	0+00.332	-143456.605357	30204.793319		
				A=90.000	50.625
KE　1-1	2+10.957	-143463.096655	30254.943667		
				R=160.000	67.451
KE　1-2	5+18.408	-143491.916098	30315.376298		
				A=90.000	50.625
KA　1-2	8+09.033	-143526.799759	30351.986740		



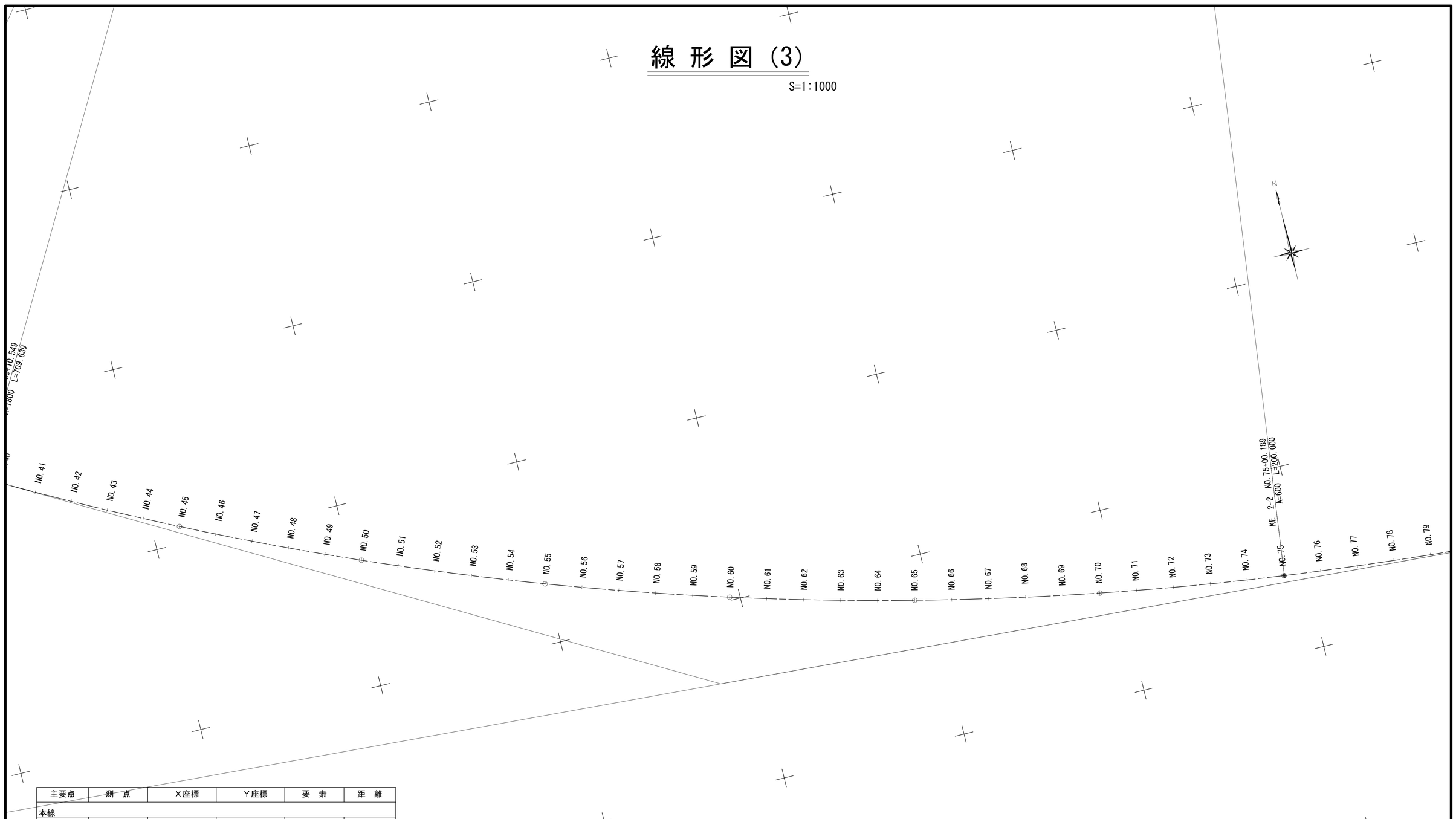
主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
本線					
BP	0+00.000	-143263.145993	30103.571933		
				R=∞	0.000
KA　1-1	0+00.000	-143263.145994	30103.571934		
				A=130.000	51.212
KE　1-1	2+11.212	-143301.655773	30137.310264		
				R=380.000	218.208
KE　1-2	13+09.420	-143503.851317	30208.175754		
				A=130.000	51.212
KA　1-2	16+00.632	-143554.997336	30205.859986		
				R=∞	0.000
KA　2-1	16+00.632	-143554.997336	30205.859986		
				A=140.000	54.444
KE　2-1	18+15.077	-143609.370605	30203.362197		
				R=360.000	326.584
KEE 2-1	35+01.660	-143892.341032	30342.889009		
				A=200.000	88.889
KAE 2-1	39+10.549	-143940.156307	30417.722599		
				R=1800.000	709.639
KE　2-2	75+00.189	-144157.816850	31088.336328		

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	線 形 図 (2)		
縮尺	1：1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	10 / 134

線 形 図 (3)

S=1:1000



主要点	測　点	X座標	Y座標	要　素	距　離
本線					
BP	0+00.000	-143263.145993	30103.571933		
KA　1-1	0+00.000	-143263.145994	30103.571934	R=∞	0.000
KE　1-1	2+11.212	-143301.655773	30137.310264	A=130.000	51.212
KE　1-2	13+09.420	-143503.851317	30208.175754	R=330.000	218.208
KA　1-2	16+00.632	-143554.997336	30205.859986	A=130.000	51.212
KA　2-1	16+00.632	-143554.997336	30205.859986	R=∞	0.000
KE　2-1	18+15.077	-143609.370605	30203.362197	A=140.000	54.444
KEE 2-1	35+01.660	-143892.341032	30342.889009	R=360.000	326.584
KAE 2-1	39+10.549	-143940.156307	30417.722599	A=200.000	88.889
KE　2-2	75+00.189	-144157.816850	31088.336328	R=1800.000	709.639

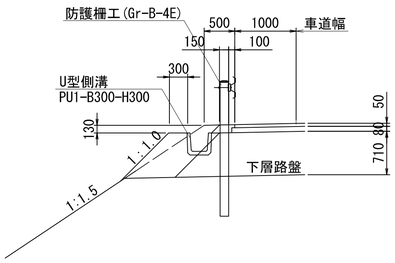
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	線 形 図 (3)		
縮尺	1：1000	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	11 / 134

標 準 横 断 図 S=1:100

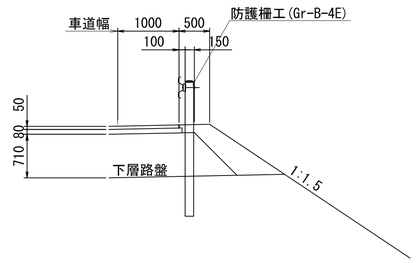
B部詳細図

S=1:50



A部詳細図

S=1:50



標 準 部

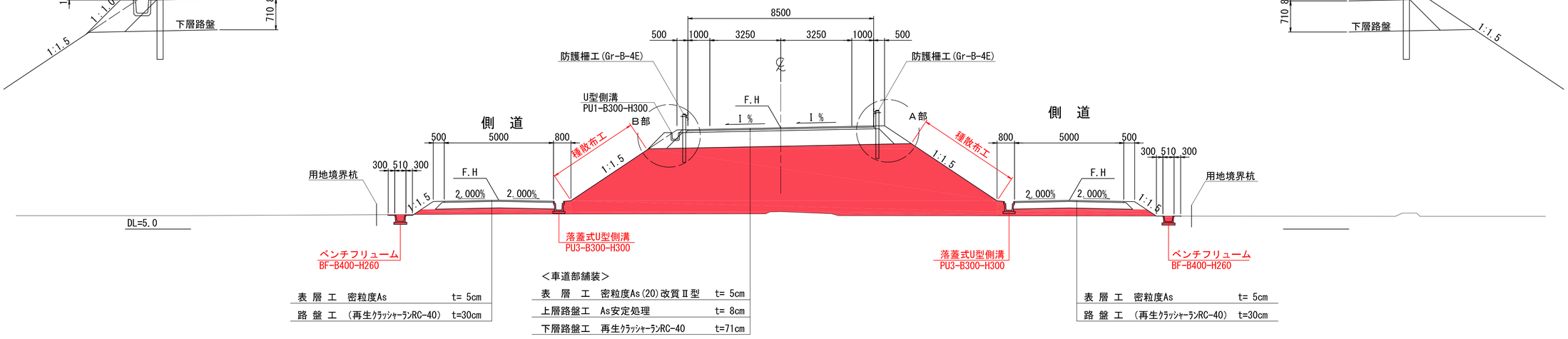


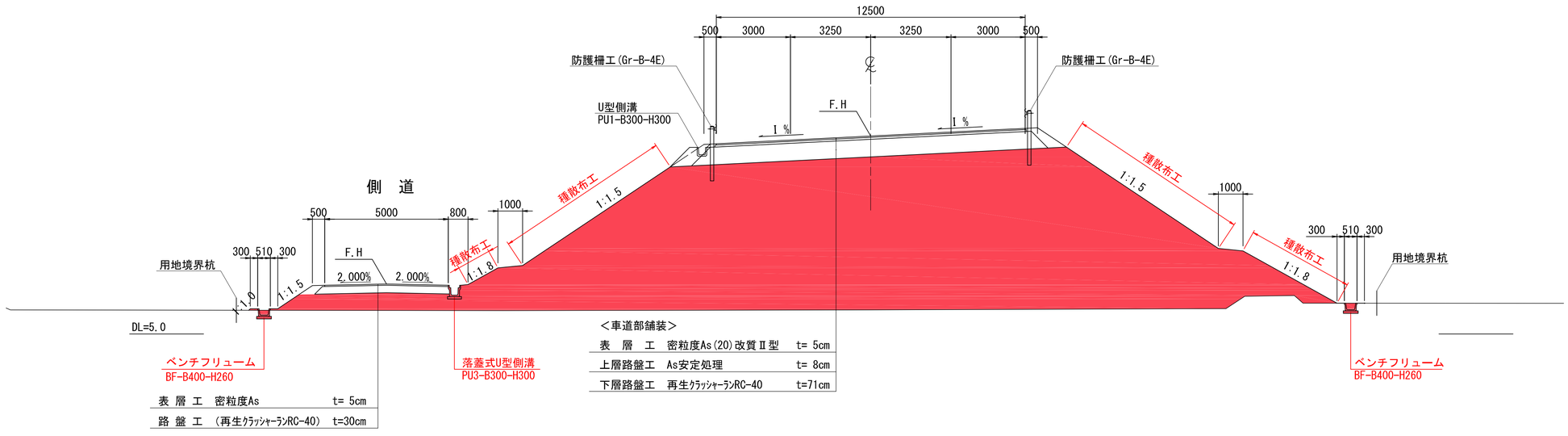
表 層 工	密粒度As	t= 5cm
路 盤 工	(再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t=30cm

＜車道部舗装＞

表 層 工	密粒度As(20)改質Ⅱ型	t= 5cm
上層路盤工	As安定処理	t= 8cm
下層路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t=71cm

表 層 工	密粒度As	t= 5cm
路 盤 工	(再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t=30cm

非 常 駐 車 帯 部



＜車道部舗装＞

表 層 工	密粒度As(20)改質Ⅱ型	t= 5cm
上層路盤工	As安定処理	t= 8cm
下層路盤工	再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40	t=71cm

表 層 工	密粒度As	t= 5cm
路 盤 工	(再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝRC-40)	t=30cm

設計条件

道路規格	第3種 第2級
設計速度	V＝60ｋｍ／ｈ
交通区分	N5 交 通
設計 CBR	3%

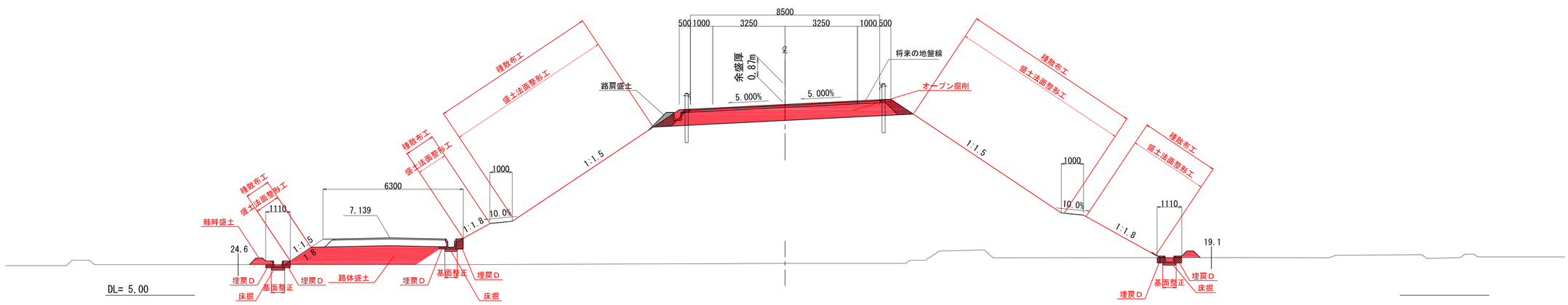
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	標 準 横 断 図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮 城 県		図番	12 / 134

土工区分図　S=1:100

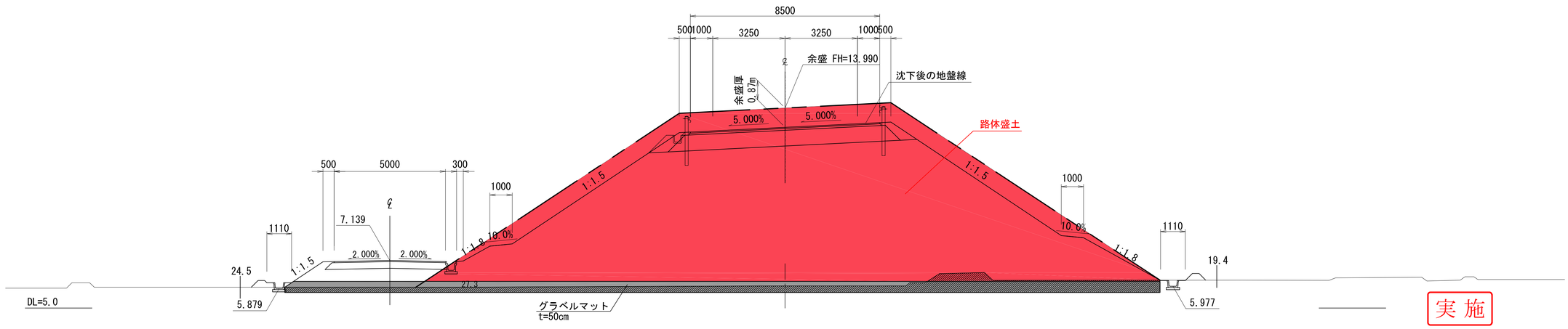
道路改良時（沈下後）

NO.26～NO.70
GH= 6.00
FH=13.120



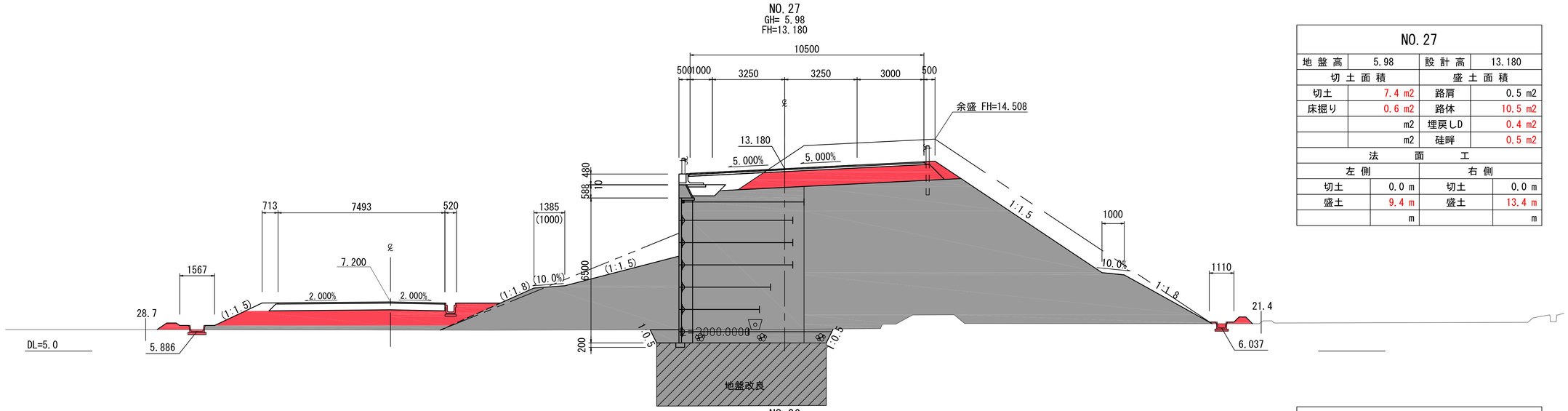
地盤改良施工時

NO.26～NO.33
GH= 6.00
FH=13.120



実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	土工区分図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	13 / 134



NO.27			
地盤高	5.98	設計高	13.180
切土面積		盛土面積	
切土	7.4 m2	路肩	0.5 m2
床掘り	0.6 m2	路体	10.5 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.5 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	9.4 m	盛土	13.4 m
	m		m

NO.26			
地盤高	6.00	設計高	13.120
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	5.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.1 m	盛土	13.2 m
	m		m

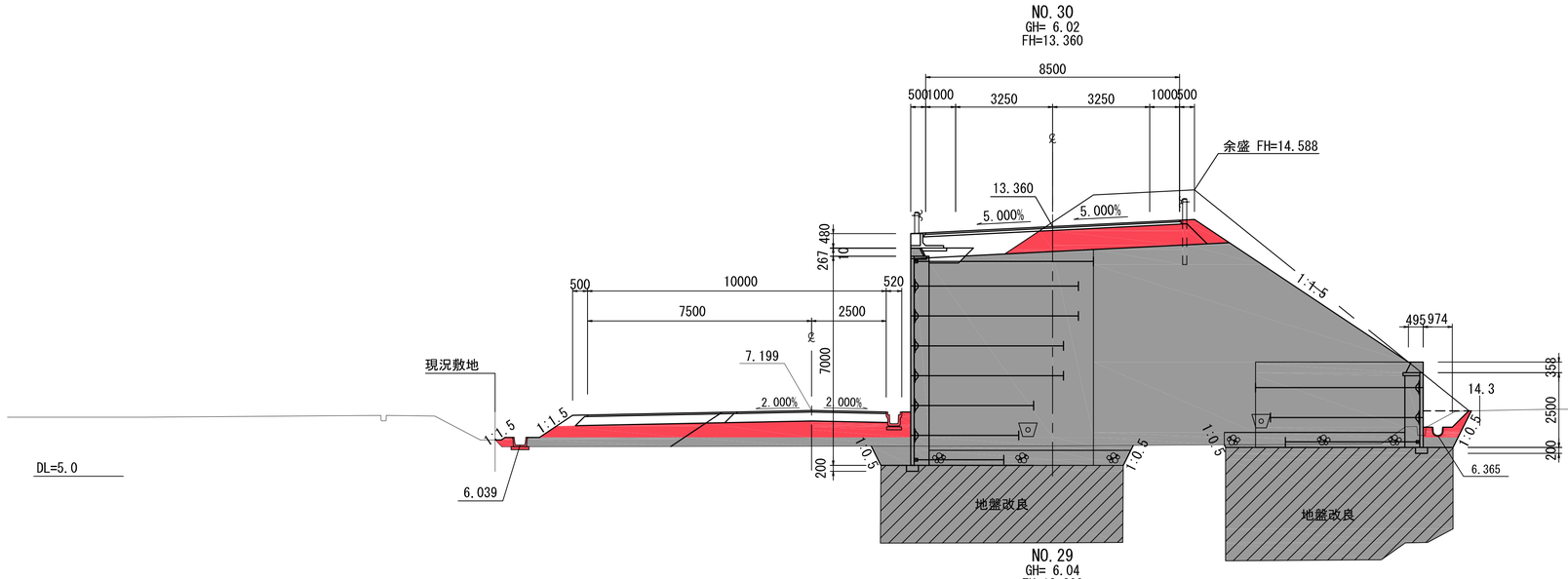
NO.25			
地盤高	6.06	設計高	13.060
切土面積		盛土面積	
切土	9.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.0 m2	路体	4.5 m2
	m2	埋戻しD	0.5 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.3 m
盛土	11.9 m	盛土	13.0 m
	m		m

実施

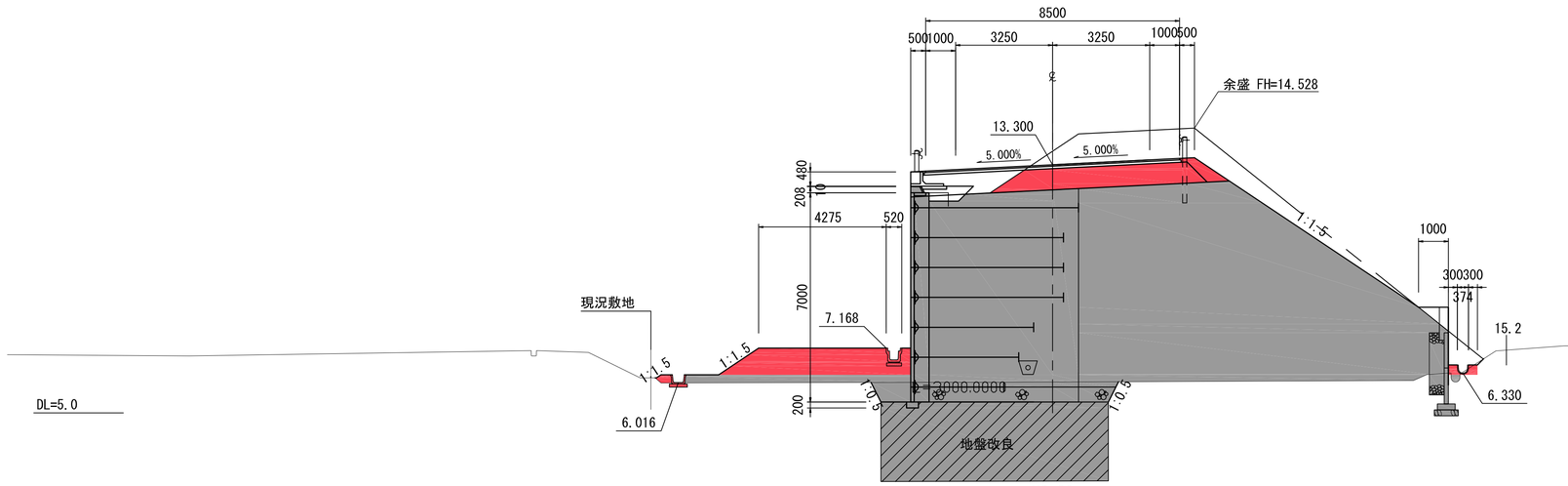
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(I-7工区)工事		
図名	横断図(9)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	14 / 134



NO.30			
地盤高	6.02	設計高	13.360
切土面積		盛土面積	
切土	6.0 m2	路肩	0.5 m2
床掘り	0.2 m2	路体	9.9 m2
	m2	埋戻しD	0.0 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.8 m
盛土	1.5 m	盛土	8.6 m
	m		m



NO.29			
地盤高	6.04	設計高	13.300
切土面積		盛土面積	
切土	5.7 m2	路肩	0.5 m2
床掘り	0.2 m2	路体	6.9 m2
	m2	埋戻しD	0.1 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.3 m
盛土	1.8 m	盛土	9.0 m
	m		m

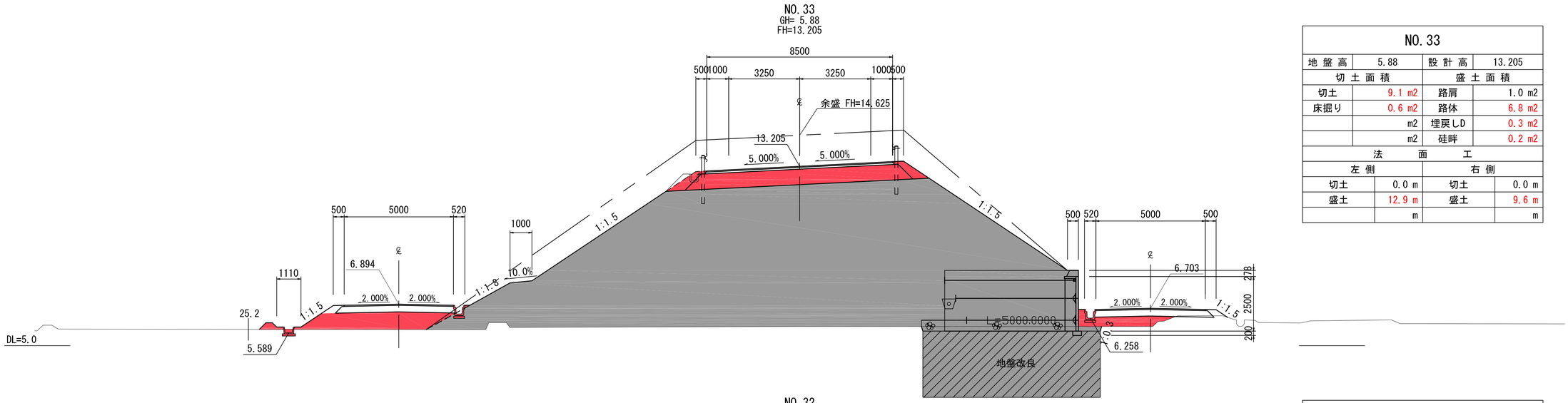
NO.28			
地盤高	5.96	設計高	13.240
切土面積		盛土面積	
切土	6.0 m2	路肩	0.5 m2
床掘り	0.4 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.9 m
盛土	0.0 m	盛土	12.2 m
	m		m

実施

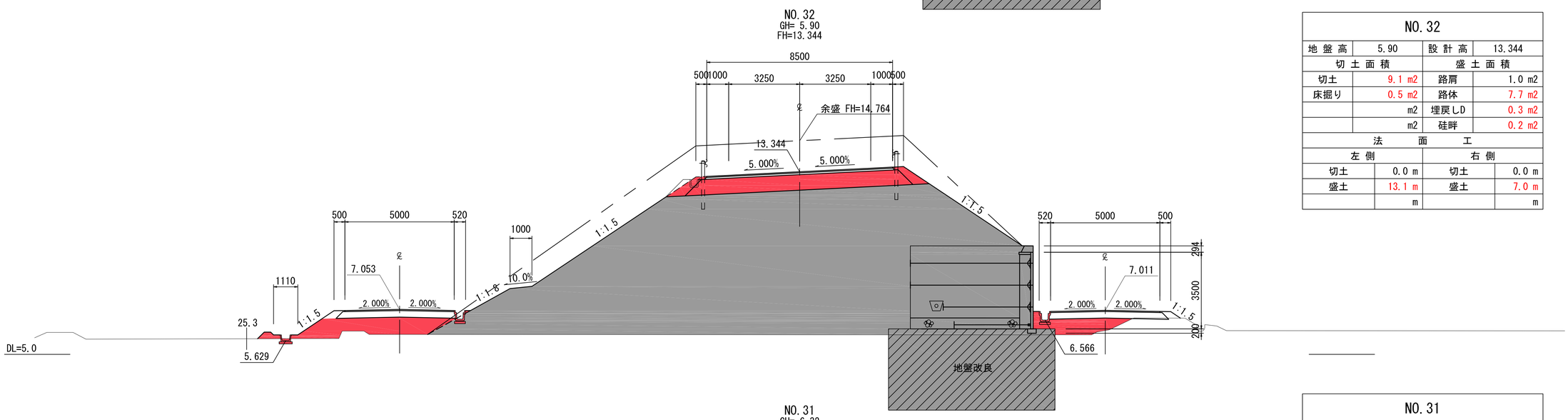
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

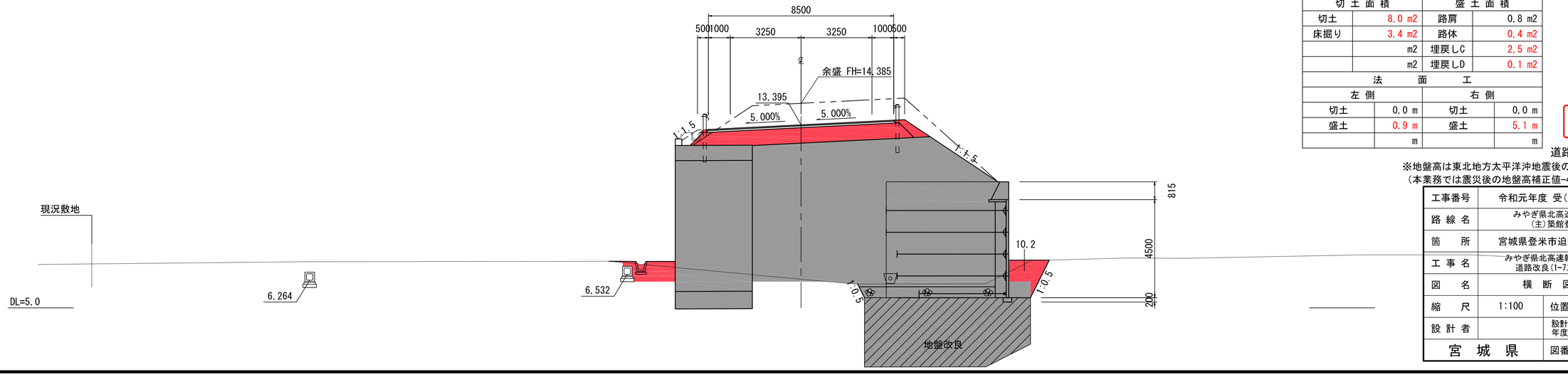
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(10)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	15 / 134



NO.33			
地盤高	5.88	設計高	13.205
切土面積		盛土面積	
切土	9.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	6.8 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.9 m	盛土	9.6 m
	m		m



NO.32			
地盤高	5.90	設計高	13.344
切土面積		盛土面積	
切土	9.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.5 m2	路体	7.7 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	13.1 m	盛土	7.0 m
	m		m



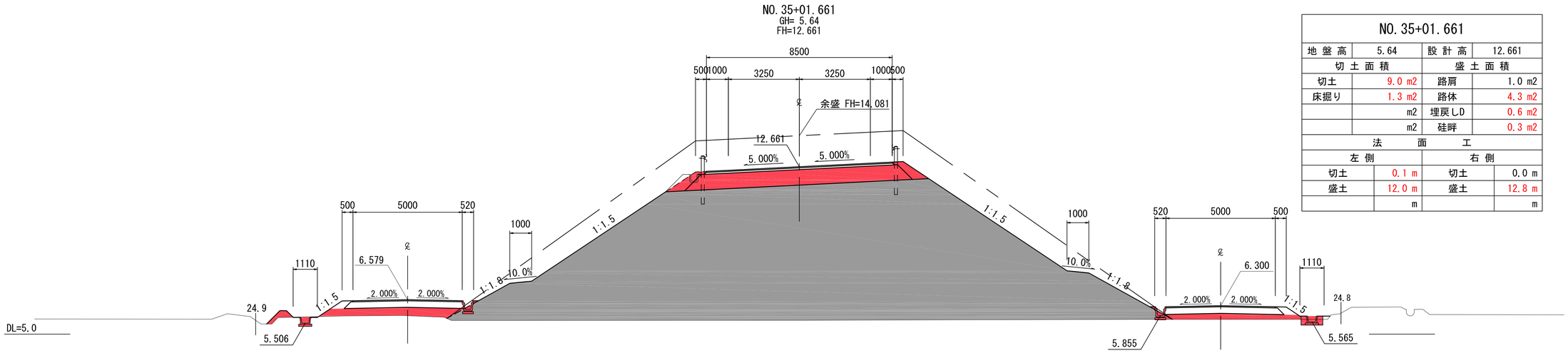
NO.31			
地盤高	6.32	設計高	13.395
切土面積		盛土面積	
切土	8.0 m2	路肩	0.8 m2
床掘り	3.4 m2	路体	0.4 m2
	m2	埋戻しC	2.5 m2
	m2	埋戻しD	0.1 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	0.9 m	盛土	5.1 m
	m		m

実施

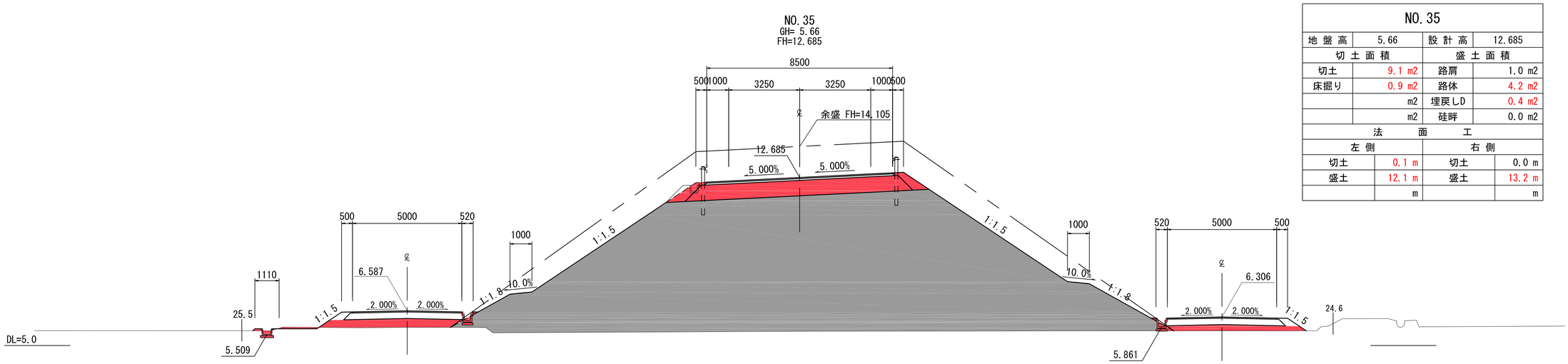
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

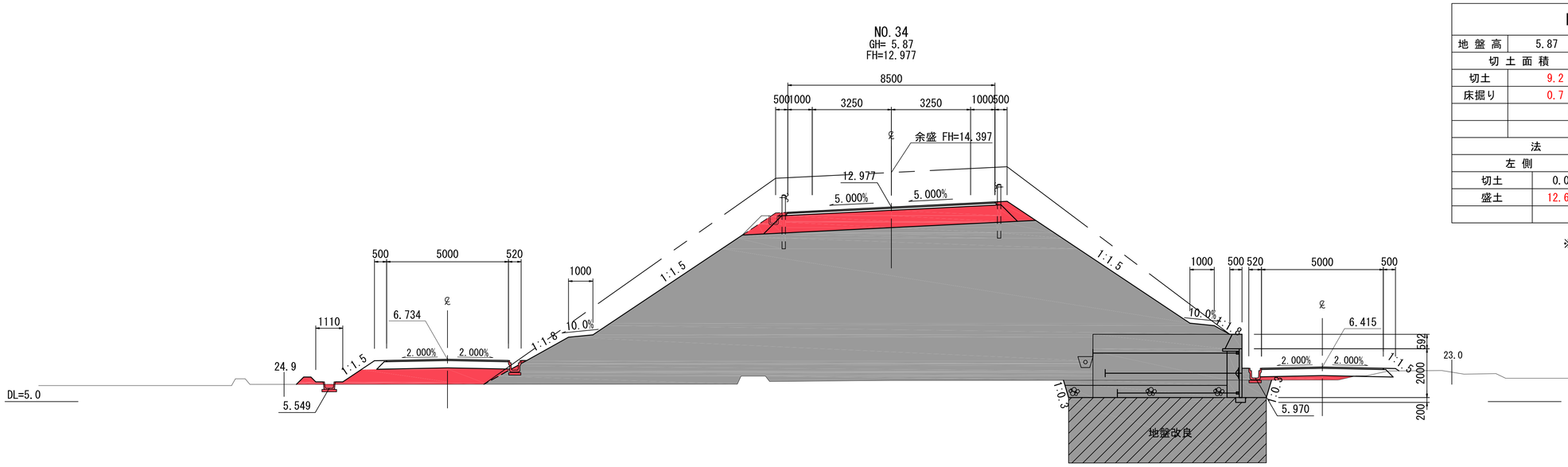
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(11)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	16 / 134



NO.35+01.661			
地盤高	5.64	設計高	12.661
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	4.3 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.0 m
盛土	12.0 m	盛土	12.8 m
	m		m



NO.35			
地盤高	5.66	設計高	12.685
切土面積		盛土面積	
切土	9.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	4.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.0 m
盛土	12.1 m	盛土	13.2 m
	m		m



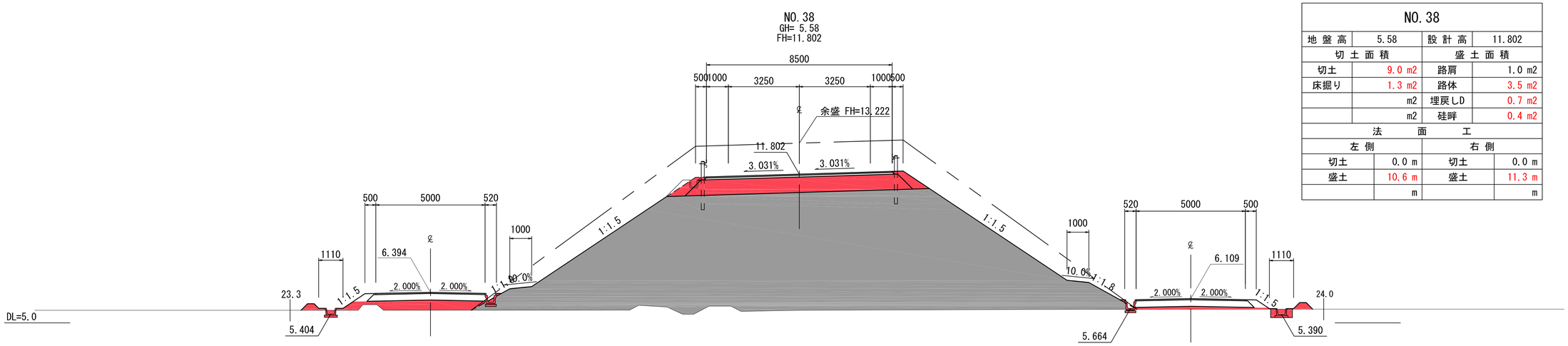
NO.34			
地盤高	5.87	設計高	12.977
切土面積		盛土面積	
切土	9.2 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	5.0 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.6 m	盛土	9.9 m
	m		m

実施

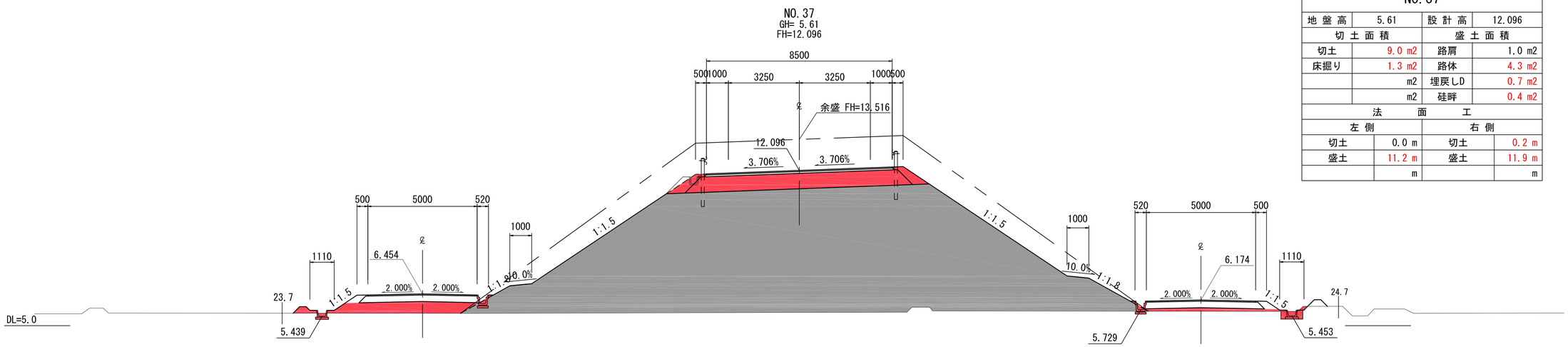
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

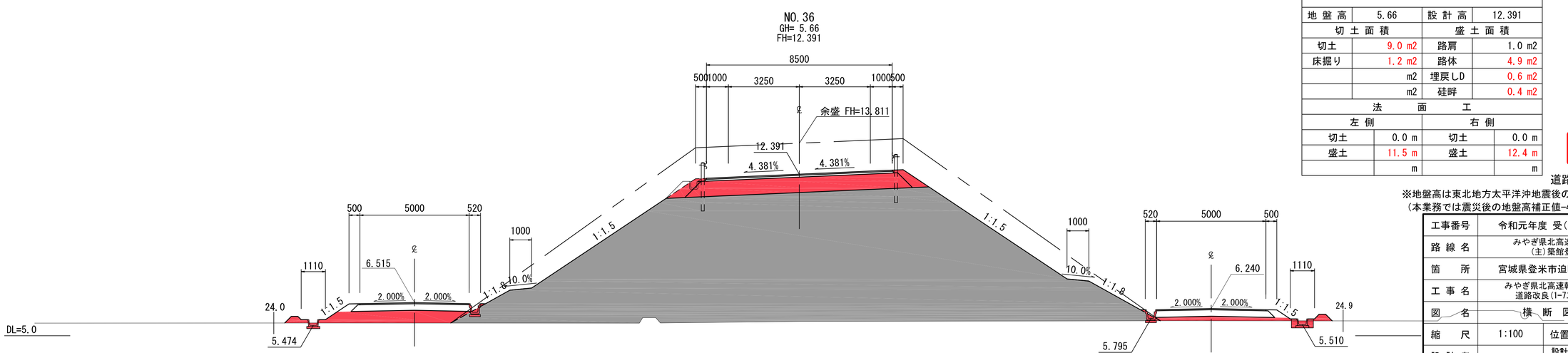
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(12)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	17 / 134



NO.38			
地盤高	5.58	設計高	11.802
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	3.5 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.6 m	盛土	11.3 m
	m		m



NO.37			
地盤高	5.61	設計高	12.096
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	4.3 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土	11.2 m	盛土	11.9 m
	m		m



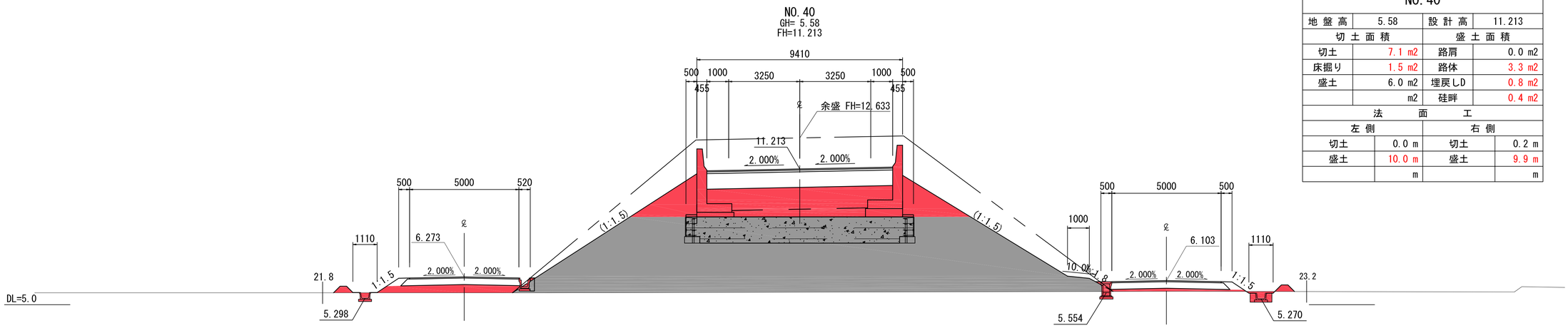
NO.36			
地盤高	5.66	設計高	12.391
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	4.9 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	11.5 m	盛土	12.4 m
	m		m

実施

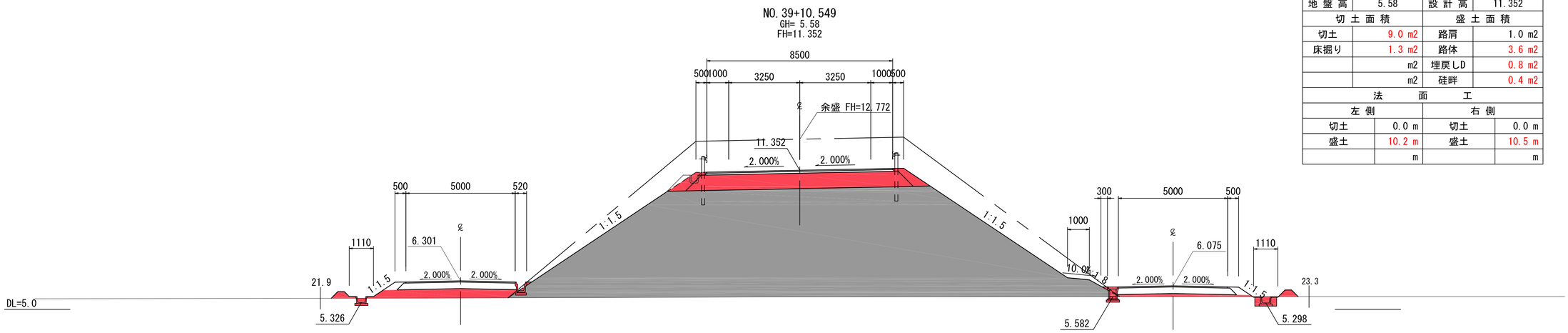
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

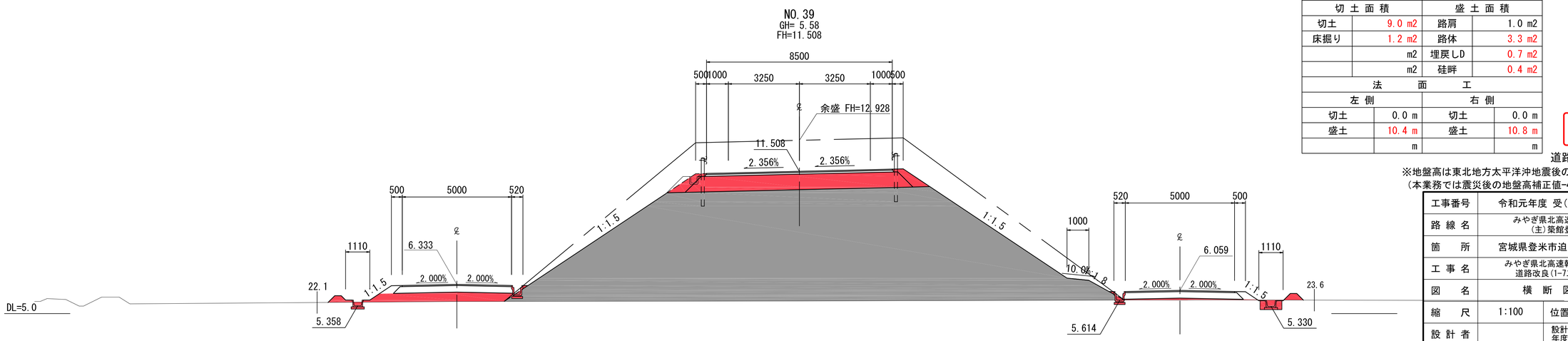
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(13)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	18 / 134



NO.40			
地盤高	5.58	設計高	11.213
切土面積		盛土面積	
切土	7.1 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	1.5 m2	路体	3.3 m2
盛土	6.0 m2	埋戻しD	0.8 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土	10.0 m	盛土	9.9 m
	m		m



NO.39+10.549			
地盤高	5.58	設計高	11.352
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.3 m2	路体	3.6 m2
	m2	埋戻しD	0.8 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.2 m	盛土	10.5 m
	m		m



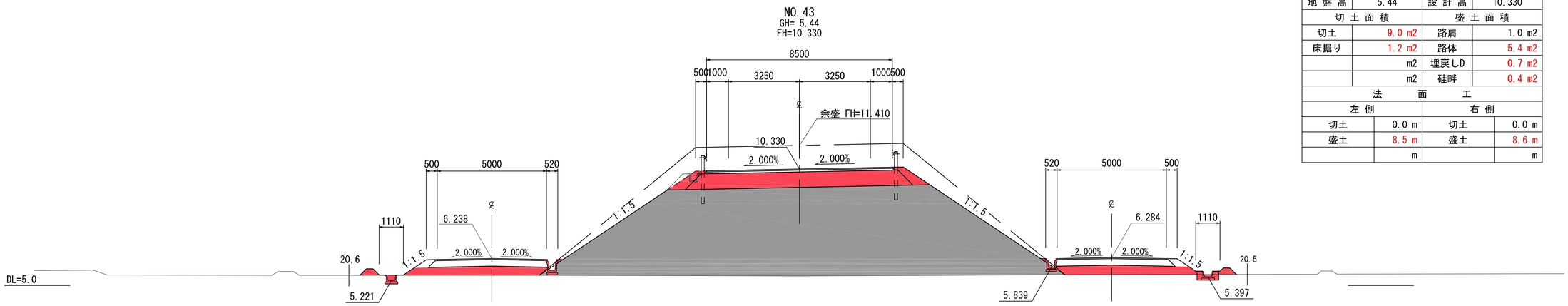
NO.39			
地盤高	5.58	設計高	11.508
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	3.3 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.4 m	盛土	10.8 m
	m		m

実施

道路改良時(沈下後)

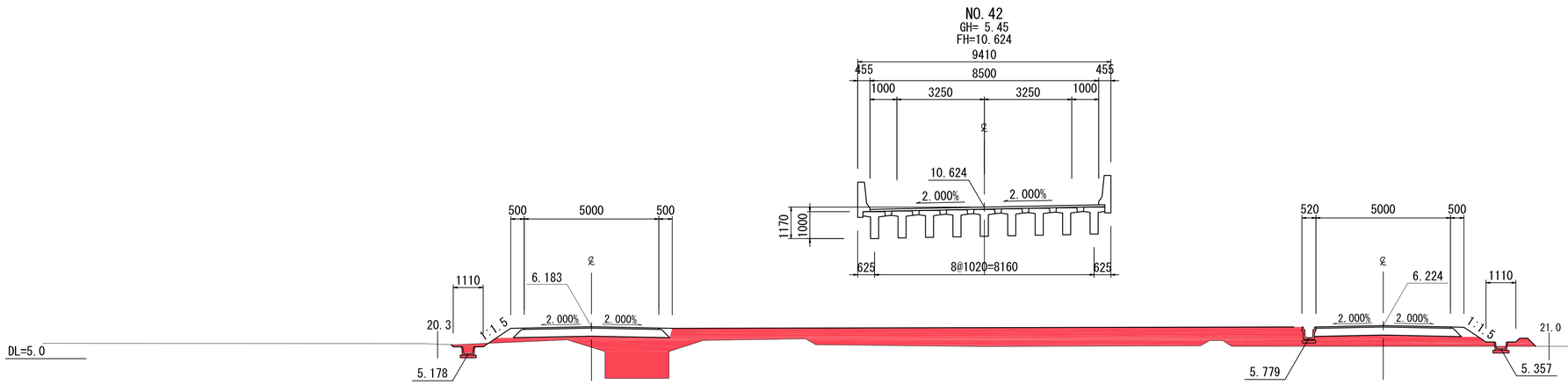
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(14)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	19 / 134



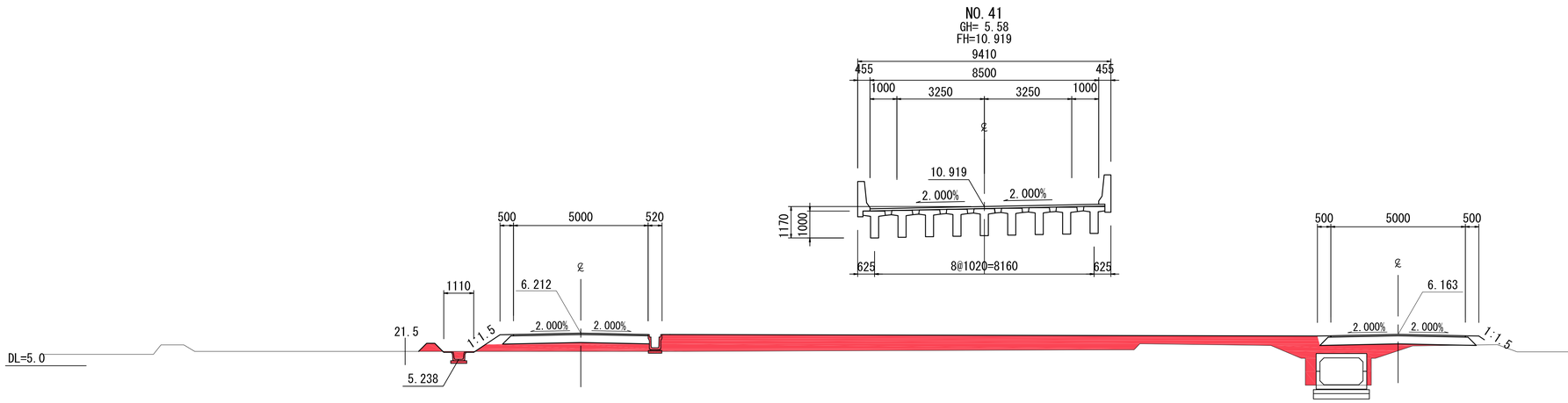
※橋梁設計で計上

NO.43			
地盤高	5.44	設計高	10.330
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	5.4 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	8.5 m	盛土	8.6 m
	m		m



※橋梁設計で計上

NO.42			
地盤高	5.45	設計高	10.624
切土面積		盛土面積	
切土	0.1 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	22.5 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.3 m	切土	0.0 m
盛土	1.0 m	盛土	1.0 m
	m		m



※橋梁設計で計上

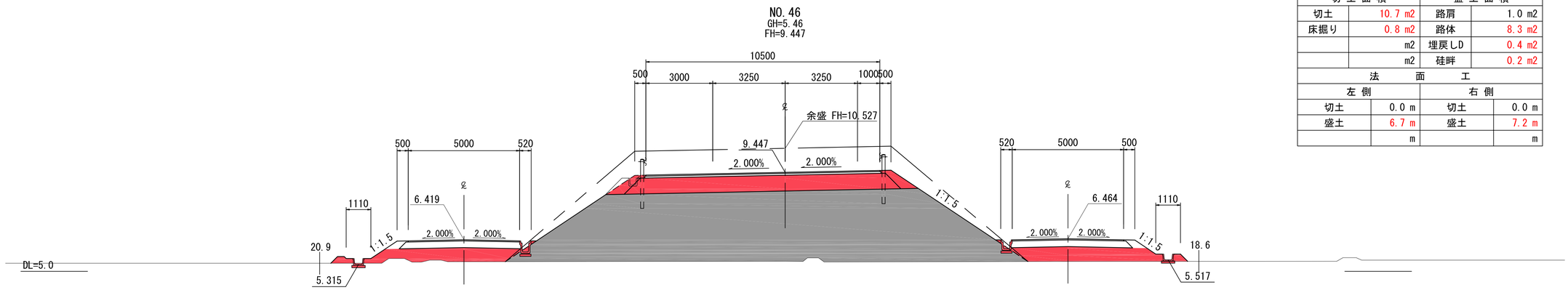
NO.41			
地盤高	5.58	設計高	10.919
切土面積		盛土面積	
切土	0.0 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	1.1 m2	路体	21.6 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.0 m
盛土	1.1 m	盛土	1.2 m
	m		m

実施

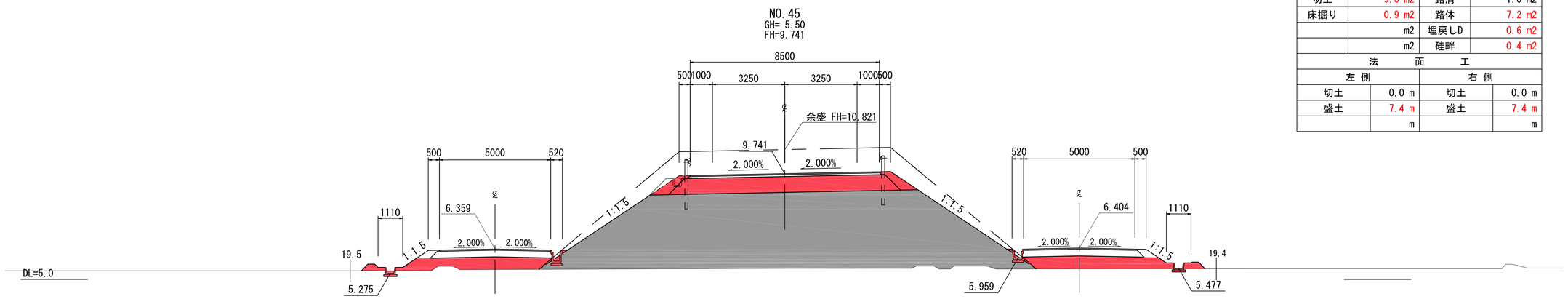
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

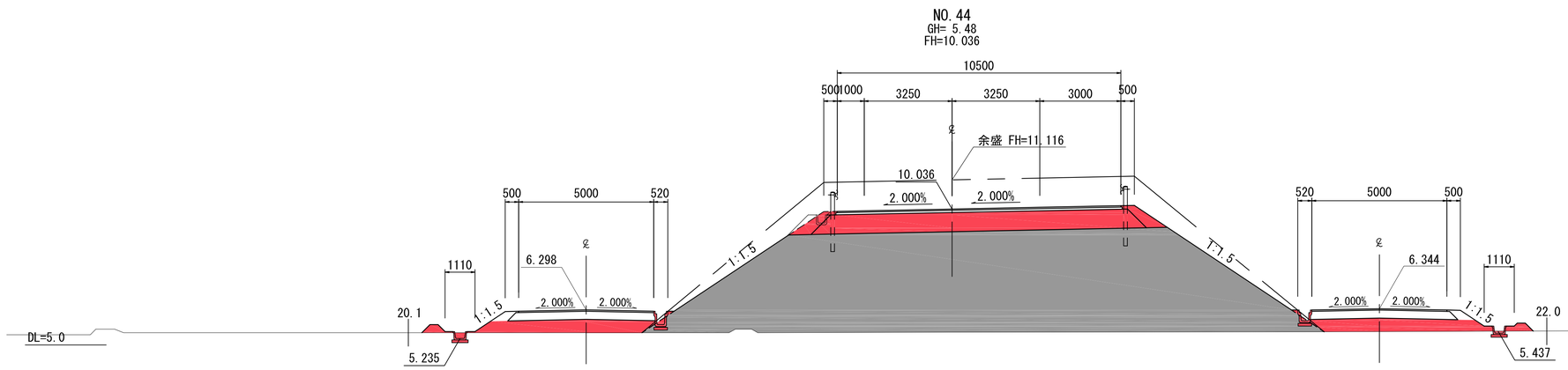
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(15)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	20 / 134



NO.46			
地盤高	5.46	設計高	9.447
切土面積		盛土面積	
切土	10.7 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	8.3 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	6.7 m	盛土	7.2 m
	m		m



NO.45			
地盤高	5.50	設計高	9.741
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	7.2 m2
	m2	埋戻しD	0.6 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	7.4 m	盛土	7.4 m
	m		m



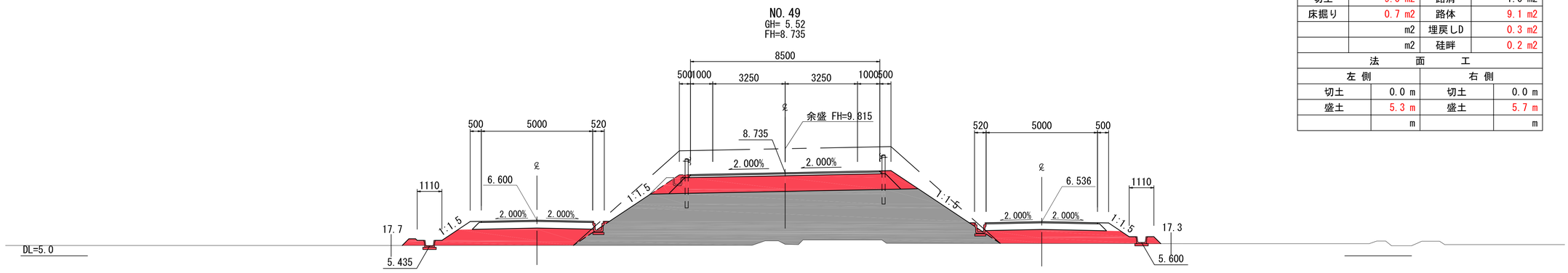
NO.44			
地盤高	5.48	設計高	10.036
切土面積		盛土面積	
切土	10.7 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	6.2 m2
	m2	埋戻しD	0.7 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	8.0 m	盛土	8.1 m
	m		m

実施

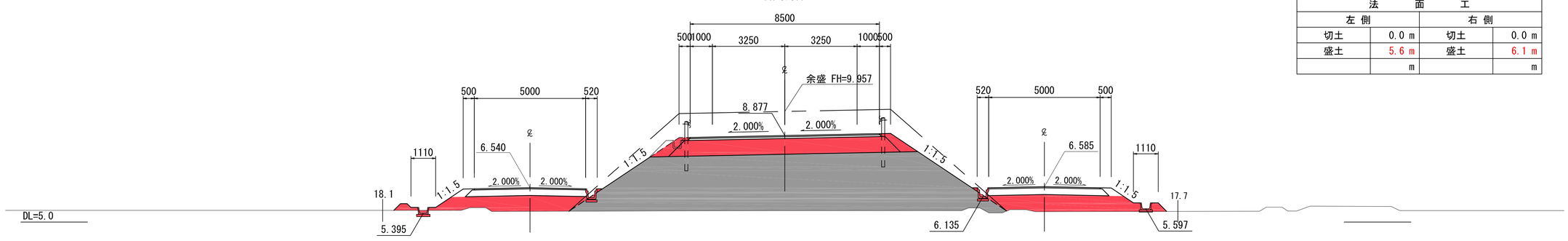
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

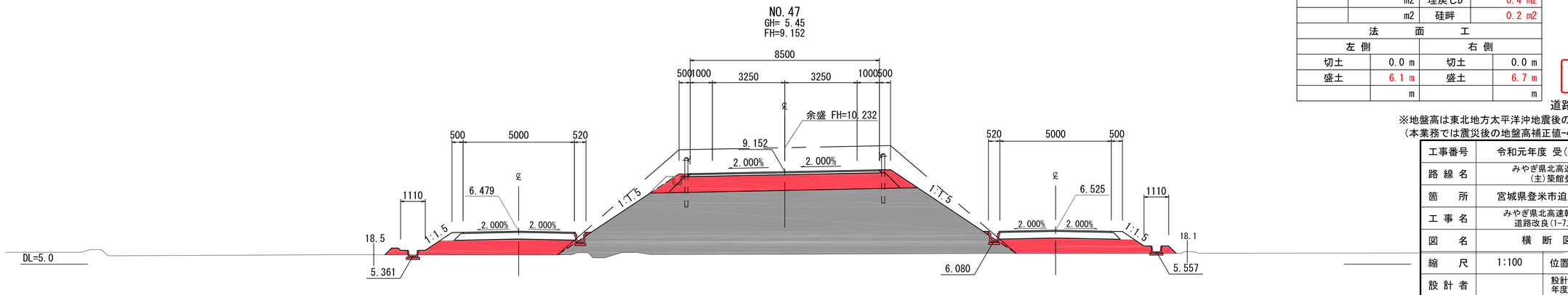
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(16)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	21 / 134



NO.49			
地盤高	5.52	設計高	8.732
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	9.1 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.3 m	盛土	5.7 m
	m		m



NO.48			
地盤高	5.52	設計高	8.877
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	9.1 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.6 m	盛土	6.1 m
	m		m



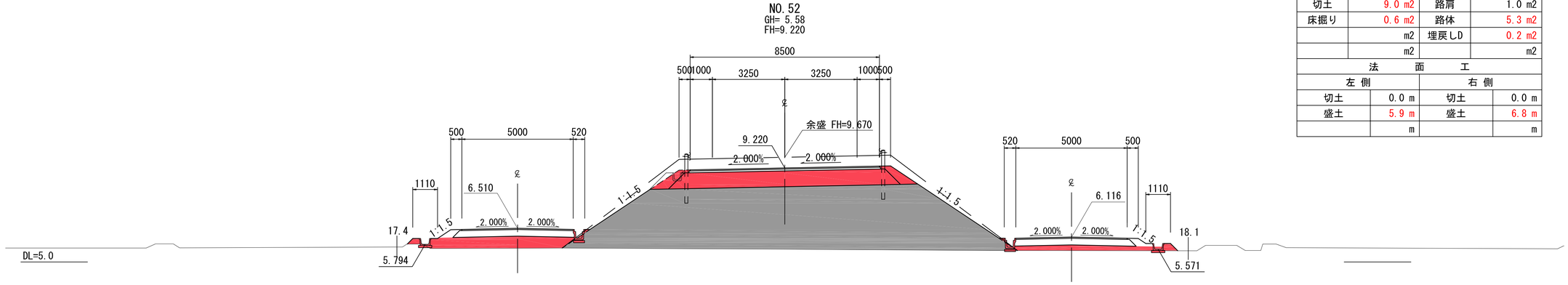
NO.47			
地盤高	5.45	設計高	9.152
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	8.9 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	6.1 m	盛土	6.7 m
	m		m

実施

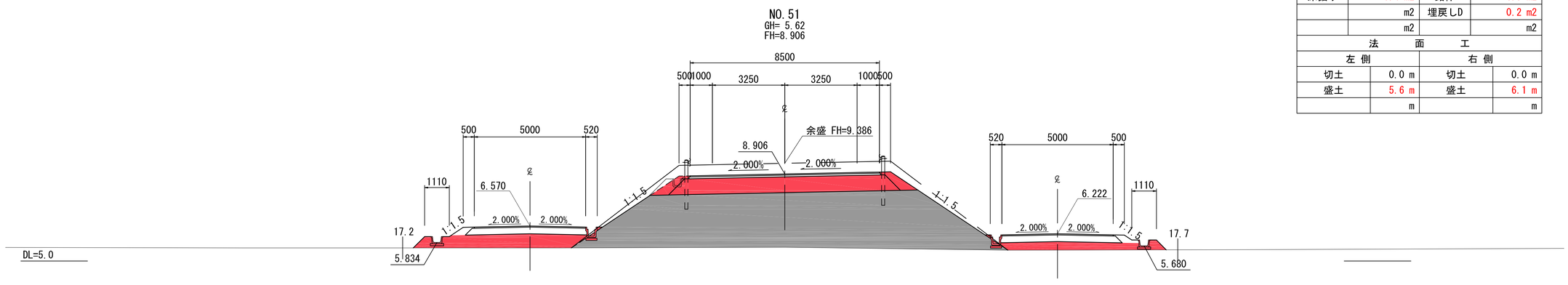
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

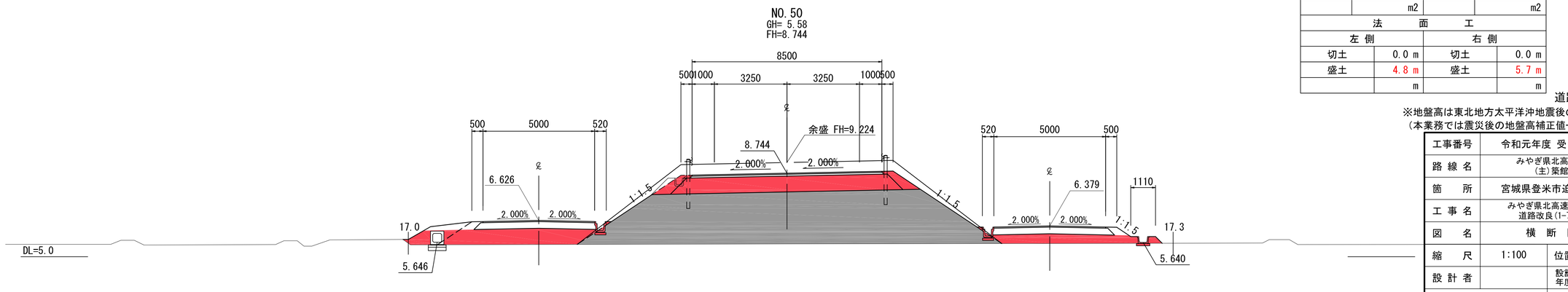
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(17)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	22 / 134



NO.52			
地盤高	5.58	設計高	9.196
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	5.3 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.9 m	盛土	6.8 m
	m		m



NO.51			
地盤高	5.62	設計高	8.891
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	6.9 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	5.6 m	盛土	6.1 m
	m		m



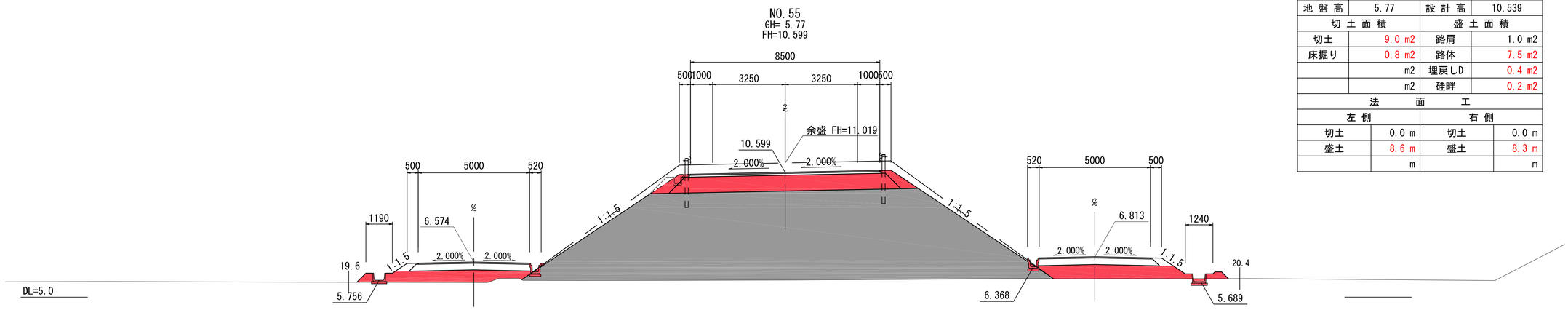
NO.50			
地盤高	5.58	設計高	8.737
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	8.4 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	4.8 m	盛土	5.7 m
	m		m

実施

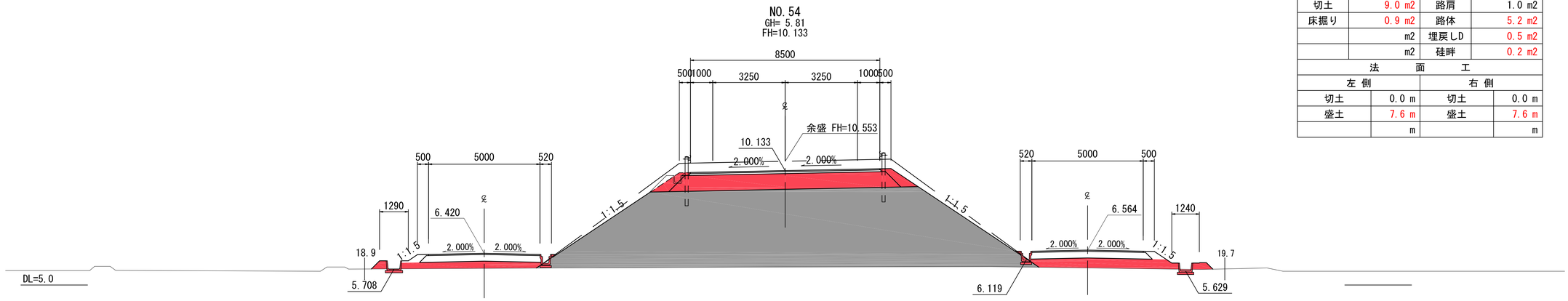
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

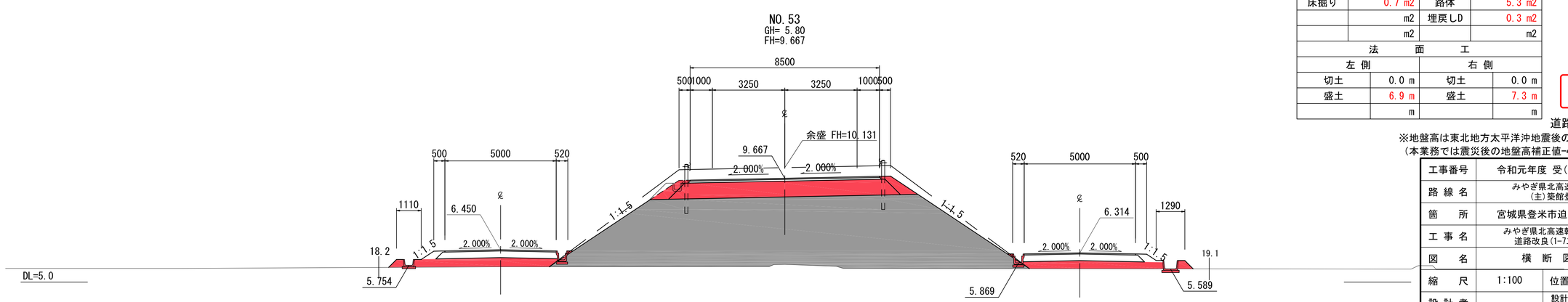
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(18)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	23 / 134



NO.55			
地盤高	5.77	設計高	10.539
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	7.5 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	8.6 m	盛土	8.3 m
	m		m



NO.54			
地盤高	5.81	設計高	10.085
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	5.2 m2
	m2	埋戻しD	0.5 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	7.6 m	盛土	7.6 m
	m		m



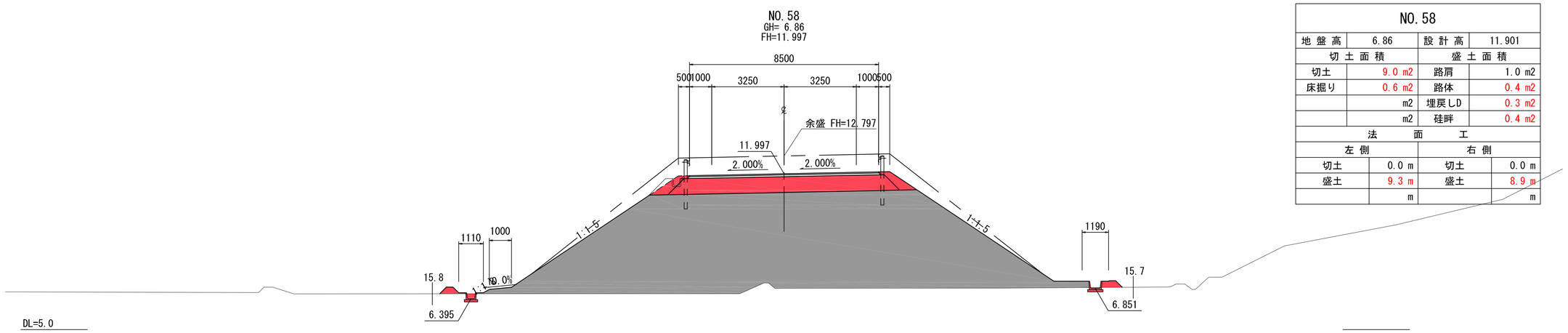
NO.53			
地盤高	5.80	設計高	9.631
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	5.3 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	6.9 m	盛土	7.3 m
	m		m

実施

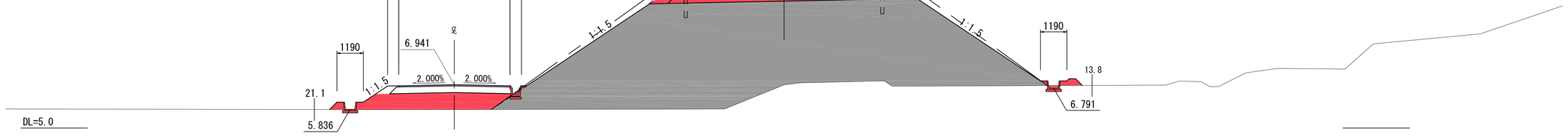
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

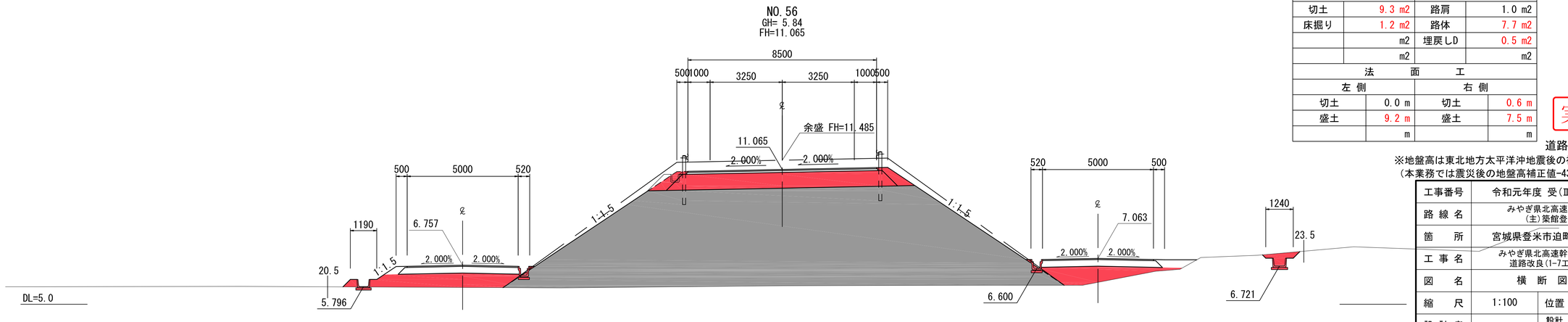
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(19)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	24 / 134



NO.58			
地盤高	6.86	設計高	11.901
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	0.4 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	9.3 m	盛土	8.9 m
	m		m



NO.57			
地盤高	6.94	設計高	11.447
切土面積		盛土面積	
切土	9.0 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	5.1 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	10.0 m	盛土	8.1 m
	m		m



NO.56			
地盤高	5.84	設計高	10.993
切土面積		盛土面積	
切土	9.3 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	1.2 m2	路体	7.7 m2
	m2	埋戻しD	0.5 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.6 m
盛土	9.2 m	盛土	7.5 m
	m		m

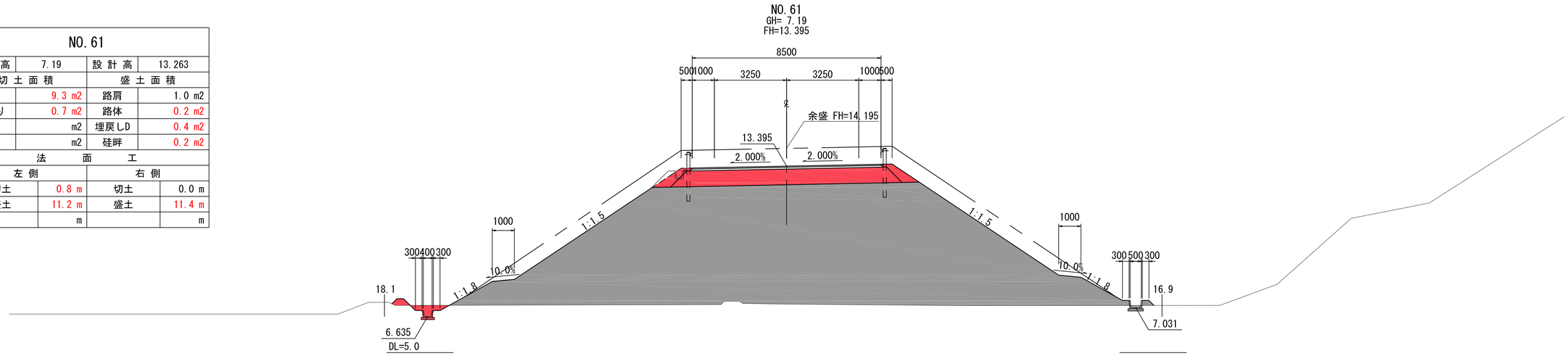
実施

道路改良時(沈下後)

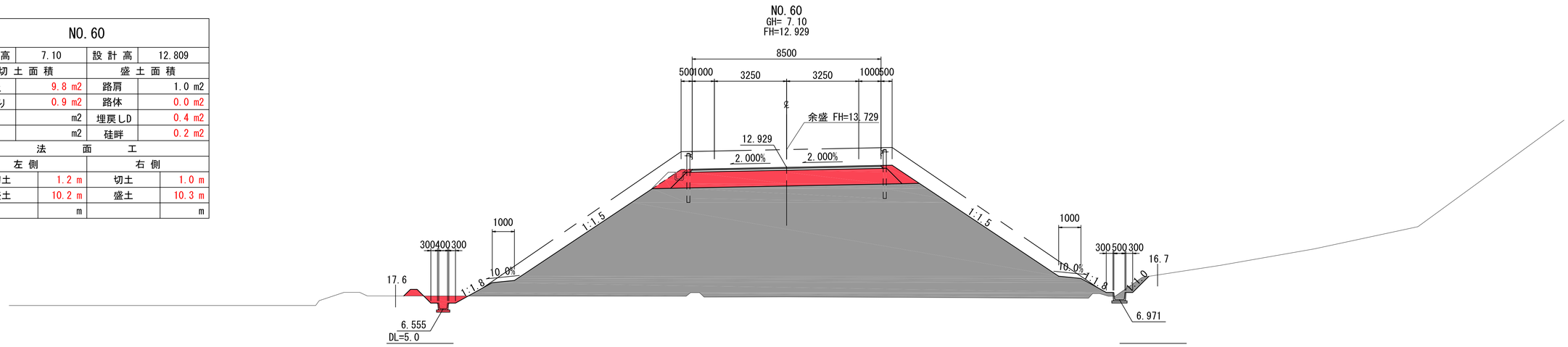
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(20)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	25 / 134

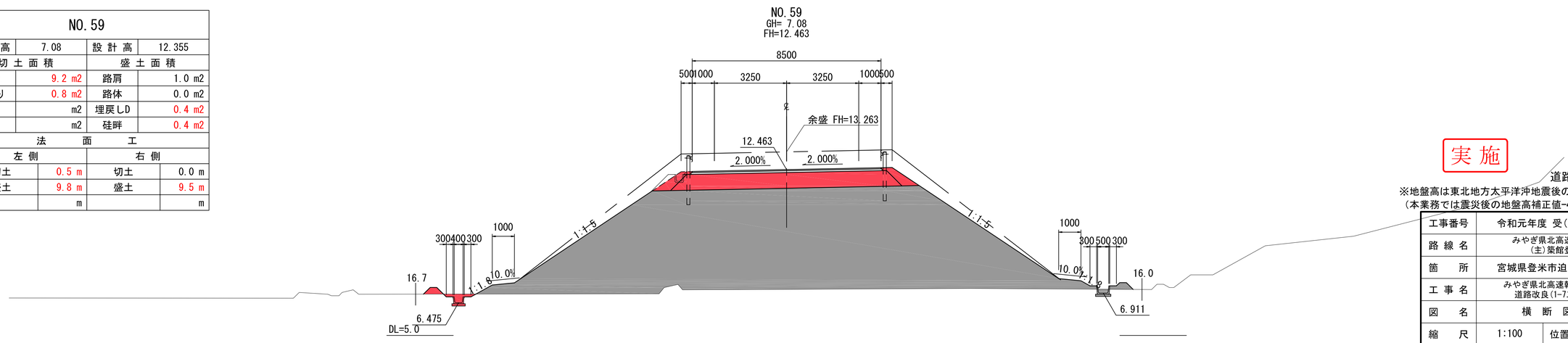
NO.61			
地盤高	7.19	設計高	13.263
切土面積		盛土面積	
切土	9.3 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	0.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.8 m	切土	0.0 m
盛土	11.2 m	盛土	11.4 m
	m		m



NO.60			
地盤高	7.10	設計高	12.809
切土面積		盛土面積	
切土	9.8 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.9 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	1.2 m	切土	1.0 m
盛土	10.2 m	盛土	10.3 m
	m		m



NO.59			
地盤高	7.08	設計高	12.355
切土面積		盛土面積	
切土	9.2 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.5 m	切土	0.0 m
盛土	9.8 m	盛土	9.5 m
	m		m



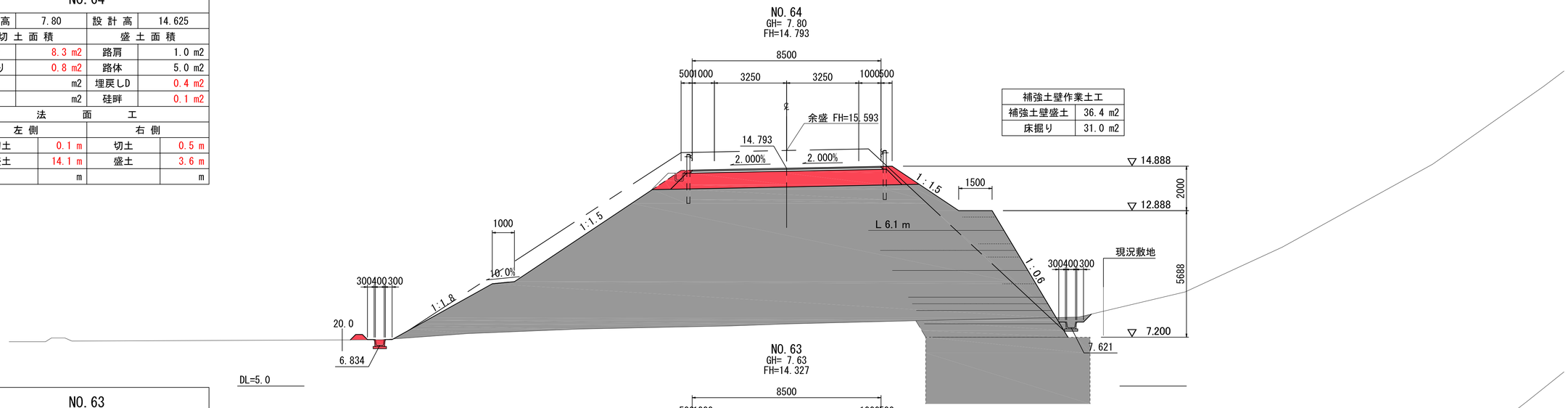
実施

道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(21)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	26 / 134

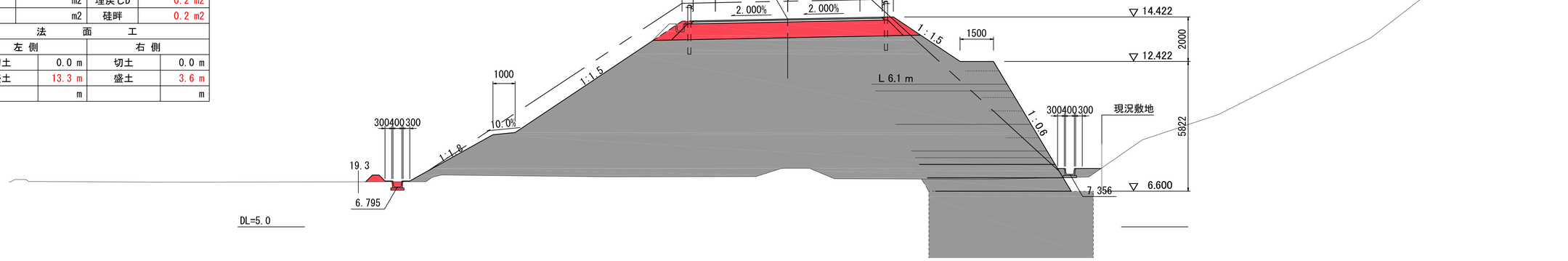
NO.64			
地盤高	7.80	設計高	14.625
切土面積		盛土面積	
切土	8.3 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.8 m2	路体	5.0 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.1 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.1 m	切土	0.5 m
盛土	14.1 m	盛土	3.6 m
	m		m



補強土壁作業土工

補強土壁盛土	36.4 m2
床掘り	31.0 m2

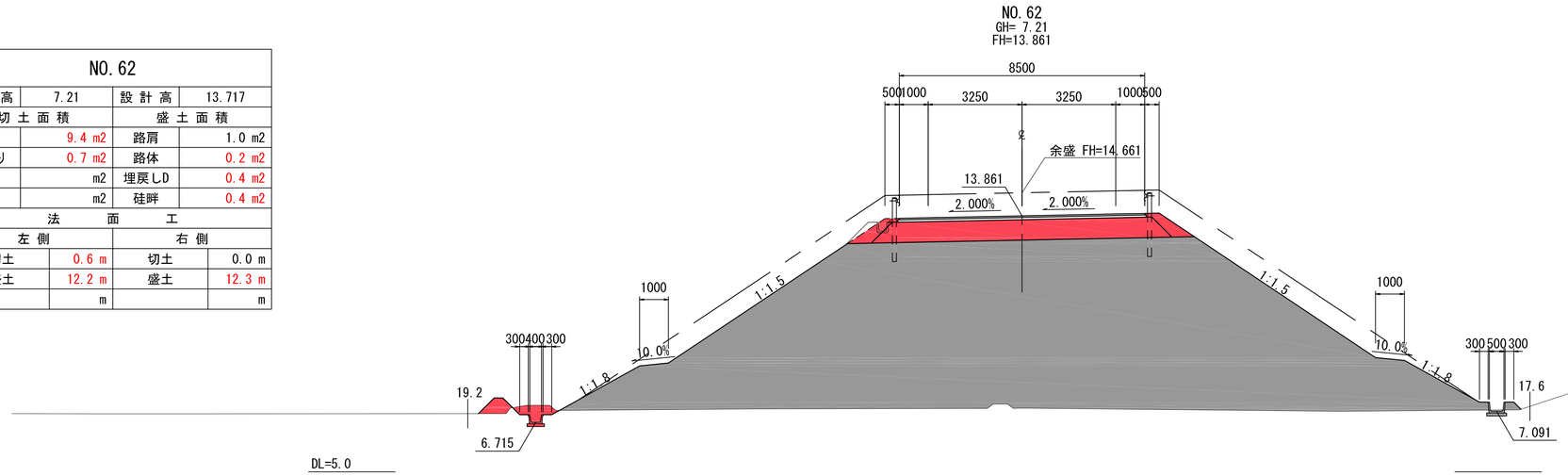
NO.63			
地盤高	7.63	設計高	14.171
切土面積		盛土面積	
切土	8.1 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	5.4 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	13.3 m	盛土	3.6 m
	m		m



補強土壁作業土工

補強土壁盛土	37.3 m2
床掘り	33.1 m2

NO.62			
地盤高	7.21	設計高	13.717
切土面積		盛土面積	
切土	9.4 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.7 m2	路体	0.2 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.0 m
盛土	12.2 m	盛土	12.3 m
	m		m



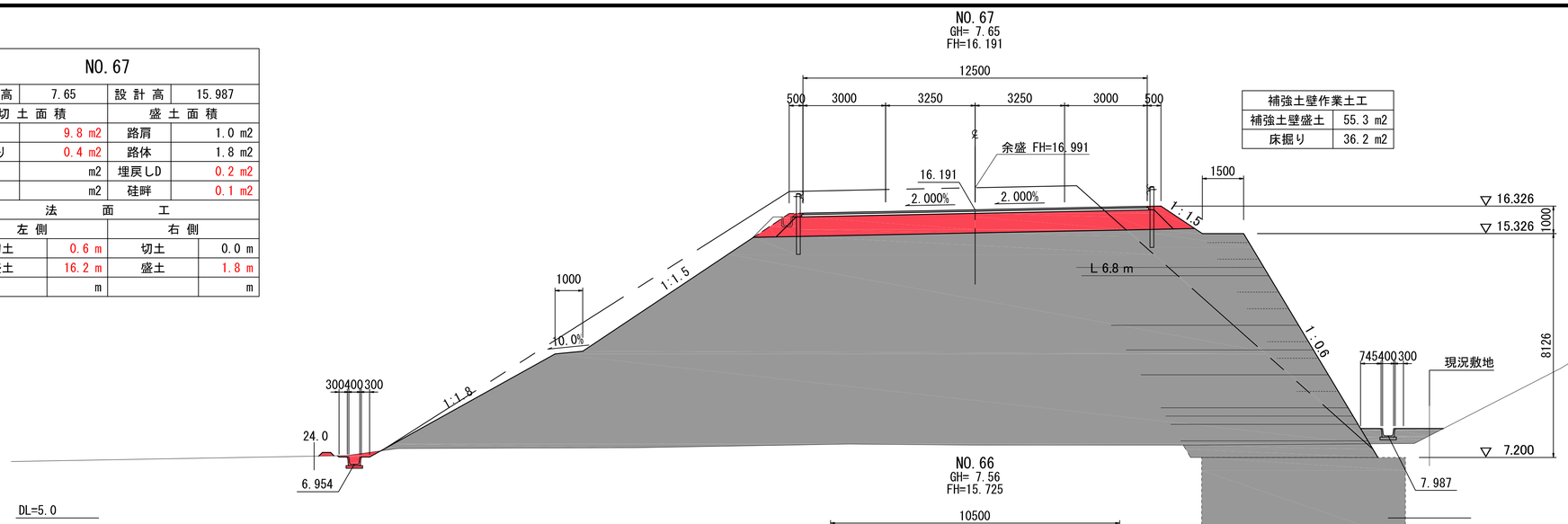
実施

道路改良時(沈下後)

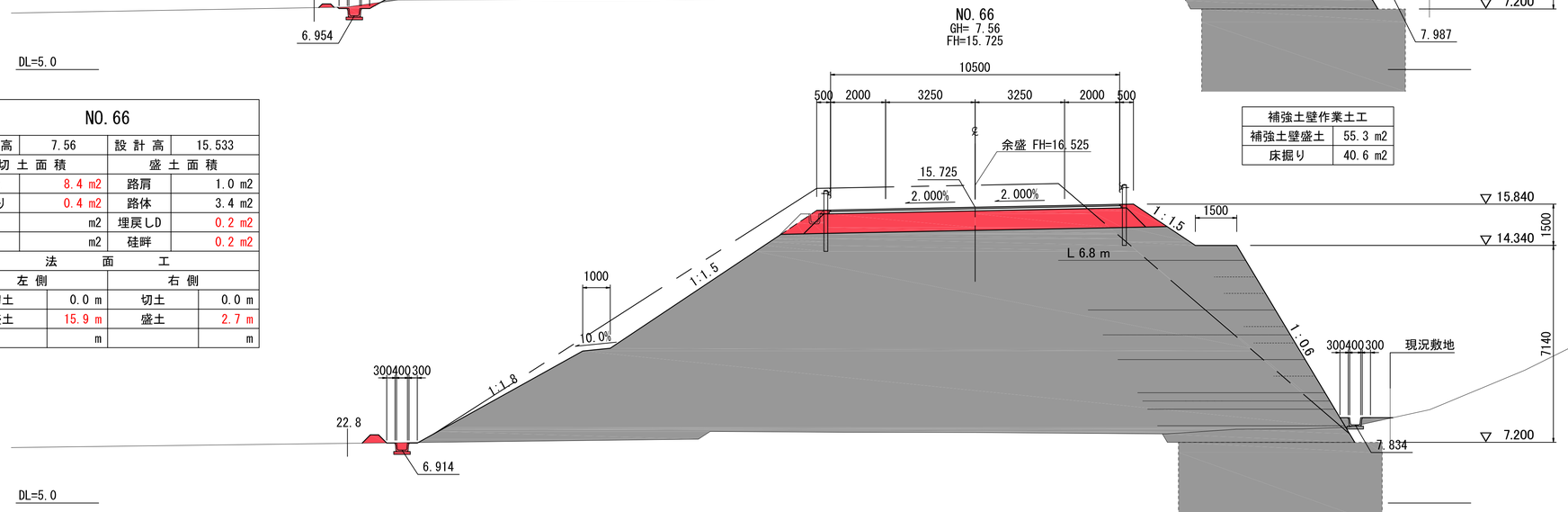
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(22)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	27 / 134

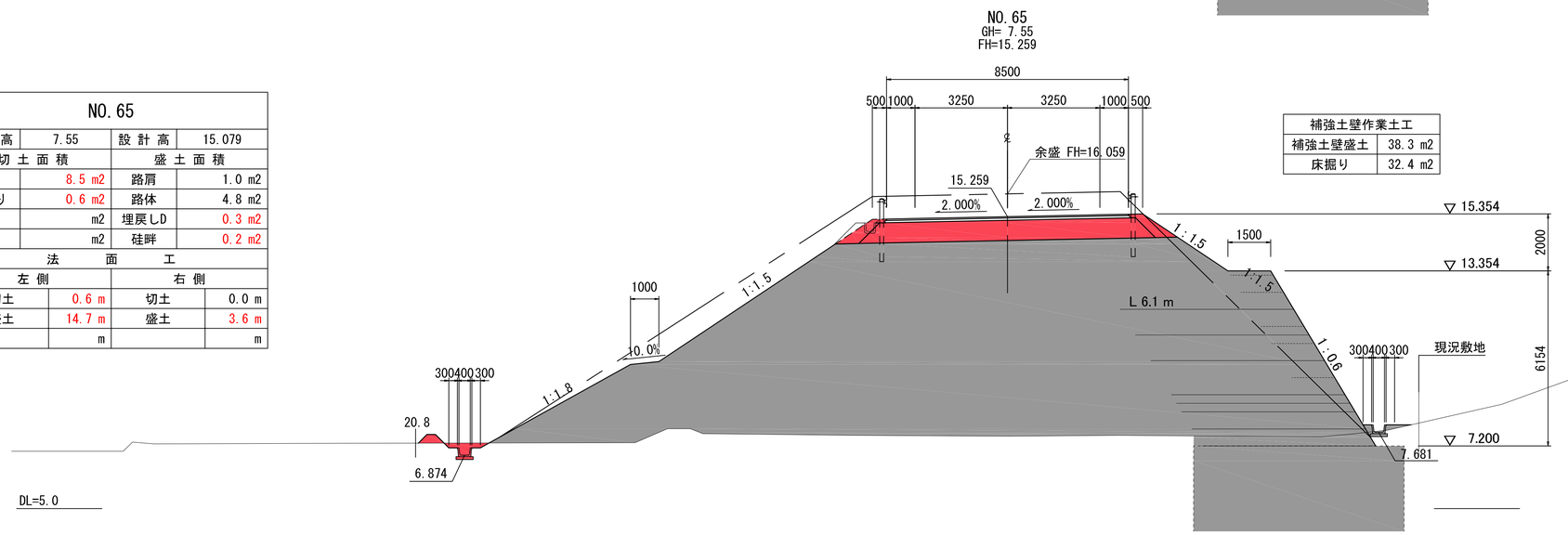
NO.67			
地盤高	7.65	設計高	15.987
切土面積		盛土面積	
切土	9.8 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	1.8 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.1 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.0 m
盛土	16.2 m	盛土	1.8 m
	m		m



NO.66			
地盤高	7.56	設計高	15.533
切土面積		盛土面積	
切土	8.4 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	3.4 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	15.9 m	盛土	2.7 m
	m		m



NO.65			
地盤高	7.55	設計高	15.079
切土面積		盛土面積	
切土	8.5 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.6 m2	路体	4.8 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.0 m
盛土	14.7 m	盛土	3.6 m
	m		m



補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	55.3 m2
床掘り	36.2 m2

補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	55.3 m2
床掘り	40.6 m2

補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	38.3 m2
床掘り	32.4 m2

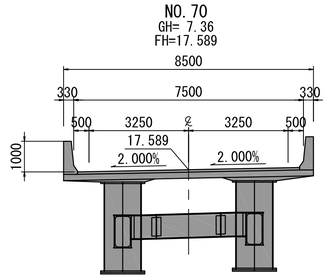
実施

道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(23)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	28 / 134

NO.70			
地盤高	7.36	設計高	17.323
切土面積		盛土面積	
切土	0.0 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	0.0 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.0 m2
	m2	硅畔	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	0.0 m	盛土	0.0 m
	m		m

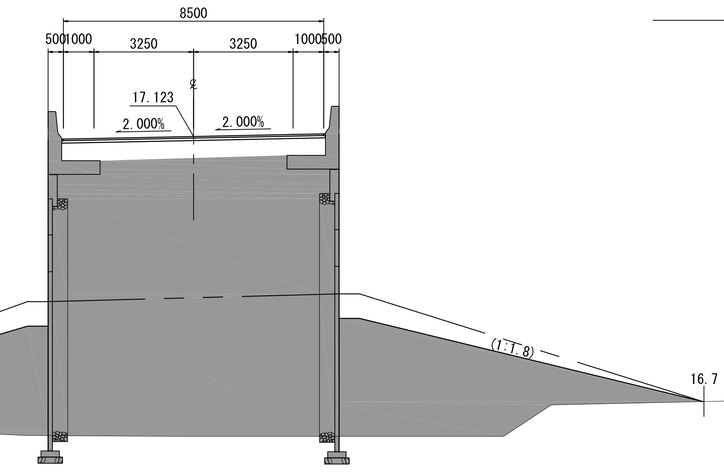


現況敷地

6.4

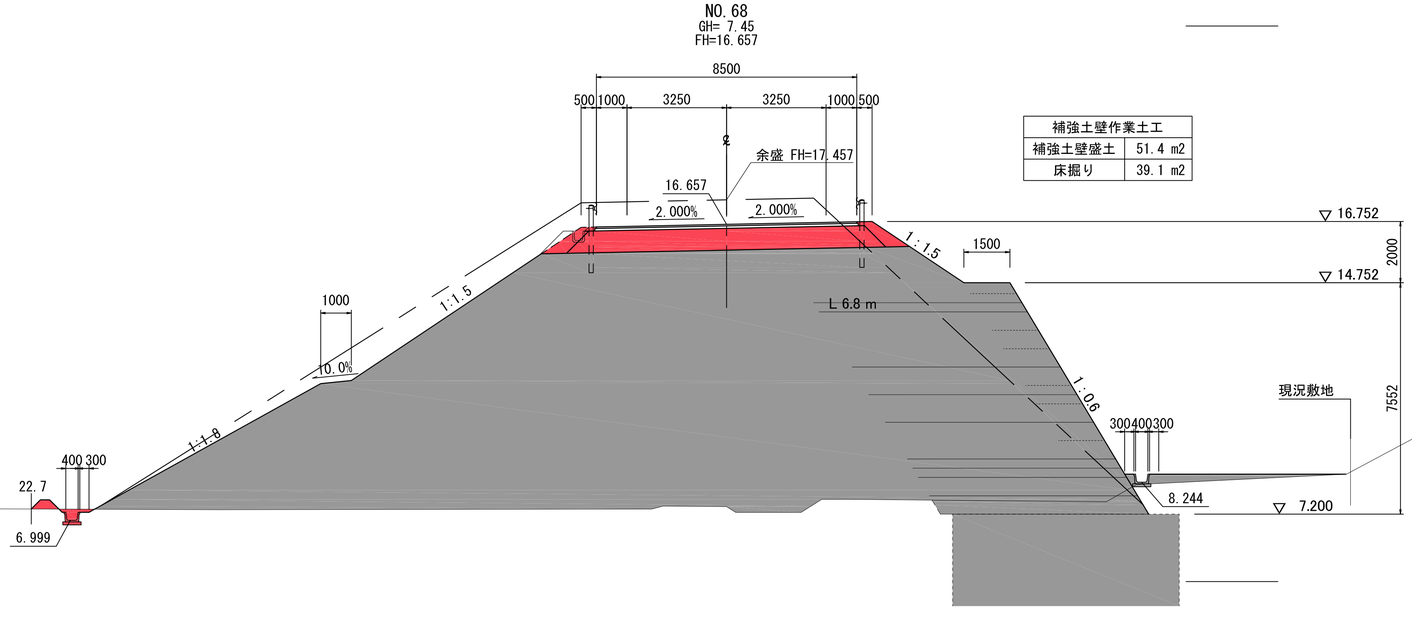
DL=5.0

NO.69			
地盤高	7.34	設計高	16.985
切土面積		盛土面積	
切土	0.0 m2	路肩	0.0 m2
床掘り	0.4 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.8 m	盛土	11.5 m
	m		m



DL=5.0

NO.68			
地盤高	7.45	設計高	16.441
切土面積		盛土面積	
切土	7.4 m2	路肩	1.0 m2
床掘り	0.5 m2	路体	6.6 m2
	m2	埋戻しD	0.2 m2
	m2	硅畔	0.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.0 m
盛土	17.4 m	盛土	3.6 m
	m		m



DL=5.0

補強土壁作業土工	
補強土壁盛土	51.4 m2
床掘り	39.1 m2

実施

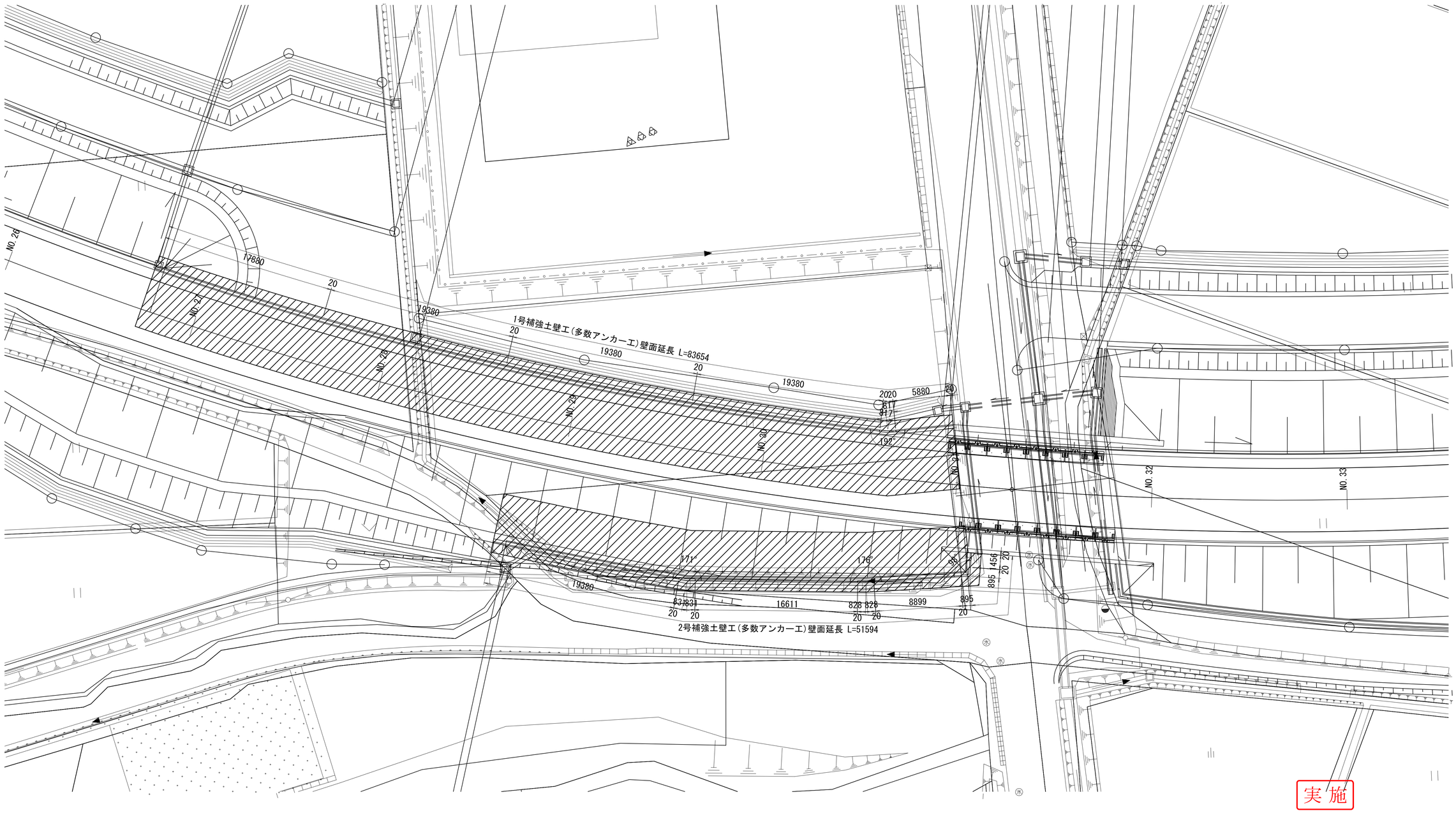
道路改良時(沈下後)

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(24)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	29 / 134

1号・2号補強土壁平面位置図

S=1:200

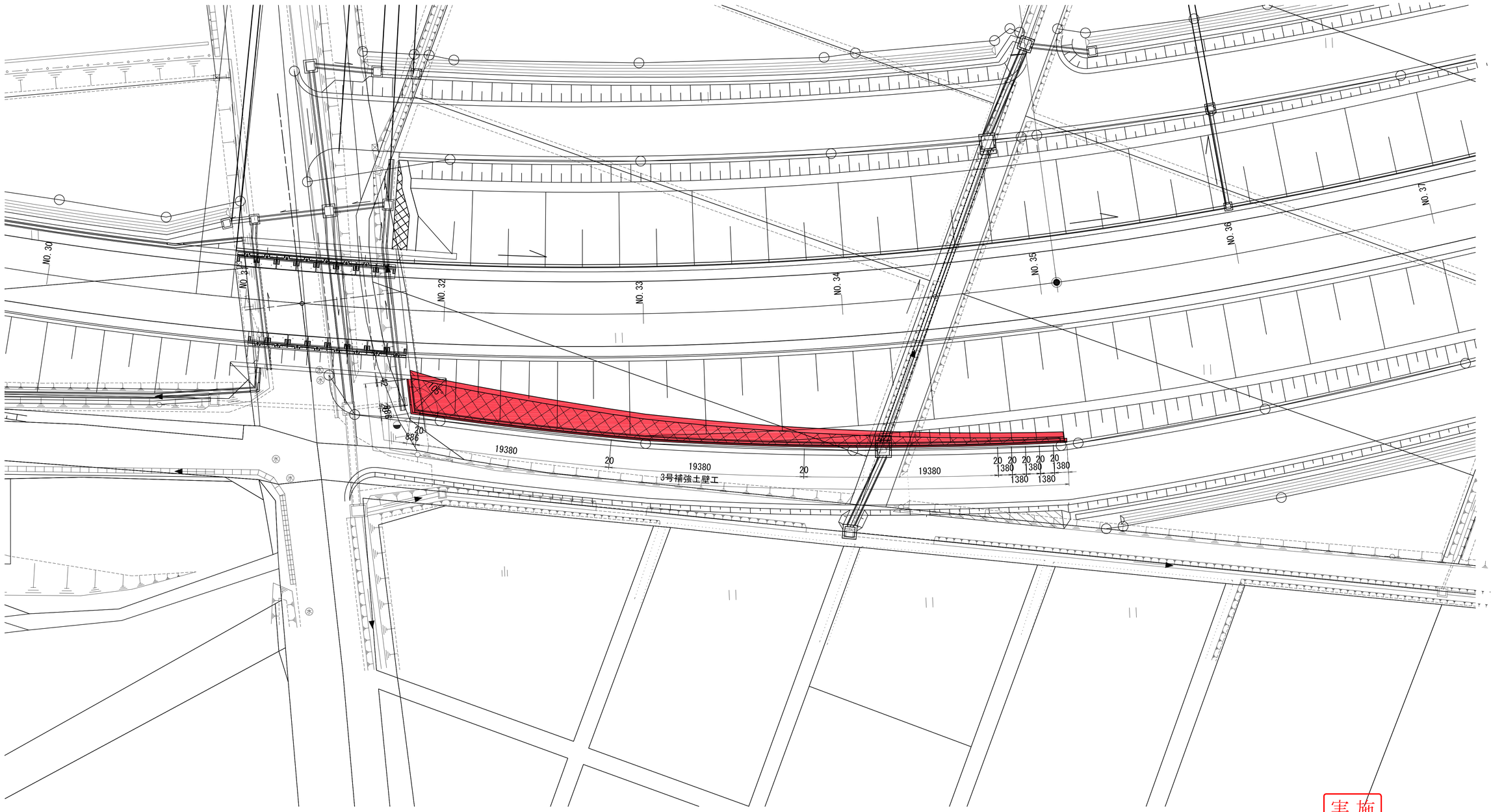


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	1号・2号補強土壁平面位置図		
縮尺	1:200	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	30 / 134

3号補強土壁平面位置図

S=1:200

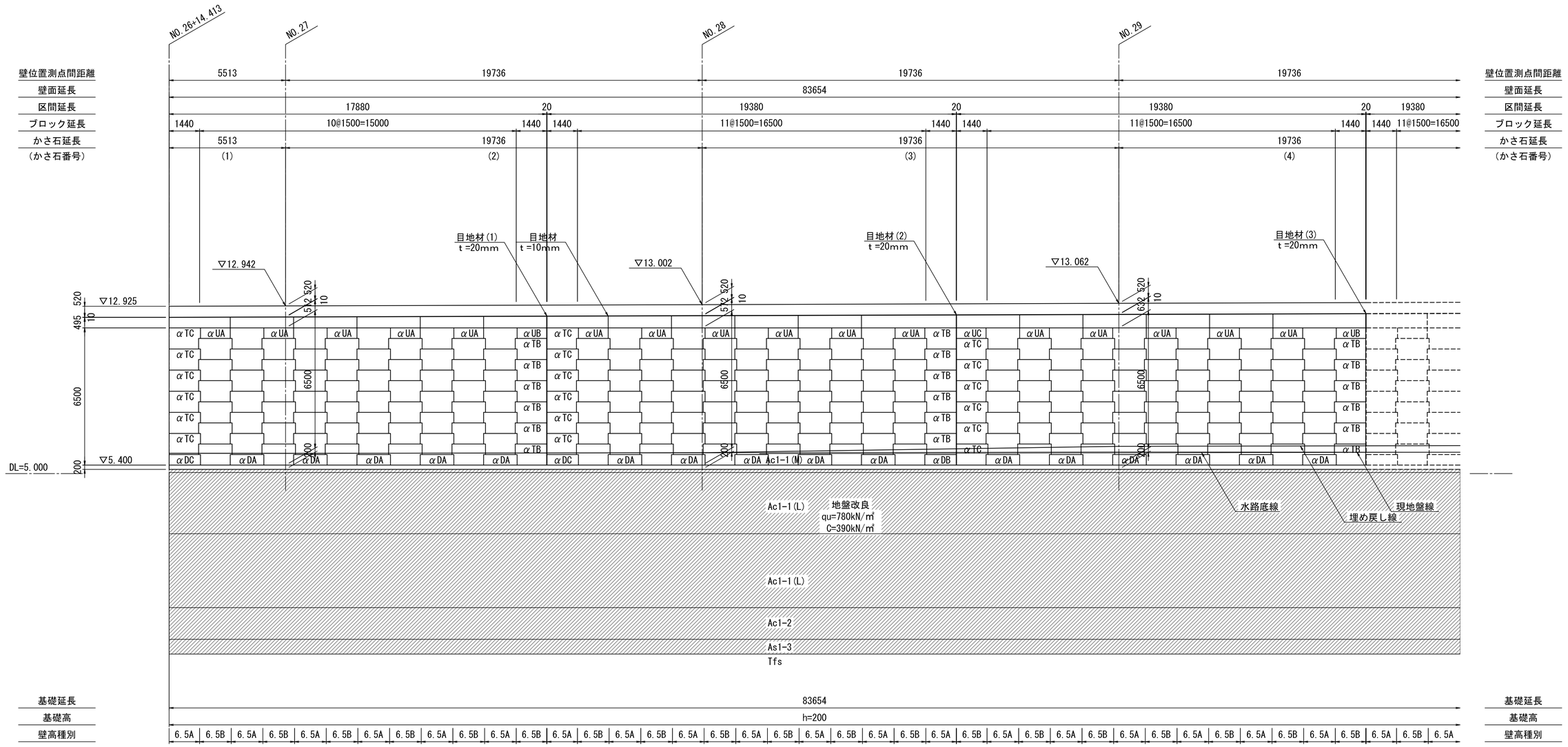


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	3号補強土壁平面位置図		
縮尺	1:200	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	31 / 134

1号補強土壁背面展開図(1)

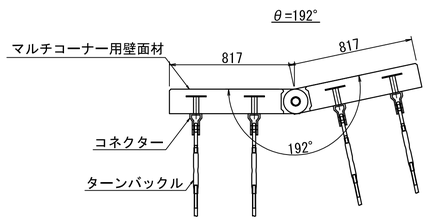
S=1:100



※ 無記名ブロックは、αＴＡブロック
※ 天端にフルタイプの壁面材（Ｈ＝1000㎜）を設置する壁高種別は、Ａタイプ
※ 〃 にハーフタイプの壁面材（Ｈ＝500㎜）を設置する壁高種別は、Ｂタイプ

マルチコーナー詳 細 図

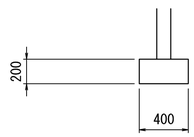
S=1:20



基 礎 詳 細 図

布 基 礎

S=1:25



基 礎 一 覧 表

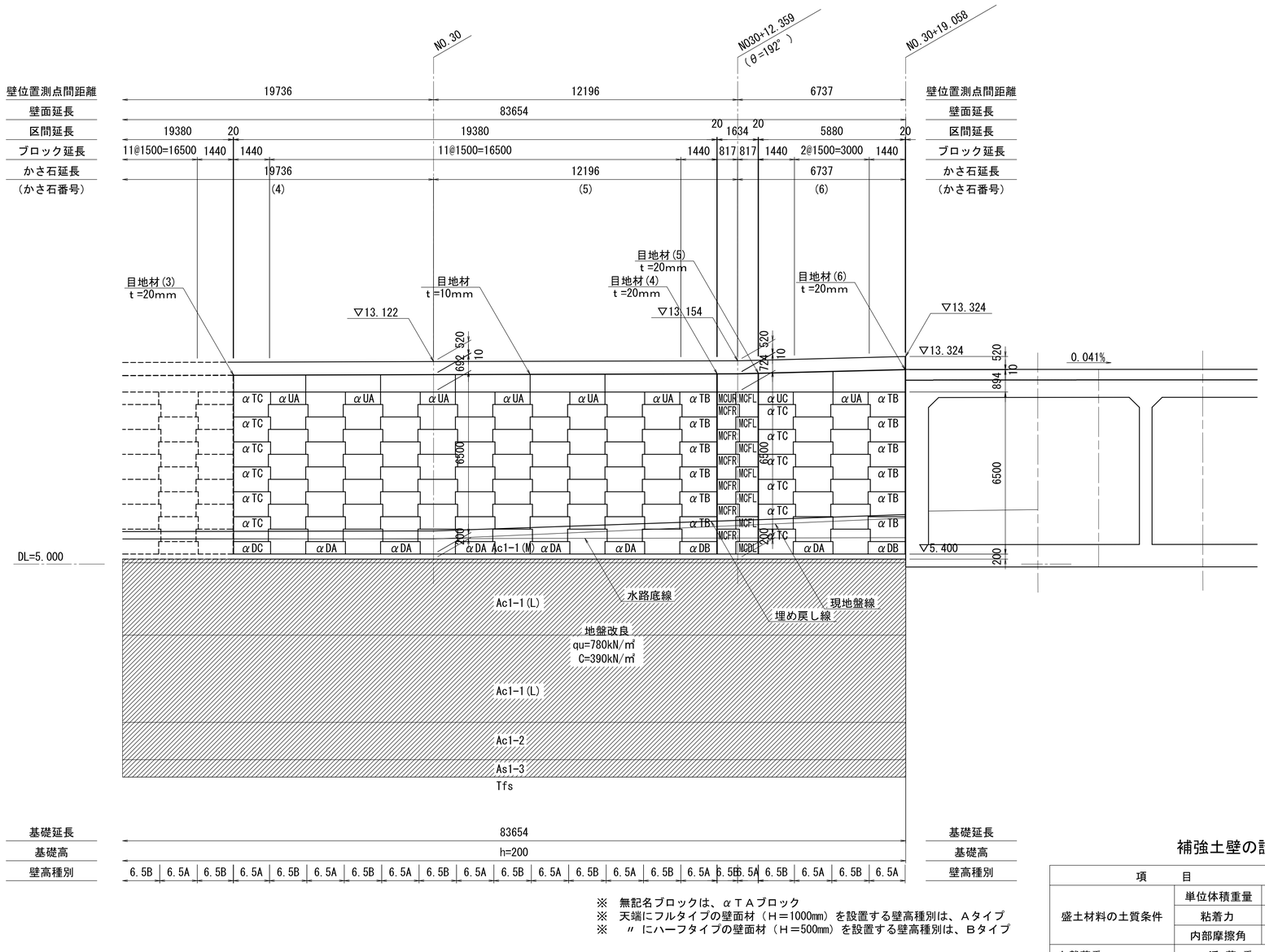
基礎種別	高さ h(㎜)	壁前面幅 A(㎜)	天端幅 B(㎜)	底盤幅 C(㎜)	前面勾配 1:n1	背面勾配 1:n2	延長 L(㎜)	備考
布基礎	200	――	400	400	――	――	83654	砕石なし
						合 計	83654	

実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	1号補強土壁背面展開図(1)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	32 / 134

1号補強土壁背面展開図(2)

S=1:100



※　無記名ブロックは、αＴＡブロック
※　天端にフルタイプの壁面材（Ｈ＝1000㎜）を設置する壁高種別は、Ａタイプ
※　〃　にハーフタイプの壁面材（Ｈ＝500㎜）を設置する壁高種別は、Ｂタイプ

補強土壁の盛土材料

アンカー補強土壁に用いる盛土材料として、次のものを使用してよい。

(1) 日本統一土質分類の
- ・礫質土　(G)　(Gs)　(GF)
- ・砂質土　(S)　(SG)　(SF)
- ・細粒土　(M)　(C)　(V)　適用に注意して使用
- ・人工材料（I）　適用に注意して使用

『多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル』第4版（土木研究センター）P.90～

(2) 次表に示す中硬岩、硬岩ずり

粒　径	250㎜超	150㎜以上	75μ以下	細粒分が適当に混合した粒度で締固め易いもの
重量比	0%	25%以下	35%以下	

『多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル』第4版（土木研究センター）P.92～

(3) 水辺への設置

補強土壁の前面が貯水池や調整地などの水辺に設置され水位の影響を受ける場合には、透水性の良い砕石や岩砕などの盛土材料を用いて壁面の前後で水位差が生じないようにする。
（水没部分の盛土材料は、透水係数$k=1.0\times10^{-2}$cm/s以上の材料を用いること）
『多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル』第4版（土木研究センター）P.179～

補強土壁の施工上の注意点

1, 盛土材料は、三軸圧縮試験によって設計値と同等以上であるか確認することとする。盛土材料の土質定数が設計条件と異なる場合は、補強材料の長さ及び径等が変更となる場合があるため別途協議を行うこととする。

2, 基礎地盤は、平板載荷試験等により支持力の確認を行うものとする。

3, 壁面材の背面 0.5mに関しては良質な土質材料（透水性の良い砕石等）で埋め戻しを行うこととする。

4, 敷均し厚は、締固め層の下層部分でも所定の締固め度を確保できることを確認して、一層の敷均し・締固めの仕上り厚及び締固め機械を定める。その際、締固め後の一層の仕上り厚さは最大0.25mとする。一方、上記のように締固め度が確認できない場合、一層の締固め後の仕上り厚さは路床に準じて0.20mとする。

『多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル』第4版
財団法人 土木研究センター　P.216～

5, 排水工計画図に図示された排水工は標準的なものであるため、施工時に基礎地盤や掘削面などからの湧水等がある場合は、別途排水工を増設するなどの対策を十分に行うこととする。

適用基準	道路土工ー擁壁工指針（平成24年7月：公益社団法人 日本道路協会）
	多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版（平成26年8月：一般財団法人 土木研究センター）
注）本設計は、内部安定・外部安定（滑動、転倒、支持力）・補強領域を含む全体のすべり破壊の検討とする	

補強土壁の設計条件

項目			数値	単位
盛土材料の土質条件	単位体積重量	γ	19.0	kN/m³
	粘着力	c	0.0	kN/m²
	内部摩擦角	φ	30.0	°
上載荷重	活荷重		10.0	kN/m²
耐震設計				
地盤種別			Ⅲ種地盤	
地震動レベル			レベル2地震動	
地域補正係数			1.0（A地域）	
内部安定・外部安定に用いる設計水平震度			Kh = 0.24	
全体安定に用いる設計水平震度			Kh = 0.24	
設計安全率				
アンカープレートの引抜けに対する照査			Fs≧3.0 (Fs≧2.0)	
滑動に対する安定の照査			Fs≧1.5 (Fs≧1.2)	
転倒に対する安定の照査			e≦B/6 (e≦B/3)	
支持に対する安定の照査			Fs≧3.0 (Fs≧2.0)	
地盤全体のすべり破壊の照査			Fs≧1.2 (Fs≧1.0)	

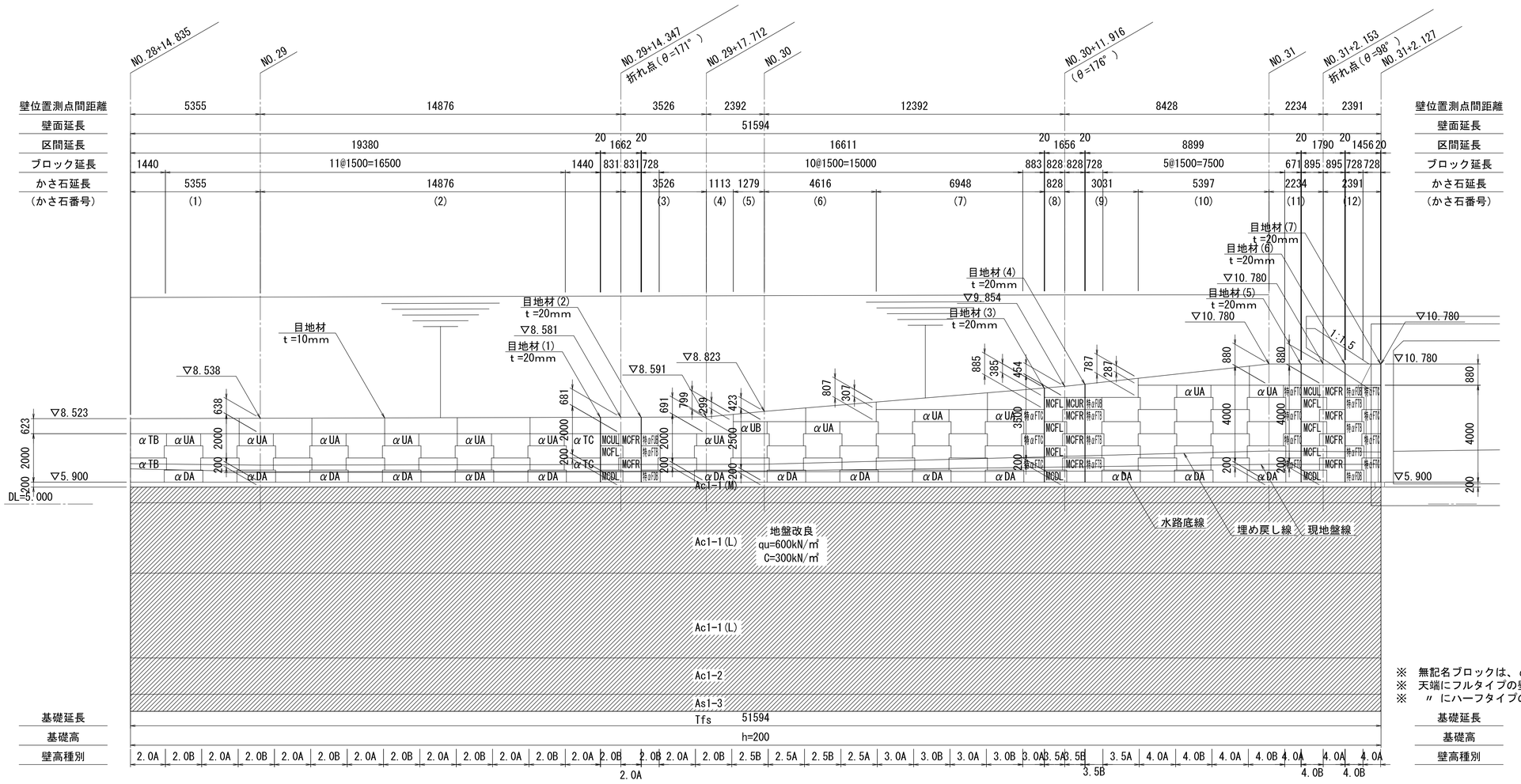
※（ ）内は、地震時の値とする
※盛土材料の土質条件は、施工時に土質試験にて確認する事とする

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	1号補強土壁背面展開図(2)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	33 / 134

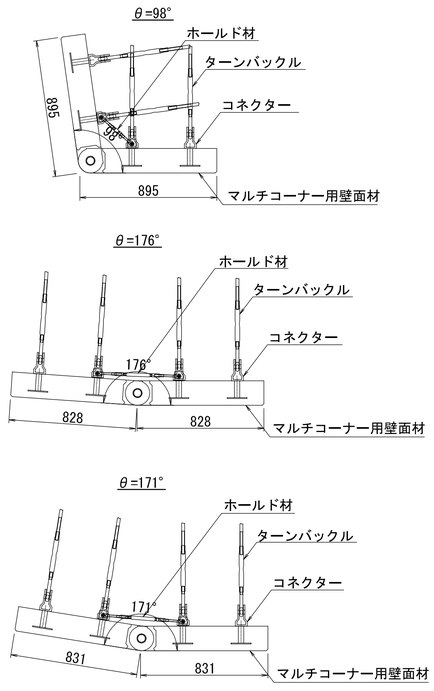
2号補強土壁正面展開図

S=1:100



マルチコーナー詳 細 図

S=1:20



※ 無記名ブロックは、αＴＡブロック
※ 天端にフルタイプの壁面材（Ｈ＝1000㎜）を設置する壁高種別は、Ａタイプ
※ 〃 にハーフタイプの壁面材（Ｈ＝500㎜）を設置する壁高種別は、Ｂタイプ

補強土壁の設計条件

項目			数値	単位
盛土材料の土質条件	単位体積重量	γ	19.0	kN/m³
	粘着力	c	0.0	kN/m²
	内部摩擦角	φ	30.0	°
上載荷重	活荷重		10.0	kN/m²
耐震設計				
地盤種別			Ⅲ種地盤	
地震動レベル			レベル2地震動	
地域補正係数			1.0（A地域）	
内部安定・外部安定に用いる設計水平震度			Kh = 0.24	
全体安定に用いる設計水平震度			Kh = 0.24	
設計安全率				
アンカープレートの引抜けに対する照査			Fs≧3.0（Fs≧2.0）	
滑動に対する安定の照査			Fs≧1.5（Fs≧1.2）	
転倒に対する安定の照査			e≦B/6（e≦B/3）	
支持に対する安定の照査			Fs≧3.0（Fs≧2.0）	
地盤全体のすべり破壊の照査			Fs≧1.2（Fs≧1.0）	

※（ ）内は、地震時の値とする
※盛土材料の土質条件は、施工時に土質試験にて確認する事とする

補強土壁の盛土材料

アンカー補強土壁に用いる盛土材料として、次のものを使用してよい。

（1）日本統一土質分類の
- 礫質土 （G）（Gs）（GF）
- 砂質土 （S）（SG）（SF）
- 細粒土 （M）（C）（V） 適用に注意して使用
- 人工材料（I） 適用に注意して使用

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版（土木研究センター）P.90～

（2）次表に示す中硬岩、硬岩ずり

粒径	250㎜超	150㎜以上	75μ以下	細粒分が適当に混合した粒度で締固め易いもの
重量比	0%	25%以下	35%以下	

『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版（土木研究センター）P.92～

（3）水辺への設置
補強土壁の前面が貯水池や調整地などの水辺に設置され水位の影響を受ける場合には、透水性の良い砕石や岩砕などの盛土材料を用いて壁面の前後で水位差が生じないようにする。
（水没部分の盛土材料は、透水係数k=1.0×10⁻²cm/s以上の材料を用いること）
『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版（土木研究センター）P.179～

適用基準	
	道路土工ー擁壁工指針（平成24年7月：公益社団法人 日本道路協会）
	多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル 第4版（平成26年8月：一般財団法人 土木研究センター）
注）本設計は、内部安定・外部安定（滑動、転倒、支持力）・補強領域を含む全体のすべり破壊の検討とする	

補強土壁の施工上の注意点

1, 盛土材料は、三軸圧縮試験によって設計値と同等以上であるか確認することとする。盛土材料の土質定数が設計条件と異なる場合は、補強材料の長さ及び径等が変更となる場合があるため別途協議を行うこととする。

2, 基礎地盤は、平板載荷試験等により支持力の確認を行うものとする。

3, 壁面材の背面 0.5mに関しては良質な土質材料（透水性の良い砕石等）で埋め戻しを行うこととする。

4, 敷均し厚は、締固め層の下層部分でも所定の締固め度を確保できることを確認して、一層の敷均し・締固めの仕上り厚及び締固め機械を定める。その際、締固め後の一層の仕上り厚さは最大0.25mとする。一方、上記のように締固め度が確認できない場合、一層の締固め後の仕上り厚さは路床に準じて0.20mとする。

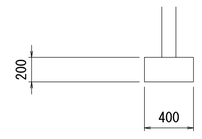
『多数アンカー式補強土壁工法 設計・施工マニュアル』第4版
財団法人 土木研究センター P.216～

5, 排水工計画図に図示された排水工は標準的なものであるため、施工時に基礎地盤や掘削面などからの湧水等がある場合は、別途排水工を増設するなどの対策を十分に行うこととする。

基礎詳細図

布基礎

S=1:25



実施

基礎一覧表

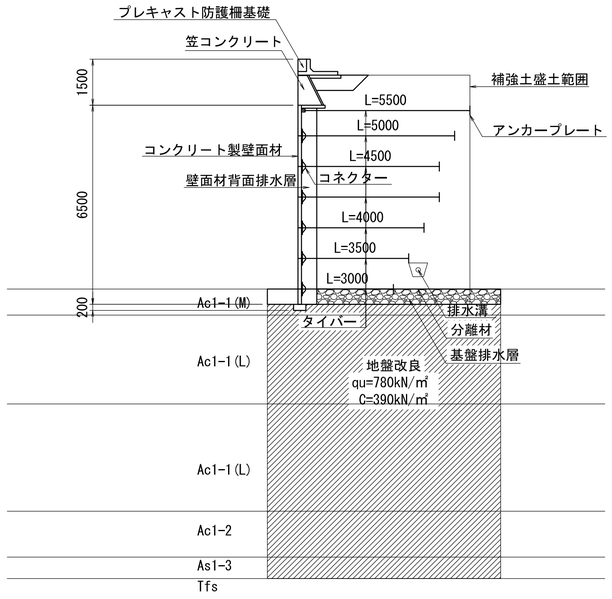
基礎種別	高さ h(㎜)	壁前面幅 A(㎜)	天端幅 B(㎜)	底盤幅 C(㎜)	前面勾配 1:n1	背面勾配 1:n2	延長 L(㎜)	備考
布基礎	200	———	400	400	———	———	51594	砕石なし
						合計	51594	

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	2号補強土壁正面展開図		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	34 / 134

1号補強土壁材料表

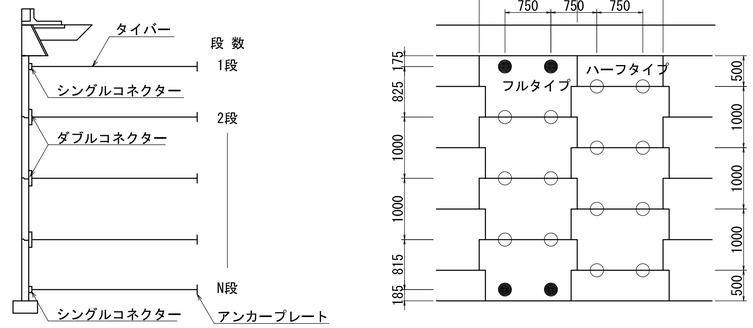
設 計 断 面 図

S=1:200



補 強 材 配 置 概 要 図

S=1:50



注）●、○印は、補強材（タイバー）の取付位置を表す
注）●部分はシングルコネクターを使用し、○部分はダブルコネクターを使用する
注）天端にフルタイプの壁面材（H=1000㎜）を設置する場合は「Aタイプ」とし、
ハーフタイプの壁面材（H=500㎜）を設置する場合は「Bタイプ」とする

補 強 材 材 料 表

Aタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	6.0		6.5		θ1(6.5)	
						補強材列数	0		56		2	
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)	補強材長	5500	S	5500	S		
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		5000	D	5000	D		
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		4500	D	4500	D		
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		4500	D	4500	D		
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		4000	D	4000	D		
6段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		3500	D	3500	D		
7段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t4.5	M22(8.8T)		3000	D	3000	D		

※1～7段はタイバー間隔@７５０mm
※1～7段はサブプレート４．５＊７５＊７５あり
例）
8.0 | 8.5 —— 壁 高（m）
4 | 2 —— タイバー間隔@７５０mmの場合の列数（本）

Bタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	6.5		7.0	θ1(6.5)	
						補強材列数	54		0	2	
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)	補強材長	D	5500		5500	D
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		D	5000		5000	D
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		D	4500		4500	D
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		D	4500		4500	D
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		D	4000		4000	D
6段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		D	3500		3500	D
7段	M20	4.5*300*300	4.5*75*75	t4.5	M22(8.8T)		S	3000		3000	S

※1～7段はタイバー間隔@７５０mm
※1～7段はサブプレート４．５＊７５＊７５あり
例）
8.0 | 8.5 —— 壁 高（m）
4 | 2 —— タイバー間隔@７５０mmの場合の列数（本）

注）A・Bタイプは展開図の壁高種別および補強材配置概要図を参照すること

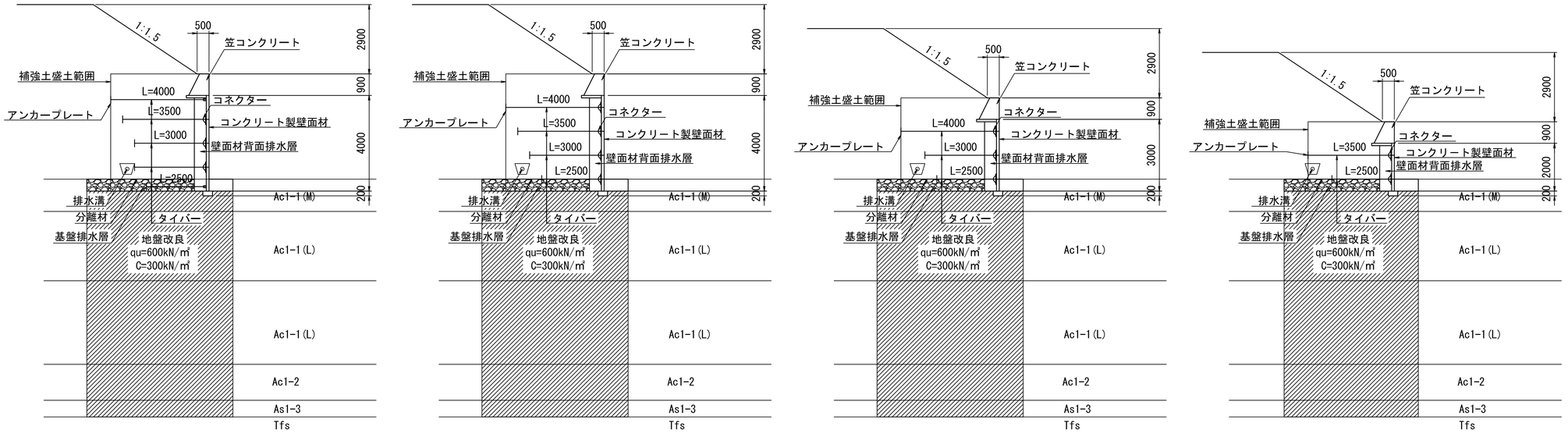
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	1号補強土壁材料表		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	35 / 134

2号補強土壁材料表

設 計 断 面 図

S=1:200



補 強 材 材 料 表

Aタイプ使用材料表

段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	θ1(2.0)	θ2(3.5)	θ3(4.0)
						補強材列数	16	4	6	2	8	0	2	2	2
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)	補強材長	S 4000 S	S 4000 S	S 4000 S	S 4000	4000 S		4000 S	4000 S	4000 S
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		D 3000 D	D 3500 D	D 3500 D	D 3500	3000 D		3500 D	3500 D	3500 D
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		S 2500 D	D 3000 D	D 3000 D	D 3000	2500 S		3000 D	3000 D	3000 D
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		———	S 2500 D	D 3000 D	D 3000	———		2500 D	3000 D	
5段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		———	———	———	S 2500	———		———	2500 S	

※1～5段はタイバー間隔@７５０mm
※1～5段はサブプレート４．５＊７５＊７５あり
例）
8.0 | 8.5 —— 壁 高（m）
4 | 2 —— タイバー間隔@７５０mmの場合の列数（本）

Bタイプ使用材料表

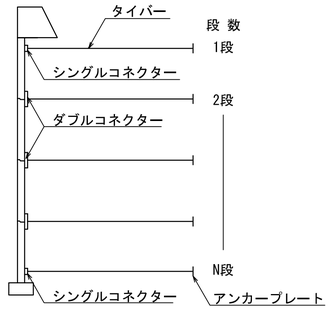
段数	タイバー	アンカープレート	サブプレート	コネクター	接続ボルト	壁高種別	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	θ1(2.0)	θ2(3.5)	θ3(4.0)
						補強材列数	0	16	4	4	2	6	2	2	2
1段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)	補強材長	3500 D	D 4000 D	D 4000 D	D 4000 D	D 4000 D		3500 D	4000 D	4000 D
2段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		2500 D	D 3000 D	D 3000 D	D 3500 D	D 3500 D		2500 D	3500 D	3500 D
3段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		———	S 2500 D	D 3000 D	D 3000 D	D 3000 D		———	3000 D	3000 D
4段	M18	4.5*300*300	4.5*75*75	t3.2	M20(8.8T)		———	———	———	S 2500 D	S 2500 D		———	2500 S	2500 D

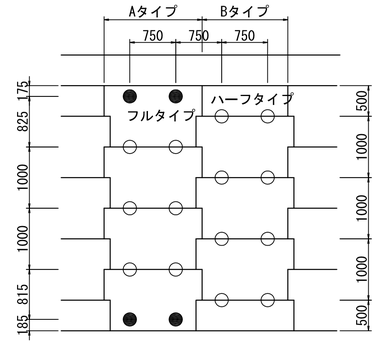
※1～4段はタイバー間隔@７５０mm
※1～4段はサブプレート４．５＊７５＊７５あり
例）
8.0 | 8.5 —— 壁 高（m）
4 | 2 —— タイバー間隔@７５０mmの場合の列数（本）

注）A・Bタイプは展開図の壁高種別および補強材配置概要図を参照すること

補 強 材 配 置 概 要 図

S=1:50





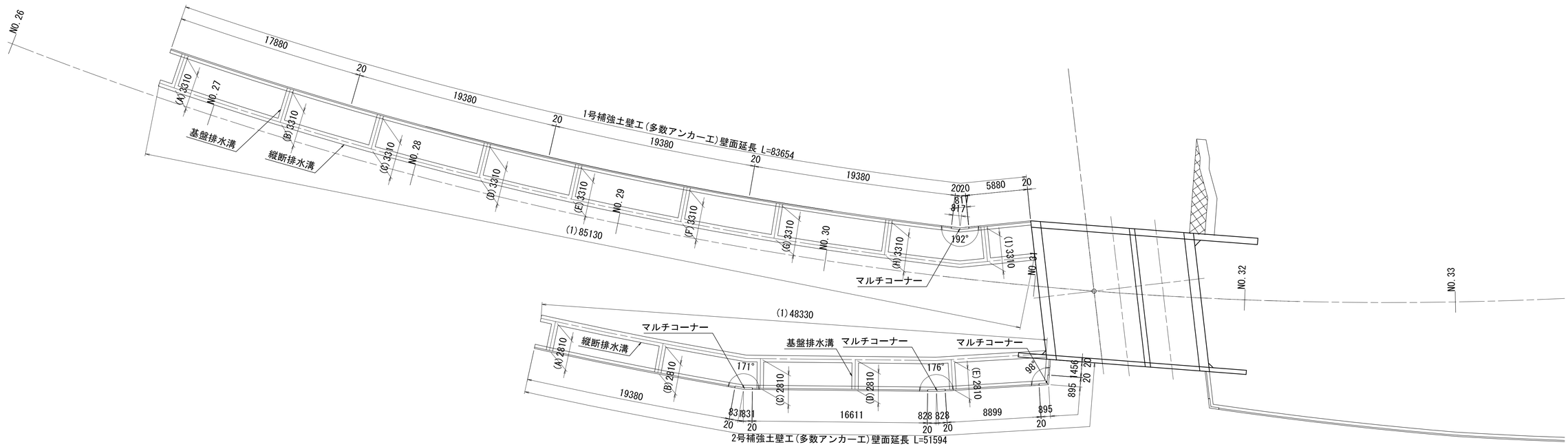
注）●,○印は、補強材(タイバー)の取付位置を表す
注）●部分はシングルコネクターを使用し、○部分はダブルコネクターを使用する
注）天端にフルタイプの壁面材(H=1000mm)を設置する場合は「Aタイプ」とし、
ハーフタイプの壁面材(H=500mm)を設置する場合は「Bタイプ」とする

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	2号補強土壁材料表		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	36 / 134

1号・2号補強土壁排水詳細図

S=1:200



排水溝数量表

1号

・基盤排水溝

箇所	長さ(m)	箇所	長さ(m)
(A)	3.310	(F)	3.310
(B)	3.310	(G)	3.310
(C)	3.310	(H)	3.310
(D)	3.310	(I)	3.310
(E)	3.310		
		計	29.790

・縦断排水溝

箇所	長さ(m)
(1)	85.130
計	85.130

・合計

名称	長さ(m)
基盤排水溝 小計	29.790
縦断排水溝 小計	85.130
合計	114.920

2号

・基盤排水溝

箇所	長さ(m)
(A)	2.810
(B)	2.810
(C)	2.810
(D)	2.810
(E)	2.810
計	14.050

・縦断排水溝

箇所	長さ(m)
(1)	48.330
計	48.330

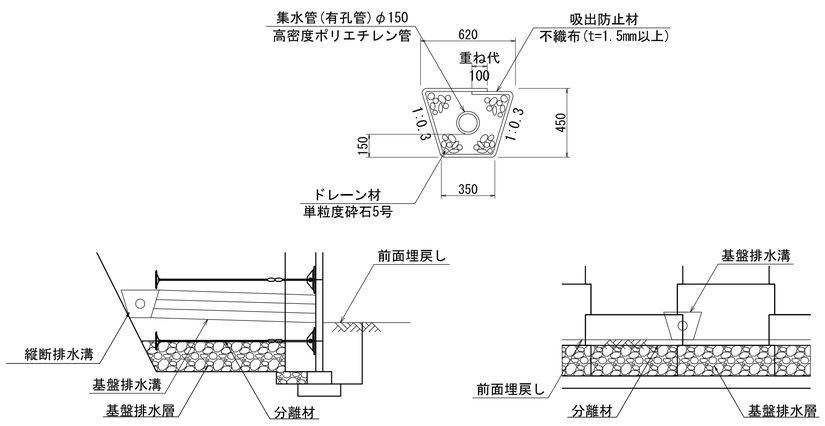
・合計

名称	長さ(m)
基盤排水溝 小計	14.050
縦断排水溝 小計	48.330
合計	62.380

実施

排水溝詳細図

S=1:20



注) 排水溝は縦断および横断方向に設置することとする
ただし横断方向の排水溝(基盤排水溝)は5～10m程度の間隔で設置することとする

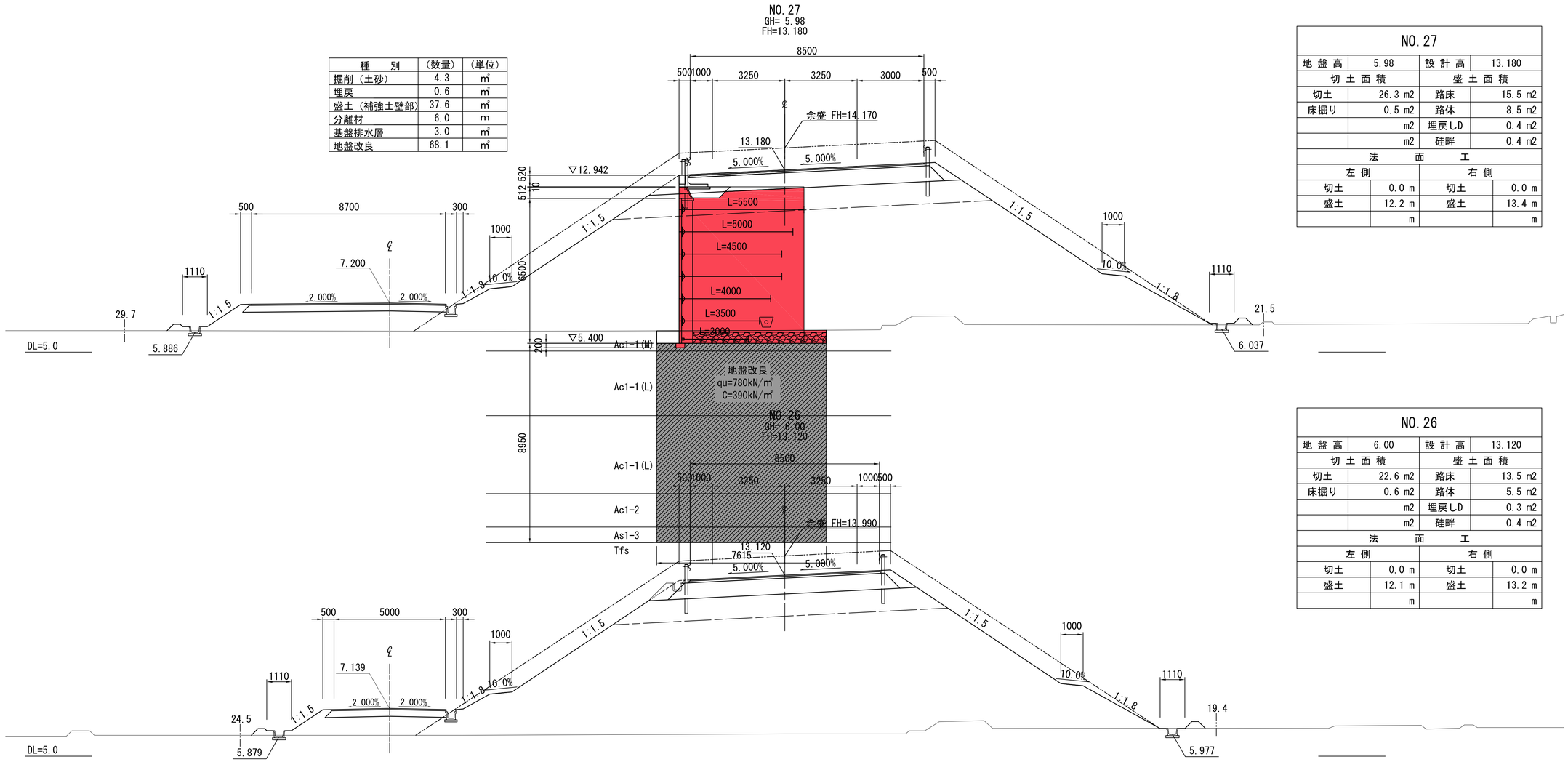
注) 排水溝は標準的なものであり、現場状況によって増設することとする

注) 基盤排水溝は、埋戻しより高い位置とし、壁面材間の目地に合わせて設置すること

注) 排水溝に埋設する集水管は、内径150～300mmとする
またドレーン材の長期排水機能を確保するため、ドレーン材周囲に吸出防止材を設置するものとする
『道路土工　盛土工指針』(日本道路協会)P.162およびP.176より

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	1号・2号補強土壁排水詳細図		
縮尺	1:200	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	37 / 134

種　別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	4.3	㎥
埋戻	0.6	㎥
盛土（補強土壁部）	37.6	㎥
分離材	6.0	m
基盤排水層	3.0	㎡
地盤改良	68.1	㎡



NO.27			
地盤高	5.98	設計高	13.180
切土面積		盛土面積	
切土	26.3 m2	路床	15.5 m2
床掘り	0.5 m2	路体	8.5 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.2 m	盛土	13.4 m
	m		m

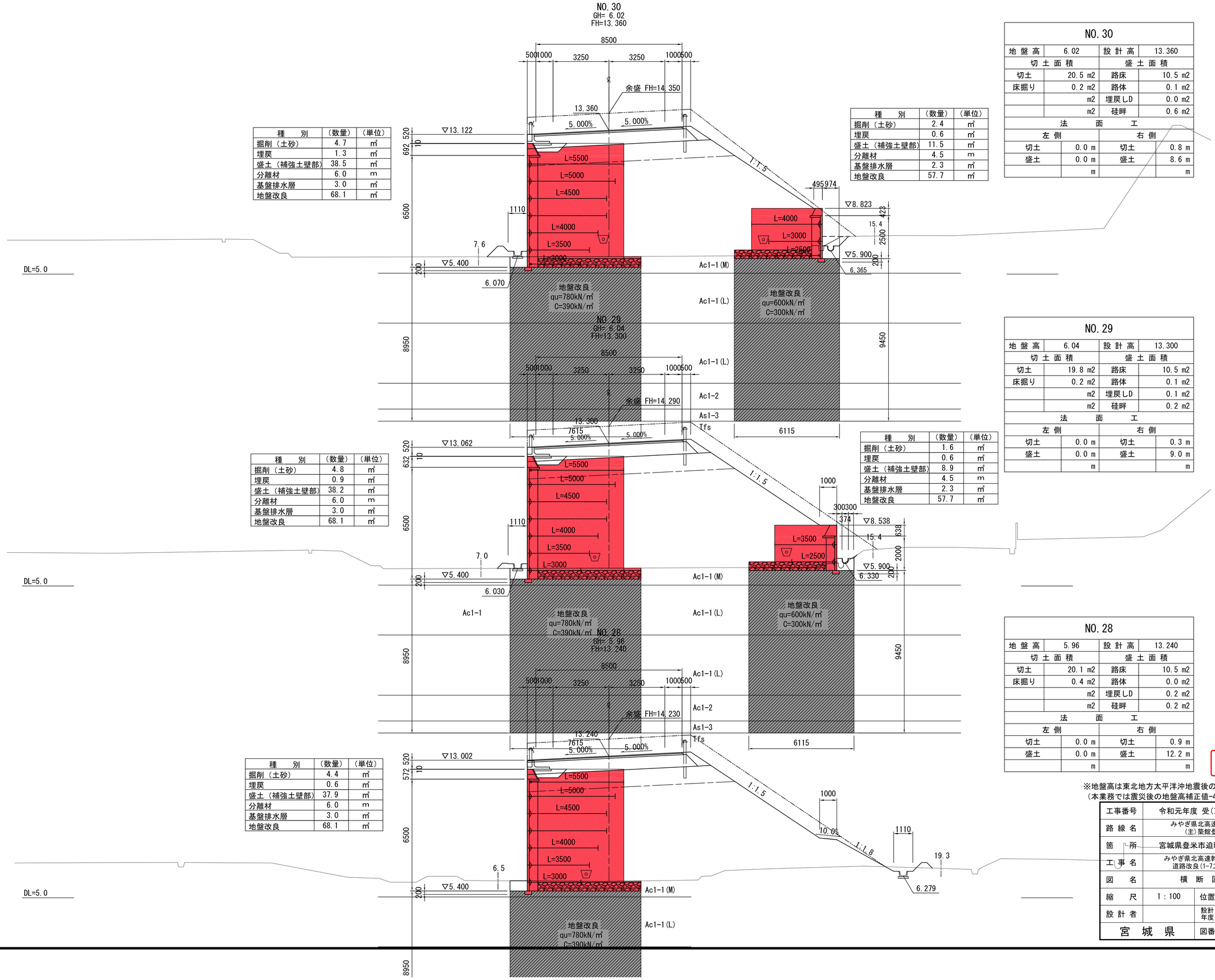
NO.26			
地盤高	6.00	設計高	13.120
切土面積		盛土面積	
切土	22.6 m2	路床	13.5 m2
床掘り	0.6 m2	路体	5.5 m2
	m2	埋戻しD	0.3 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	12.1 m	盛土	13.2 m
	m		m

NO.25			
地盤高	6.06	設計高	13.060
切土面積		盛土面積	
切土	22.7 m2	路床	13.5 m2
床掘り	0.7 m2	路体	4.4 m2
	m2	埋戻しD	0.4 m2
	m2	硅畔	0.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.3 m
盛土	11.9 m	盛土	13.0 m
	m		m

実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(9)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	38 / 134



種別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	4.7	㎥
埋戻	1.3	㎥
盛土（補強土壁部）	38.5	㎥
分離材	6.0	m
基盤排水層	3.0	㎡
地盤改良	68.1	㎡

種別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	2.4	㎥
埋戻	0.6	㎥
盛土（補強土壁部）	11.5	㎥
分離材	4.5	m
基盤排水層	2.3	㎡
地盤改良	57.7	㎡

種別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	4.8	㎥
埋戻	0.9	㎥
盛土（補強土壁部）	38.2	㎥
分離材	6.0	m
基盤排水層	3.0	㎡
地盤改良	68.1	㎡

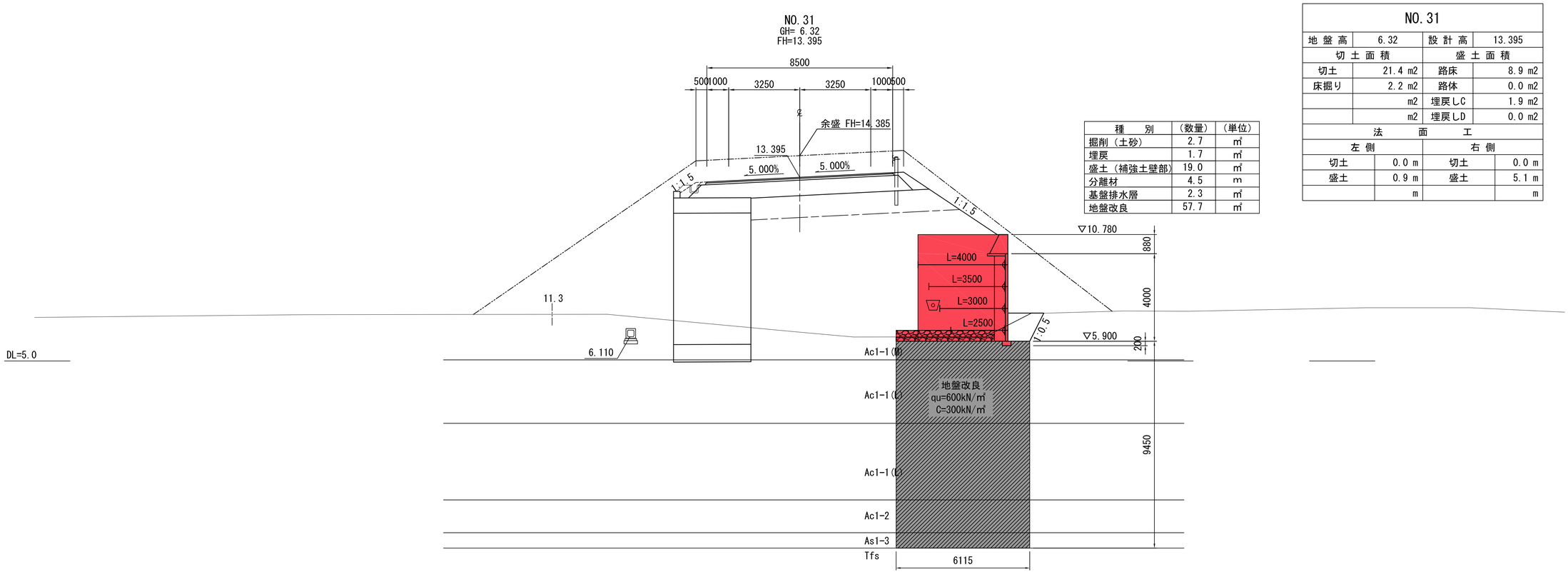
種別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	1.6	㎥
埋戻	0.6	㎥
盛土（補強土壁部）	8.9	㎥
分離材	4.5	m
基盤排水層	2.3	㎡
地盤改良	57.7	㎡

種別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	4.4	㎥
埋戻	0.6	㎥
盛土（補強土壁部）	37.9	㎥
分離材	6.0	m
基盤排水層	3.0	㎡
地盤改良	68.1	㎡

実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事
図名	横断図(2)
縮尺	1：100
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 39 / 134



種　別	（数量）	（単位）
掘削（土砂）	2.7	㎥
埋戻	1.7	㎥
盛土（補強土壁部）	19.0	㎥
分離材	4.5	m
基盤排水層	2.3	㎡
地盤改良	57.7	㎥

NO.31			
地盤高	6.32	設計高	13.395
切土面積		盛土面積	
切土	21.4 m2	路床	8.9 m2
床掘り	2.2 m2	路体	0.0 m2
	m2	埋戻しC	1.9 m2
	m2	埋戻しD	0.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.0 m
盛土	0.9 m	盛土	5.1 m
	m		m

実施

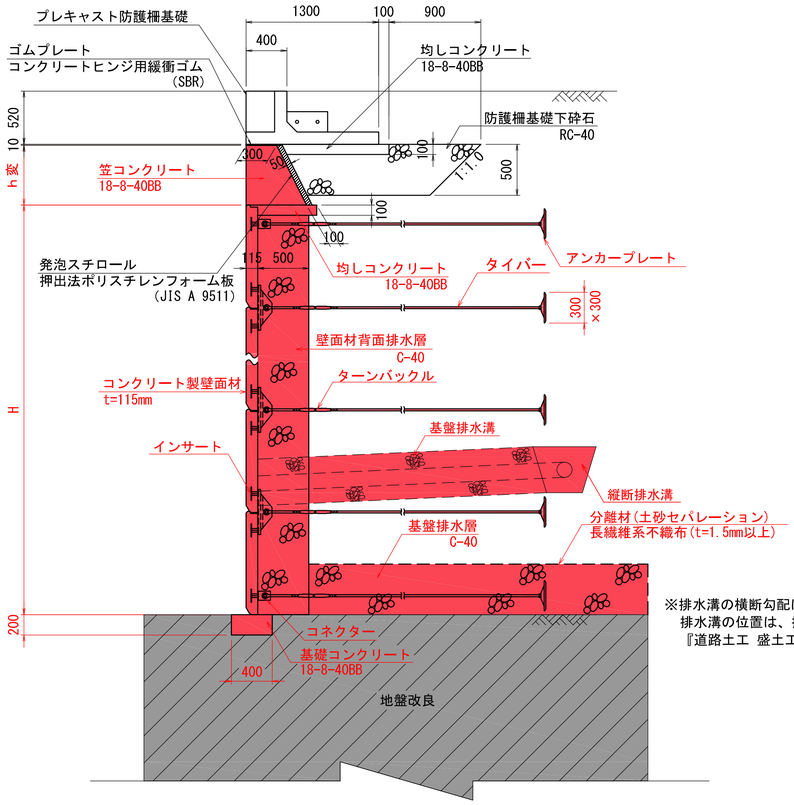
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	横断図(3)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	40 / 134

補強土壁詳細図(1)（部材詳細）

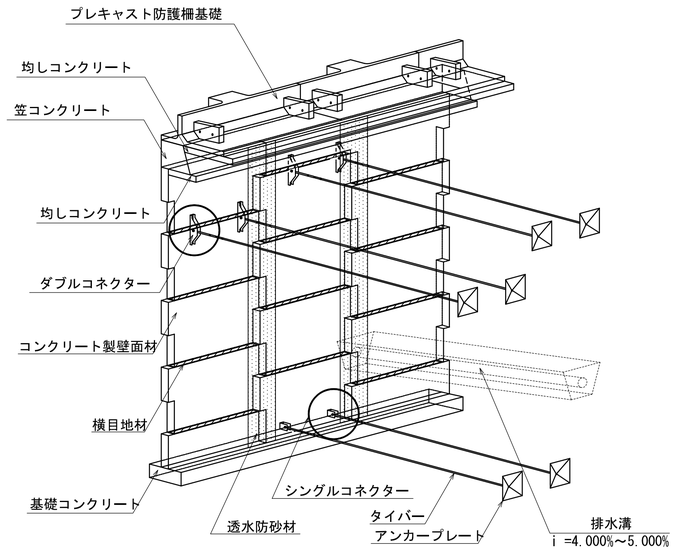
地覆詳細図

S=1:30

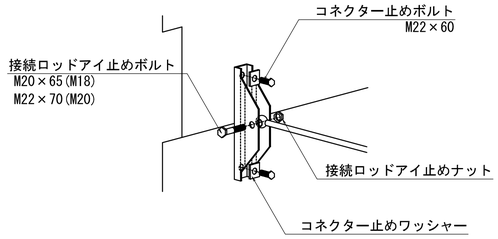


※排水溝の横断勾配は、4.000%～5.000%を標準とする
排水溝の位置は、排水溝平面位置図に記載する
『道路土工 盛土工指針』(日本道路協会)P.233～P.234より

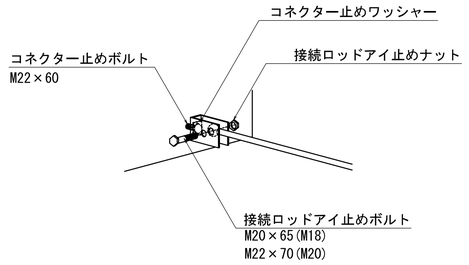
補強土壁工 概要図



ダブルコネクター詳細図

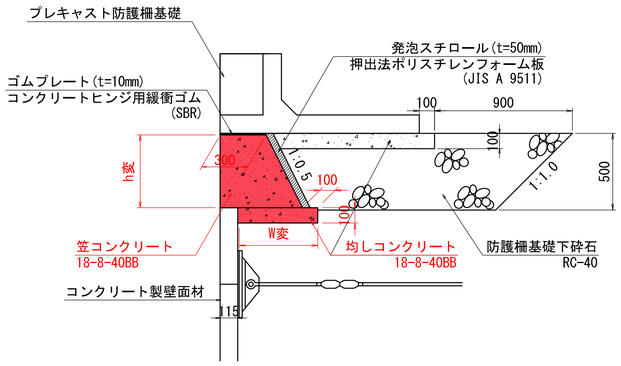


シングルコネクター詳細図



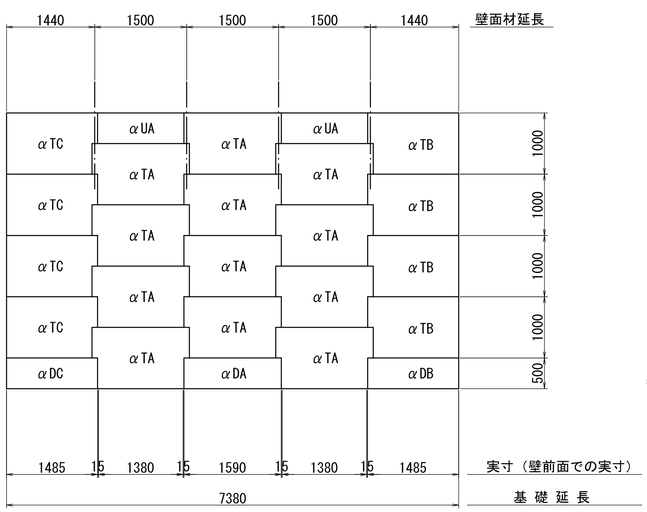
天端工詳細図

S=1:20



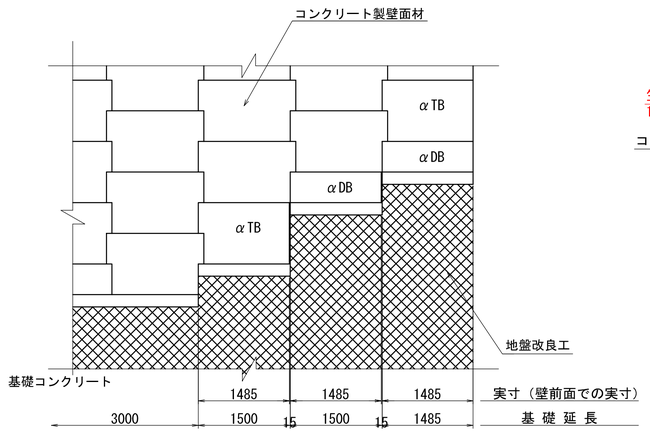
コンクリート製壁面材配置詳細図

S=1:50



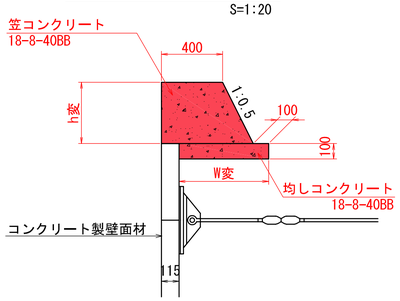
階段式基礎部

S=1:50



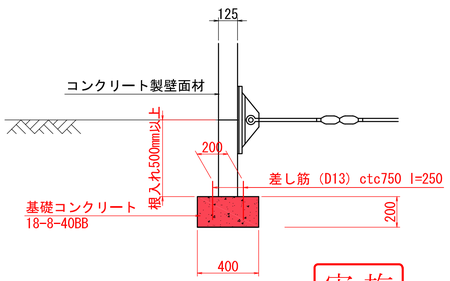
天端工詳細図

S=1:20



基礎工詳細図

S=1:20



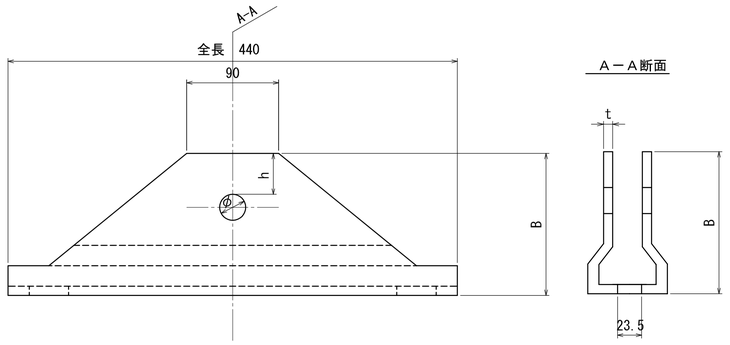
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁詳細図(1)（部材詳細）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	41 / 134

補強土壁詳細図(2)（部材詳細）

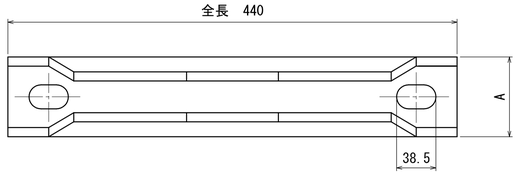
ダブルコネクター詳細図

側　面　図　S=1:3



Ａ－Ａ断面

平　面　図



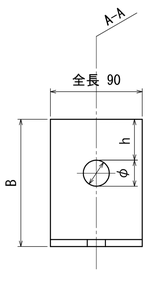
【ダブルコネクターの種類と寸法】

呼称	厚さｔ [mm]	長さ [mm]	φ [mm]	h [mm]	A [mm]	B [mm]
SM3.2D	3.2	440.0	21.5	53.5	66.4	133.2
SM4.5D	4.5	440.0	23.5	52.5	69.0	134.5

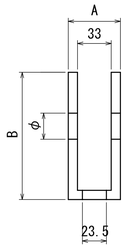
シングルコネクター詳細図

S=1:3

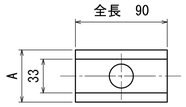
側　面　図



Ａ－Ａ断面



平　面　図

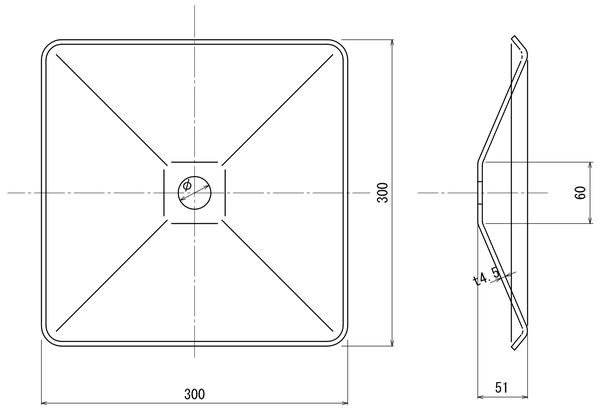


【シングルコネクターの種類と寸法】

呼称	厚さｔ [mm]	長さ [mm]	φ [mm]	h [mm]	A [mm]	B [mm]
SM3.2S	3.2	90.0	21.5	42.0	39.4	108.7
SM4.5S	4.5	90.0	23.5	41.0	42.0	110.0

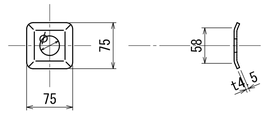
メインプレート詳細図

S=1:3



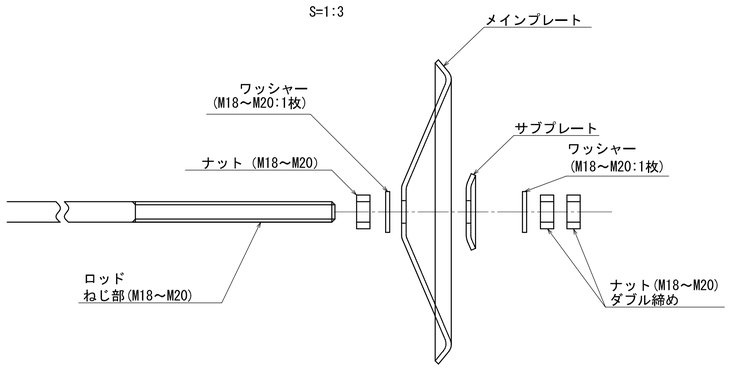
サブプレート詳細図

S=1:20



アンカープレート取付け詳細図

S=1:3



【メインプレートの諸元】

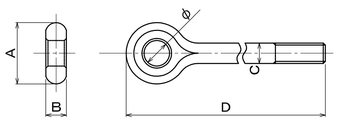
適用タイバー	規格寸法 (mm)	φ (mm)	板厚 (mm)	ワッシャー
M18	300×300	19.5	4.5	M18用ワッシャー:1枚
M20		21.5		M20用ワッシャー:1枚

【サブプレートの諸元】

適用タイバー	規格寸法 (mm)	φ (mm)	板厚 (mm)	ワッシャー
M18	75×75	19.5	4.5	M18用ワッシャー:1枚
M20		21.5		M20用ワッシャー:1枚

接続ロッドアイ詳細図

S=1:3

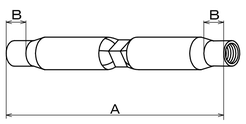


【接続ロッドアイの種類と寸法】

呼称	φ [mm]	A [mm]	B [mm]	C [mm]	D [mm]
M18	21	48	16	16	465
M20	23.5	58	20	18	465

ターンバックル詳細図

S=1:3

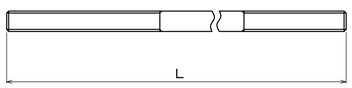


【ターンバックルの種類と寸法】

呼称	A [mm]	B [mm]	保証荷重(kN)
M18	280	27	62.4
M20	280	27	79.6

ロッド(棒鋼)詳細図

S=1:3

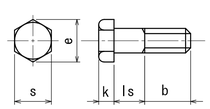


【ロッドの種類と寸法】

呼称	M18	M20
丸鋼径φ[mm]	16	18

接続ロッドアイ止めボルト詳細図

S=1:3

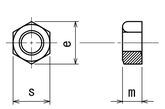


【接続ロッドアイ止めボルトの種類と寸法】

適用タイバー	ねじの呼び	k (mm)	s (mm)	e (mm)	ls (mm)	b (mm)	強度区分
M18	M20	13	30	34.6	30	35	8.8
M20	M22	14	32	37	30	40	8.8

接続ロッドアイ止めナット詳細図

S=1:3



【接続ロッドアイ止めナットの種類と寸法】

適用タイバー	ねじの呼び	e (mm)	s (mm)	m (mm)
M18	M20	34.6	30	16
M20	M22	37.0	32	18

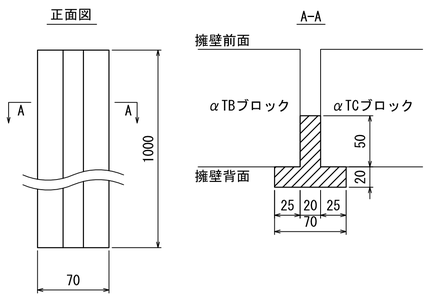
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁詳細図(2) (部材詳細)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	42 / 134

補強土壁詳細図(3)（部材詳細）

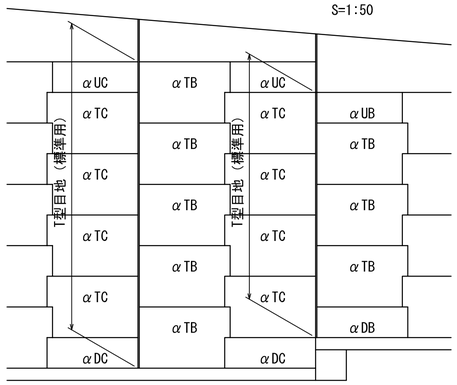
縦目地材T型（標準用）詳細図

S=1:3



縦目地材T型（標準用）配置詳細図

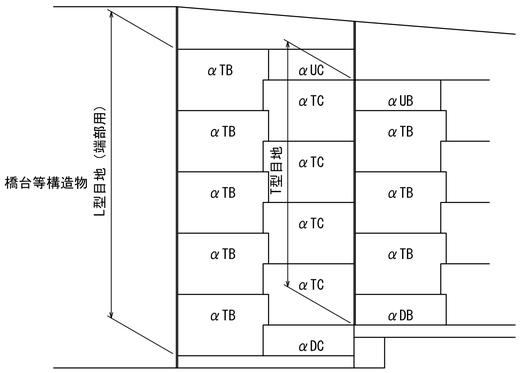
S=1:50



※縦目地材T型（標準用）はブロック同士が接する箇所に使用する。

縦目地材L型（端部・コーナー用）設置詳細図

S=1:50

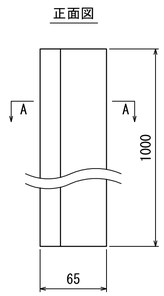


※縦目地材L型（端部・コーナー用）はブロックが構造物に接する時
もしくは、ブロック同士が接する箇所に使用する。

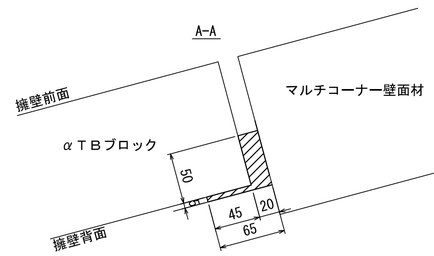
縦目地材L型（端部・コーナー用）詳細図

S=1:3

【端部】

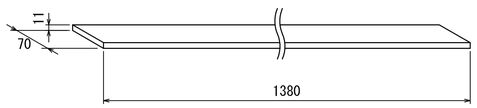


【コーナー部】



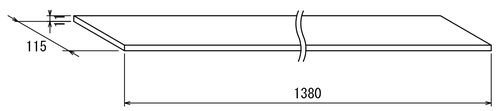
横目地材詳細図

S=1:6



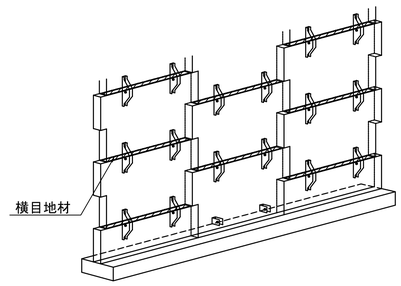
※通常壁面材の水平緩衝材として使用する。

（マルチコーナー壁面材用）



※マルチコーナー壁面材同士が接する箇所に対して、
上記横目地材を半分に切断して使用する。

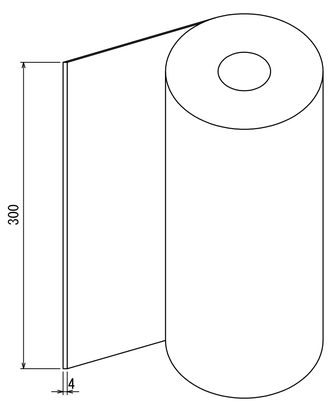
横目地材配置詳細図



※横目地材はコンクリート製壁面材同士が接する箇所に使用する。

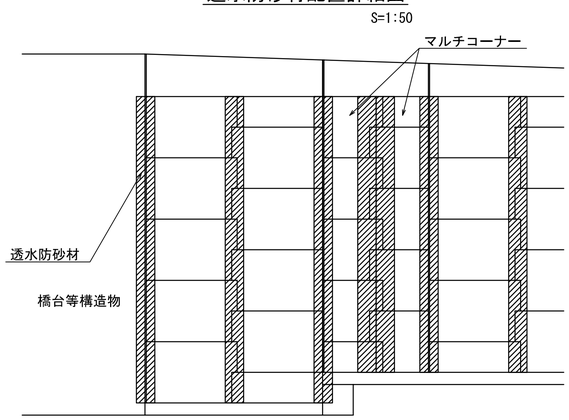
透水防砂材詳細図

S=1:3



透水防砂材配置詳細図

S=1:50



※マルチコーナーの角度が140° 以上の場合、
折れ点位置で透水防砂材を2枚使用

【部材の規格】

部　材		規　格	種別、品種等
コンクリート製壁面材およびコーナーブロック		設計基準強度 fck＝40N/mm2 以上	
タイバー	ロッド(棒鋼)	JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼	SNR490B 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
	接続ロッドアイ	JIS G 3138 建築構造用圧延棒鋼	SNR490B 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
	ターンバックル	JIS G 3475 建築構造用炭素鋼管	STKN400W、B、STKN490B 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
	カプラー	JIS G 4051 機械構造用炭素鋼鋼材	S45C 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
メインプレート サブプレート		JIS G 3101 一般構造用圧延鋼材	SS400 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
コネクター		JIS G 3106 溶接構造用圧延鋼材	SM490 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
ボルト		JIS B 1180 六角ボルト	仕上げ程度 中、公差域クラス 6g 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55
ナット		JIS B 1181 六角ナット	仕上げ程度 並、公差域クラス 7H 溶融亜鉛めっき JIS H 8641 HDZ55 アンカープレート止めナット:S45C
透水防砂材		ポリエステル連続長繊維不織布	
横目地材		発泡ポリスチレン樹脂	
縦目地材T型（標準用）		発泡ポリエチレン樹脂	
縦目地材L型（端部用）		発泡ポリエチレン樹脂	

実施

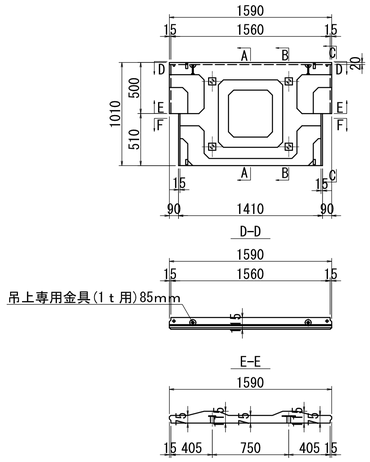
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁詳細図(3) (部材詳細)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	43 / 134

補強土壁詳細図(4)（部材詳細）

コンクリート製壁面材詳細図

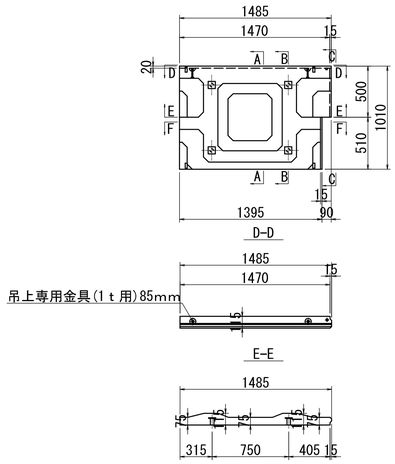
S=1:30

α TA



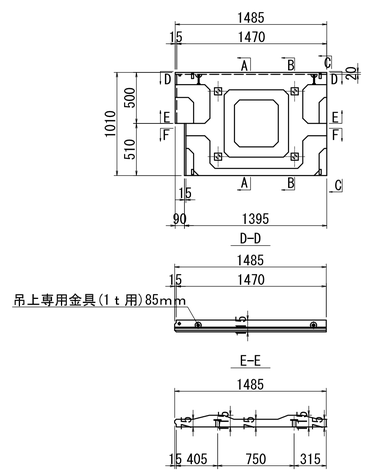
※表面は、ハツリ模様とする。

α TB



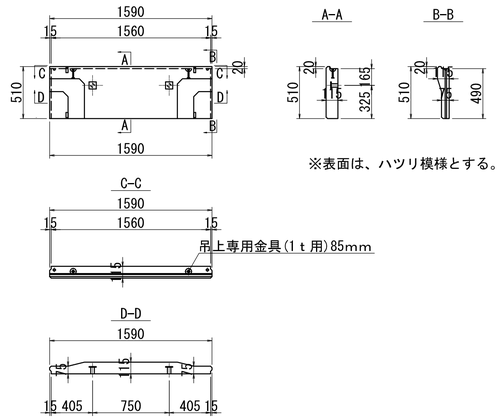
※表面は、ハツリ模様とする。

α TC



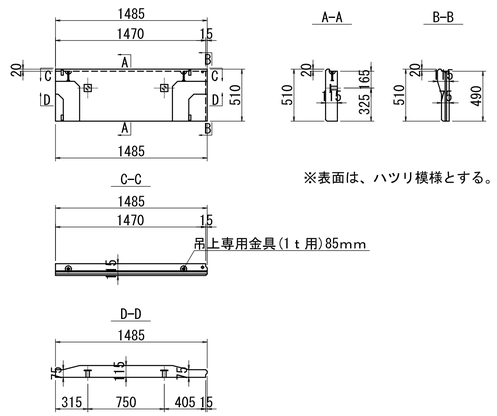
※表面は、ハツリ模様とする。

α DA



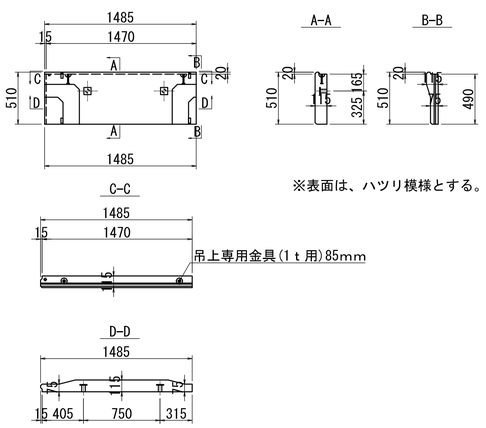
※表面は、ハツリ模様とする。

α DB



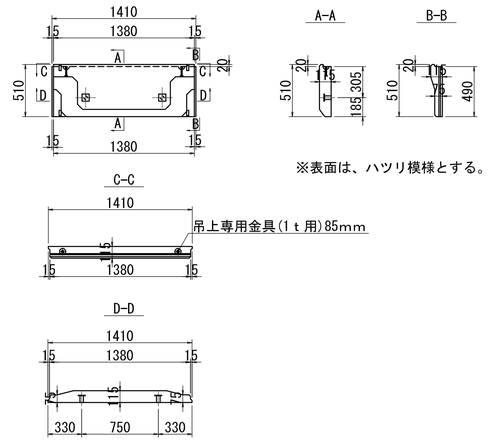
※表面は、ハツリ模様とする。

α DC



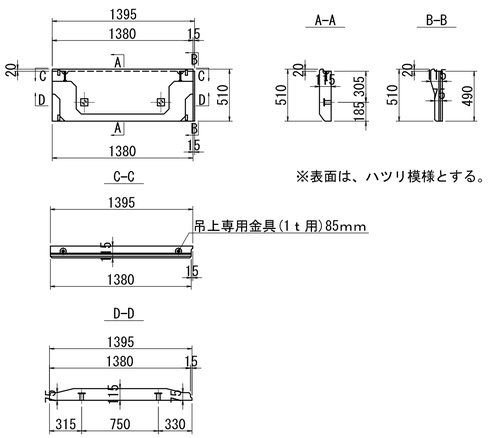
※表面は、ハツリ模様とする。

α UA



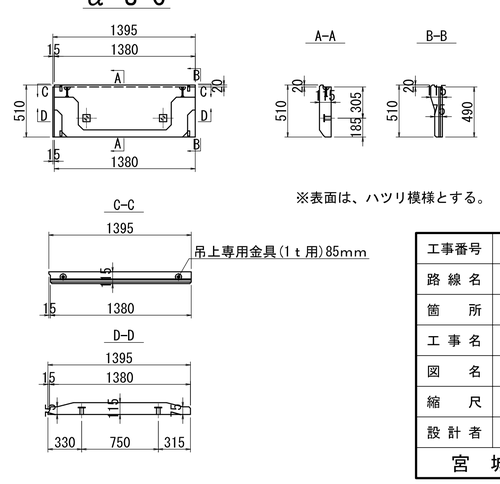
※表面は、ハツリ模様とする。

α UB



※表面は、ハツリ模様とする。

α UC



※表面は、ハツリ模様とする。

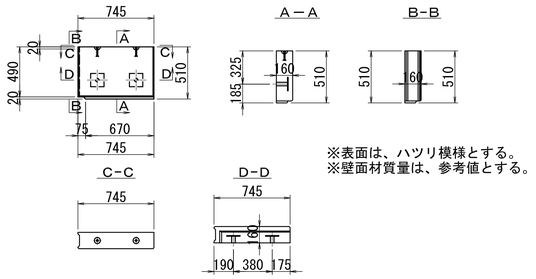
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁詳細図(4) (部材詳細)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	44 / 134

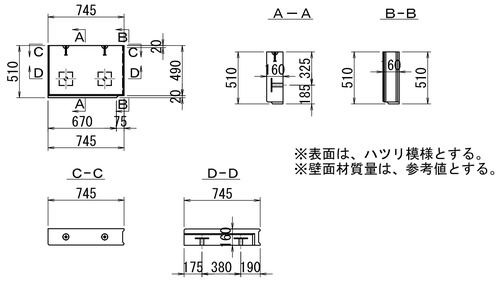
補強土壁詳細図(5)（部材詳細）

マルチコーナー壁面材詳細図
S=1:30

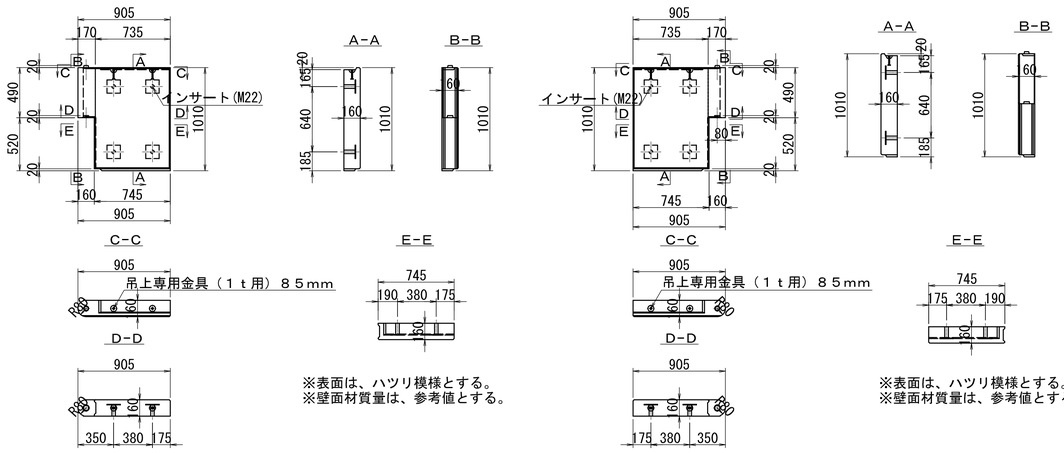
MCUR



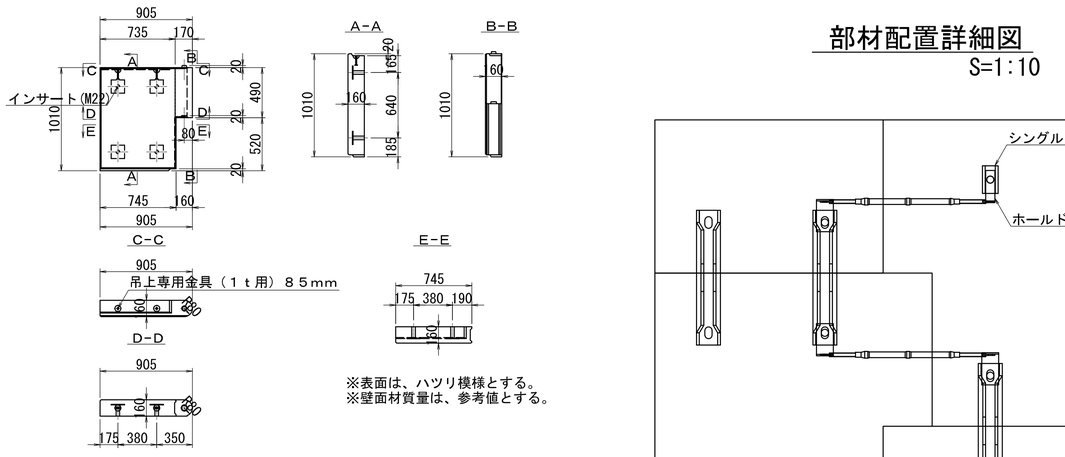
MCUL



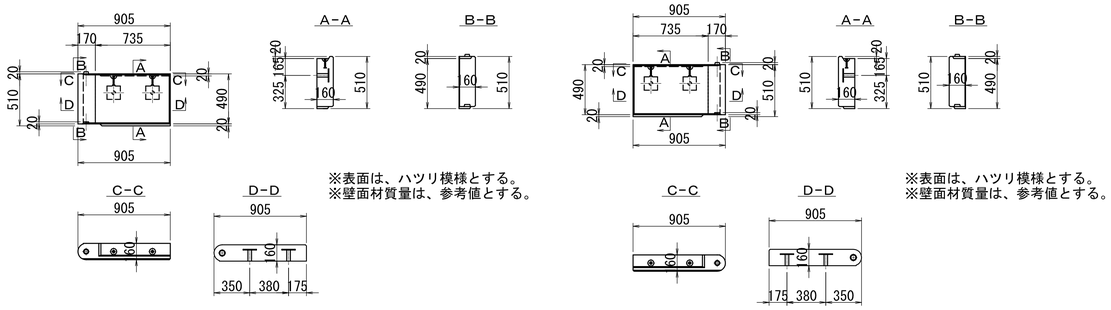
MCFR



MCFL

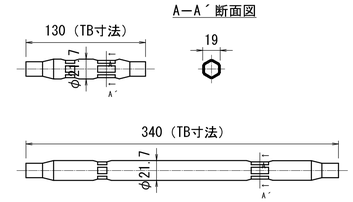


MCDR



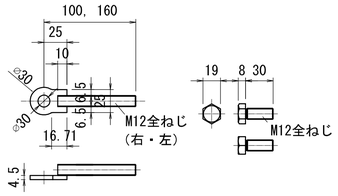
MCDL

ホールド材
S=1:3

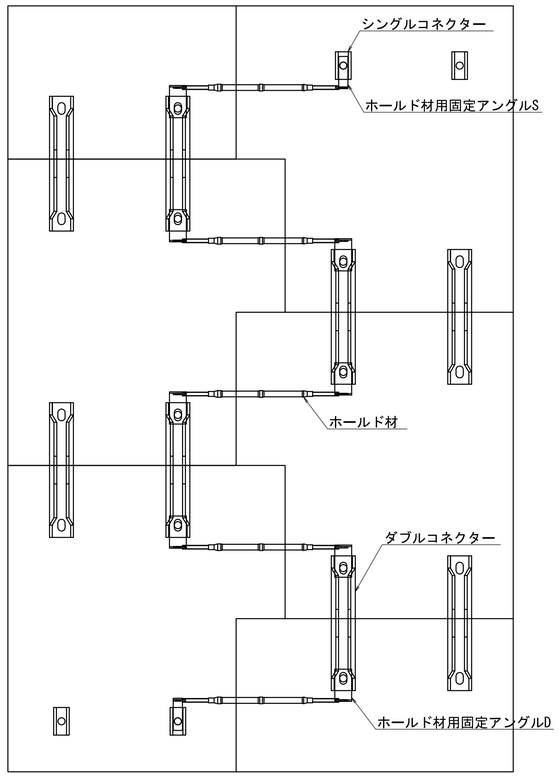


［寸法対応表］

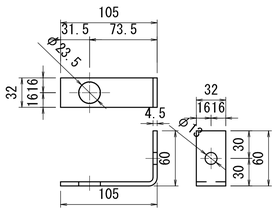
対応角度	TB寸法	ねじ部	調整範囲
90～105°	130	100+100	200～290
171～179°	340	160+160	410～610
ホールド材用固定アングルS			
ホールド材用固定アングルD			



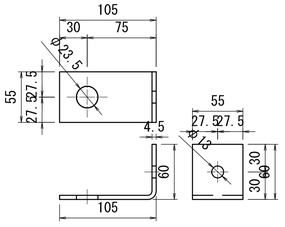
部材配置詳細図
S=1:10



ホールド材用固定アングルS
S=1:3



ホールド材用固定アングルD
S=1:3



実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁詳細図(5) (部材詳細)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	45 / 134

補強土壁詳細図(6)（施工計画）

1. 施工手順

多数アンカー式補強土壁の施工を円滑かつ確実なものとするために、補強土壁工法の施工手順を定めておくものとする。
多数アンカー式補強土壁工法の標準的な施工手順を示す。(図－1)

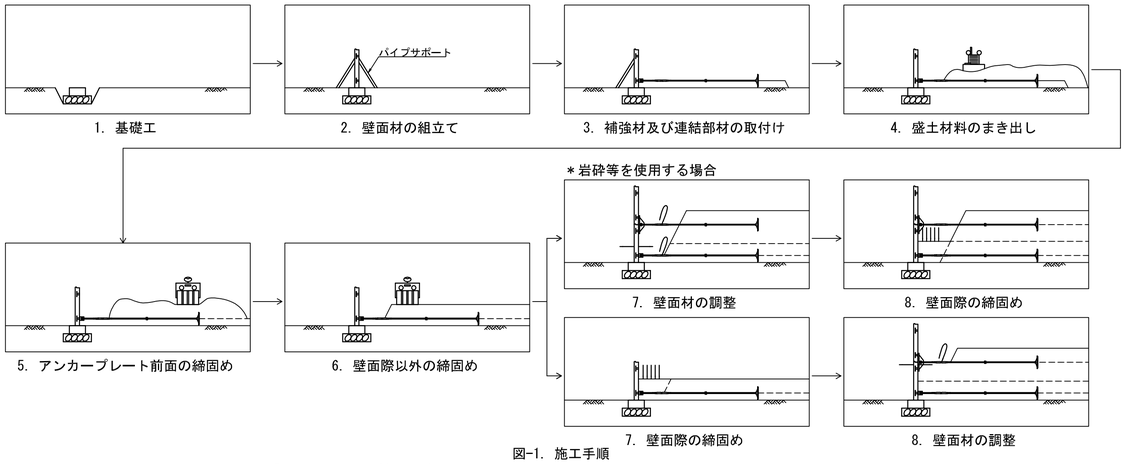


図-1. 施工手順
「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.191より

2. 施工機械

多数アンカー式補強土壁工法に用いる施工機械の一列を示す。（表－1）

表－1　使用する施工機械の例

機　種	規　格	台数	備　考
トラッククレーン	油圧式4.9t級	1	ブロック吊り込み
ブルドーザ	11t級	1	盛土材料のまきだし、敷均し
バックホウ	0.45m³	1	壁面際の盛土材料のまきだし
タイヤローラ	8～20t級	1	盛土材料の締固め
振動ローラ	ハンドガイド式1.0t級	1	壁面際の盛土材料の締固め

「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.198より

3. 使用工具

多数アンカー式補強土壁工法の組立に必要な治具や道具のうち、基本的なものを示す。（表－2）

表－2　使用工具表（参考）

種　類	規　格	数　量	使用方法
片口ラチェット 又はモンキーレンチ 又はスパナ	M18用(27mm)	1	アンカープレート設置用 ※必要に応じて準備すること
	M20用(30mm)	1	
	M22用(32mm)	1	
	M24用(36mm)	1	
	M27用(41mm)	1	
	M20用(30mm)	1	接続ロッドアイ止めボルト用 ※必要に応じて準備すること
	M22用(32mm)	1	
	M24用(36mm)	1	
パイプレンチ	W 1/2 ～1 1/2　350mm	1	カプラー接続用
バール（大、小）		各1	壁面材設置用
水準器		1	壁面材設置用
くさび 又はレベルプレート		適宜	壁面材設置用、レベル調整用
シャックル	19mm、耐力10kN以上	2	壁面材吊上げ用
ワイヤー	9mm、1mもの ワイヤー径3分相当	2	壁面材吊上げ用
モルタル		適宜	基礎コンクリートと最下段 ブロック間詰め用
かけや		1	壁面調整用
カッターナイフ		1	
下げ振り		1	壁面調整用
トランシット		1	壁面調整用
レベル		1	壁面調整用
メジャー		1	
サポート		適宜	最下段壁面材設置用
差し筋	D13、L250mm程度	適宜	最下段壁面材転倒防止
吊上げ専用金具		2	壁面吊上げ用
Tレンチ	M22用(32mm)	2	コネクター取付用
Lレンチ	M22用(32mm)	1	コネクター取付用
間隔定規	L1.5m	1	壁面材設置時使用
壁面調整用治具		1	壁面調整用

※ここに示されない工具等については、各々の現場で必要に応じて準備する。
「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.201より

4. 締固め品質管理

盛土締固め品質管理基準を示す。

(1)　多数アンカー式補強土壁の壁面とアンカープレートに挟まれた領域の盛土材の締固めは、突固めによる土の締固め試験方法（JIS-A-1210）による最大乾燥密度に対してA法またはB法の場合は95%以上に、C、DまたはE法の場合は90%以上に締固めることを標準とする。

(2)　(1)に示す基準密度による規定が適用しにくい自然含水比の高い粘性土に対しては、飽和度または空気間隙率で規定する方法を用いることができる。空気間隙率によって規定する場合には、空気間隙率を8%以下とすることが望ましい。

(3)　岩砕や粒径の大きな粗粒材等の品質管理が難しい材料を用いる場合、工法規定に基づく締固め管理を用いることができる。

(4)　締固め度の検査は、品質管理試験による場合、締固め土量500m3あたり1箇所の割合で行うことを標準とする。

※締固め度の測定は、壁面材からアンカープレート側2mまでの位置を除く、任意の位置とし、補強材の埋設位置を避ける。



図-2. 締固め度の密度測定要領
「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.221より

5. 壁面材組立て時の出来形

多数アンカー式補強土壁の壁面材は、ターンバックルによる壁面調整が可能であり、壁面材の鉛直度を1枚ごとに正確に管理することができる。
壁面は、前傾斜している場合には、安定の問題以前に、圧迫感や変形に対する不安感を与えるため、鉛直もしくは後傾するように施工することを原則とし、出来形管理基準を満足するように、隣接する壁面材の組立て時の目違いは1cm以内に収める。
「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.224より

6. 出来形管理

出来形管理基準を示す。（表－3）

表－3　出来形管理基準

工種	測定項目		測定基準	管理値（目安）
基礎コンクリート	設置高さ		延長30mごとに1箇所および変化点ごとに測定	±5.0（cm）
	傾斜度	縦断方向	延長1.5mごとの相対誤差	1.0（cm）
		横断方向	延長1.5mごとに基礎幅方向の相対誤差	1.0（cm）
壁面	鉛直度		延長30mごとに1箇所および変化点ごとに測定	±0.03Hおよび±30（cm）

「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.224より

7. 笠コンクリートの目地について

笠コンクリートは施工性や土工構造物との追随性を考慮し、壁面材2～3列ごとに目地を設ける。
「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.172より

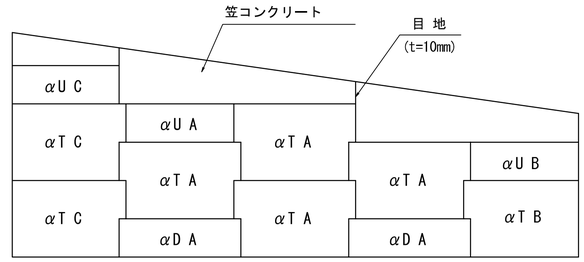


図-3. 笠コンクリートの目地設置（例）

8. 笠コンクリートの施工について

段差のある隣り合う笠コンクリートの施工については、段差部毎に目地を設け、壁面材および補強材を巻込まないように注意して施工する。
これは、盛土材料の多少の圧密沈下に追従する補強材のヒンジ構造を、コンクリートの巻込みによって固定されることを防ぐためである。

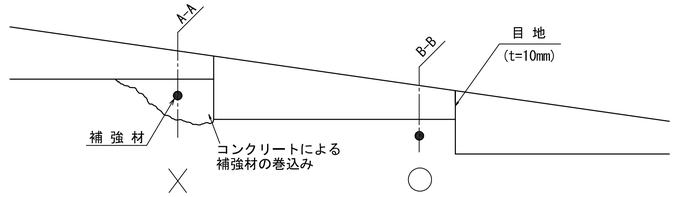
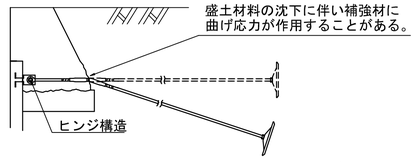


図-4. 笠コンクリートの施工（例）

A-A断面

※補強材を巻き込んで施工した場合



B-B断面

※正しく施工された場合

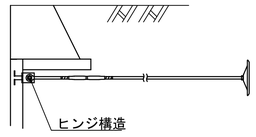


図-5. 各断面図

9. 笠コンクリートの下部の締固めについて

笠コンクリートは、前端が壁面材の上に、後端が盛土材の上にあるため、盛土材が沈下した場合、笠コンクリートは傾斜する。このため、
笠コンクリートの基礎となる盛土部には砕石等の圧縮性の低い良質土を用い、十分に締固める。
締固め不足による笠コンクリートの沈下が生じないように、
4.（1）同様最大乾燥密度に対して95%以上(A法またはB法)で締固めることを標準とする。
「多数アンカー式補強土壁工法　設計・施工マニュアル　第4版」（土木研究センター）　P.220より

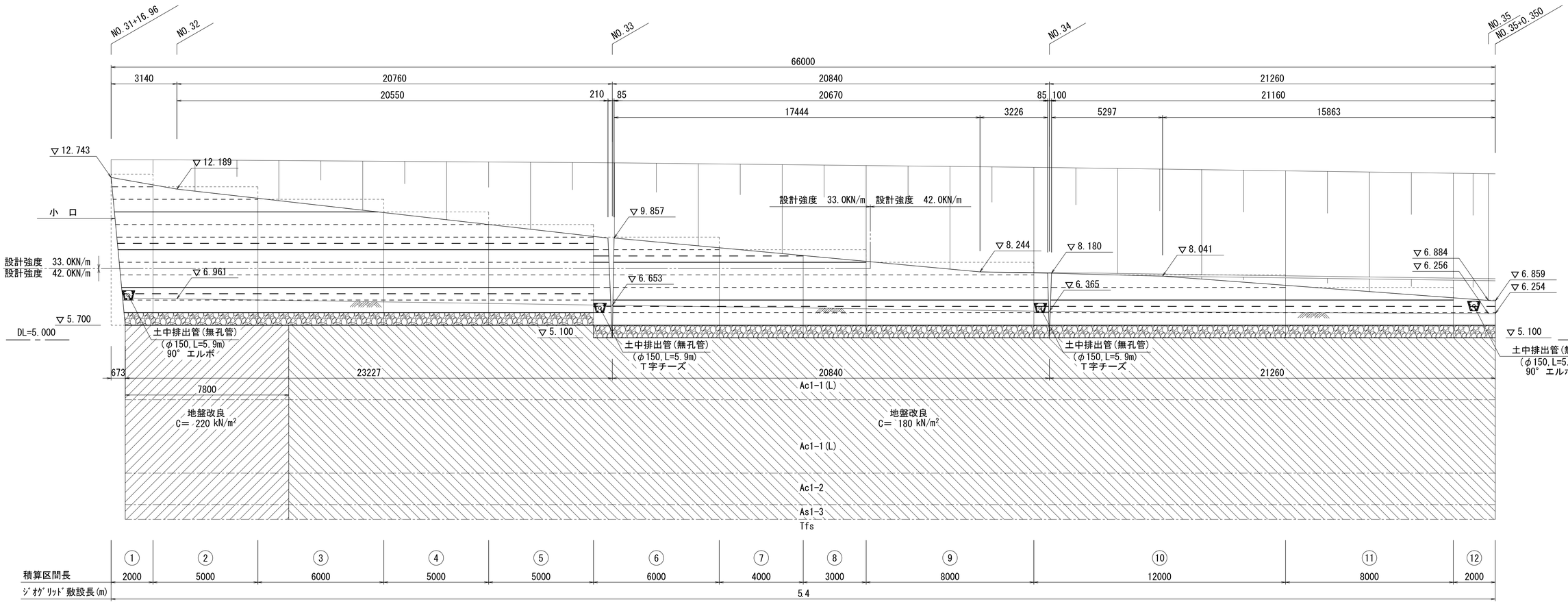
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁詳細図(6)（施工計画）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	46 / 134

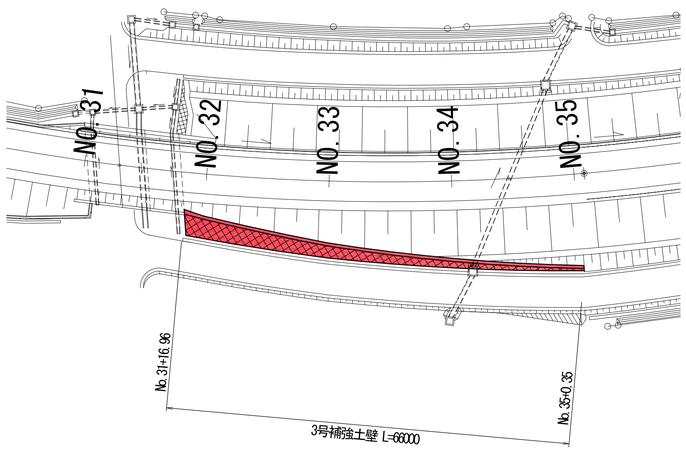
3号補強土壁　詳細図（1/3）

NO.31+16.96～NO.35+0.35

正　面　展　開　図 S=1:100



位　置　図 S=1:500



補強盛土（1：0.6）

設　計　条　件		
盛土材 土質条件	γt＝19.0 kN/m3	全体安定検討では、C=10KN/㎡を考慮する。 （ジオテキマニュアルp.86、269参照）
	c＝ 0.0(10.0)kN/m2	
	φ＝30.0 °	
盛土材	施工前に土質試験(三軸試験)を実施し設計定数の確認を行なう事。	
設計水平震度	内的･外的安定の検討	kh ＝ 0.24
	全体安定の検討	kh ＝ 0.24
締固め管理	乾燥密度によって規定する場合は90%以上に締め固める事。 (JIS A1210)　※巻出し転圧は≦30cm以下とする事。	
地盤条件	設置箇所の地形、原地盤の条件を調査（試験）を把握し、施工される事。	
排水条件	本設計図面の排水工は標準的な計画である為、現地の状況に応じて 下記の設計基準書、及び道路土工指針に従い適宜、排水対策を施す事。	
設計･施工基準	ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル 財団法人　土木研究センター　平成25年12月版を摘用。	

凡　例	
形　状	種　別
———	補強材:ジオグリッド
－ － － － －	壁面強化材:L=1.5m
— — —	排水材:PP製不織布t=3.0mm
———	ジオグリッド強度区分線
	鋼製型枠カット部分
	基盤排水層:砕石(t=60cm)

数　量　表			
項　目	種　別	単　位	数　量
補強土工面積	直高面積（1：0.6）	m2	261.8

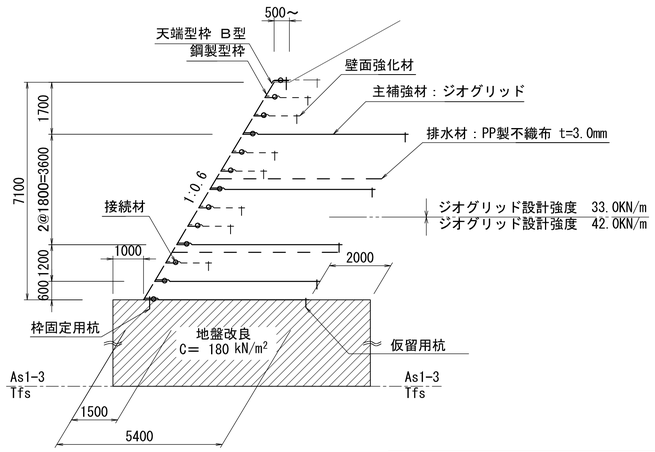
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図　名	3号補強土壁　詳細図（1/3）		
縮　尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	47 / 134

3号補強土壁　詳細図（2/3）

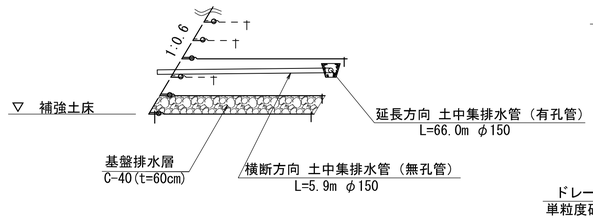
NO.31+16.96～NO.35+0.35

設　計　断　面　図 S=1:100

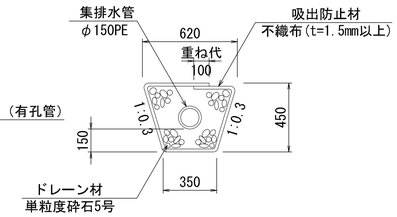


凡　例	
形　状	種　別
————	補強材:ジオグリッド
－ － － － －	壁面強化材:L=1.5m
— — —	排水材:PP製不織布t=3.0mm

排水工 詳細図　S=1:100

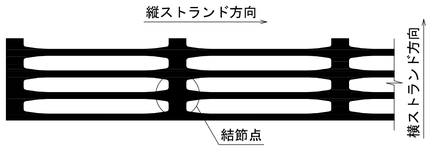


土中集排水管断面図 S=1:20



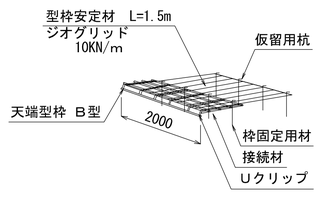
ジオグリッド詳細図

材質:ポリオレフィン

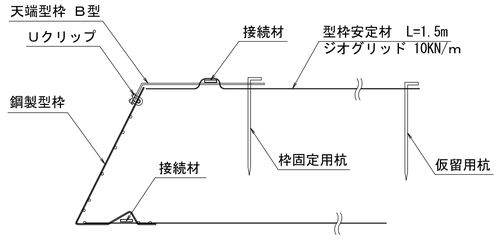


※　高強度プラスチック網（ジオグリッド）は、縦ストランド・横ストランドが一体成型品とし、結節点でも設計強度（クリープ限界強度）が充分発揮する製品を選定する。
製品形状：1ｍ（巾）×３０ｍ（巻）

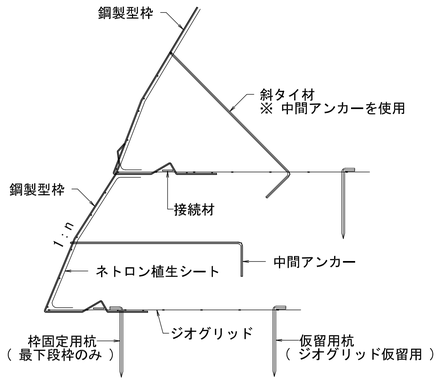
天端型枠Ｂ型 取付概要図



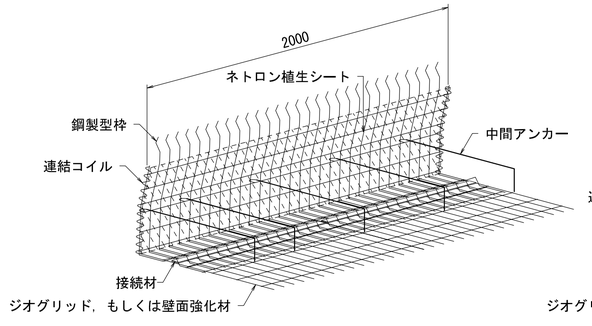
天端型枠Ｂ型 詳細図



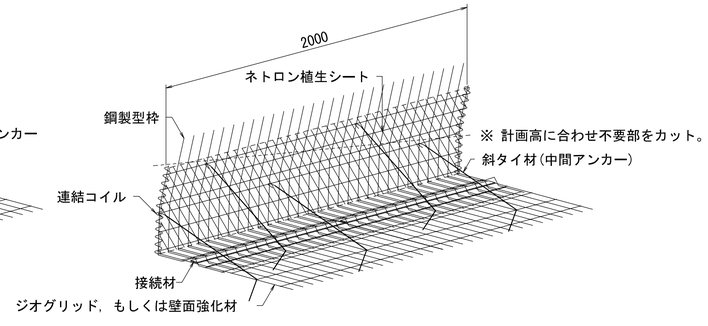
組立概要図（ 断面図 ）



標準部組立概要図



天端部組立概要図

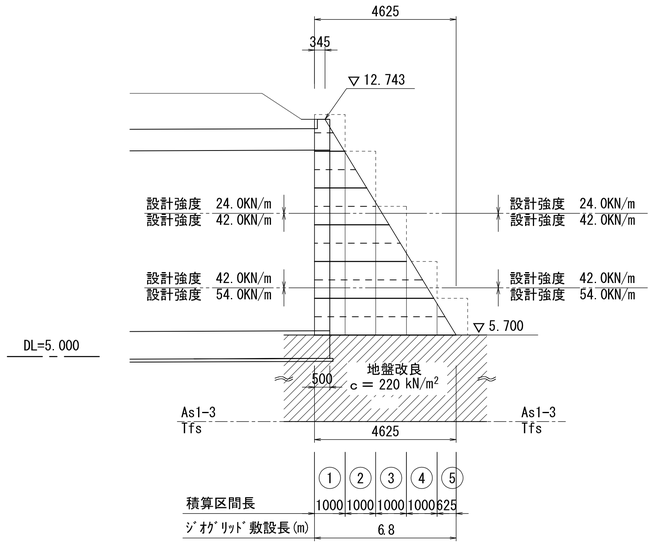


実施

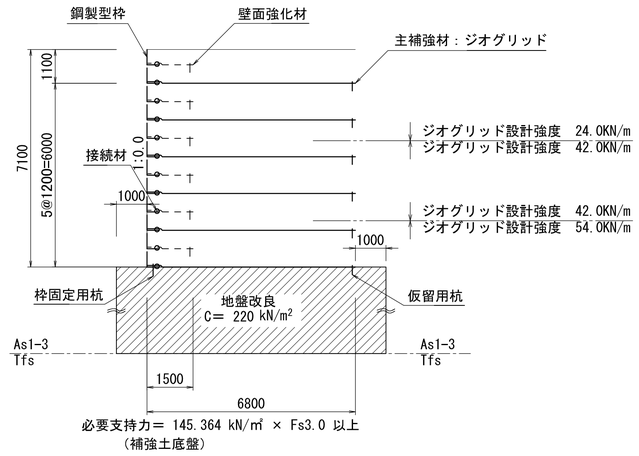
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	3号補強土壁　詳細図（2/3）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	48 / 134

3号補強土壁　詳細図（3/3）
小口部

小口部展開図 S=1:100



設計断面図 S=1:100



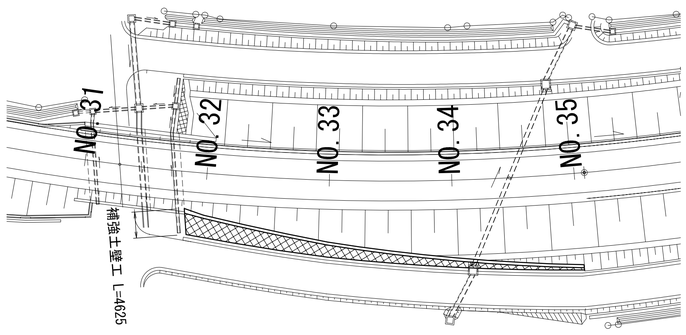
小口補強土壁（1：0.0）

設計条件		
盛土材 土質条件	γt = 19.0 kN/m³	全体安定検討では、C=10KN/㎡を考慮する。 （ジオテキマニュアルp.86、269参照）
	c = 0.0(10.0)kN/m²	
	φ = 30.0 °	
盛土材	施工前に土質試験(三軸試験)を実施し設計定数の確認を行なう事。	
設計水平震度	内的･外的安定の検討	kh = 0.24
	全体安定の検討	kh = 0.24
締固め管理	乾燥密度によって規定する場合は、JIS1210のA,B法で95%以上、 C,D,E法で90%以上で締固める事。	
地盤条件	設置箇所の地形、原地盤の条件を調査（試験）を把握し、施工される事。 また支持力が、不足時は適切な地盤改良等を選定し、施工される事。	
排水条件	本設計図面の排水工は標準的な計画である為、現地の状況に応じて 下記の設計基準書、及び道路土工指針に従い適宜、排水対策を施す事。	
設計･施工基準	ジオテキスタイルを用いた補強土の設計・施工マニュアル 財団法人　土木研究センター　平成25年12月版を摘用。	

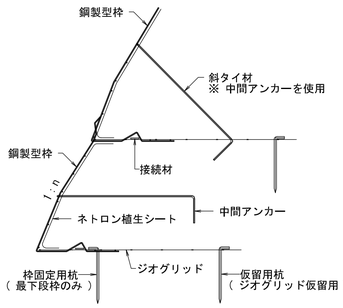
凡　例	
形　状	種　別
———	補強材:ジオグリッド
- - - - - -	壁面強化材:L=1.5m
— — —	排水材:PP製不織布t=3.0mm
———	ジオグリッド強度区分線
	鋼製型枠カット部分
	基盤排水層:砕石(t=60cm)

数量表			
項　目	種　別	単　位	数　量
補強土工面積(小口部)	直高面積（1：0.0）	㎡	17.5

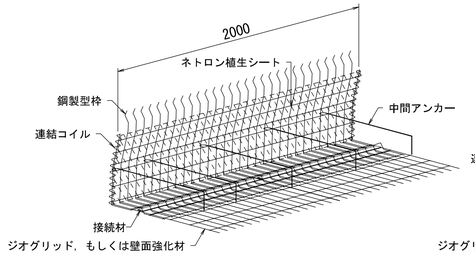
位置図 S=1:500



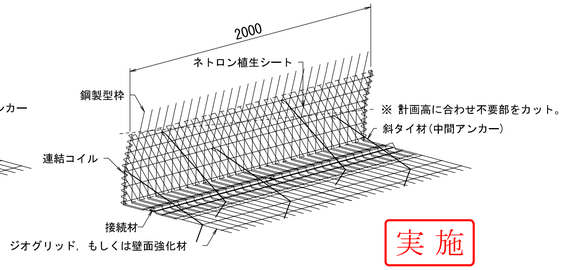
組立概要図（ 断面図 ）



標準部組立概要図



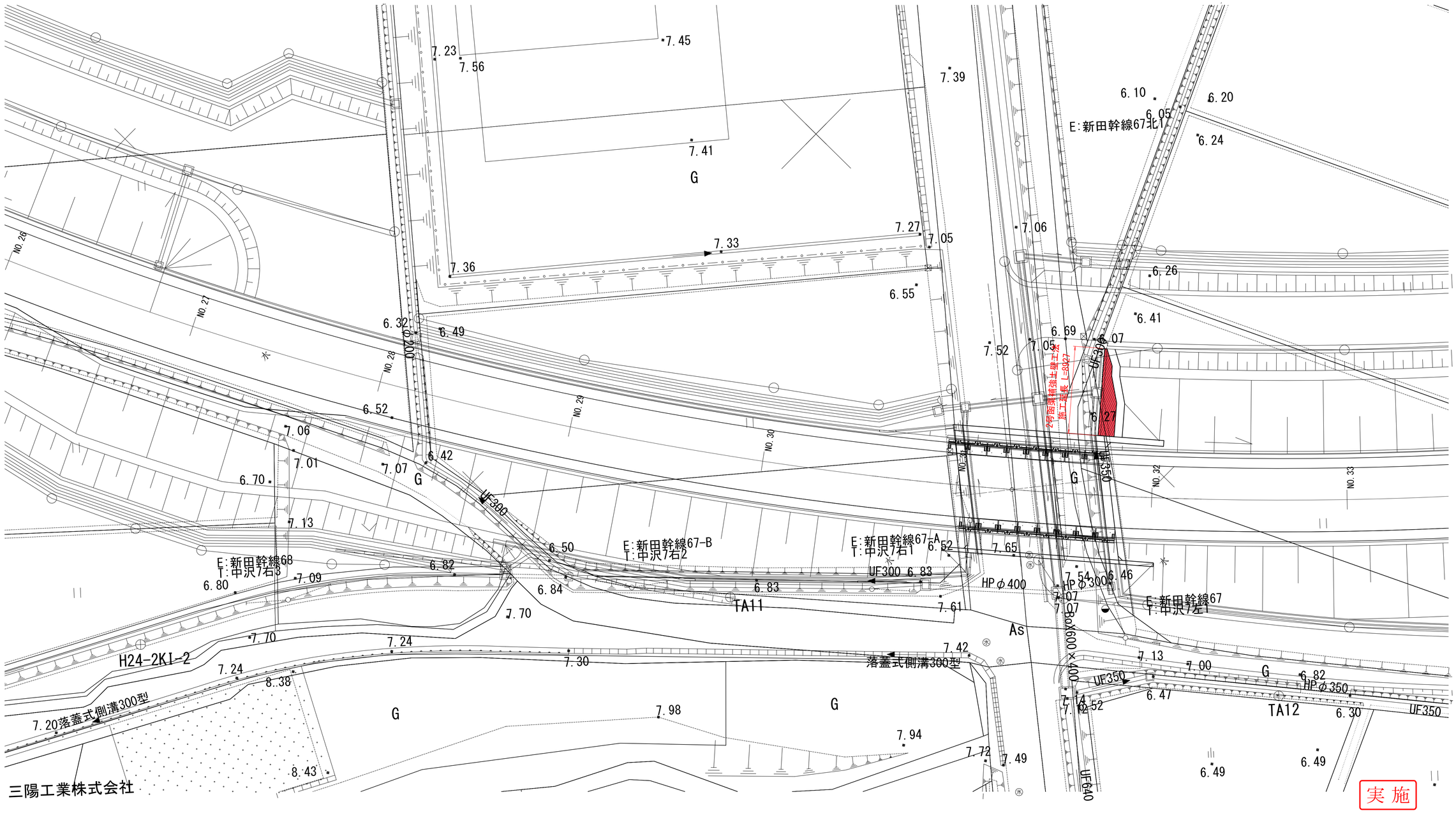
天端部組立概要図



実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	3号補強土壁　詳細図（3/3）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	49 / 134

2号函渠補強土壁平面位置図　S=1:200



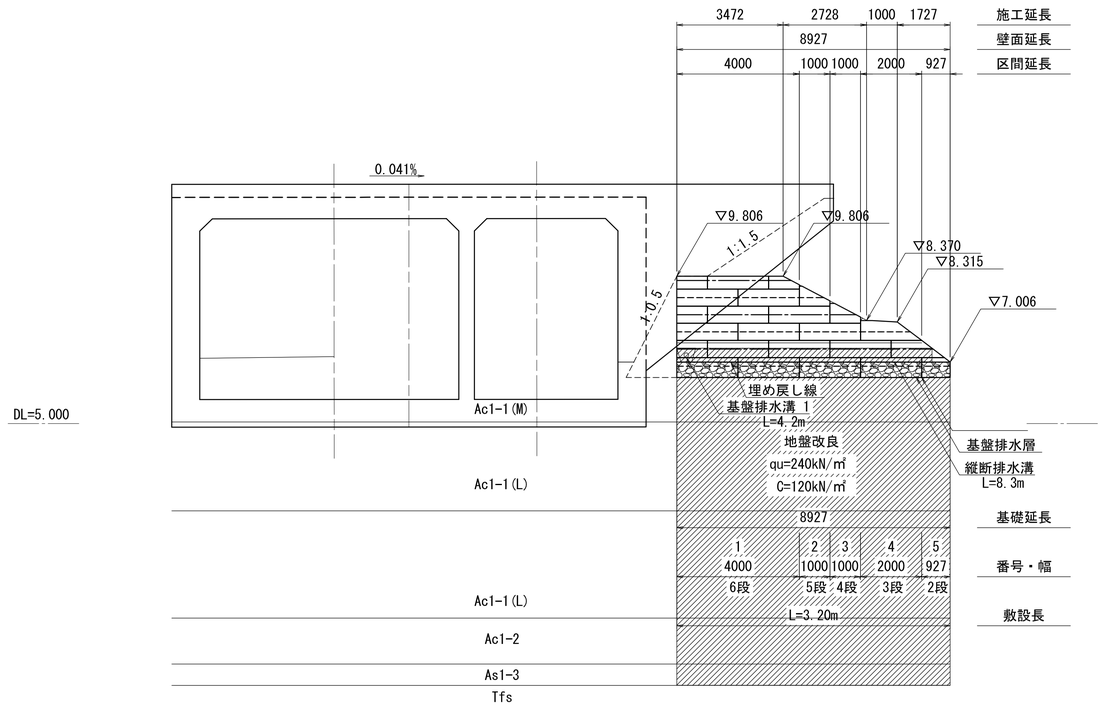
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	2号函渠補強土壁平面位置図		
縮尺	1：200	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	50 / 134

2号函渠補強土壁展開図

背面展開図

S=1:100



盛土材料としての土質特性の一般評価の目安

分　類	適用性	備　考
岩塊・玉石	△	・破砕の程度によって使用区分を考える。 ・スレーキングに留意 ・最大粒径に留意 ・補強材の損傷に留意
礫{G}	○	
礫質土{GF}	○	有機質土、火山灰質の細粒土を含む（GO,GV等）材料の場合：△
砂{S}	○	粒径が均質な場合には降雨の作用によりのり面崩壊・浸食を受けやすいため、のり面付近に用いる場合：△
砂質土{SF}	○	・有機質土、火山灰質の細粒土を含む（GO,GV等）材料の場合：△ ・締固め効果、圧縮性の検討が必要
シルト{M}	△	・土の強度定数、締固め特性、透水係数等を適正な方法によって十分確認すること ・施工性、排水工について十分な検討が必要
粘性土{C}	△	
火山灰質粘性土{V}	△	
有機質土{O}	△	
高有機質土礫{Pt}	△	

○：ほぼ問題ないもの　△：注意して用いるか、何らかの処理を必要とするもの

凡　例

：破線はジオグリッド(TA=24.7KN/m)を示す。

：一点鎖線は壁面強化材を示す。

：実線は排水材を示す。

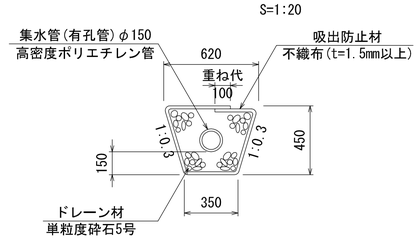
：土のう積みにて施工を行う範囲を示す。

設　計　条　件				
盛土材 土質条件	γt = 19.0 kN/m³	設　計 水平震度	内的・外的：kh = 0.24	全体安定：kh = 0.24
	c = 0.0(10.0) kN/m²		地盤種別　レベル2地震動Ⅲ種地盤	
	φ = 30.0°		地域補正係数 cz = 1.00[地域区分:A]	
地盤条件	良好な地盤、又は適切な処置が施された地盤とする。			
排水条件	適切な排水処理を施し、盛土は適切な含水比で施工されること。			

※全体安定の検討においては仮定値C=10kN/m²を考慮しているため施工時に土質試験により C≧10kN/m²を確認する事とする

排水溝詳細図

S=1:20



注）排水溝は縦断および横断方向に設置することとする
ただし横断方向の排水溝は5～10m程度のピッチに設置すること

注）排水溝は標準的なものであり、現場状況によって増設することとする

注）横断方向の排水溝は、埋戻しより高い位置に設置すること

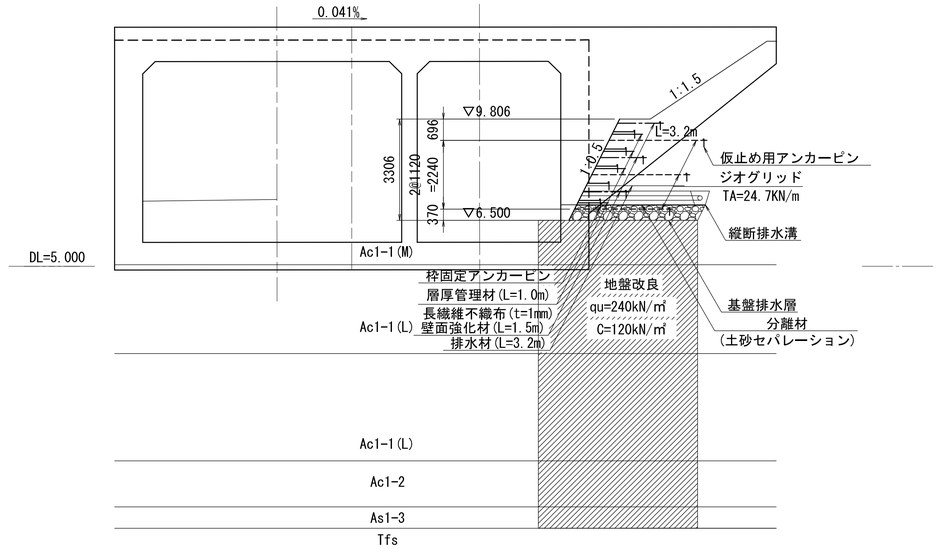
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	2号函渠補強土壁展開図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	51 / 134

2号函渠補強土壁横断図

横断図

S=1:100



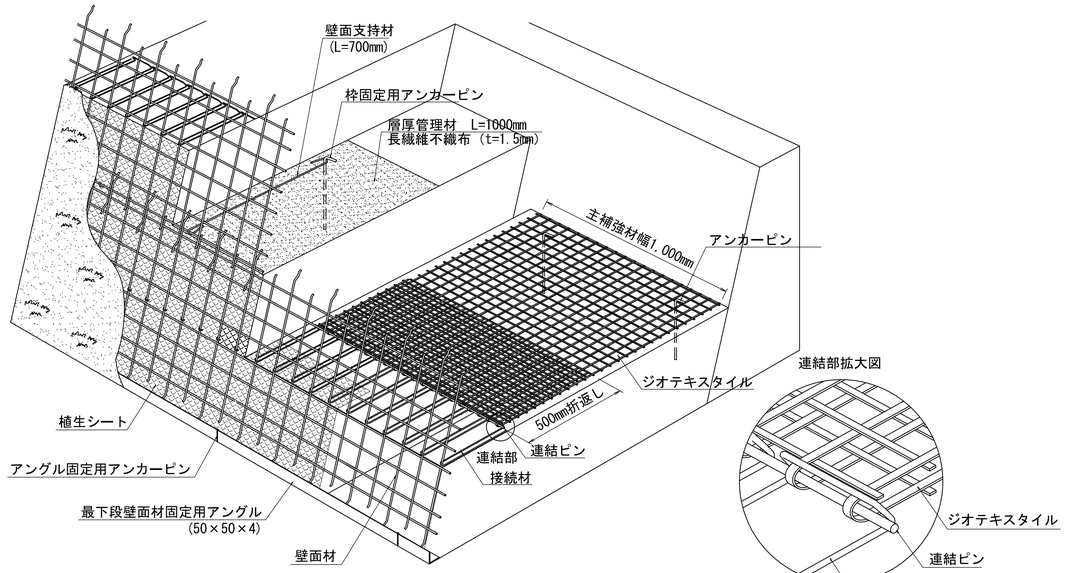
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	2号函渠補強土壁横断図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	52 / 134

補強土壁工法詳細図

詳　細　図

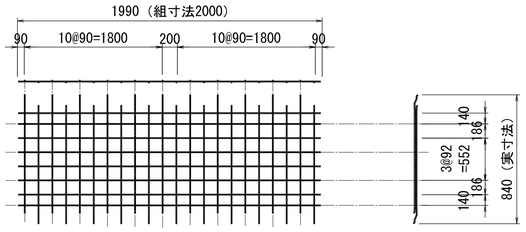
概 要 図



注）層厚管理材と水平排水材を設ける箇所が
　　一致する場合には、水平排水材(長繊維不織布 L=設計長）を施工する。

部 材 詳 細 図

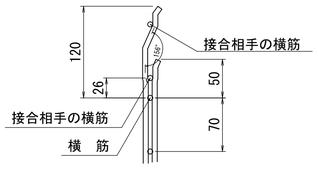
壁面材正面図
S=1:20



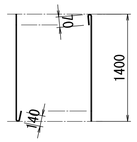
めっき鉄線 φ６.５
壁面材１枚当り重量　8.58（kgf/枚）

壁面材側面図
S=1:20

接合部
S=1:4



壁面支持材
S=1:20



めっき鉄線 φ５

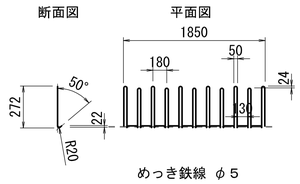
アンカーピン
S=1:20

枠固定用アンカーピン D10
アンカーピン D10



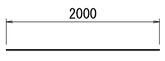
接続材
S=1:20

断面図　平面図



めっき鉄線 φ５

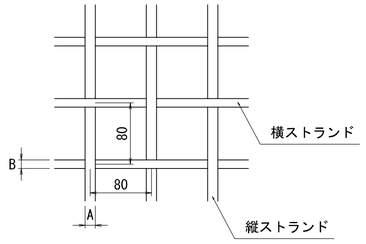
連結ピン
S=1:20



めっき鉄線 φ６.５

注）上記の寸法は製造寸法を示す。

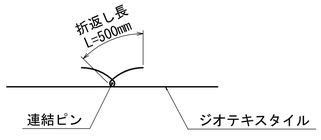
ジオテキスタイル詳細図
S=1:2



	壁面強化材	EX-40
TA(KN/m)	12.4	24.7
A(mm)	5.6	6.7
B(mm)	5.6	5.6

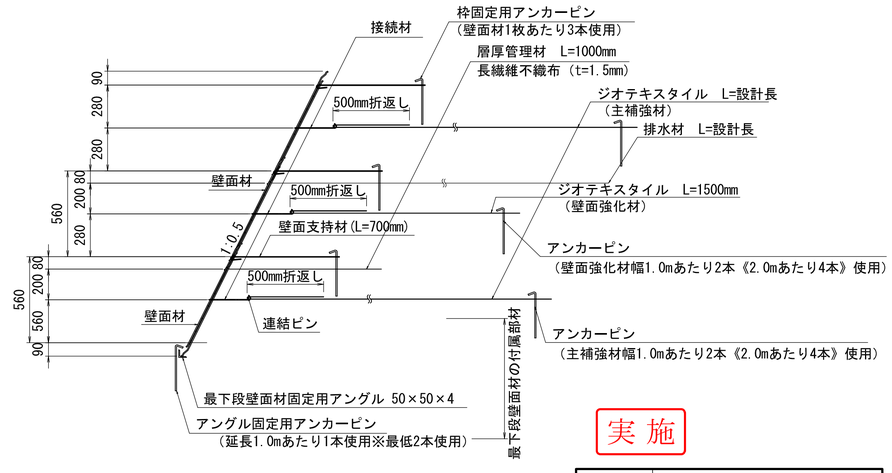
※壁面強化材にはEX-20を用いる。

ジオテキスタイル接続図



注）敷設方向の連結は連結強度を確保するため必ず折り返し長500mmを確保する。
　　また、延長方向の連結は基本的には突合わせによる。(マニュアルP115)
　　ただし、施工中のズレが懸念される場合などはアンカーピンにより固定する。

構 造 詳 細 図
S=1:20



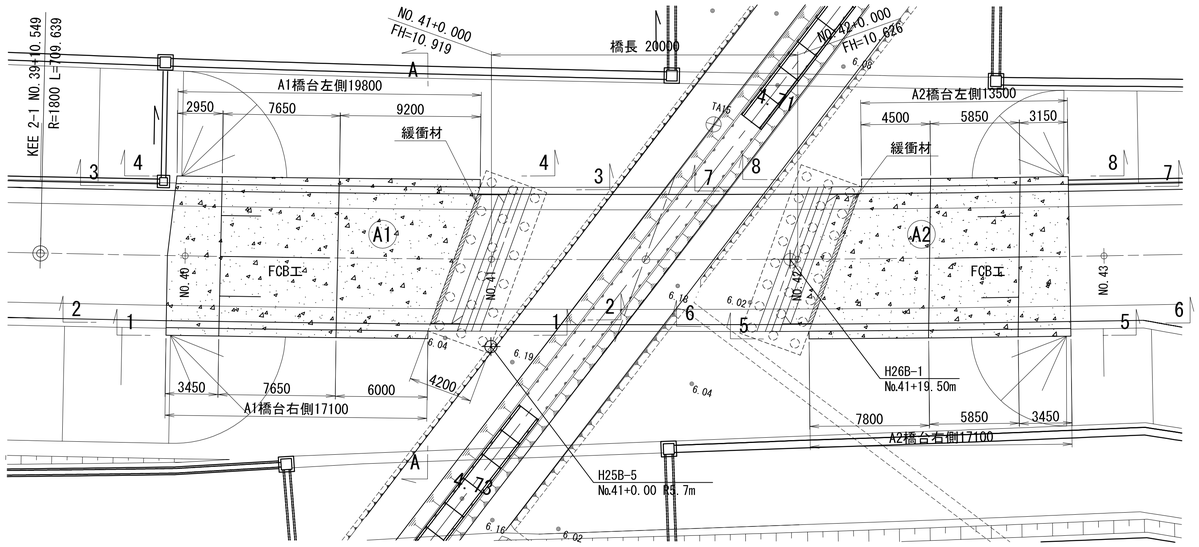
注1）層厚管理材と水平排水材を設ける箇所が一致する場合には、
　　水平排水材(長繊維不織布 L=設計長）を施工する。
注2）盛土材や施工条件によって、壁面支持材を斜めに取り付ける
　　場合がある。このような場合はTRIGRID施工要領に従って施
　　工する。

実施

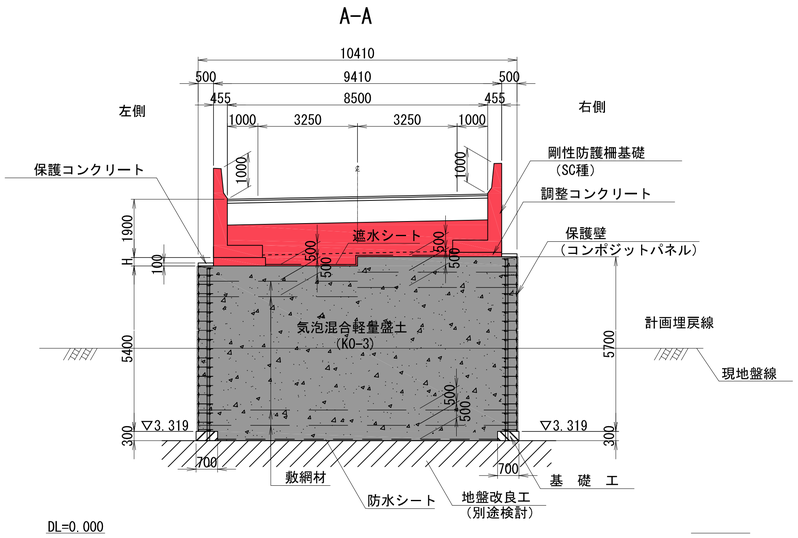
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	補強土壁工法詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	53 / 134

ＦＣＢ工一般図（田尻橋）

FCB工　平面図　S=1:200



FCB工　標準断面図　S=1:100



ＦＣＢ工法　設計条件			
ＦＣＢ の 高 さ		Hmax＝ 6.000m	
ＦＣＢ の 配 合		K0-3	
設 計 水 平 震 度		レベル2･Ⅲ種地盤-A地域：kh＝0.24	
安全率		常　　時	地　震　時
	ＦＣＢの強度に対して	3.0	
	滑動に対して	1.25	1.00
	転倒に対して	e≦B/6	e≦B/3
	支持力に対して（傾斜地盤）	3.00	2.00
衝突荷重		SC種（35kN）	

NEXCO暫定配合表

フロー値(180mm)

配合	一軸圧縮強度 qu (kN/㎡)	空気量 (%)	水ｾﾒﾝﾄ比 w/c (%)	砂ｾﾒﾝﾄ比 s/c	セメント c (kg/m3)	砂 s (kg/m3)	起泡剤 (L)	起泡剤 m1 (kg/m3)	希釈水 m2 (kg/m3)	混練水 m3 (kg/m3)	水量 m1+m2+m3 (kg/m3)	湿潤密度(生比重) (g/cm3)	単位体積重量 (kN/m3)
K0-3	300	66.5	92.0	0	268	0	1.15	1.15	26.45	219	246.6	0.52	5.1

地盤改良設計基準強度（参考）	
A1橋台側	86kN/m2×3.0(常時安全率)≒260kN/m2以上
A2橋台側	82kN/m2×3.0(常時安全率)≒250kN/m2以上

実 施

【４号橋】

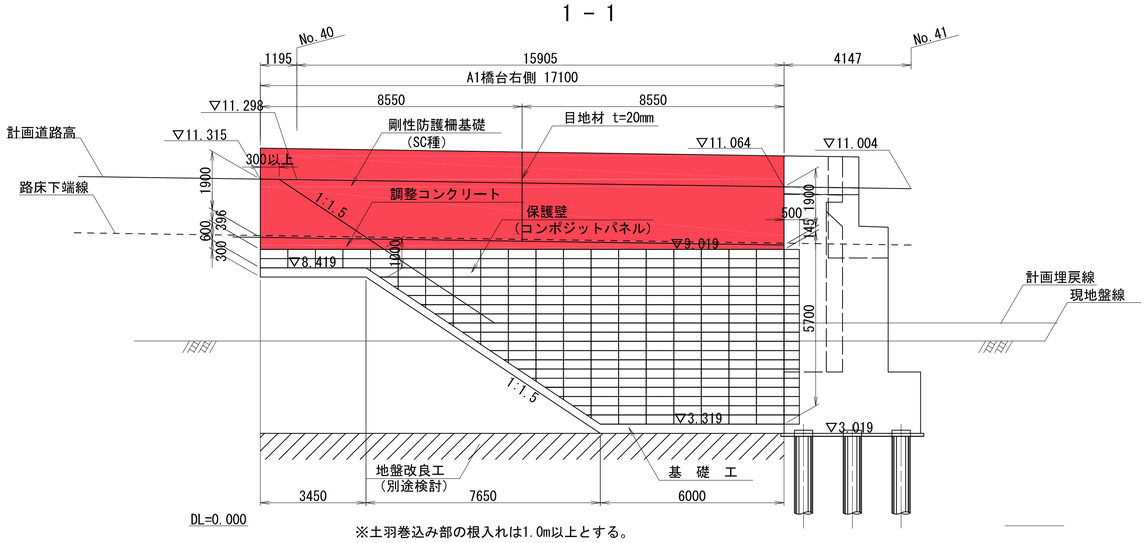
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	ＦＣＢ工一般図(田尻橋)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	54 / 134

ＦＣＢ工縦断図（Ａ１橋台側）

A1橋台右側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

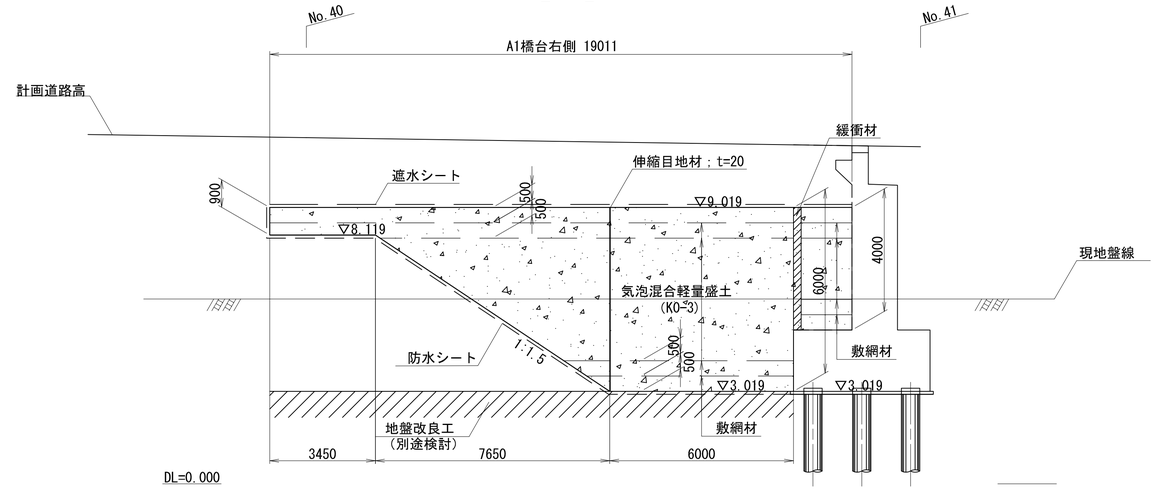
1 － 1



※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

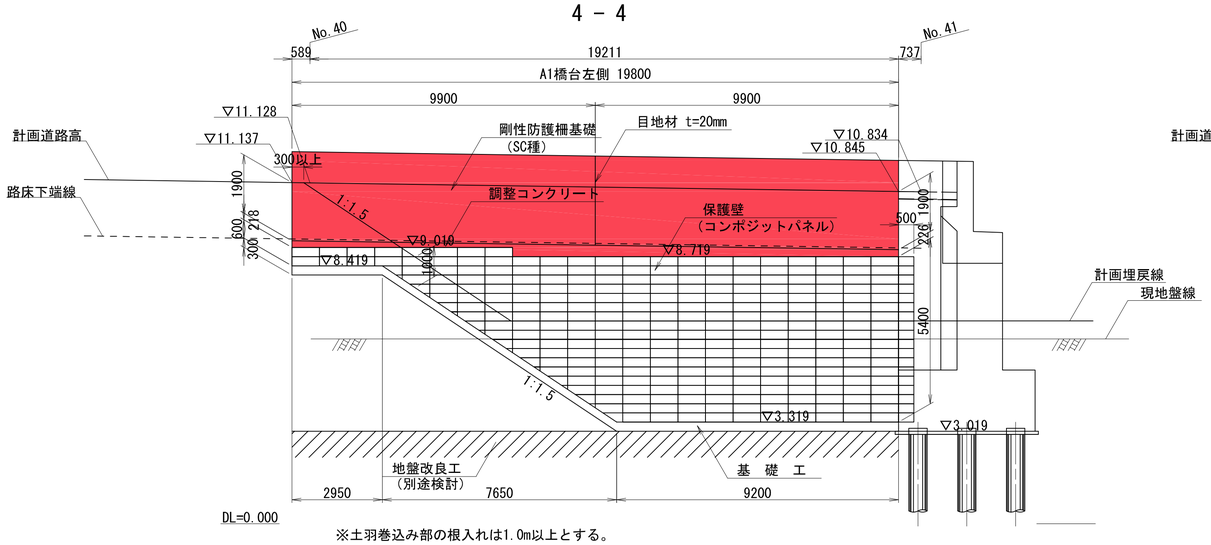
2 － 2



A1橋台左側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

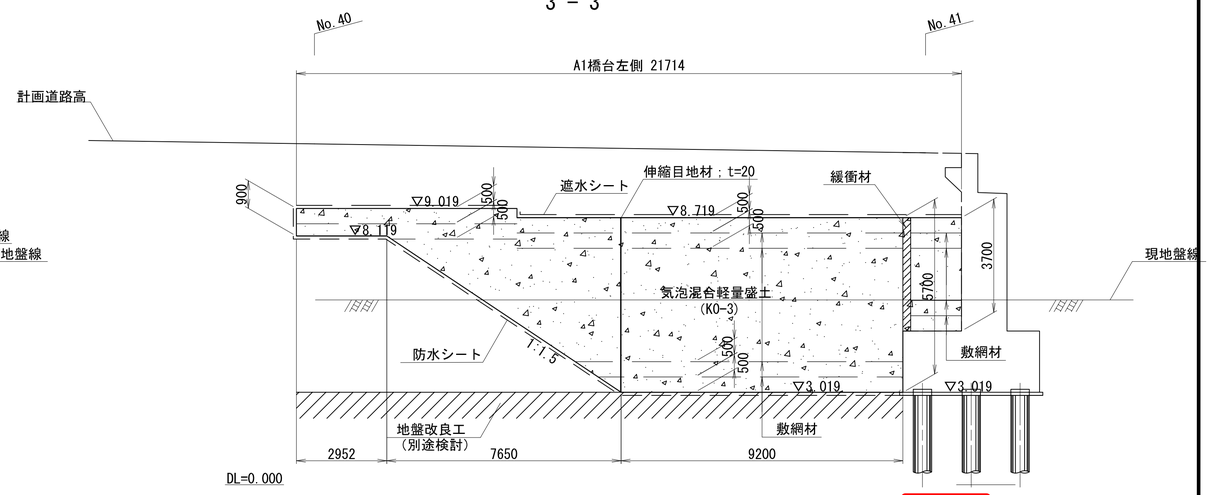
4 － 4



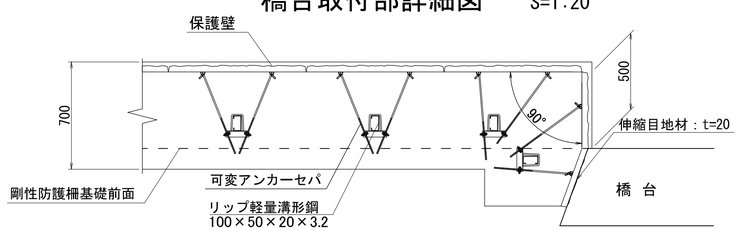
※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

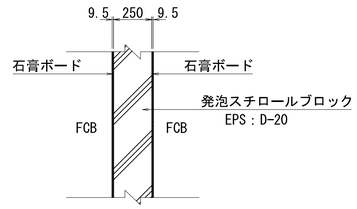
3 － 3



橋台取付部詳細図　S=1:20



緩衝材部詳細図 S=1:20



※　EPSは橋台への側圧防止、石膏ボードはFCB打設時の発熱に対してEPSを保護するために用いる。

実施

【４号橋】

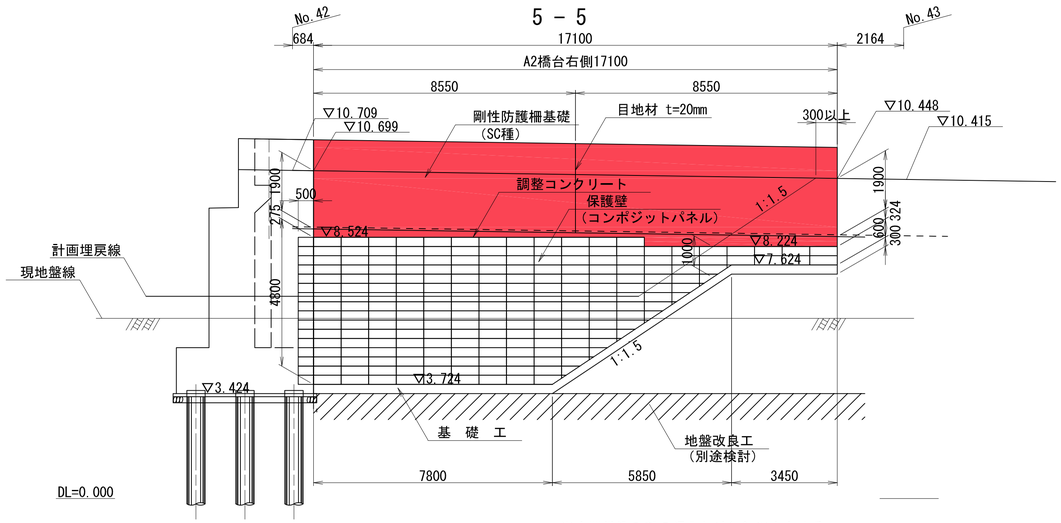
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	ＦＣＢ工縦断図（Ａ１橋台側）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	55 / 134

ＦＣＢ工縦断図（Ａ２橋台側）

A2橋台右側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

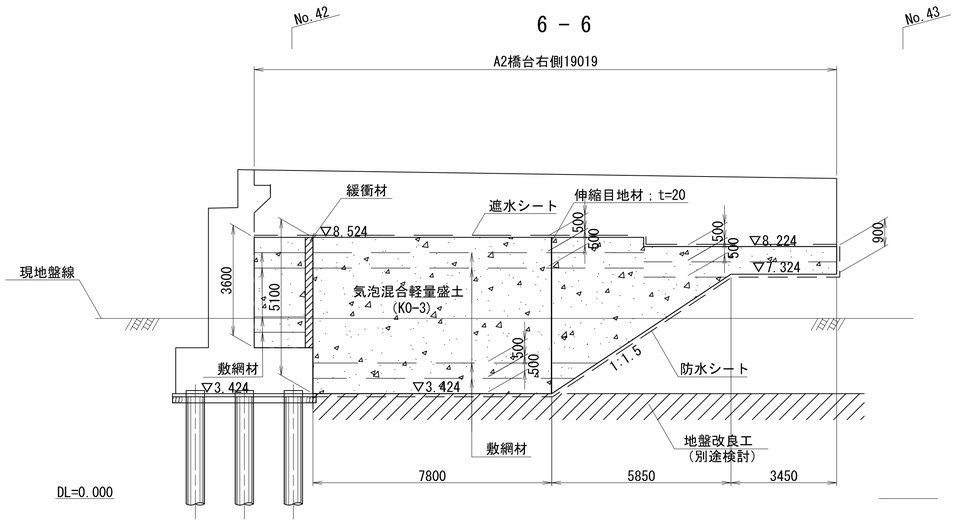
5 － 5



※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

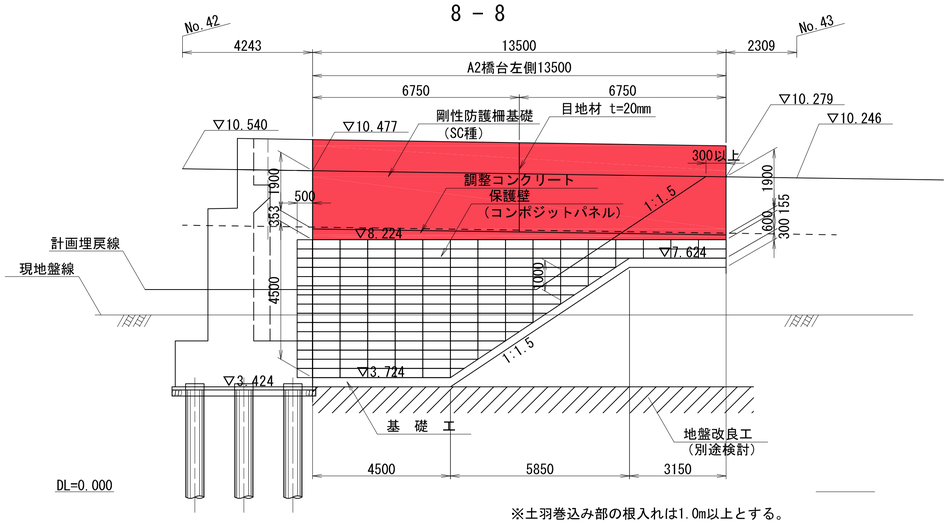
6 － 6



A2橋台左側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

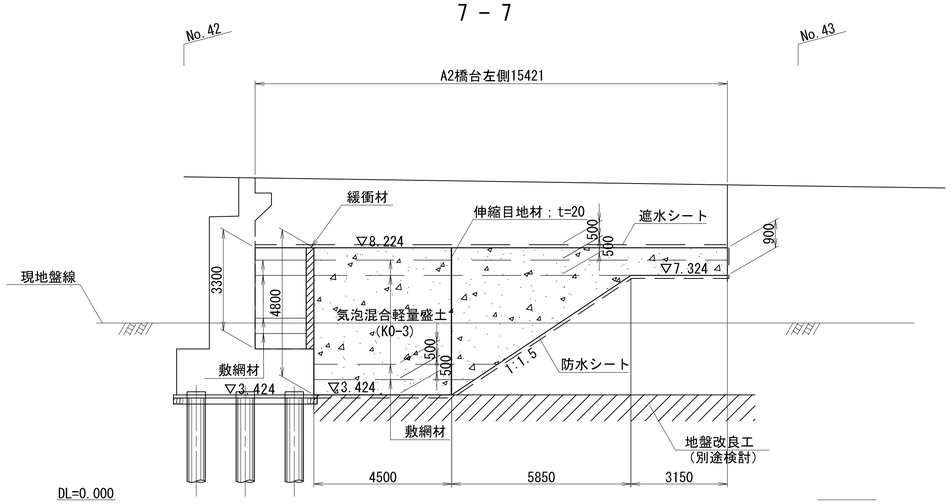
8 － 8



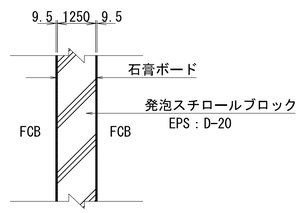
※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100

7 － 7

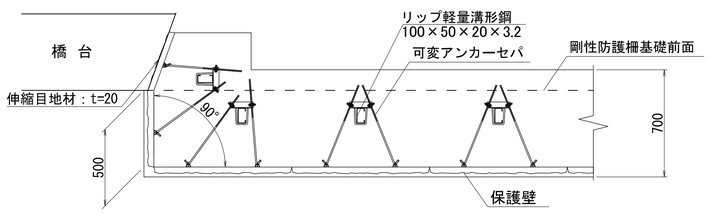


緩衝材部詳細図 S=1:20



※　EPSは橋台への側圧防止、石膏ボードはFCB打設時の発熱に対してEPSを保護するために用いる。

橋台取付部詳細図　S=1:20



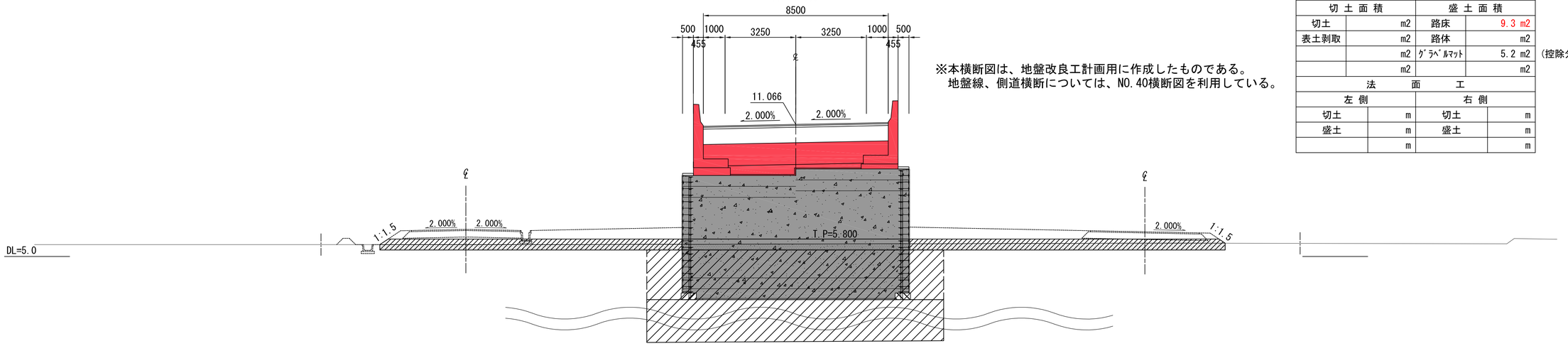
実施

【４号橋】

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	ＦＣＢ工縦断図（Ａ２橋台側）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	56 / 134

ＦＣＢ横断図（その１）

NO.40+10.0
(GH= 5.58)
FH=11.066

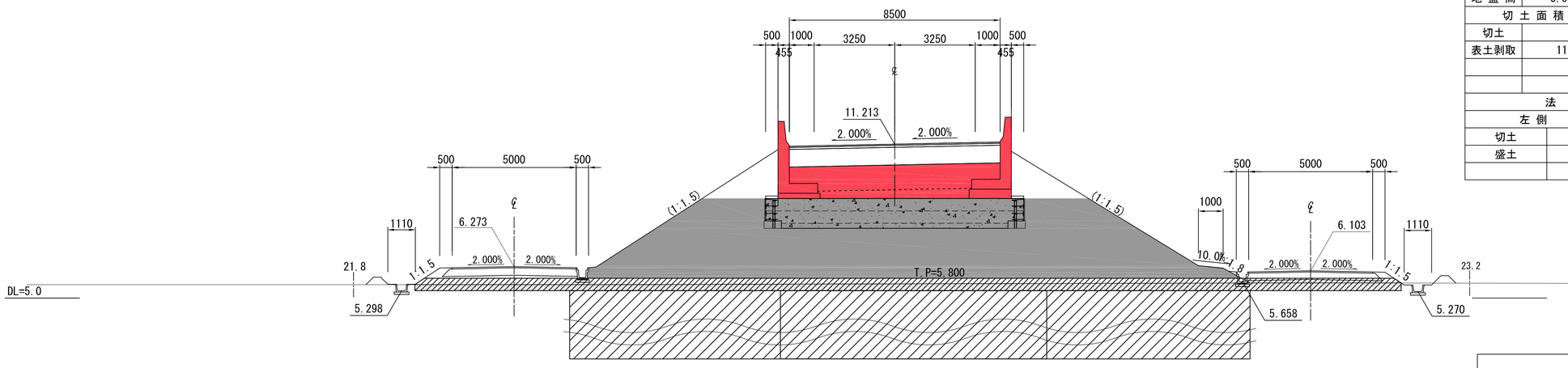


※本横断図は、地盤改良工計画用に作成したものである。
地盤線、側道横断については、NO.40横断図を利用している。

NO.40+10.0			
地盤高	(5.58)	設計高	11.066
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	9.3 m2
表土剥取	m2	路体	m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

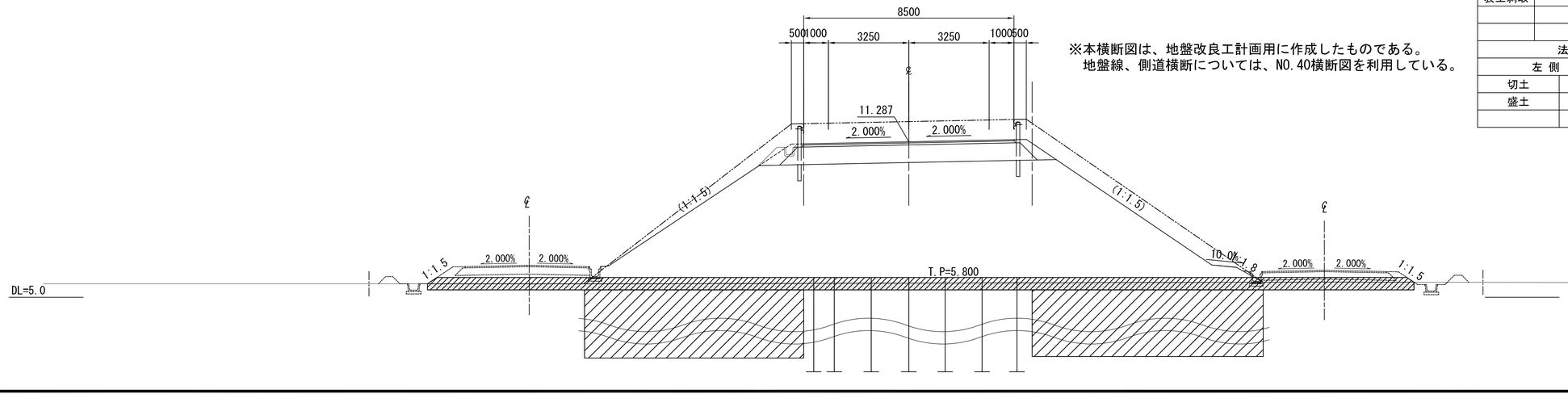
(控除分：FCB工部分)

NO.40
GH= 5.58
FH=11.213



NO.40			
地盤高	5.58	設計高	11.213
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	9.6 m2
表土剥取	11.0 m2	路体	124.3 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.8 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.39+15.0
(GH= 5.58)
FH=11.287



※本横断図は、地盤改良工計画用に作成したものである。
地盤線、側道横断については、NO.40横断図を利用している。

NO.39+15.0			
地盤高	(5.58)	設計高	11.287
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	m2	路体	114.6 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

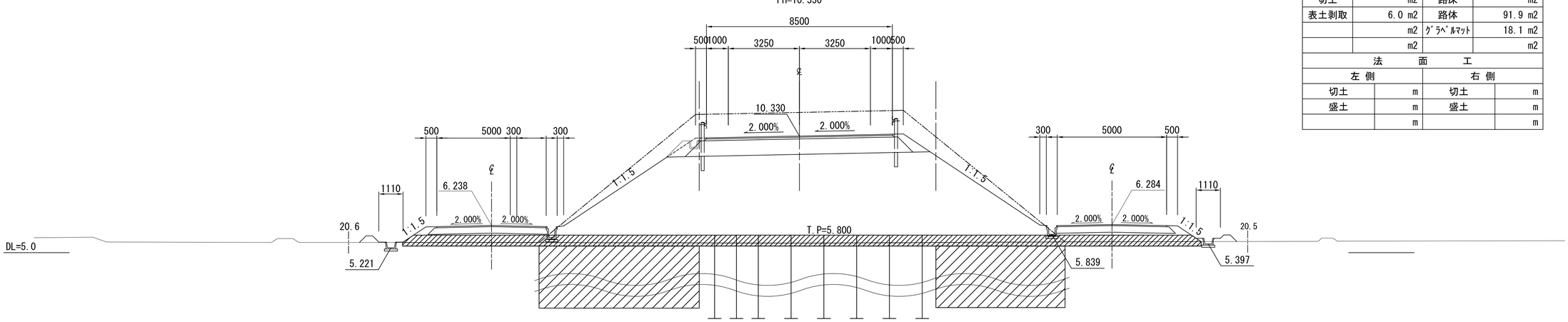
実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	ＦＣＢ横断図（その１）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	57 / 134

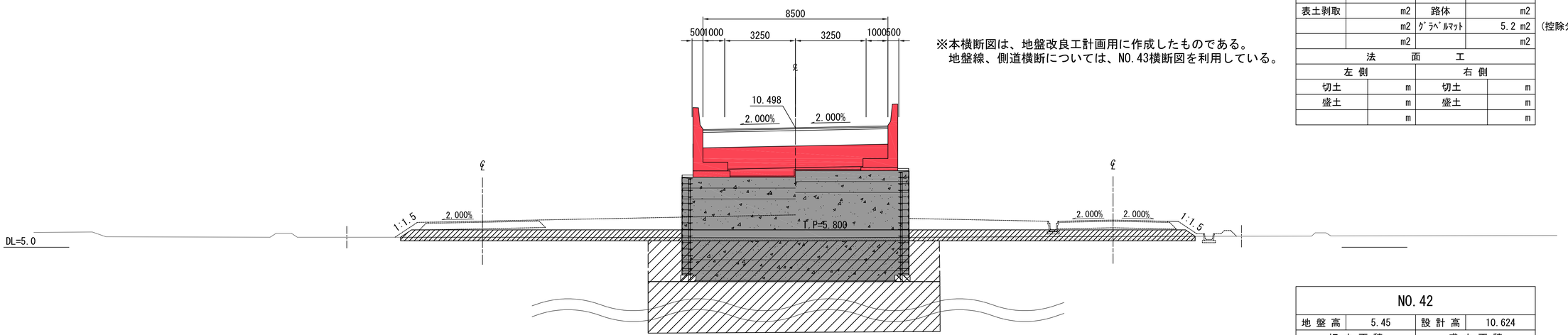
ＦＣＢ横断図（その２）

NO.43
GH= 5.44
FH=10.330



NO.43			
地盤高	5.44	設計高	10.330
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	6.0 m2	路体	91.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	18.1 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.42+8.6
(GH= 5.44)
FH=10.498

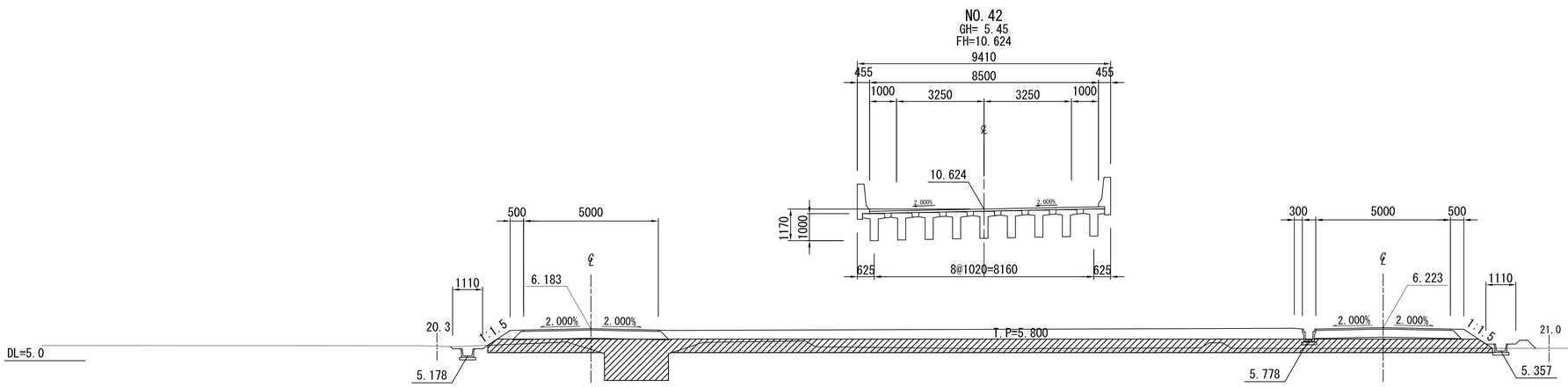


※本横断図は、地盤改良工計画用に作成したものである。
地盤線、側道横断については、NO.43横断図を利用している。

NO.42+8.6			
地盤高	(5.44)	設計高	10.498
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	9.1 m2
表土剥取	m2	路体	m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	5.2 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

（控除分：FCB工部分）

NO.42
GH= 5.45
FH=10.624



NO.42			
地盤高	5.45	設計高	10.624
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	7.4 m2	路体	0.0 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	21.0 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

実施

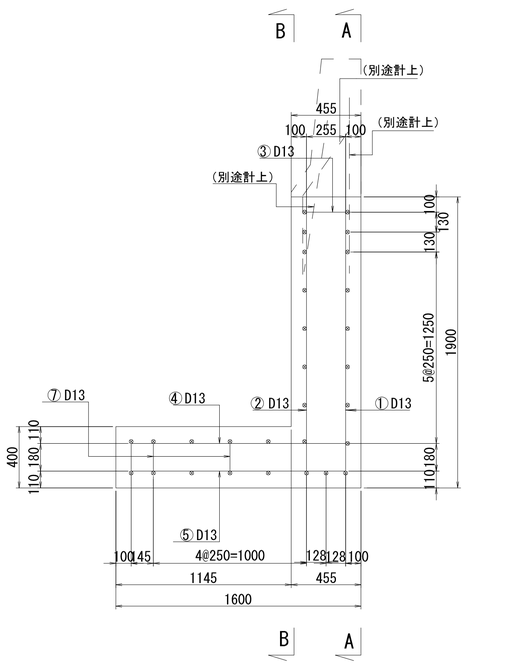
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	ＦＣＢ横断図（その２）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	58 / 134

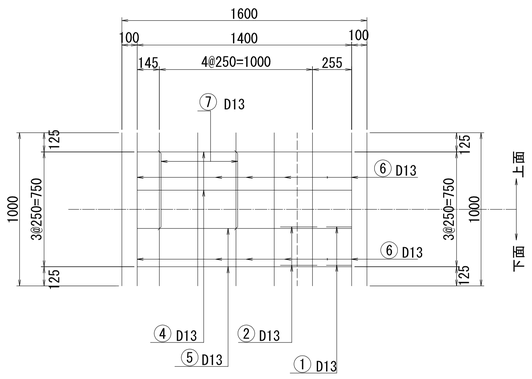
剛性防護柵基礎詳細図（ そ の １ ） S=1:20

剛性防護柵基礎工（SC種）

断　面　図

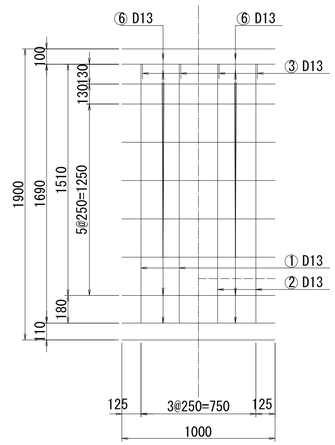


底　版



た　て　壁

前面　A-A　　背面　B-B

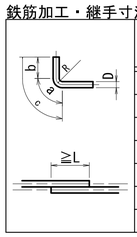


防護柵基礎工

100m当り

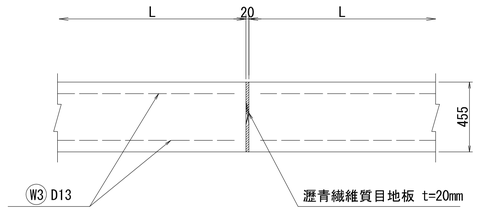
名　称	規　格	単 位	数　量	摘　要
コンクリート	24-8-25	m3	132	
型　枠		m2	380	
鉄　筋	SD345	kg	6310	
目 地 材	t=20mm	m2	13	

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

目地部詳細図



設 計 条 件

裏込土の種類	砂質土
標準設計での呼称	C2
内部摩擦角　：φ （度）	30
単位体積重量　：γs(kN/m3)	19
載荷荷重　：q(kN/m2)	10.0
衝突荷重(剛性SC種)：P(kN)	35.0
設計水平震度　：kh	0.24

材 料 強 度

コンクリート	
設計基準強度	24 N/mm2
許容曲げ圧縮応力度	8 N/mm2
許容せん断応力度	0.39 N/mm2
許容付着応力度	1.6 N/mm2
骨材の最大寸法	25 mm
鉄　筋（SD345）	
許容引張応力度	180 N/mm2
降状点応力度	345 N/mm2

実 施

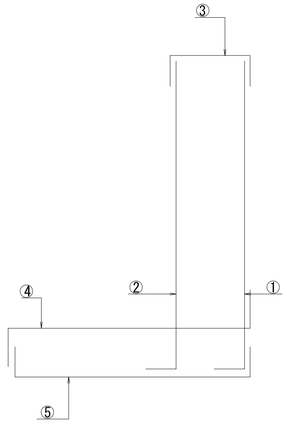
【４号橋】

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図　名	剛性防護柵基礎詳細図(その1) 剛性防護柵基礎工（SC種）		
縮　尺	図　示	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	59 / 134

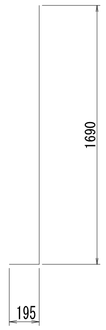
剛性防護柵基礎詳細図（ そ の ２ ）

剛性防護柵基礎工（SC種）

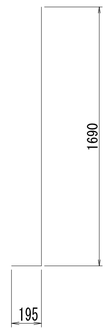
鉄筋組立図



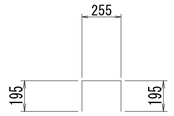
① 4 － D13x 1890



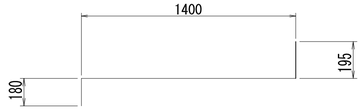
② 4 － D13x 1890



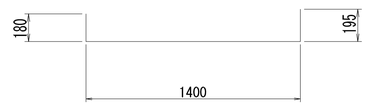
③ 4 － D13x 650



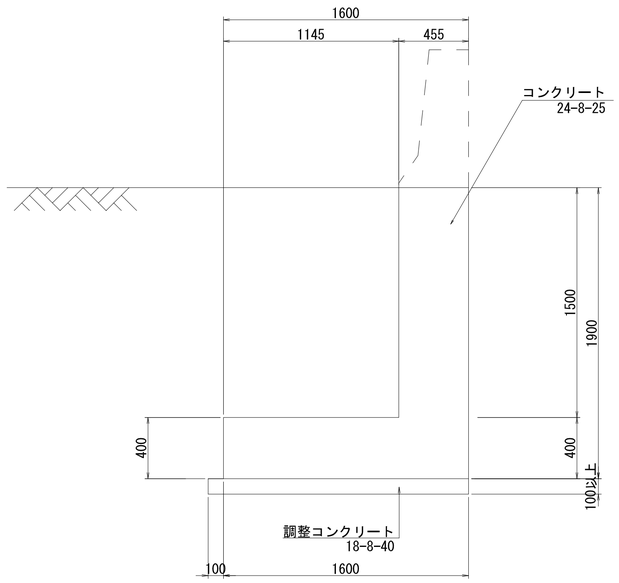
④ 4- D13x 1780



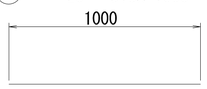
⑤ 4 － D13x 1780



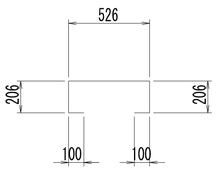
剛性防護柵基礎工断面図



⑥ 29 － D13x 1000



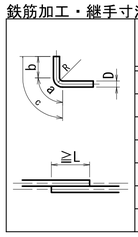
⑦ 2 － D13x 1140



鉄 筋 重 量 表　　1.0m 当り

記号	径	長さ L	本数	単位重量	1本当り 重量	重量	摘要
①	D13	1890	4	0.995	1.88	7.5	
②	〃	1890	4	〃	1.88	7.5	
③	〃	650	4	〃	0.65	2.6	
④	〃	1780	4	〃	1.77	7.1	
⑤	〃	1780	4	〃	1.77	7.1	
⑥	〃	1000	29	〃	1.00	29.0	
⑦	〃	1140	2	〃	1.13	2.3	
					小 計 D13	63.1	kg
					合 計	63.1	kg

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

実 施

【４号橋】

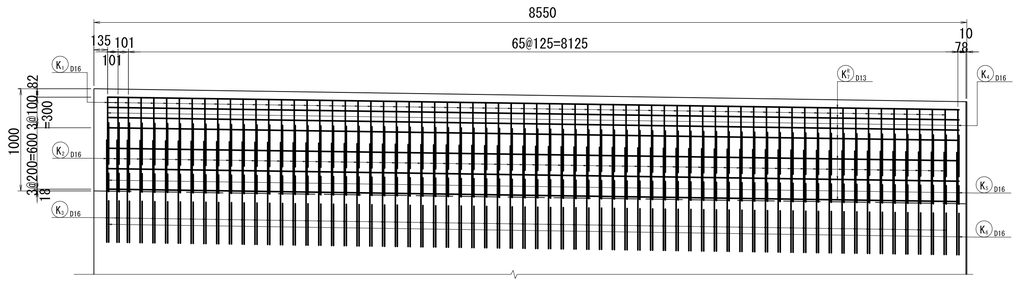
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図(その2) 剛性防護柵基礎工（SC種）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	60 / 134

剛性防護柵基礎詳細図（ そ の ３ ）

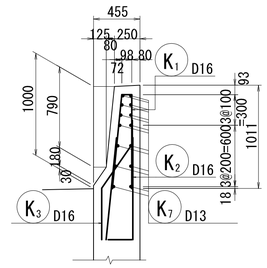
剛性防護柵基礎工（SC種）

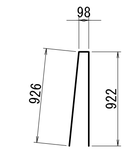
L=8550

側 面 図 S=1:30

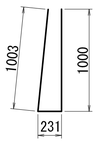


断 面 図 S=1:30

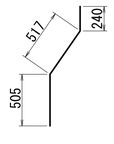




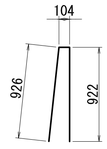
K1 68-D16 X 1940



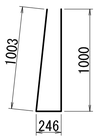
K2 68-D16 X 2230



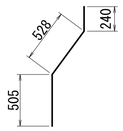
K3 68-D16 X 1260



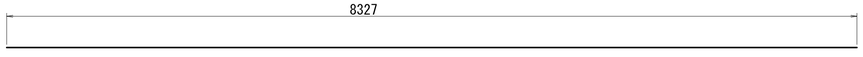
K4 2-D16 X 1950



K5 2-D16 X 2250



K6 2-D16 X 1270



K7 14-D13 X 8320

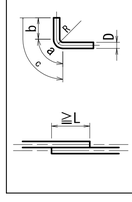
鉄 筋 表

1ブロック(8.55m)当り

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
K 1	D16	1940	68	1.56	3.03	206	
2	〃	2230	68	〃	3.48	237	
3	〃	1260	68	〃	1.97	134	
4	〃	1950	2	〃	3.04	6	
5	〃	2250	2	〃	3.51	7	
6	〃	1270	2	〃	1.98	4	
7	D13	8320	14	0.995	8.29	116	
				D16		594 kg	
				D13		116 kg	
				合計		710 kg	
				1.0m当り		83 kg	

※壁高欄主鉄筋の躯体への定着長は
31.25φ【200 /(4×1.6)】=500とする。

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

実 施

【４号橋】

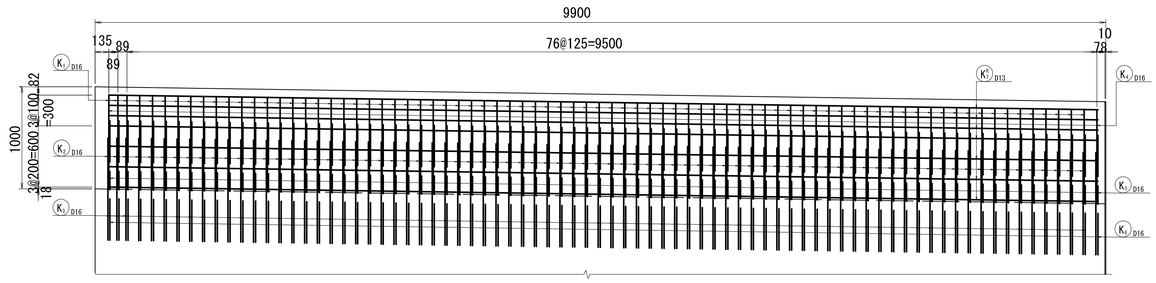
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図(その3) 剛性防護柵基礎工（SC種）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	61 / 134

剛性防護柵基礎詳細図（ そ の ４ ）

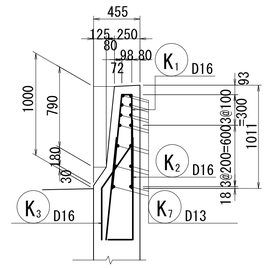
剛性防護柵基礎工（SC種）

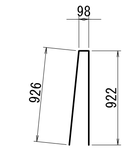
L=9900

側 面 図 S=1:30

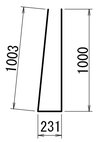


断 面 図 S=1:30

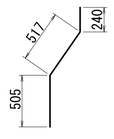




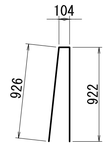
K_1 79-D16 X 1940



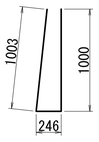
K_2 79-D16 X 2230



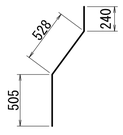
K_3 79-D16 X 1260



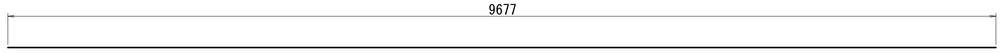
K_4 2-D16 X 1950



K_5 2-D16 X 2250



K_6 2-D16 X 1270



K_7 14-D13 X 9670

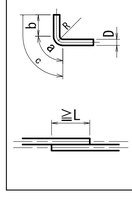
鉄 筋 表

1ブロック(9.9m)当り

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
K 1	D16	1940	79	1.56	3.03	239	
2	〃	2230	79	〃	3.48	275	
3	〃	1260	79	〃	1.97	156	
4	〃	1950	2	〃	3.04	6	
5	〃	2250	2	〃	3.51	7	
6	〃	1270	2	〃	1.98	4	
7	D13	9670	14	0.995	9.62	135	
				D16		687 kg	
				D13		135 kg	
				合計		822 kg	
				1.0m当り		83 kg	

※壁高欄主鉄筋の躯体への定着長は
31.25φ【200 /(4×1.6)】=500とする。

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

実 施

【４号橋】

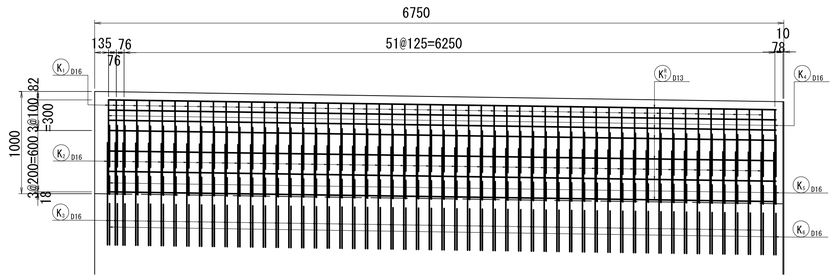
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図(その4) 剛性防護柵基礎工 (SC種)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	62 / 134

剛性防護柵基礎詳細図（ そ の ５ ）

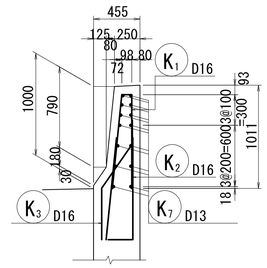
剛性防護柵基礎（SC種）

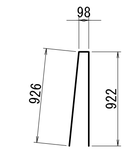
L=6750

側 面 図 S=1:30

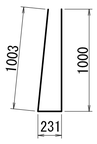


断 面 図 S=1:30

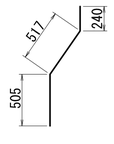




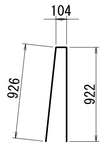
K1 54-D16 X 1940



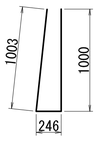
K2 54-D16 X 2230



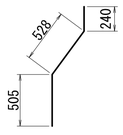
K3 54-D16 X 1260



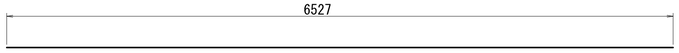
K4 2-D16 X 1950



K5 2-D16 X 2250



K6 2-D16 X 1270



K7 14-D13 X 6520

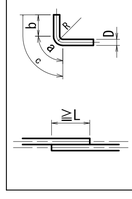
鉄 筋 表

1ブロック(6.75m)当り

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
K 1	D16	1940	54	1.56	3.03	164	
2	〃	2230	54	〃	3.48	188	
3	〃	1260	54	〃	1.97	106	
4	〃	1950	2	〃	3.04	6	
5	〃	2250	2	〃	3.51	7	
6	〃	1270	2	〃	1.98	4	
7	D13	6520	14	0.995	6.49	91	
				D16		475 kg	
				D13		91 kg	
				合計		566 kg	
				1.0m当り		83 kg	

※壁高欄主鉄筋の躯体への定着長は
31.25φ【200 /(4×1.6)】=500とする。

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

実 施

【４号橋】

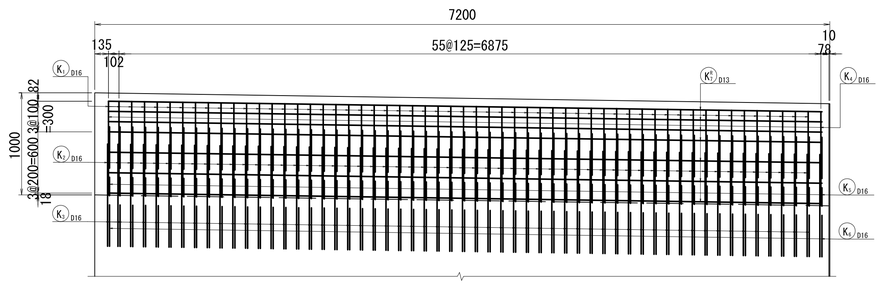
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図(その5) 剛性防護柵基礎工 (SC種)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	63 / 134

剛性防護柵基礎詳細図（ そ の ６ ）

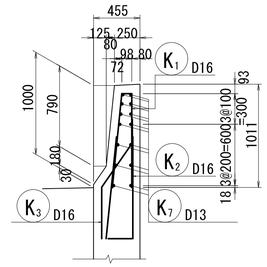
剛性防護柵基礎工（SC種）

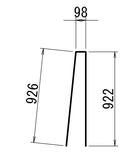
L=7200

側 面 図 S=1:30

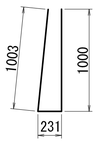


断 面 図 S=1:30

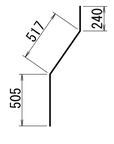




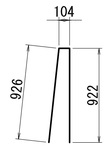
K1 57-D16 X 1940



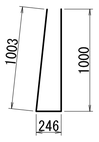
K2 57-D16 X 2230



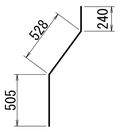
K3 57-D16 X 1260



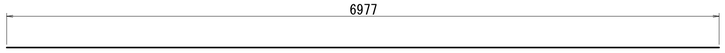
K4 2-D16 X 1950



K5 2-D16 X 2250



K6 2-D16 X 1270



K7 14-D13 X 6970

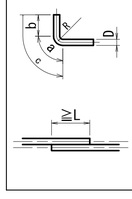
鉄 筋 表

1ブロック(7.2m)当り

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
K 1	D16	1940	57	1.56	3.03	173	
2	〃	2230	57	〃	3.48	198	
3	〃	1260	57	〃	1.97	112	
4	〃	1950	2	〃	3.04	6	
5	〃	2250	2	〃	3.51	7	
6	〃	1270	2	〃	1.98	4	
7	D13	6970	14	0.995	6.94	97	
				D16		500 kg	
				D13		97 kg	
				合計		597 kg	
				1.0m当り		83 kg	

※壁高欄主鉄筋の躯体への定着長は
31.25φ【200 /(4×1.6)】=500とする。

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

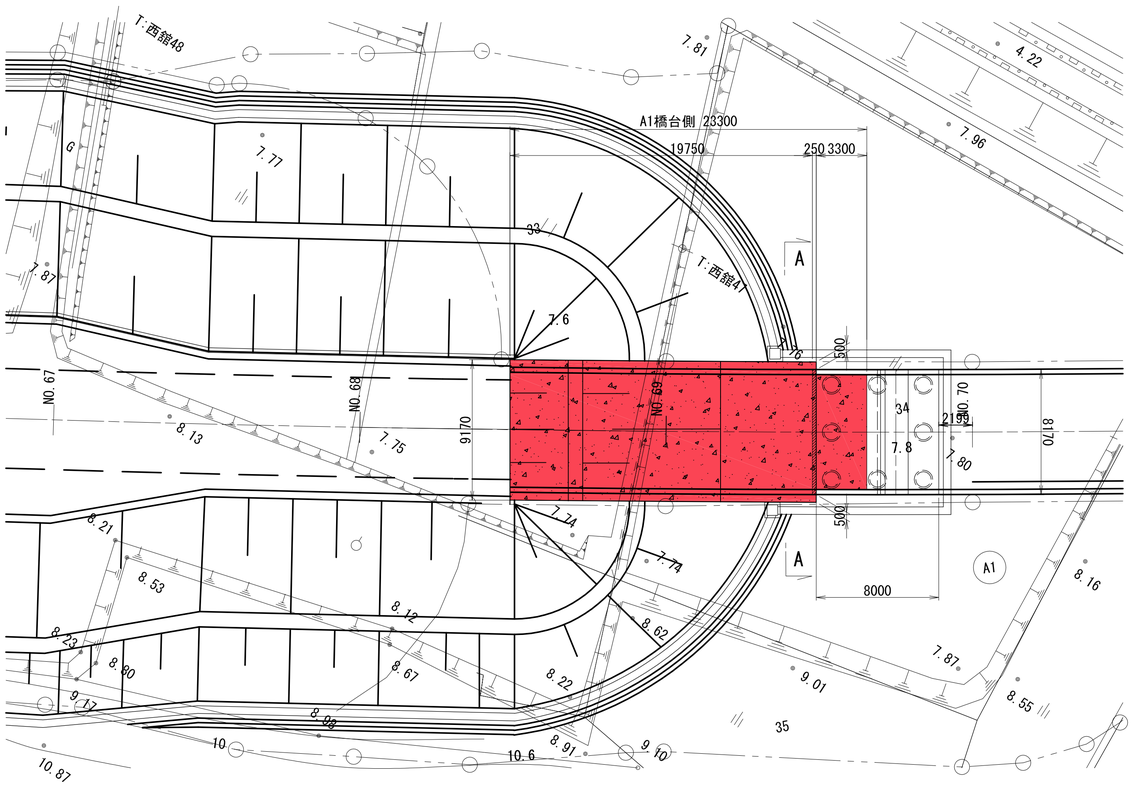
実 施

【４号橋】

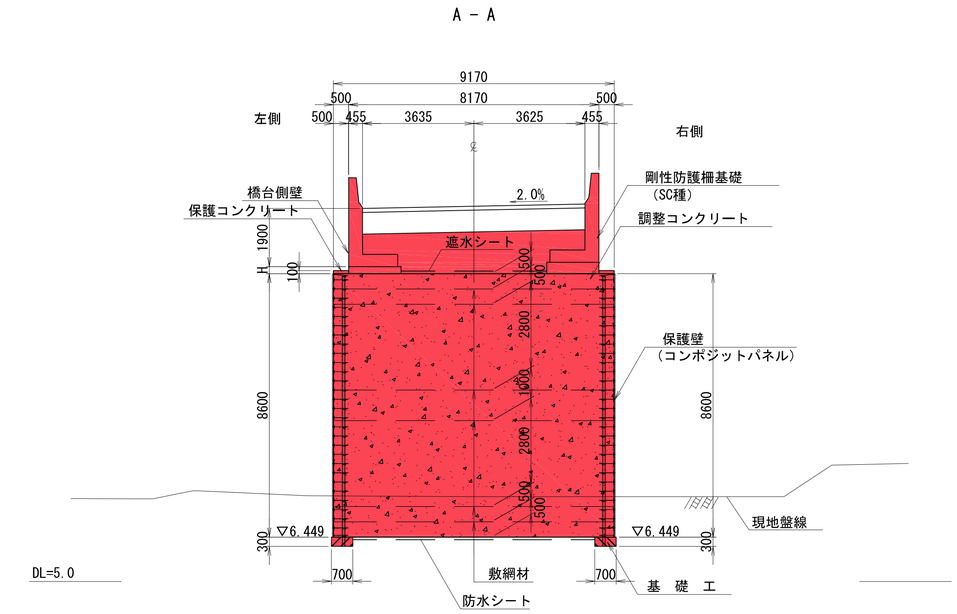
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図(その6) 剛性防護柵基礎工（SC種）		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	64 / 134

A1橋台側　FCB工一般図

FCB工　平面図　S=1:200



FCB工　標準断面図　S=1:100



NEXCO暫定配合表

フロー値(180mm)

配合	一軸圧縮強度 qu (kN/m²)	空気量 (%)	水セメント比 w/c (%)	砂セメント比 s/c	セメント c (kg/m3)	砂 s (kg/m3)	起泡剤 (L)	起泡剤 m1 (kg/m3)	希釈水 m2 (kg/m3)	混練水 m3 (kg/m3)	水量 m1+m2+m3 (kg/m3)	湿潤密度 (生比重) (g/cm3)	単位体積重量 (kN/m3)
KO-5	500	64.0	88.0	0	298	0	1.11	1.11	25.53	235	262	0.56	5.5

ＦＣＢ工法　設計条件			
ＦＣＢ の 高 さ		Hmax＝ 8.600m	
ＦＣＢ の 配 合		KO-5	
設 計 水 平 震 度		レベル2･Ⅱ種地盤-A地域：kh＝0.20	
安全率		常　　時	地　震　時
	ＦＣＢの強度に対して	3.0	
	滑動に対して	1.25	1.00
	転倒に対して	e≦B/6	e≦B/3
	支持力に対して（傾斜地盤）	3.00	2.00
衝突荷重		SC種（35kN）	

地盤改良設計基準強度（参考）	
A1橋台側	107kN/m2×3.0(常時安全率)≒330kN/m2以上

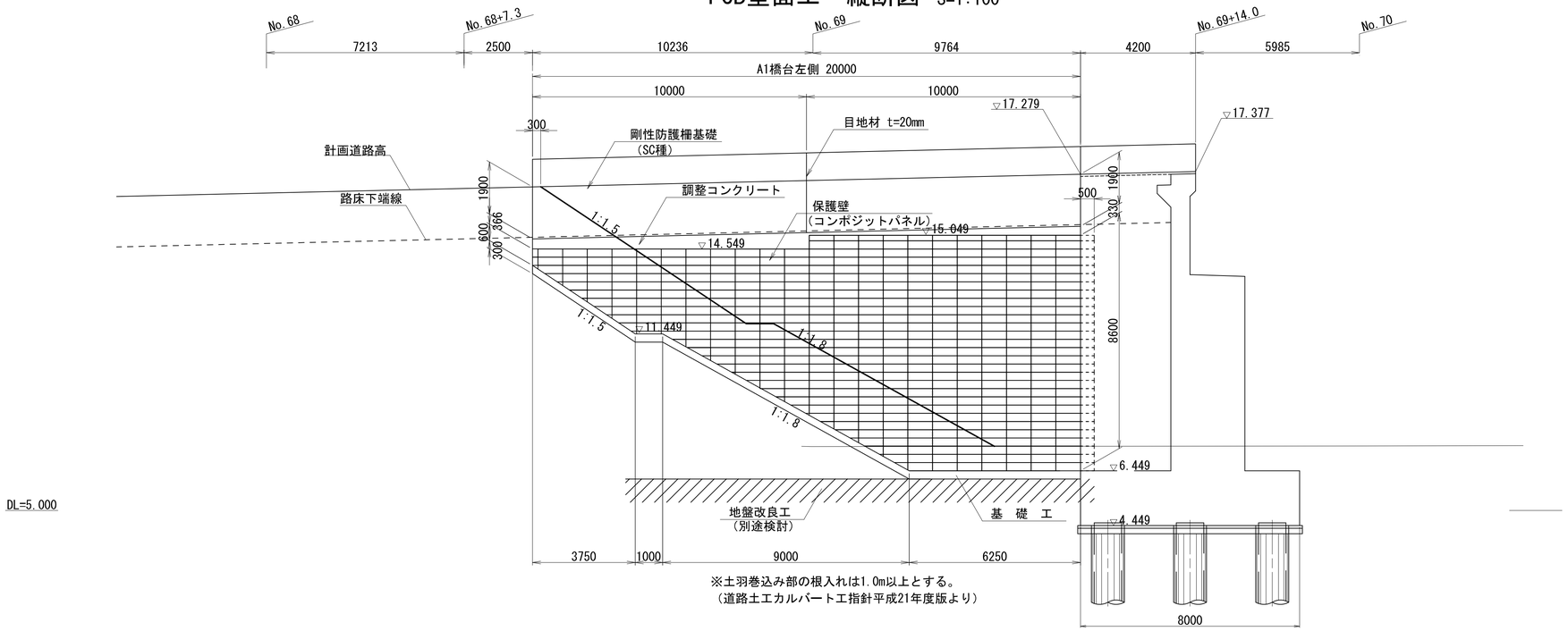
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	A1橋台 FCB工一般図		
縮尺	1:200,1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	65 / 134

A1橋台側　FCB工縦断図（その１）

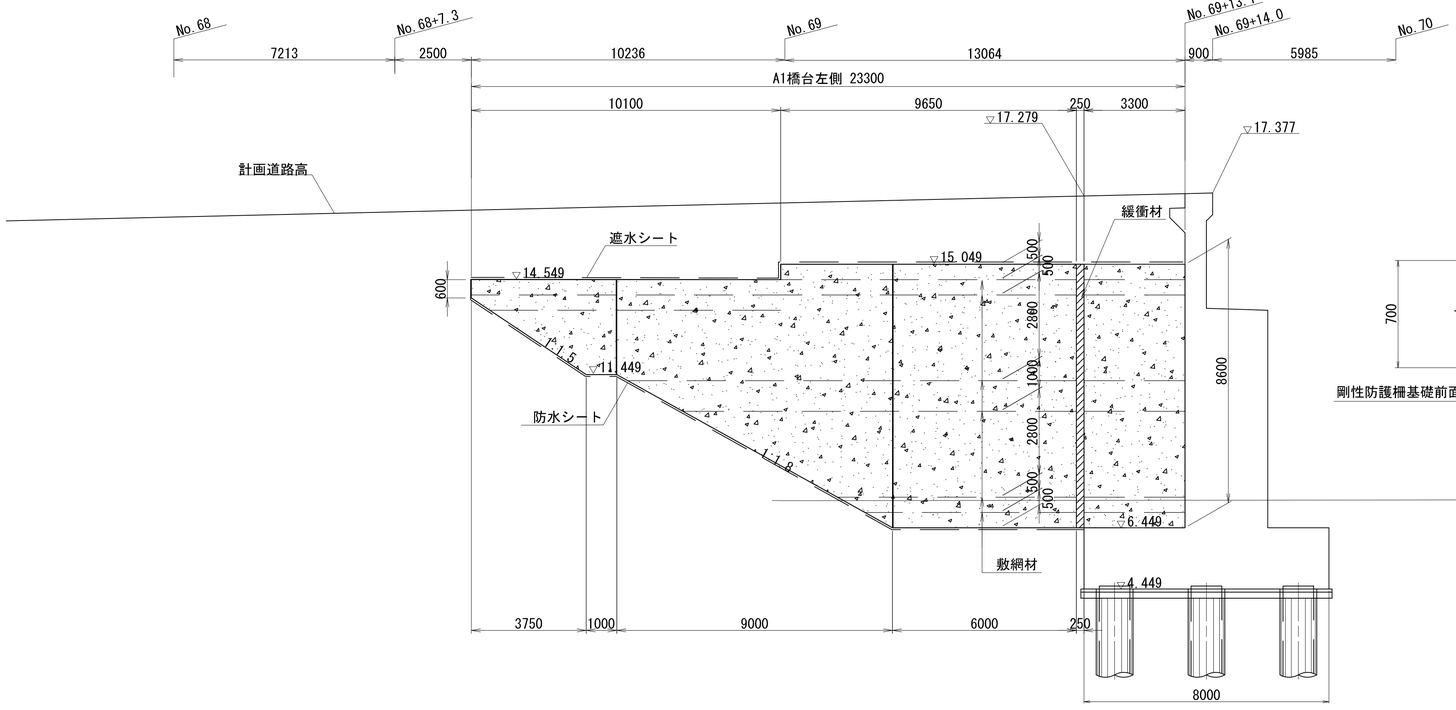
A1橋台左側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

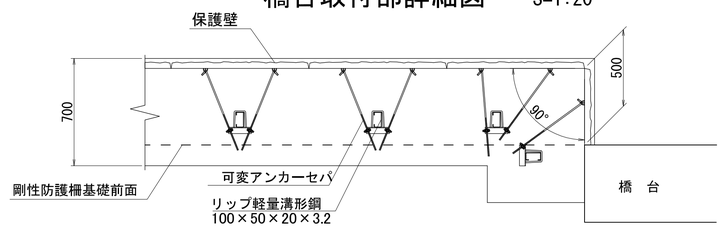


※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100



橋台取付部詳細図 S=1:20



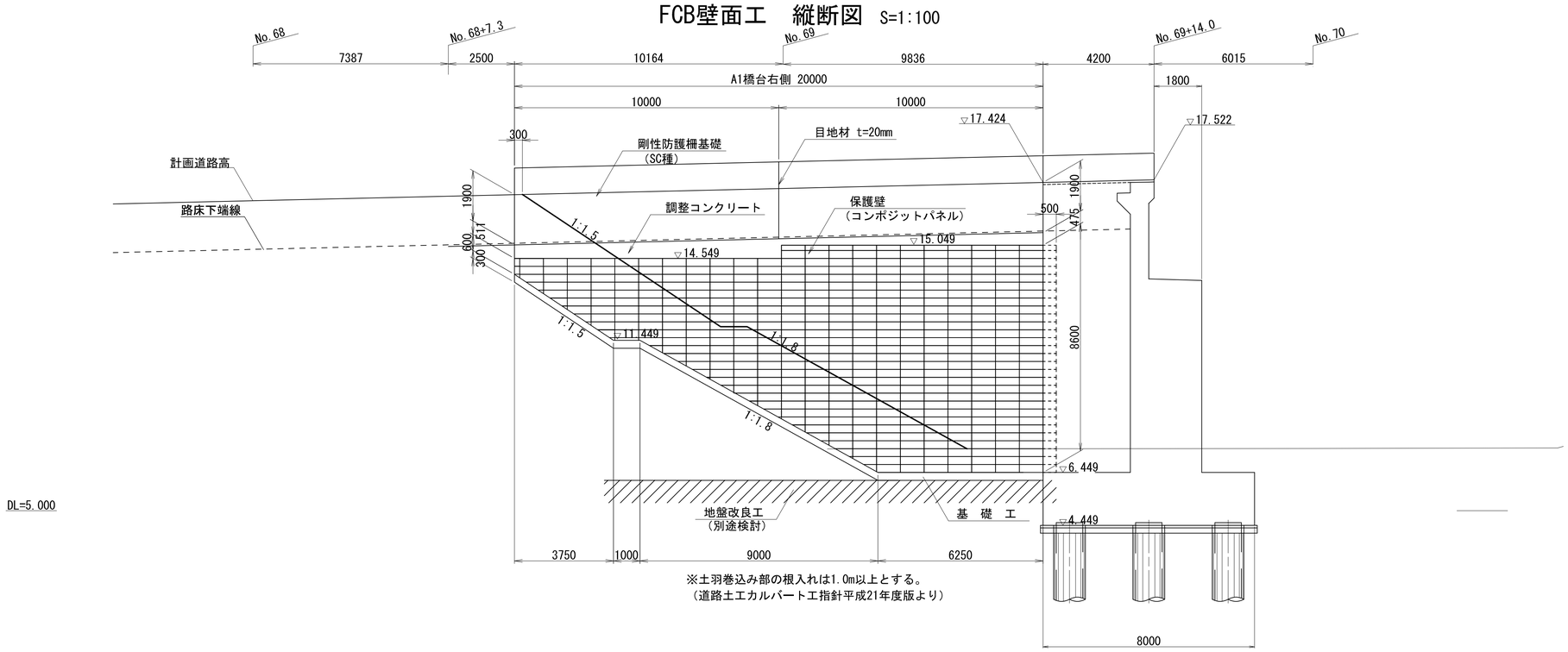
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	A1橋台 FCB工縦断図（その１）		
縮尺	1:100, 1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	66 / 134

A1橋台側　FCB工縦断図（その２）

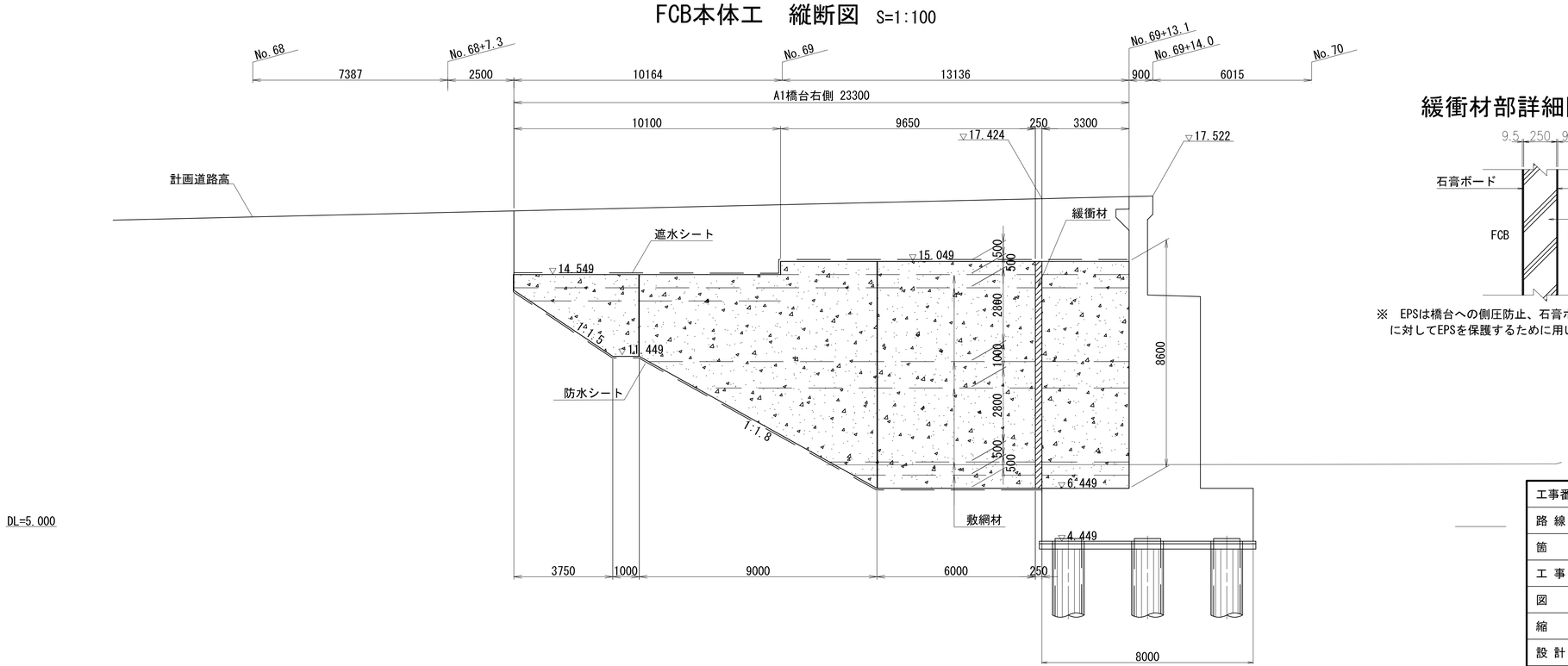
A1橋台右側

FCB壁面工　縦断図 S=1:100

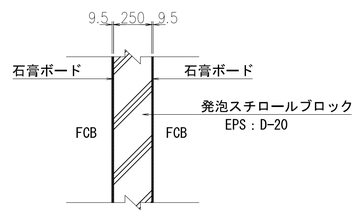


※土羽巻込み部の根入れは1.0m以上とする。
（道路土工カルバート工指針平成21年度版より）

FCB本体工　縦断図 S=1:100



緩衝材部詳細図 S=1:20



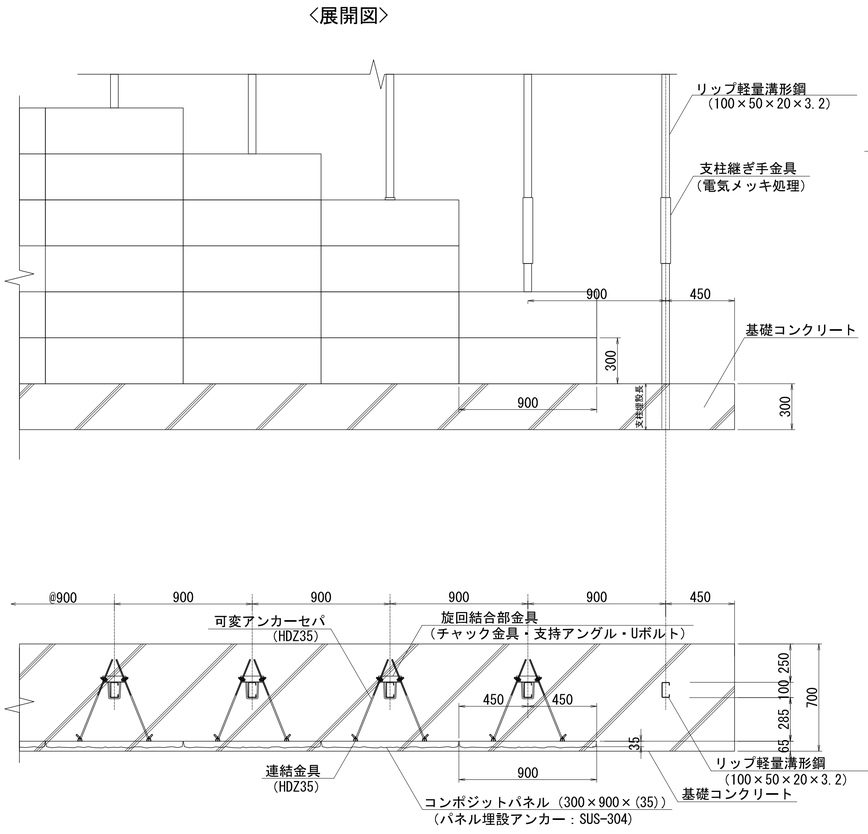
※　EPSは橋台への側圧防止、石膏ボードはFCB打設時の発熱に対してEPSを保護するために用いる。

実施

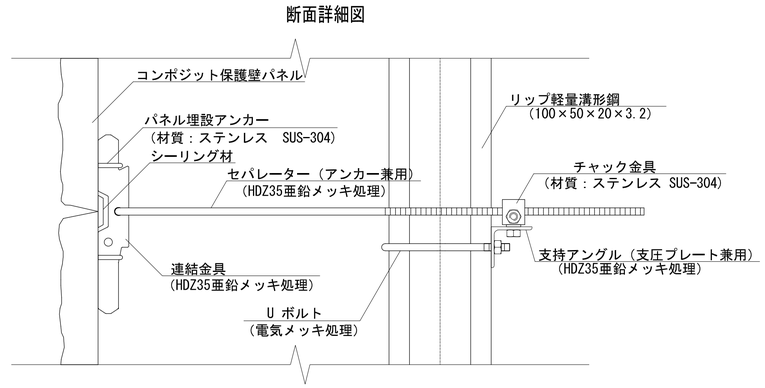
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	A1橋台 FCB工縦断図（その２）		
縮尺	1:100,1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	67 / 134

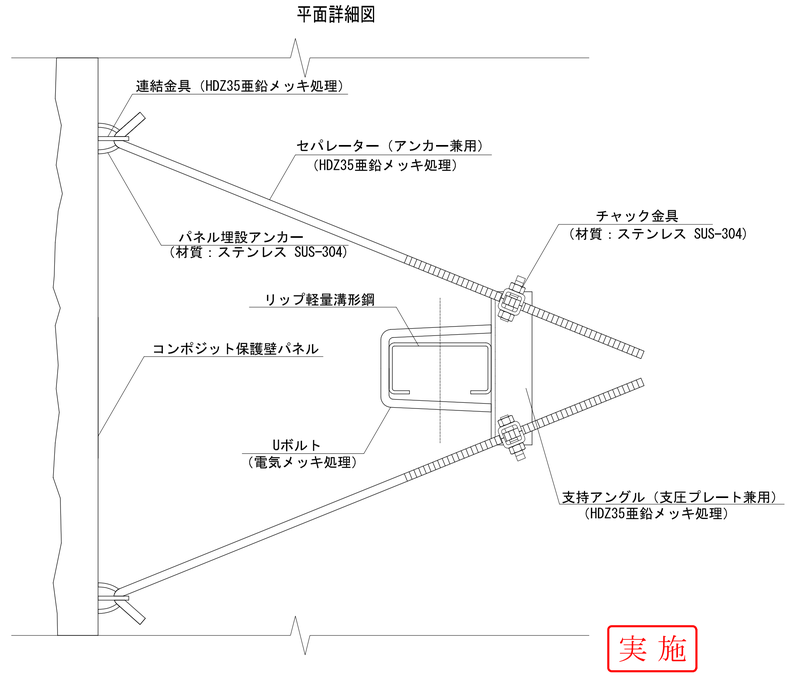
FCB工　壁面部詳細図

ＦＣＢ壁面材設置工標準図 S=1:20



ＦＣＢ壁面材詳細図 S=1:2





材料表

保護壁

（1.00m2当たり）

品名	形状・寸法	単位	数量	壁面部材数量計算式(延長20m*高さ5m=100m2を基本とする)
①コンポジット保護壁パネル	300×900×（35）	枚	3.70	1.0/(0.3*0.9)
②可変アンカーセパ・連結金具	亜鉛メッキ（HDZ 35）	set	8.00	{壁面数量(m2)/0.27m2(1枚)*2組+施工延長(m)/0.45(m)}*1.02(ロス)
③旋回結合金具	チャック金具（SUS -304） 支持アングル（HDZ 35）	set	4.00	②数量/2
④支柱継手金具	電気亜鉛メッキ	set	0.37	1m(延長)/0.9(支柱設置間隔)*壁面数量(m2)/3.0(継手間隔)
⑤リップ軽量溝形鋼	100×50×20×3.2t	kg	6.80	{1m/0.9m*壁面数量(m2)+施工延長(m)/0.9m*0.3m(根入長)}*5.5kg/m*1.05(ロス)
⑥目地シーリング材	シリコンコーキング	ℓ	0.66	1m2当たり0.66ℓ(0.33ℓ*2本)使用

〈特記事項〉

「ＦＣＢ工法設計・施工要領」（平成19年1月）を遵守するものとし、構造部材は、溶融亜鉛めっき（HDZ35）以上の防錆処理またはステンレス鋼材（SUS-304）を使用する。

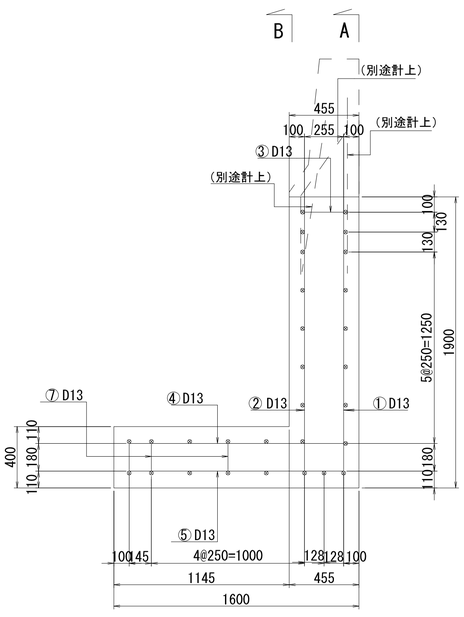
実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	FCB工　壁面部詳細		
縮尺	1:20,1:2	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	68 / 134

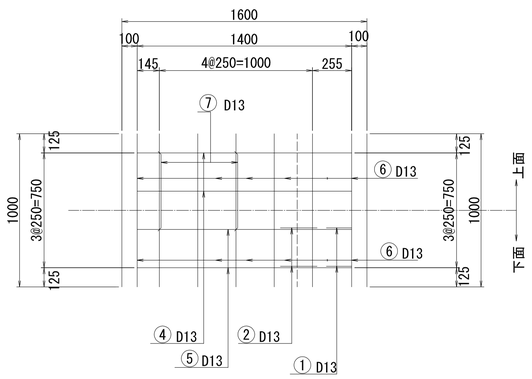
剛性防護柵基礎詳細図(その1) S=1:20

剛性防護柵基礎工 (SC種)

断 面 図

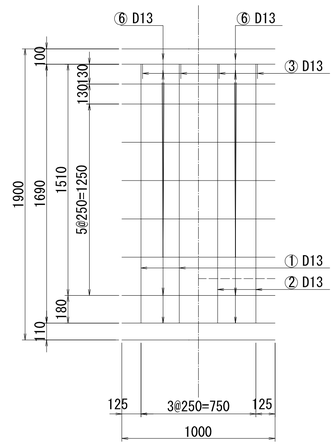


底 版



た て 壁

前面 A-A　　背面 B-B

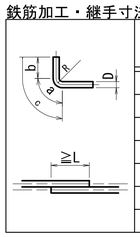


防護柵基礎工

100m当り

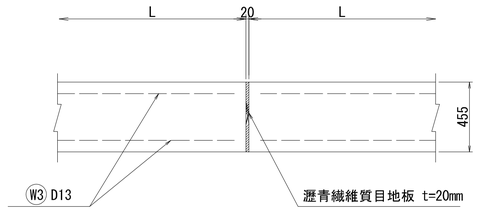
名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
コンクリート	24-8-25	m3	132	
型 枠		m2	380	
鉄 筋	SD345	kg	6310	
目 地 材	t=20mm	m2	13	

鉄筋加工・継手寸法表 (参考)



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

目地部詳細図



設 計 条 件

裏込土の種類		砂質土
標準設計での呼称		C2
内部摩擦角	:φ (度)	30
単位体積重量	:γs(kN/m3)	19
載荷荷重	:q(kN/m2)	10.0
衝突荷重(剛性SC種):P(kN)		35.0
設計水平震度:kh	A1橋台側	0.20
	A2橋台側	0.24

材 料 強 度

コンクリート	
設計基準強度	24 N/mm2
許容曲げ圧縮応力度	8 N/mm2
許容せん断応力度	0.39 N/mm2
許容付着応力度	1.6 N/mm2
骨材の最大寸法	25 mm
鉄 筋 (SD345)	
許容引張応力度	180 N/mm2
降状点応力度	345 N/mm2

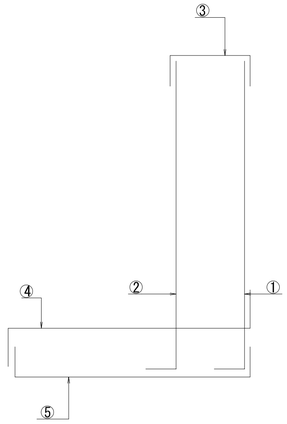
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図 (その1)		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	69 / 134

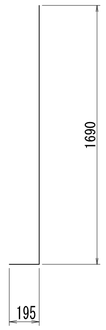
剛性防護柵基礎詳細図(その2)　S=1:20

剛性防護柵基礎工（SC種）

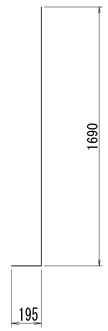
鉄筋組立図



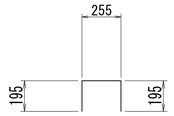
① 4 - D13x 1890



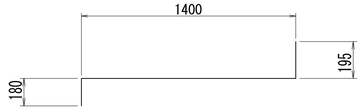
② 4 - D13x 1890



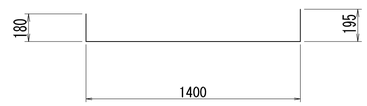
③ 4 - D13x 650



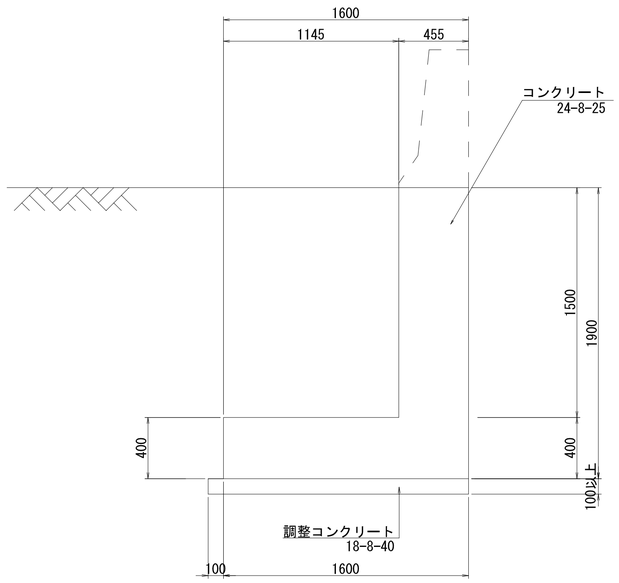
④ 4- D13x 1780



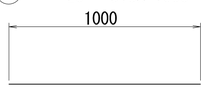
⑤ 4 - D13x 1780



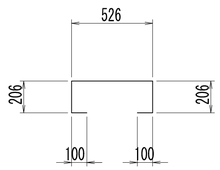
剛性防護柵基礎工断面図



⑥ 29 - D13x 1000



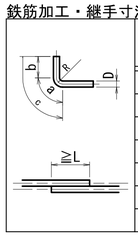
⑦ 2 - D13x 1140



鉄　筋　重　量　表　　1.0m 当り

記号	径	長さ L	本数	単位重量	1本当り 重量	重　量	摘　要
①	D13	1890	4	0.995	1.88	7.5	
②	〃	1890	4	〃	1.88	7.5	
③	〃	650	4	〃	0.65	2.6	
④	〃	1780	4	〃	1.77	7.1	
⑤	〃	1780	4	〃	1.77	7.1	
⑥	〃	1000	29	〃	1.00	29.0	
⑦	〃	1140	2	〃	1.13	2.3	
					小　計　D13	63.1	kg
					合　計	63.1	kg

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

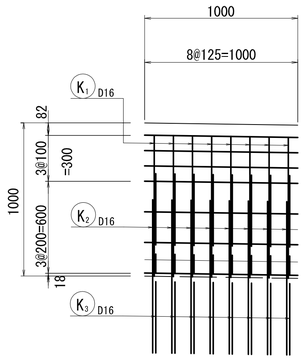
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図（その２）		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	70 / 134

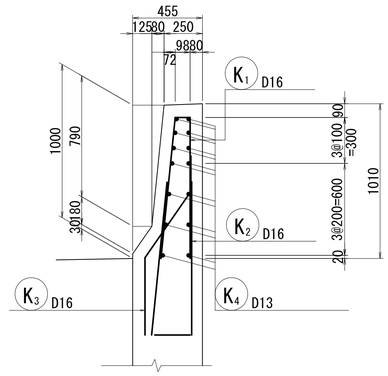
剛性防護柵基礎詳細図（その3） S=1:20

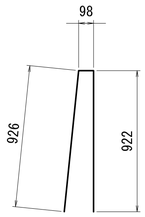
剛性防護柵基礎（SC種）

断　面　図

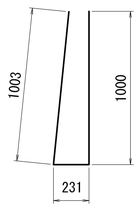


断　面　図

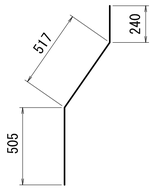




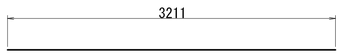
K1 8-D16 X 1940



K2 8-D16 X 2230



K3 8-D16 X 1260



K4 14-D13 X 8320

鉄　筋　表

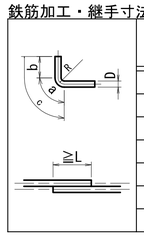
1.0m当り

記　号	径	長　さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	一本当り質量 (kg)	質　量 (kg)	摘　要
K 1	D16	1940	8	1.56	3.03	24	
2	〃	2230	8	〃	3.48	28	
3	〃	1260	8	〃	1.97	16	
4	D13	1000	14	0.995	1.00	14	

D16	68 kg
D13	14 kg
合計	82 kg

※壁高欄主鉄筋の躯体への定着長は
31.25φ【200 /（4×1.6）】=500とする。

鉄筋加工・継手寸法表（参考）



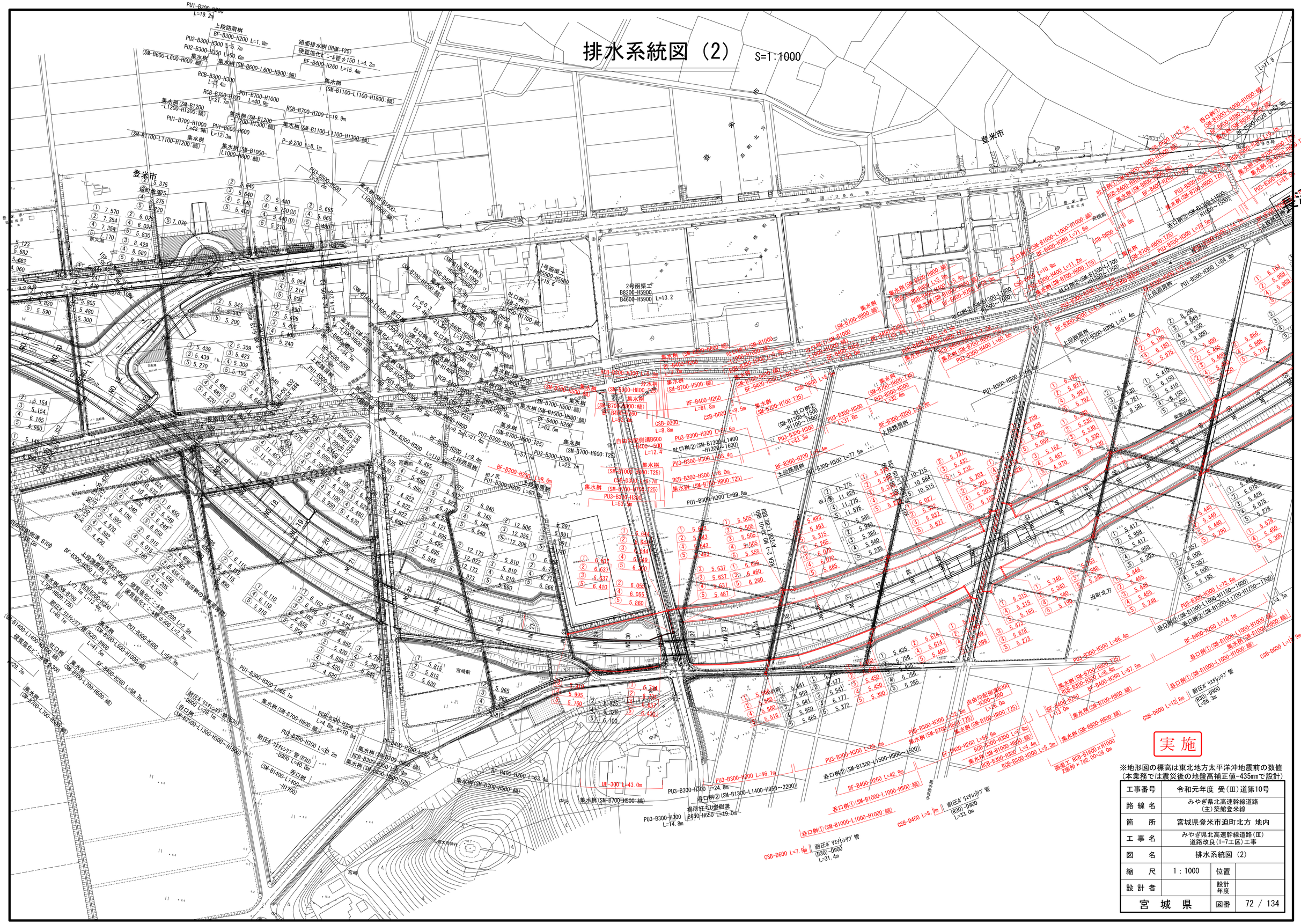
径	a	b	c	R	L
D13	66	164	230	42	410
D16	75	195	270	48	500
D19	94	236	330	60	600
D22	104	266	370	66	690
D25	122	308	430	78	790
D29	141	349	490	90	910
D32	151	389	540	96	1000

実施

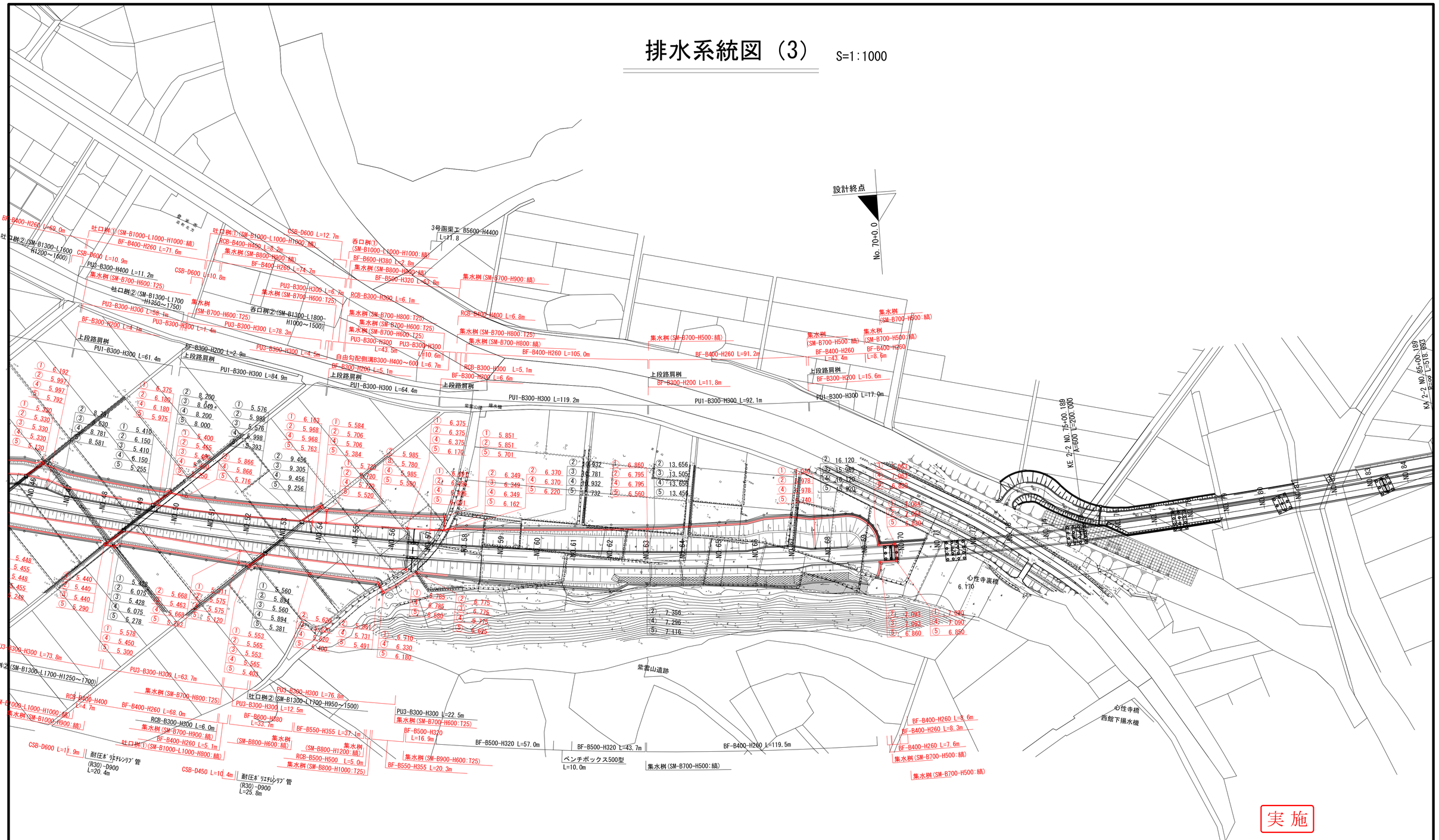
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-7工区）工事		
図名	剛性防護柵基礎詳細図（その３）		
縮尺	1:20	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	71 / 134

排水系統図（2）

S=1:1000


登米市
迫町北方
長沼川
国道398号
2号函渠工 B8300-H5900 B4600-H5900 L=13.2
1号函渠工 B5800-H5800 L=15.6
PU1-B300-H600 L=19.2m
PU2-B300-H300 L=5.7m
PU2-B300-H300 L=50.6m
PU1-B700-H1000 L=40.9m
PU1-B700-H1000 L=43.9m
PU1-B600-H600 L=12.3m
PU1-B500-H600 L=35.4m
PU1-B300-H600 L=61.4m
PU1-B300-H300 L=99.8m
PU1-B300-H300 L=60.0m
PU1-B300-H300 L=119.8m
PU1-B300-H300 L=65.1m
PU1-B300-H300 L=57.3m
PU1-B300-H300 L=2.7m
PU1-B300-H300 L=2.2m
PU1-B300-H300 L=77.5m
PU1-B300-H300 L=84.9m
PU3-B300-H300 L=66.4m
PU3-B300-H300 L=65.4m
PU3-B300-H300 L=46.1m
PU3-B300-H300 L=24.8m
PU3-B300-H300 L=14.8m
PU3-B300-H300 L=53.3m
PU3-B300-H300 L=73.8m
PU3-B300-H300 L=74.1m
PU3-B300-H300 L=57.5m
PU3-B300-H300 L=72.8m
PU3-B300-H300 L=43.3m
PU3-B300-H300 L=37.6m
PU3-B300-H300 L=32.4m
PU3-B300-H300 L=21.4m
PU3-B300-H300 L=9.4m
PU3-B300-H300 L=9.3m
PU3-B300-H300 L=8.0m
PU3-B300-H300 L=5.4m
PU3-B300-H300 L=5.3m
PU3-B300-H300 L=4.8m
PU3-B300-H300 L=4.6m
PU3-B300-H300 L=3.9m
PU3-B300-H300 L=3.8m
PU3-B300-H300 L=2.9m
PU3-B300-H300 L=2.8m
PU3-B300-H300 L=2.3m
PU3-B300-H300 L=1.8m
PU3-B300-H300 L=1.7m
PU3-B300-H300 L=1.6m
PU3-B300-H300 L=1.5m
PU3-B300-H300 L=1.4m
PU3-B300-H300 L=1.3m
PU3-B300-H300 L=1.2m
PU3-B300-H300 L=1.1m
PU3-B300-H300 L=1.0m
PU3-B300-H300 L=0.9m
PU3-B300-H300 L=0.8m
PU3-B300-H300 L=0.7m
PU3-B300-H300 L=0.6m
PU3-B300-H300 L=0.5m
PU3-B300-H300 L=0.4m
PU3-B300-H300 L=0.3m
PU3-B300-H300 L=0.2m
PU3-B300-H300 L=0.1m
PU3-B300-H300 L=0.0m
PU3-B300-H300 L=-0.1m
PU3-B300-H300 L=-0.2m
PU3-B300-H300 L=-0.3m
PU3-B300-H300 L=-0.4m
PU3-B300-H300 L=-0.5m
PU3-B300-H300 L=-0.6m
PU3-B300-H300 L=-0.7m
PU3-B300-H300 L=-0.8m
PU3-B300-H300 L=-0.9m
PU3-B300-H300 L=-1.0m
PU3-B300-H300 L=-1.1m
PU3-B300-H300 L=-1.2m
PU3-B300-H300 L=-1.3m
PU3-B300-H300 L=-1.4m
PU3-B300-H300 L=-1.5m
PU3-B300-H300 L=-1.6m
PU3-B300-H300 L=-1.7m
PU3-B300-H300 L=-1.8m
PU3-B300-H300 L=-1.9m
PU3-B300-H300 L=-2.0m
PU3-B300-H300 L=-2.1m
PU3-B300-H300 L=-2.2m
PU3-B300-H300 L=-2.3m
PU3-B300-H300 L=-2.4m
PU3-B300-H300 L=-2.5m
PU3-B300-H300 L=-2.6m
PU3-B300-H300 L=-2.7m
PU3-B300-H300 L=-2.8m
PU3-B300-H300 L=-2.9m
PU3-B300-H300 L=-3.0m
PU3-B300-H300 L=-3.1m
PU3-B300-H300 L=-3.2m
PU3-B300-H300 L=-3.3m
PU3-B300-H300 L=-3.4m
PU3-B300-H300 L=-3.5m
PU3-B300-H300 L=-3.6m
PU3-B300-H300 L=-3.7m
PU3-B300-H300 L=-3.8m
PU3-B300-H300 L=-3.9m
PU3-B300-H300 L=-4.0m
PU3-B300-H300 L=-4.1m
PU3-B300-H300 L=-4.2m
PU3-B300-H300 L=-4.3m
PU3-B300-H300 L=-4.4m
PU3-B300-H300 L=-4.5m
PU3-B300-H300 L=-4.6m
PU3-B300-H300 L=-4.7m
PU3-B300-H300 L=-4.8m
PU3-B300-H300 L=-4.9m
PU3-B300-H300 L=-5.0m
PU3-B300-H300 L=-5.1m
PU3-B300-H300 L=-5.2m
PU3-B300-H300 L=-5.3m
PU3-B300-H300 L=-5.4m
PU3-B300-H300 L=-5.5m
PU3-B300-H300 L=-5.6m
PU3-B300-H300 L=-5.7m
PU3-B300-H300 L=-5.8m
PU3-B300-H300 L=-5.9m
PU3-B300-H300 L=-6.0m
PU3-B300-H300 L=-6.1m
PU3-B300-H300 L=-6.2m
PU3-B300-H300 L=-6.3m
PU3-B300-H300 L=-6.4m
PU3-B300-H300 L=-6.5m
PU3-B300-H300 L=-6.6m
PU3-B300-H300 L=-6.7m
PU3-B300-H300 L=-6.8m
PU3-B300-H300 L=-6.9m
PU3-B300-H300 L=-7.0m
PU3-B300-H300 L=-7.1m
PU3-B300-H300 L=-7.2m
PU3-B300-H300 L=-7.3m
PU3-B300-H300 L=-7.4m
PU3-B300-H300 L=-7.5m
PU3-B300-H300 L=-7.6m
PU3-B300-H300 L=-7.7m
PU3-B300-H300 L=-7.8m
PU3-B300-H300 L=-7.9m
PU3-B300-H300 L=-8.0m
PU3-B300-H300 L=-8.1m
PU3-B300-H300 L=-8.2m
PU3-B300-H300 L=-8.3m
PU3-B300-H300 L=-8.4m
PU3-B300-H300 L=-8.5m
PU3-B300-H300 L=-8.6m
PU3-B300-H300 L=-8.7m
PU3-B300-H300 L=-8.8m
PU3-B300-H300 L=-8.9m
PU3-B300-H300 L=-9.0m
PU3-B300-H300 L=-9.1m
PU3-B300-H300 L=-9.2m
PU3-B300-H300 L=-9.3m
PU3-B300-H300 L=-9.4m
PU3-B300-H300 L=-9.5m
PU3-B300-H300 L=-9.6m
PU3-B300-H300 L=-9.7m
PU3-B300-H300 L=-9.8m
PU3-B300-H300 L=-9.9m
PU3-B300-H300 L=-10.0m
PU3-B300-H300 L=-10.1m
PU3-B300-H300 L=-10.2m
PU3-B300-H300 L=-10.3m
PU3-B300-H300 L=-10.4m
PU3-B300-H300 L=-10.5m
PU3-B300-H300 L=-10.6m
PU3-B300-H300 L=-10.7m
PU3-B300-H300 L=-10.8m
PU3-B300-H300 L=-10.9m
PU3-B300-H300 L=-11.0m
PU3-B300-H300 L=-11.1m
PU3-B300-H300 L=-11.2m
PU3-B300-H300 L=-11.3m
PU3-B300-H300 L=-11.4m
PU3-B300-H300 L=-11.5m
PU3-B300-H300 L=-11.6m
PU3-B300-H300 L=-11.7m
PU3-B300-H300 L=-11.8m
PU3-B300-H300 L=-11.9m
PU3-B300-H300 L=-12.0m
PU3-B300-H300 L=-12.1m
PU3-B300-H300 L=-12.2m
PU3-B300-H300 L=-12.3m
PU3-B300-H300 L=-12.4m
PU3-B300-H300 L=-12.5m
PU3-B300-H300 L=-12.6m
PU3-B300-H300 L=-12.7m
PU3-B300-H300 L=-12.8m
PU3-B300-H300 L=-12.9m
PU3-B300-H300 L=-13.0m
PU3-B300-H300 L=-13.1m
PU3-B300-H300 L=-13.2m
PU3-B300-H300 L=-13.3m
PU3-B300-H300 L=-13.4m
PU3-B300-H300 L=-13.5m
PU3-B300-H300 L=-13.6m
PU3-B300-H300 L=-13.7m
PU3-B300-H300 L=-13.8m
PU3-B300-H300 L=-13.9m
PU3-B300-H300 L=-14.0m
PU3-B300-H300 L=-14.1m
PU3-B300-H300 L=-14.2m
PU3-B300-H300 L=-14.3m
PU3-B300-H300 L=-14.4m
PU3-B300-H300 L=-14.5m
PU3-B300-H300 L=-14.6m
PU3-B300-H300 L=-14.7m
PU3-B300-H300 L=-14.8m
PU3-B300-H300 L=-14.9m
PU3-B300-H300 L=-15.0m
PU3-B300-H300 L=-15.1m
PU3-B300-H300 L=-15.2m
PU3-B300-H300 L=-15.3m
PU3-B300-H300 L=-15.4m
PU3-B300-H300 L=-15.5m
PU3-B300-H300 L=-15.6m
PU3-B300-H300 L=-15.7m
PU3-B300-H300 L=-15.8m
PU3-B300-H300 L=-15.9m
PU3-B300-H300 L=-16.0m
PU3-B300-H300 L=-16.1m
PU3-B300-H300 L=-16.2m
PU3-B300-H300 L=-16.3m
PU3-B300-H300 L=-16.4m
PU3-B300-H300 L=-16.5m
PU3-B300-H300 L=-16.6m
PU3-B300-H300 L=-16.7m
PU3-B300-H300 L=-16.8m
PU3-B300-H300 L=-16.9m
PU3-B300-H300 L=-17.0m
PU3-B300-H300 L=-17.1m
PU3-B300-H300 L=-17.2m
PU3-B300-H300 L=-17.3m
PU3-B300-H300 L=-17.4m
PU3-B300-H300 L=-17.5m
PU3-B300-H300 L=-17.6m
PU3-B300-H300 L=-17.7m
PU3-B300-H300 L=-17.8m
PU3-B300-H300 L=-17.9m
PU3-B300-H300 L=-18.0m
PU3-B300-H300 L=-18.1m
PU3-B300-H300 L=-18.2m
PU3-B300-H300 L=-18.3m
PU3-B300-H300 L=-18.4m
PU3-B300-H300 L=-18.5m
PU3-B300-H300 L=-18.6m
PU3-B300-H300 L=-18.7m
PU3-B300-H300 L=-18.8m
PU3-B300-H300 L=-18.9m
PU3-B300-H300 L=-19.0m
PU3-B300-H300 L=-19.1m
PU3-B300-H300 L=-19.2m
PU3-B300-H300 L=-19.3m
PU3-B300-H300 L=-19.4m
PU3-B300-H300 L=-19.5m
PU3-B300-H300 L=-19.6m
PU3-B300-H300 L=-19.7m
PU3-B300-H300 L=-19.8m
PU3-B300-H300 L=-19.9m
PU3-B300-H300 L=-20.0m
PU3-B300-H300 L=-20.1m
PU3-B300-H300 L=-20.2m
PU3-B300-H300 L=-20.3m
PU3-B300-H300 L=-20.4m
PU3-B300-H300 L=-20.5m
PU3-B300-H300 L=-20.6m
PU3-B300-H300 L=-20.7m
PU3-B300-H300 L=-20.8m
PU3-B300-H300 L=-20.9m
PU3-B300-H300 L=-21.0m
PU3-B300-H300 L=-21.1m
PU3-B300-H300 L=-21.2m
PU3-B300-H300 L=-21.3m
PU3-B300-H300 L=-21.4m
PU3-B300-H300 L=-21.5m
PU3-B300-H300 L=-21.6m
PU3-B300-H300 L=-21.7m
PU3-B300-H300 L=-21.8m
PU3-B300-H300 L=-21.9m
PU3-B300-H300 L=-22.0m
PU3-B300-H300 L=-22.1m
PU3-B300-H300 L=-22.2m
PU3-B300-H300 L=-22.3m
PU3-B300-H300 L=-22.4m
PU3-B300-H300 L=-22.5m
PU3-B300-H300 L=-22.6m
PU3-B300-H300 L=-22.7m
PU3-B300-H300 L=-22.8m
PU3-B300-H300 L=-22.9m
PU3-B300-H300 L=-23.0m
PU3-B300-H300 L=-23.1m
PU3-B300-H300 L=-23.2m
PU3-B300-H300 L=-23.3m
PU3-B300-H300 L=-23.4m
PU3-B300-H300 L=-23.5m
PU3-B300-H300 L=-23.6m
PU3-B300-H300 L=-23.7m
PU3-B300-H300 L=-23.8m
PU3-B300-H300 L=-23.9m
PU3-B300-H300 L=-24.0m
PU3-B300-H300 L=-24.1m
PU3-B300-H300 L=-24.2m
PU3-B300-H300 L=-24.3m
PU3-B300-H300 L=-24.4m
PU3-B300-H300 L=-24.5m
PU3-B300-H300 L=-24.6m
PU3-B300-H300 L=-24.7m
PU3-B300-H300 L=-24.8m
PU3-B300-H300 L=-24.9m
PU3-B300-H300 L=-25.0m
PU3-B300-H300 L=-25.1m
PU3-B300-H300 L=-25.2m
PU3-B300-H300 L=-25.3m
PU3-B300-H300 L=-25.4m
PU3-B300-H300 L=-25.5m
PU3-B300-H300 L=-25.6m
PU3-B300-H300 L=-25.7m
PU3-B300-H300 L=-25.8m
PU3-B300-H300 L=-25.9m
PU3-B300-H300 L=-26.0m
PU3-B300-H300 L=-26.1m
PU3-B300-H300 L=-26.2m
PU3-B300-H300 L=-26.3m
PU3-B300-H300 L=-26.4m
PU3-B300-H300 L=-26.5m
PU3-B300-H300 L=-26.6m
PU3-B300-H300 L=-26.7m
PU3-B300-H300 L=-26.8m
PU3-B300-H300 L=-26.9m
PU3-B300-H300 L=-27.0m
PU3-B300-H300 L=-27.1m
PU3-B300-H300 L=-27.2m
PU3-B300-H300 L=-27.3m
PU3-B300-H300 L=-27.4m
PU3-B300-H300 L=-27.5m
PU3-B300-H300 L=-27.6m
PU3-B300-H300 L=-27.7m
PU3-B300-H300 L=-27.8m
PU3-B300-H300 L=-27.9m
PU3-B300-H300 L=-28.0m
PU3-B300-H300 L=-28.1m
PU3-B300-H300 L=-28.2m
PU3-B300-H300 L=-28.3m
PU3-B300-H300 L=-28.4m
PU3-B300-H300 L=-28.5m
PU3-B300-H300 L=-28.6m
PU3-B300-H300 L=-28.7m
PU3-B300-H300 L=-28.8m
PU3-B300-H300 L=-28.9m
PU3-B300-H300 L=-29.0m
PU3-B300-H300 L=-29.1m
PU3-B300-H300 L=-29.2m
PU3-B300-H300 L=-29.3m
PU3-B300-H300 L=-29.4m
PU3-B300-H300 L=-29.5m
PU3-B300-H300 L=-29.6m
PU3-B300-H300 L=-29.7m
PU3-B300-H300 L=-29.8m
PU3-B300-H300 L=-29.9m
PU3-B300-H300 L=-30.0m
PU3-B300-H300 L=-30.1m
PU3-B300-H300 L=-30.2m
PU3-B300-H300 L=-30.3m
PU3-B300-H300 L=-30.4m
PU3-B300-H300 L=-30.5m
PU3-B300-H300 L=-30.6m
PU3-B300-H300 L=-30.7m
PU3-B300-H300 L=-30.8m
PU3-B300-H300 L=-30.9m
PU3-B300-H300 L=-31.0m
PU3-B300-H300 L=-31.1m
PU3-B300-H300 L=-31.2m
PU3-B300-H300 L=-31.3m
PU3-B300-H300 L=-31.4m
PU3-B300-H300 L=-31.5m
PU3-B300-H300 L=-31.6m
PU3-B300-H300 L=-31.7m
PU3-B300-H300 L=-31.8m
PU3-B300-H300 L=-31.9m
PU3-B300-H300 L=-32.0m
PU3-B300-H300 L=-32.1m
PU3-B300-H300 L=-32.2m
PU3-B300-H300 L=-32.3m
PU3-B300-H300 L=-32.4m
PU3-B300-H300 L=-32.5m
PU3-B300-H300 L=-32.6m
PU3-B300-H300 L=-32.7m
PU3-B300-H300 L=-32.8m
PU3-B300-H300 L=-32.9m
PU3-B300-H300 L=-33.0m
PU3-B300-H300 L=-33.1m
PU3-B300-H300 L=-33.2m
PU3-B300-H300 L=-33.3m
PU3-B300-H300 L=-33.4m
PU3-B300-H300 L=-33.5m
PU3-B300-H300 L=-33.6m
PU3-B300-H300 L=-33.7m
PU3-B300-H300 L=-33.8m
PU3-B300-H300 L=-33.9m
PU3-B300-H300 L=-34.0m
PU3-B300-H300 L=-34.1m
PU3-B300-H300 L=-34.2m
PU3-B300-H300 L=-34.3m
PU3-B300-H300 L=-34.4m
PU3-B300-H300 L=-34.5m
PU3-B300-H300 L=-34.6m
PU3-B300-H300 L=-34.7m
PU3-B300-H300 L=-34.8m
PU3-B300-H300 L=-34.9m
PU3-B300-H300 L=-35.0m
PU3-B300-H300 L=-35.1m
PU3-B300-H300 L=-35.2m
PU3-B300-H300 L=-35.3m
PU3-B300-H300 L=-35.4m
PU3-B300-H300 L=-35.5m
PU3-B300-H300 L=-35.6m
PU3-B300-H300 L=-35.7m
PU3-B300-H300 L=-35.8m
PU3-B300-H300 L=-35.9m
PU3-B300-H300 L=-36.0m
PU3-B300-H300 L=-36.1m
PU3-B300-H300 L=-36.2m
PU3-B300-H300 L=-36.3m
PU3-B300-H300 L=-36.4m
PU3-B300-H300 L=-36.5m
PU3-B300-H300 L=-36.6m
PU3-B300-H300 L=-36.7m
PU3-B300-H300 L=-36.8m
PU3-B300-H300 L=-36.9m
PU3-B300-H300 L=-37.0m
PU3-B300-H300 L=-37.1m
PU3-B300-H300 L=-37.2m
PU3-B300-H300 L=-37.3m
PU3-B300-H300 L=-37.4m
PU3-B300-H300 L=-37.5m
PU3-B300-H300 L=-37.6m
PU3-B300-H300 L=-37.7m
PU3-B300-H300 L=-37.8m
PU3-B300-H300 L=-37.9m
PU3-B300-H300 L=-38.0m
PU3-B300-H300 L=-38.1m
PU3-B300-H300 L=-38.2m
PU3-B300-H300 L=-38.3m
PU3-B300-H300 L=-38.4m
PU3-B300-H300 L=-38.5m
PU3-B300-H300 L=-38.6m
PU3-B300-H300 L=-38.7m
PU3-B300-H300 L=-38.8m
PU3-B300-H300 L=-38.9m
PU3-B300-H300 L=-39.0m
PU3-B300-H300 L=-39.1m
PU3-B300-H300 L=-39.2m
PU3-B300-H300 L=-39.3m
PU3-B300-H300 L=-39.4m
PU3-B300-H300 L=-39.5m
PU3-B300-H300 L=-39.6m
PU3-B300-H300 L=-39.7m
PU3-B300-H300 L=-39.8m
PU3-B300-H300 L=-39.9m
PU3-B300-H300 L=-40.0m
PU3-B300-H300 L=-40.1m
PU3-B300-H300 L=-40.2m
PU3-B300-H300 L=-40.3m
PU3-B300-H300 L=-40.4m
PU3-B300-H300 L=-40.5m
PU3-B300-H300 L=-40.6m
PU3-B300-H300 L=-40.7m
PU3-B300-H300 L=-40.8m
PU3-B300-H300 L=-40.9m
PU3-B300-H300 L=-41.0m
PU3-B300-H300 L=-41.1m
PU3-B300-H300 L=-41.2m
PU3-B300-H300 L=-41.3m
PU3-B300-H300 L=-41.4m
PU3-B300-H300 L=-41.5m
PU3-B300-H300 L=-41.6m
PU3-B300-H300 L=-41.7m
PU3-B300-H300 L=-41.8m
PU3-B300-H300 L=-41.9m
PU3-B300-H300 L=-42.0m
PU3-B300-H300 L=-42.1m
PU3-B300-H300 L=-42.2m
PU3-B300-H300 L=-42.3m
PU3-B300-H300 L=-42.4m
PU3-B300-H300 L=-42.5m
PU3-B300-H300 L=-42.6m
PU3-B300-H300 L=-42.7m
PU3-B300-H300 L=-42.8m
PU3-B300-H300 L=-42.9m
PU3-B300-H300 L=-43.0m
PU3-B300-H300 L=-43.1m
PU3-B300-H300 L=-43.2m
PU3-B300-H300 L=-43.3m
PU3-B300-H300 L=-43.4m
PU3-B300-H300 L=-43.5m
PU3-B300-H300 L=-43.6m
PU3-B300-H300 L=-43.7m
PU3-B300-H300 L=-43.8m
PU3-B300-H300 L=-43.9m
PU3-B300-H300 L=-44.0m
PU3-B300-H300 L=-44.1m
PU3-B300-H300 L=-44.2m
PU3-B300-H300 L=-44.3m
PU3-B300-H300 L=-44.4m
PU3-B300-H300 L=-44.5m
PU3-B300-H300 L=-44.6m
PU3-B300-H300 L=-44.7m
PU3-B300-H300 L=-44.8m
PU3-B300-H300 L=-44.9m
PU3-B300-H300 L=-45.0m
PU3-B300-H300 L=-45.1m
PU3-B300-H300 L=-45.2m
PU3-B300-H300 L=-45.3m
PU3-B300-H300 L=-45.4m
PU3-B300-H300 L=-45.5m
PU3-B300-H300 L=-45.6m
PU3-B300-H300 L=-45.7m
PU3-B300-H300 L=-45.8m
PU3-B300-H300 L=-45.9m
PU3-B300-H300 L=-46.0m
PU3-B300-H300 L=-46.1m
PU3-B300-H300 L=-46.2m
PU3-B300-H300 L=-46.3m
PU3-B300-H300 L=-46.4m
PU3-B300-H300 L=-46.5m
PU3-B300-H300 L=-46.6m
PU3-B300-H300 L=-46.7m
PU3-B300-H300 L=-46.8m
PU3-B300-H300 L=-46.9m
PU3-B300-H300 L=-47.0m
PU3-B300-H300 L=-47.1m
PU3-B300-H300 L=-47.2m
PU3-B300-H300 L=-47.3m
PU3-B300-H300 L=-47.4m
PU3-B300-H300 L=-47.5m
PU3-B300-H300 L=-47.6m
PU3-B300-H300 L=-47.7m
PU3-B300-H300 L=-47.8m
PU3-B300-H300 L=-47.9m
PU3-B300-H300 L=-48.0m
PU3-B300-H300 L=-48.1m
PU3-B300-H300 L=-48.2m
PU3-B300-H300 L=-48.3m
PU3-B300-H300 L=-48.4m
PU3-B300-H300 L=-48.5m
PU3-B300-H300 L=-48.6m
PU3-B300-H300 L=-48.7m
PU3-B300-H300 L=-48.8m
PU3-B300-H300 L=-48.9m
PU3-B300-H300 L=-49.0m
PU3-B300-H300 L=-49.1m
PU3-B300-H300 L=-49.2m
PU3-B300-H300 L=-49.3m
PU3-B300-H300 L=-49.4m
PU3-B300-H300 L=-49.5m
PU3-B300-H300 L=-49.6m
PU3-B300-H300 L=-49.7m
PU3-B300-H300 L=-49.8m
PU3-B300-H300 L=-49.9m
PU3-B300-H300 L=-50.0m
PU3-B300-H300 L=-50.1m
PU3-B300-H300 L=-50.2m
PU3-B300-H300 L=-50.3m
PU3-B300-H300 L=-50.4m
PU3-B300-H300 L=-50.5m
PU3-B300-H300 L=-50.6m
PU3-B300-H300 L=-50.7m
PU3-B300-H300 L=-50.8m
PU3-B300-H300 L=-50.9m
PU3-B300-H300 L=-51.0m
PU3-B300-H300 L=-51.1m
PU3-B300-H300 L=-51.2m
PU3-B300-H300 L=-51.3m
PU3-B300-H300 L=-51.4m
PU3-B300-H300 L=-51.5m
PU3-B300-H300 L=-51.6m
PU3-B300-H300 L=-51.7m
PU3-B300-H300 L=-51.8m
PU3-B300-H300 L=-51.9m
PU3-B300-H300 L=-52.0m
PU3-B300-H300 L=-52.1m
PU3-B300-H300 L=-52.2m
PU3-B300-H300 L=-52.3m
PU3-B300-H300 L=-52.4m
PU3-B300-H300 L=-52.5m
PU3-B300-H300 L=-52.6m
PU3-B300-H300 L=-52.7m
PU3-B300-H300 L=-52.8m
PU3-B300-H300 L=-52.9m
PU3-B300-H300 L=-53.0m
PU3-B300-H300 L=-53.1m
PU3-B300-H300 L=-53.2m
PU3-B300-H300 L=-53.3m
PU3-B300-H300 L=-53.4m
PU3-B300-H300 L=-53.5m
PU3-B300-H300 L=-53.6m
PU3-B300-H300 L=-53.7m
PU3-B300-H300 L=-53.8m
PU3-B300-H300 L=-53.9m
PU3-B300-H300 L=-54.0m
PU3-B300-H300 L=-54.1m
PU3-B300-H300 L=-54.2m
PU3-B300-H300 L=-54.3m
PU3-B300-H300 L=-54.4m
PU3-B300-H300 L=-54.5m
PU3-B300-H300 L=-54.6m
PU3-B300-H300 L=-54.7m
PU3-B300-H300 L=-54.8m
PU3-B300-H300 L=-54.9m
PU3-B300-H300 L=-55.0m
PU3-B300-H300 L=-55.1m
PU3-B300-H300 L=-55.2m
PU3-B300-H300 L=-55.3m
PU3-B300-H300 L=-55.4m
PU3-B300-H300 L=-55.5m
PU3-B300-H300 L=-55.6m
PU3-B300-H300 L=-55.7m
PU3-B300-H300 L=-55.8m
PU3-B300-H300 L=-55.9m
PU3-B300-H300 L=-56.0m
PU3-B300-H300 L=-56.1m
PU3-B300-H300 L=-56.2m
PU3-B300-H300 L=-56.3m
PU3-B300-H300 L=-56.4m
PU3-B300-H300 L=-56.5m
PU3-B300-H300 L=-56.6m
PU3-B300-H300 L=-56.7m
PU3-B300-H300 L=-56.8m
PU3-B300-H300 L=-56.9m
PU3-B300-H300 L=-57.0m
PU3-B300-H300 L=-57.1m
PU3-B300-H300 L=-57.2m
PU3-B300-H300 L=-57.3m
PU3-B300-H300 L=-57.4m
PU3-B300-H300 L=-57.5m
PU3-B300-H300 L=-57.6m
PU3-B300-H300 L=-57.7m
PU3-B300-H300 L=-57.8m
PU3-B300-H300 L=-57.9m
PU3-B300-H300 L=-58.0m
PU3-B300-H300 L=-58.1m
PU3-B300-H300 L=-58.2m
PU3-B300-H300 L=-58.3m
PU3-B300-H300 L=-58.4m
PU3-B300-H300 L=-58.5m
PU3-B300-H300 L=-58.6m
PU3-B300-H300 L=-58.7m
PU3-B300-H300 L=-58.8m
PU3-B300-H300 L=-58.9m
PU3-B300-H300 L=-59.0m
PU3-B300-H300 L=-59.1m
PU3-B300-H300 L=-59.2m
PU3-B300-H300 L=-59.3m
PU3-B300-H300 L=-59.4m
PU3-B300-H300 L=-59.5m
PU3-B300-H300 L=-59.6m
PU3-B300-H300 L=-59.7m
PU3-B300-H300 L=-59.8m
PU3-B300-H300 L=-59.9m
PU3-B300-H300 L=-60.0m
PU3-B300-H300 L=-60.1m
PU3-B300-H300 L=-60.2m
PU3-B300-H300 L=-60.3m
PU3-B300-H300 L=-60.4m
PU3-B300-H300 L=-60.5m
PU3-B300-H300 L=-60.6m
PU3-B300-H300 L=-60.7m
PU3-B300-H300 L=-60.8m
PU3-B300-H300 L=-60.9m
PU3-B300-H300 L=-61.0m
PU3-B300-H300 L=-61.1m
PU3-B300-H300 L=-61.2m
PU3-B300-H300 L=-61.3m
PU3-B300-H300 L=-61.4m
PU3-B300-H300 L=-61.5m
PU3-B300-H300 L=-61.6m
PU3-B300-H300 L=-61.7m
PU3-B300-H300 L=-61.8m
PU3-B300-H300 L=-61.9m
PU3-B300-H300 L=-62.0m
PU3-B300-H300 L=-62.1m
PU3-B300-H300 L=-62.2m
PU3-B300-H300 L=-62.3m
PU3-B300-H300 L=-62.4m
PU3-B300-H300 L=-62.5m
PU3-B300-H300 L=-62.6m
PU3-B300-H300 L=-62.7m
PU3-B300-H300 L=-62.8m
PU3-B300-H300 L=-62.9m
PU3-B300-H300 L=-63.0m
PU3-B300-H300 L=-63.1m
PU3-B300-H300 L=-63.2m
PU3-B300-H300 L=-63.3m
PU3-B300-H300 L=-63.4m
PU3-B300-H300 L=-63.5m
PU3-B300-H300 L=-63.6m
PU3-B300-H300 L=-63.7m
PU3-B300-H300 L=-63.8m
PU3-B300-H300 L=-63.9m
PU3-B300-H300 L=-64.0m
PU3-B300-H300 L=-64.1m
PU3-B300-H300 L=-64.2m
PU3-B300-H300 L=-64.3m
PU3-B300-H300 L=-64.4m
PU3-B300-H300 L=-64.5m
PU3-B300-H300 L=-64.6m
PU3-B300-H300 L=-64.7m
PU3-B300-H300 L=-64.8m
PU3-B300-H300 L=-64.9m
PU3-B300-H300 L=-65.0m
PU3-B300-H300 L=-65.1m
PU3-B300-H300 L=-65.2m
PU3-B300-H300 L=-65.3m
PU3-B300-H300 L=-65.4m
PU3-B300-H300 L=-65.5m
PU3-B300-H300 L=-65.6m
PU3-B300-H300 L=-65.7m
PU3-B300-H300 L=-65.8m
PU3-B300-H300 L=-65.9m
PU3-B300-H300 L=-66.0m
PU3-B300-H300 L=-66.1m
PU3-B300-H300 L=-66.2m
PU3-B300-H300 L=-66.3m
PU3-B300-H300 L=-66.4m
PU3-B300-H300 L=-66.5m
PU3-B300-H300 L=-66.6m
PU3-B300-H300 L=-66.7m
PU3-B300-H300 L=-66.8m
PU3-B300-H300 L=-66.9m
PU3-B300-H300 L=-67.0m
PU3-B300-H300 L=-67.1m
PU3-B300-H300 L=-67.2m
PU3-B300-H300 L=-67.3m
PU3-B300-H300 L=-67.4m
PU3-B300-H300 L=-67.5m
PU3-B300-H300 L=-67.6m
PU3-B300-H300 L=-67.7m
PU3-B300-H300 L=-67.8m
PU3-B300-H300 L=-67.9m
PU3-B300-H300 L=-68.0m
PU3-B300-H300 L=-68.1m
PU3-B300-H300 L=-68.2m
PU3-B300-H300 L=-68.3m
PU3-B300-H300 L=-68.4m
PU3-B300-H300 L=-68.5m
PU3-B300-H300 L=-68.6m
PU3-B300-H300 L=-68.7m
PU3-B300-H300 L=-68.8m
PU3-B300-H300 L=-68.9m
PU3-B300-H300 L=-69.0m
PU3-B300-H300 L=-69.1m
PU3-B300-H300 L=-69.2m
PU3-B300-H300 L=-69.3m
PU3-B300-H300 L=-69.4m
PU3-B300-H300 L=-69.5m
PU3-B300-H300 L=-69.6m
PU3-B300-H300 L=-69.7m
PU3-B300-H300 L=-69.8m
PU3-B300-H300 L=-69.9m
PU3-B300-H300 L=-70.0m
PU3-B300-H300 L=-70.1m
PU3-B300-H300 L=-70.2m
PU3-B300-H300 L=-70.3m
PU3-B300-H300 L=-70.4m
PU3-B300-H300 L=-70.5m
PU3-B300-H300 L=-70.6m
PU3-B300-H300 L=-70.7m
PU3-B300-H300 L=-70.8m
PU3-B300-H300 L=-70.9m
PU3-B300-H300 L=-71.0m
PU3-B300-H300 L=-71.1m
PU3-B300-H300 L=-71.2m
PU3-B300-H300 L=-71.3m
PU3-B300-H300 L=-71.4m
PU3-B300-H300 L=-71.5m
PU3-B300-H300 L=-71.6m
PU3-B300-H300 L=-71.7m
PU3-B300-H300 L=-71.8m
PU3-B300-H300 L=-71.9m
PU3-B300-H300 L=-72.0m
PU3-B300-H300 L=-72.1m
PU3-B300-H300 L=-72.2m
PU3-B300-H300 L=-72.3m
PU3-B300-H300 L=-72.4m
PU3-B300-H300 L=-72.5m
PU3-B300-H300 L=-72.6m
PU3-B300-H300 L=-72.7m
PU3-B300-H300 L=-72.8m
PU3-B300-H300 L=-72.9m
PU3-B300-H300 L=-73.0m
PU3-B300-H300 L=-73.1m
PU3-B300-H300 L=-73.2m
PU3-B300-H300 L=-73.3m
PU3-B300-H300 L=-73.4m
PU3-B300-H300 L=-73.5m
PU3-B300-H300 L=-73.6m
PU3-B300-H300 L=-73.7m
PU3-B300-H300 L=-73.8m
PU3-B300-H300 L=-73.9m
PU3-B300-H300 L=-74.0m
PU3-B300-H300 L=-74.1m
PU3-B300-H300 L=-74.2m
PU3-B300-H300 L=-74.3m
PU3-B300-H300 L=-74.4m
PU3-B300-H300 L=-74.5m
PU3-B300-H300 L=-74.6m
PU3-B300-H300 L=-74.7m
PU3-B300-H300 L=-74.8m
PU3-B300-H300 L=-74.9m
PU3-B300-H300 L=-75.0m
PU3-B300-H300 L=-75.1m
PU3-B300-H300 L=-75.2m
PU3-B300-H300 L=-75.3m
PU3-B300-H300 L=-75.4m
PU3-B300-H300 L=-75.5m
PU3-B300-H300 L=-75.6m
PU3-B300-H300 L=-75.7m
PU3-B300-H300 L=-75.8m
PU3-B300-H300 L=-75.9m
PU3-B300-H300 L=-76.0m
PU3-B300-H300 L=-76.1m
PU3-B300-H300 L=-76.2m
PU3-B300-H300 L=-76.3m
PU3-B300-H300 L=-76.4m
PU3-B300-H300 L=-76.5m
PU3-B300-H300 L=-76.6m
PU3-B300-H300 L=-76.7m
PU3-B300-H300 L=-76.8m
PU3-B300-H300 L=-76.9m
PU3-B300-H300 L=-77.0m
PU3-B300-H300 L=-77.1m
PU3-B300-H300 L=-77.2m
PU3-B300-H300 L=-77.3m
PU3-B300-H300 L=-77.4m
PU3-B300-H300 L=-77.5m
PU3-B300-H300 L=-77.6m
PU3-B300-H300 L=-77.7m
PU3-B300-H300 L=-77.8m
PU3-B300-H300 L=-77.9m
PU3-B300-H300 L=-78.0m
PU3-B300-H300 L=-78.1m
PU3-B300-H300 L=-78.2m
PU3-B300-H300 L=-78.3m
PU3-B300-H300 L=-78.4m
PU3-B300-H300 L=-78.5m
PU3-B300-H300 L=-78.6m
PU3-B300-H300 L=-78.7m
PU3-B300-H300 L=-78.8m
PU3-B300-H300 L=-78.9m
PU3-B300-H300 L=-79.0m
PU3-B300-H300 L=-79.1m
PU3-B300-H300 L=-79.2m
PU3-B300-H300 L=-79.3m
PU3-B300-H300 L=-79.4m
PU3-B300-H300 L=-79.5m
PU3-B300-H300 L=-79.6m
PU3-B300-H300 L=-79.7m
PU3-B300-H300 L=-79.8m
PU3-B300-H300 L=-79.9m
PU3-B300-H300 L=-80.0m
PU3-B300-H300 L=-80.1m
PU3-B300-H300 L=-80.2m
PU3-B300-H300 L=-80.3m
PU3-B300-H300 L=-80.4m
PU3-B300-H300 L=-80.5m
PU3-B300-H300 L=-80.6m
PU3-B300-H300 L=-80.7m
PU3-B300-H300 L=-80.8m
PU3-B300-H300 L=-80.9m
PU3-B300-H300 L=-81.0m
PU3-B300-H300 L=-81.1m
PU3-B300-H300 L=-81.2m
PU3-B300-H300 L=-81.3m
PU3-B300-H300 L=-81.4m
PU3-B300-H300 L=-81.5m
PU3-B300-H300 L=-81.6m
PU3-B300-H300 L=-81.7m
PU3-B300-H300 L=-81.8m
PU3-B300-H300 L=-81.9m
PU3-B300-H300 L=-82.0m
PU3-B300-H300 L=-82.1m
PU3-B300-H300 L=-82.

排水系統図（3）　S=1:1000



実施

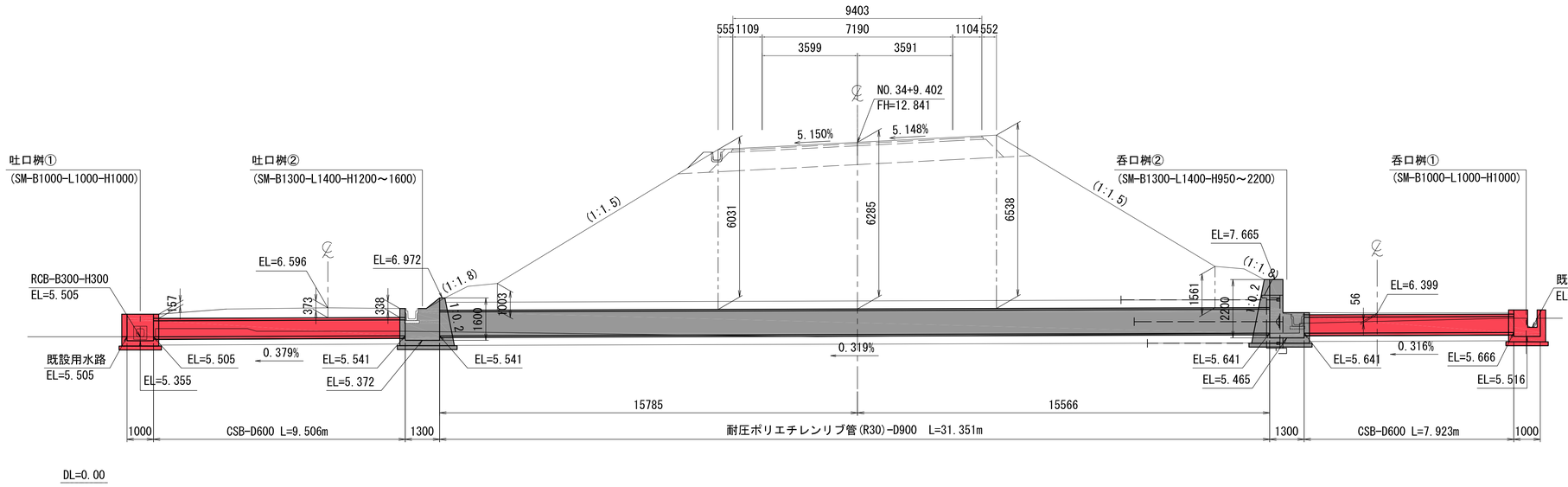
※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水系統図（3）		
縮尺	1：1000	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	73 / 134

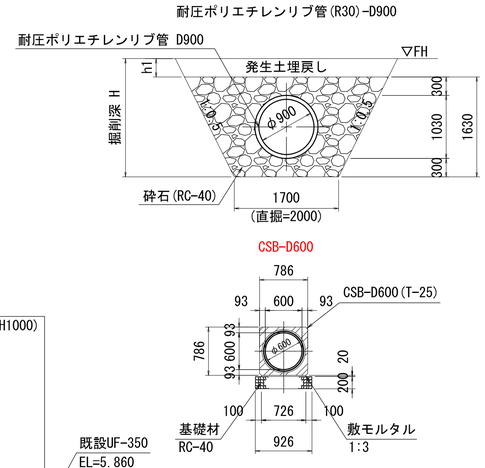
管渠工詳細図(6)

(NO.34+9.402)

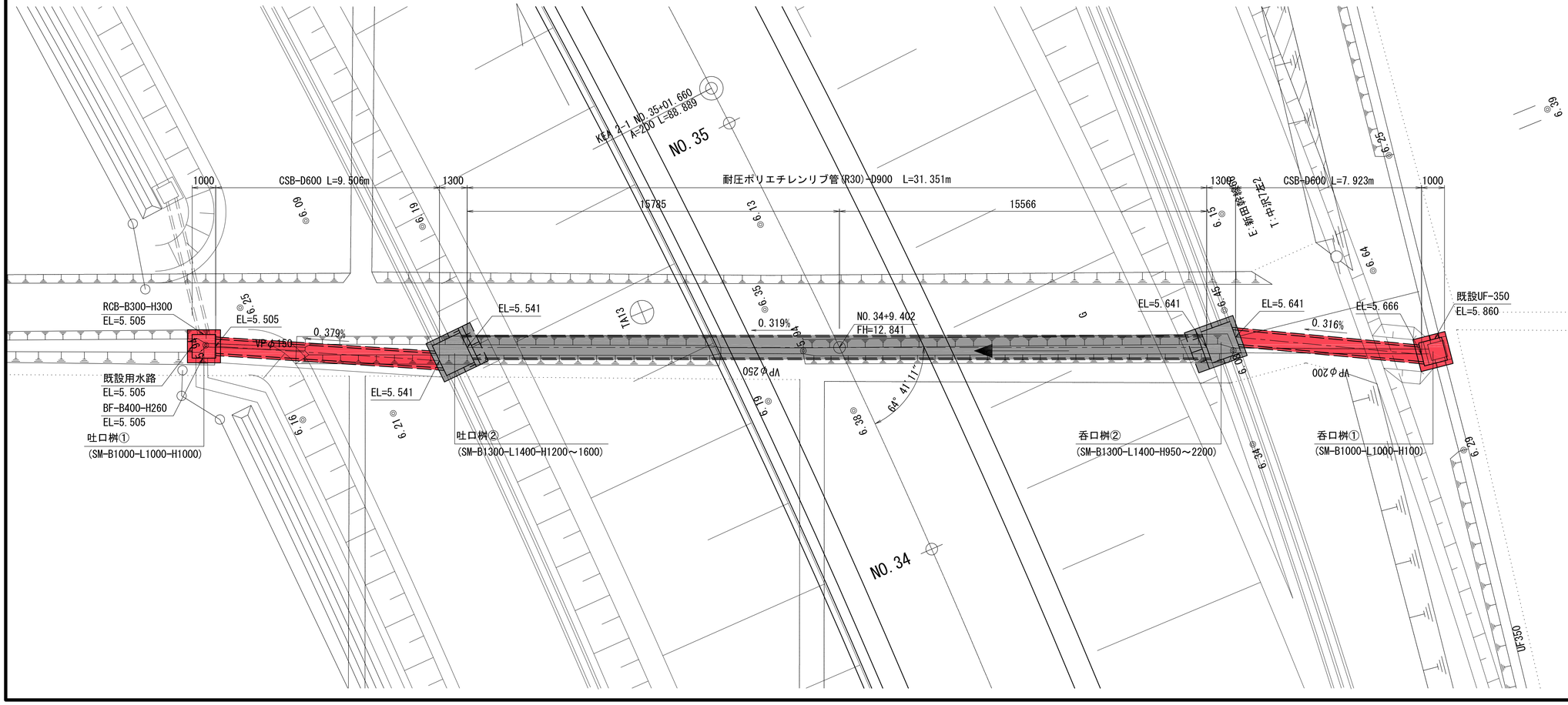
側面図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



実施

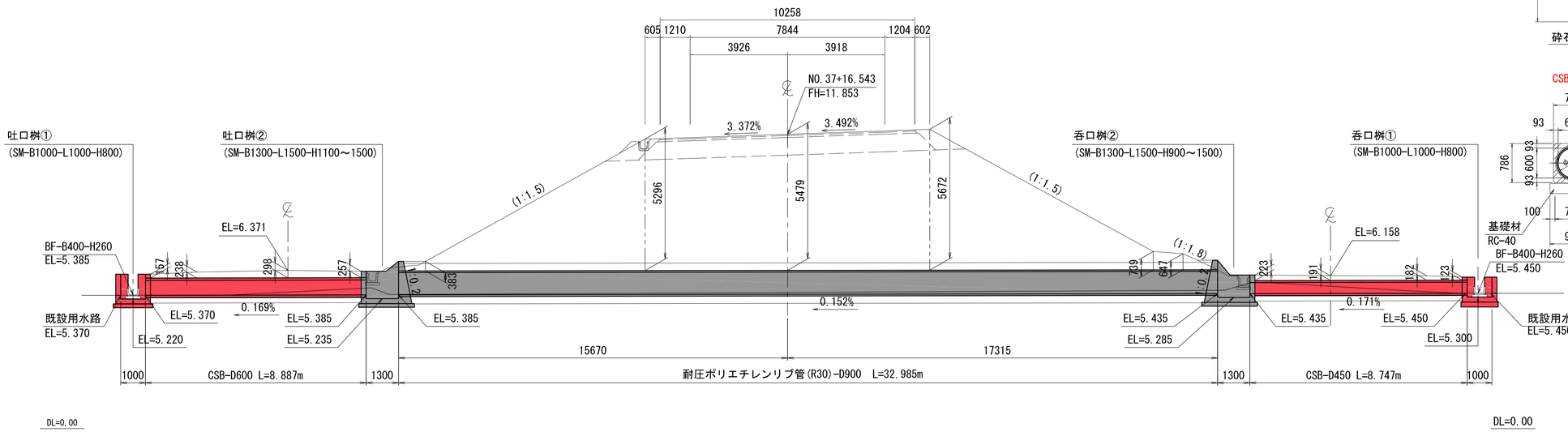
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	管渠工詳細図(6)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	74 / 134

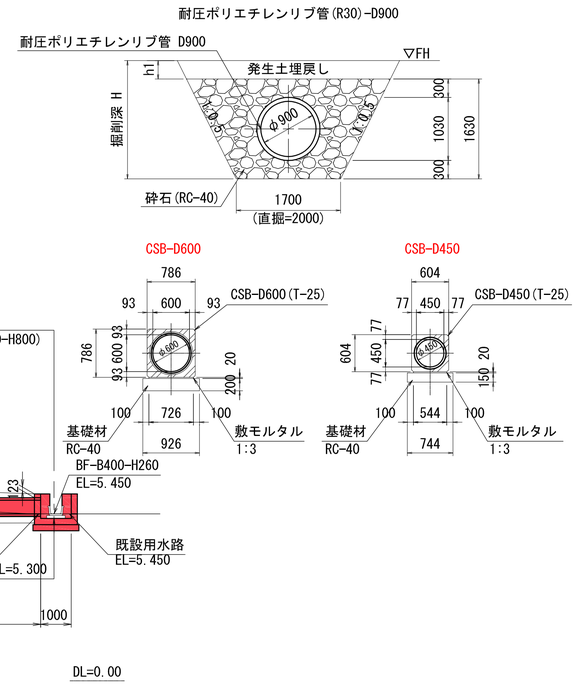
管渠工詳細図(7)

(NO.37+16.543)

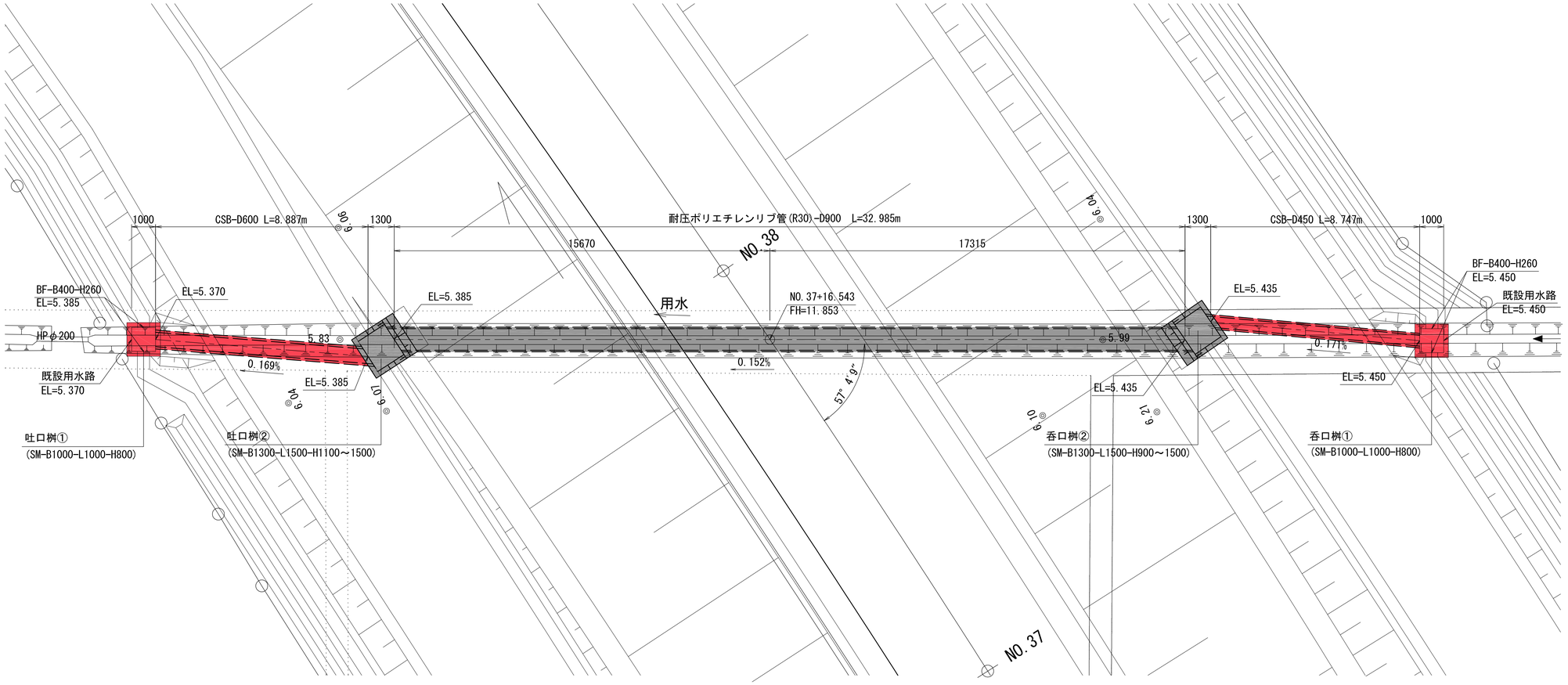
側面図 S=1:100



標準断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



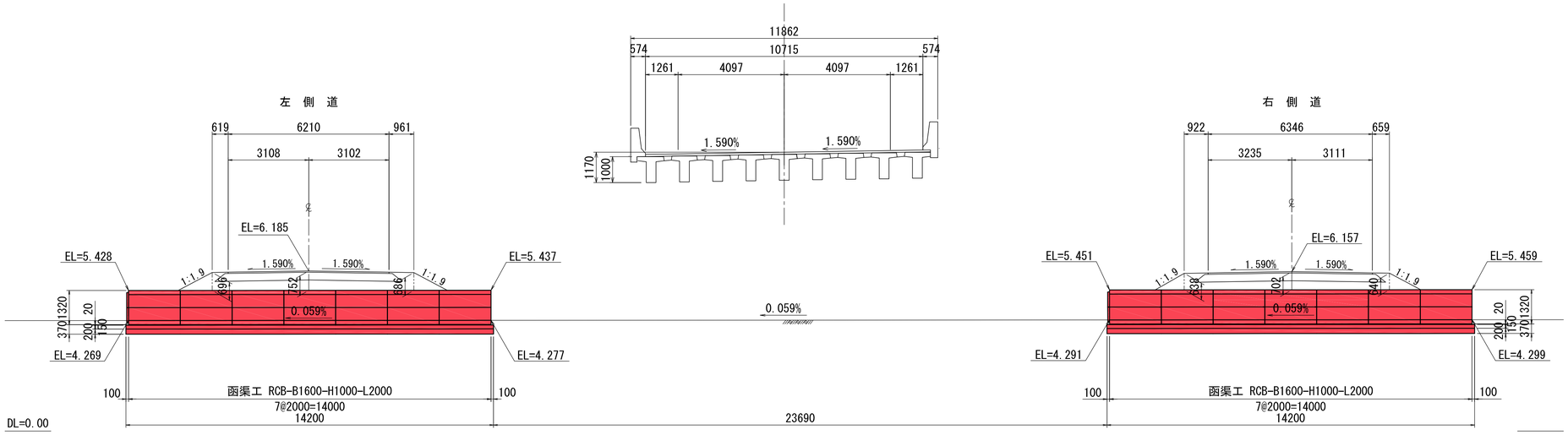
実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	管渠工詳細図(7)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	75 / 134

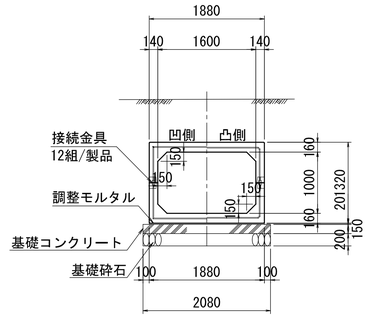
函 渠 工 詳 細 図
(NO.41+10.090)

側 面 図 S=1:100



標 準 断 面 図 S=1:50

RCB-B1600×H1000×L2000

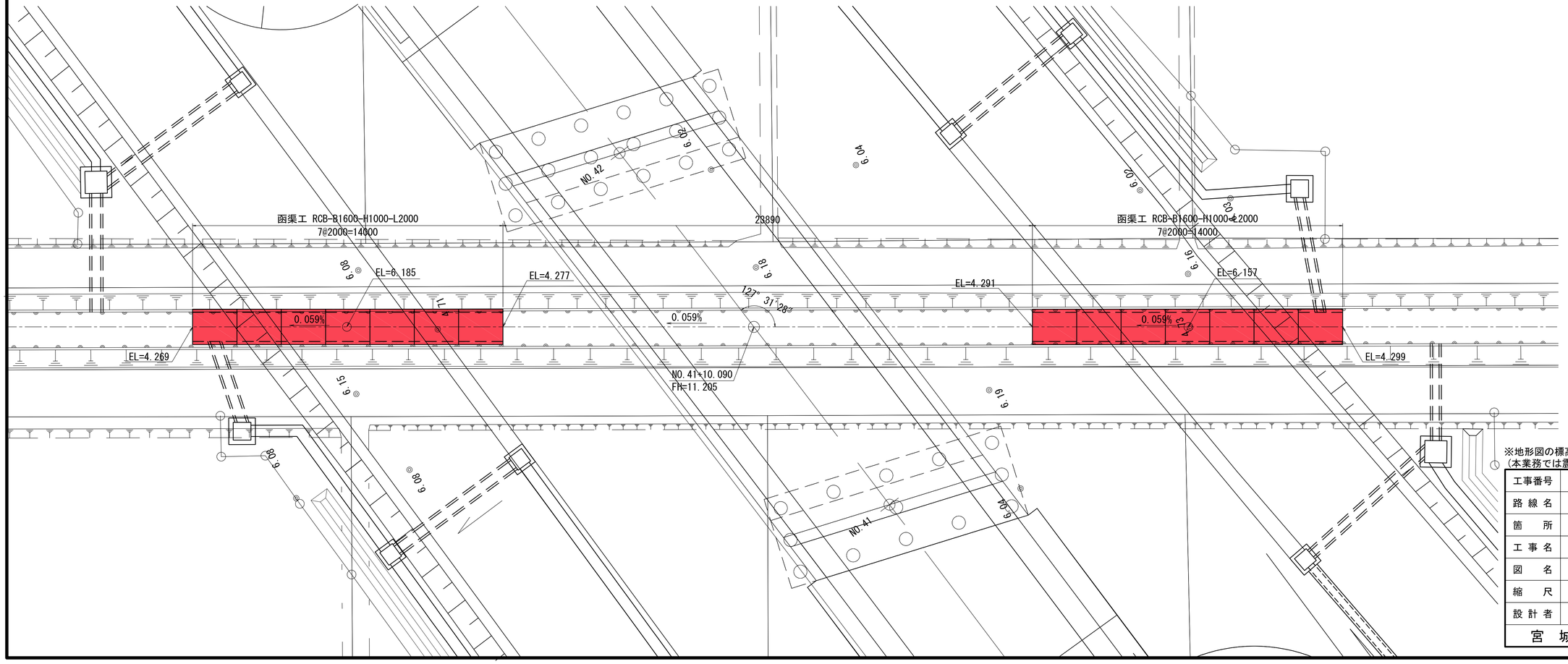


材 料 表

(10m当り)

名 称	単 位	数 量	摘 要
本 体	本	5.00	L=2000
基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	m3	3.120	t=150
基礎型枠	m2	3.000	
基礎砕石	m2	20.800	t=200
調整ﾓﾙﾀﾙ	m3	0.376	t=20

平 面 図 S=1:100



実 施

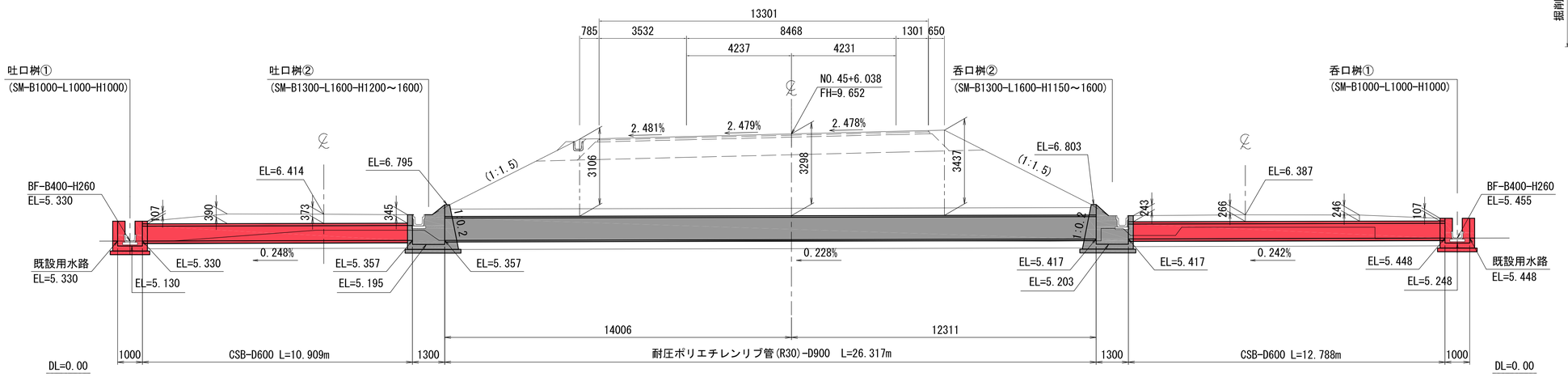
※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	函渠工詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	76 / 134

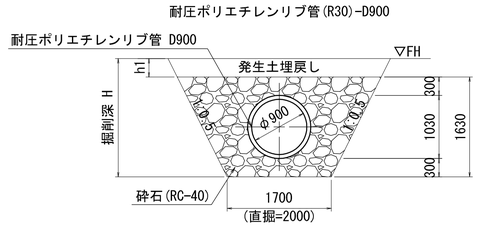
管渠工詳細図(8)

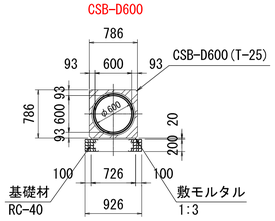
(NO.45+6.038)

側面図 S=1:100

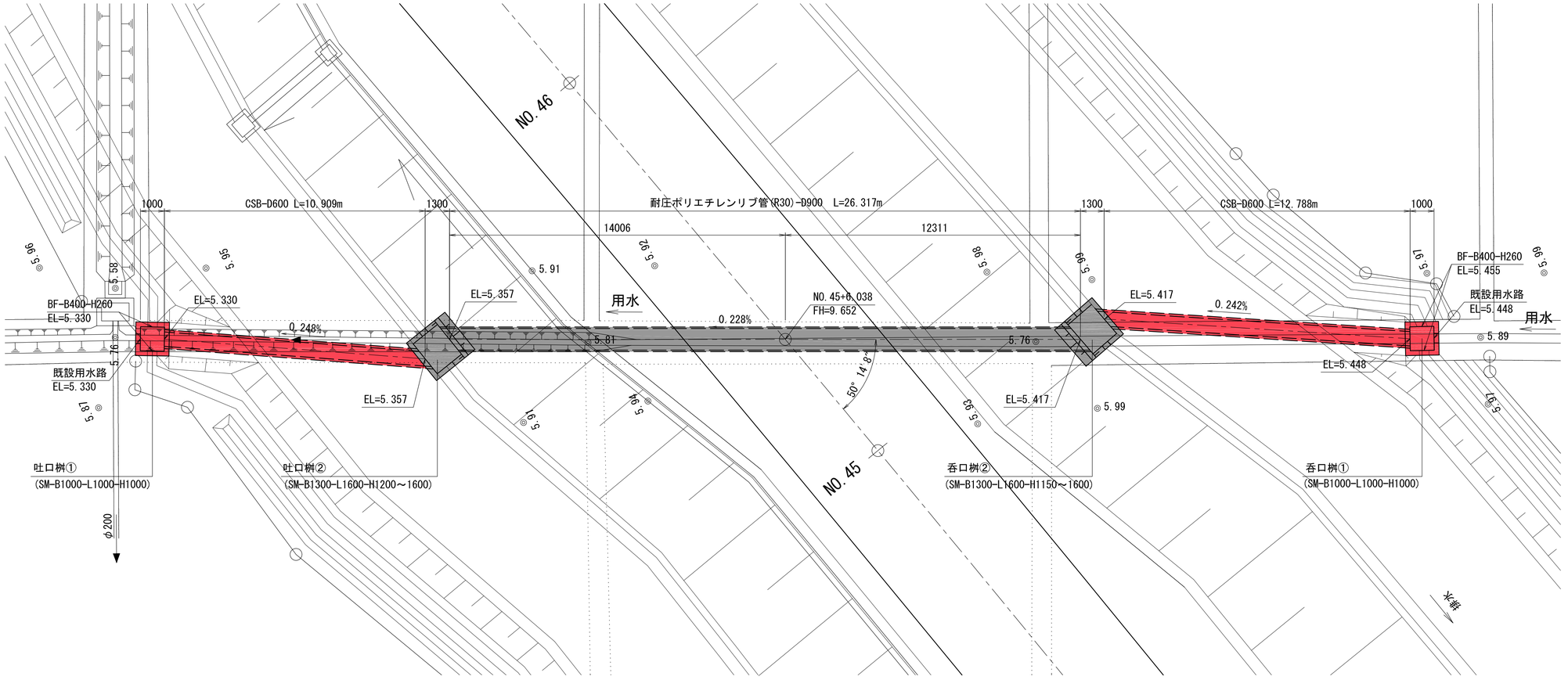


標準断面図 S=1:50





平面図 S=1:100



実施

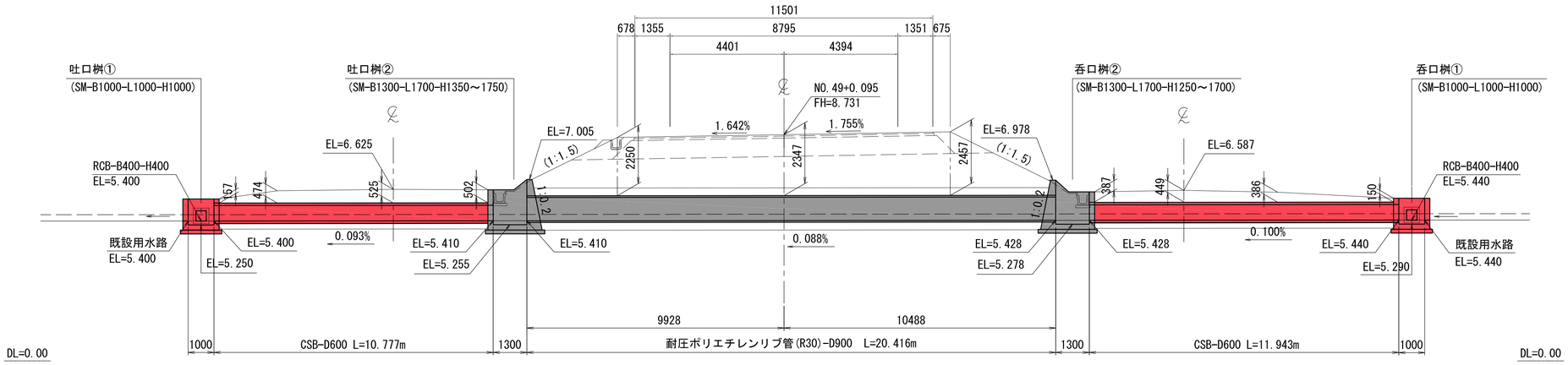
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	管渠工詳細図(8)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	77 / 134

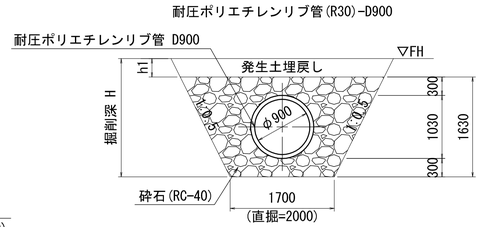
管渠工詳細図(9)

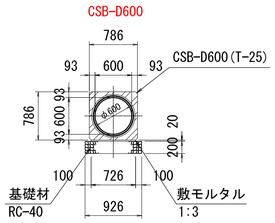
(NO.49+0.095)

側面図 S=1:100

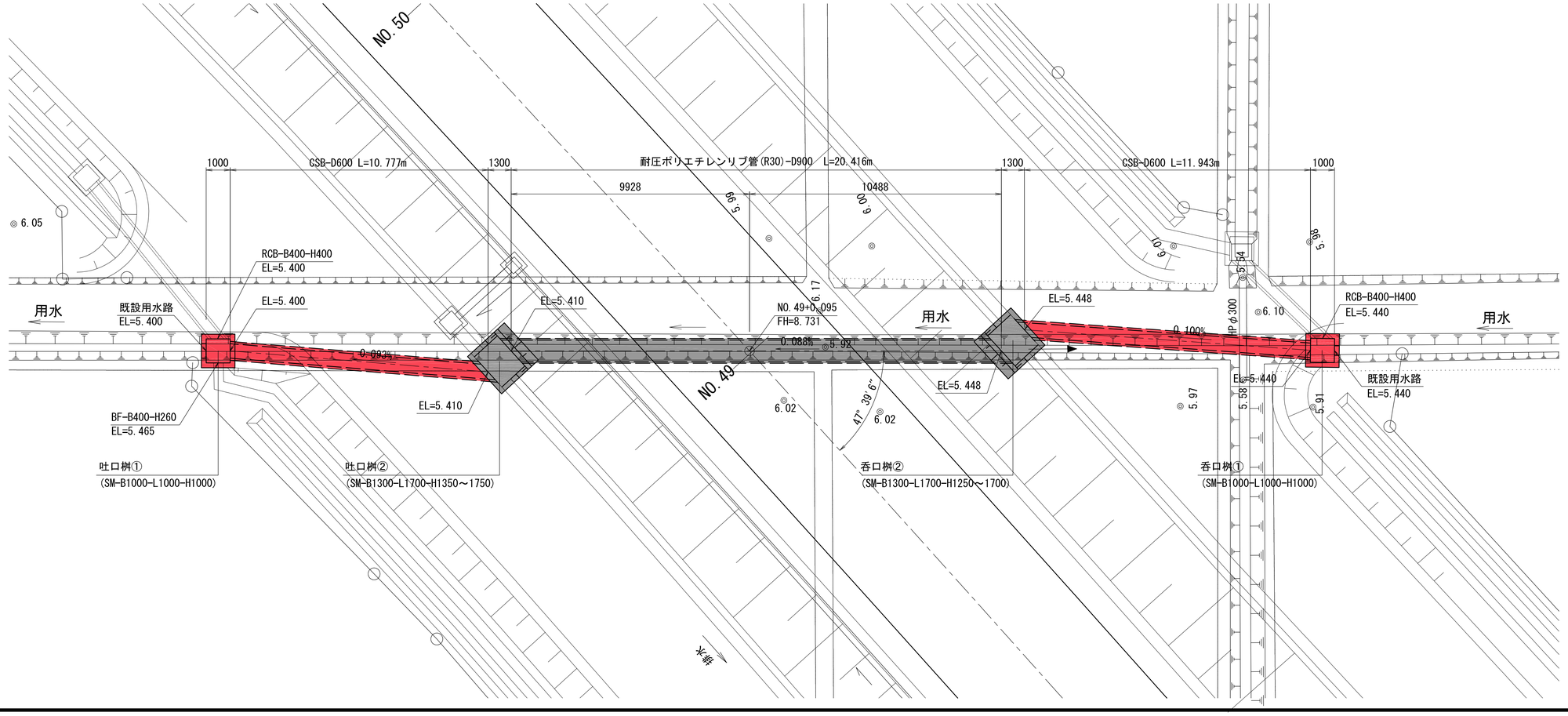


標準断面図 S=1:50





平面図 S=1:100



実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

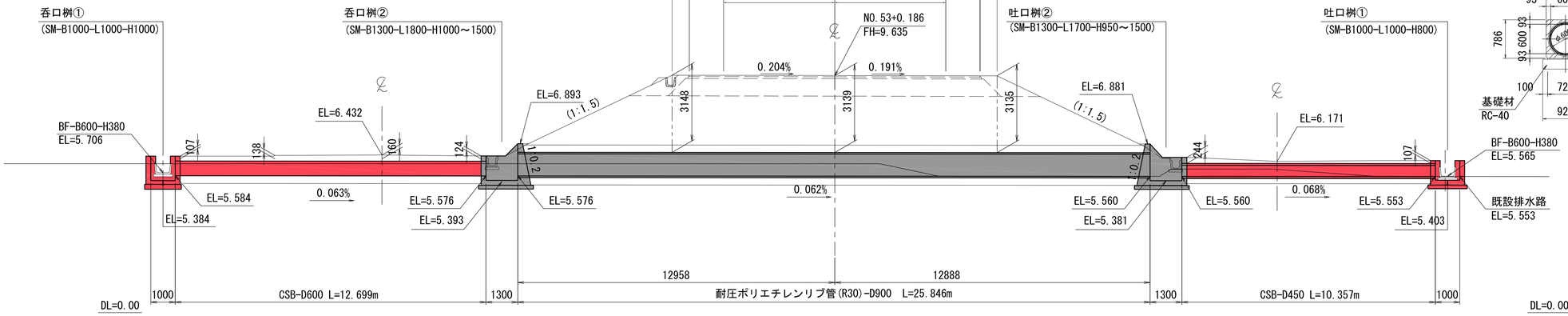
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	管渠工詳細図(9)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	78 / 134

管渠工詳細図(10)

(NO.53+0.186)

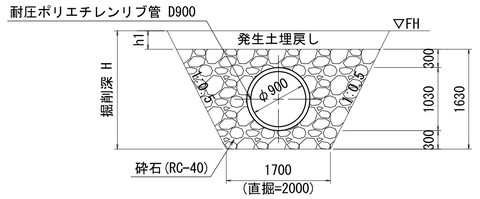
側面図 S=1:100

FH=9.671

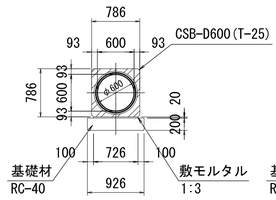


標準断面図 S=1:50

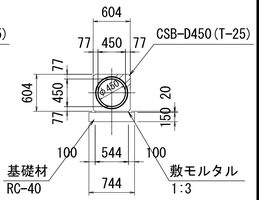
耐圧ポリエチレンリブ管(R30)-D900



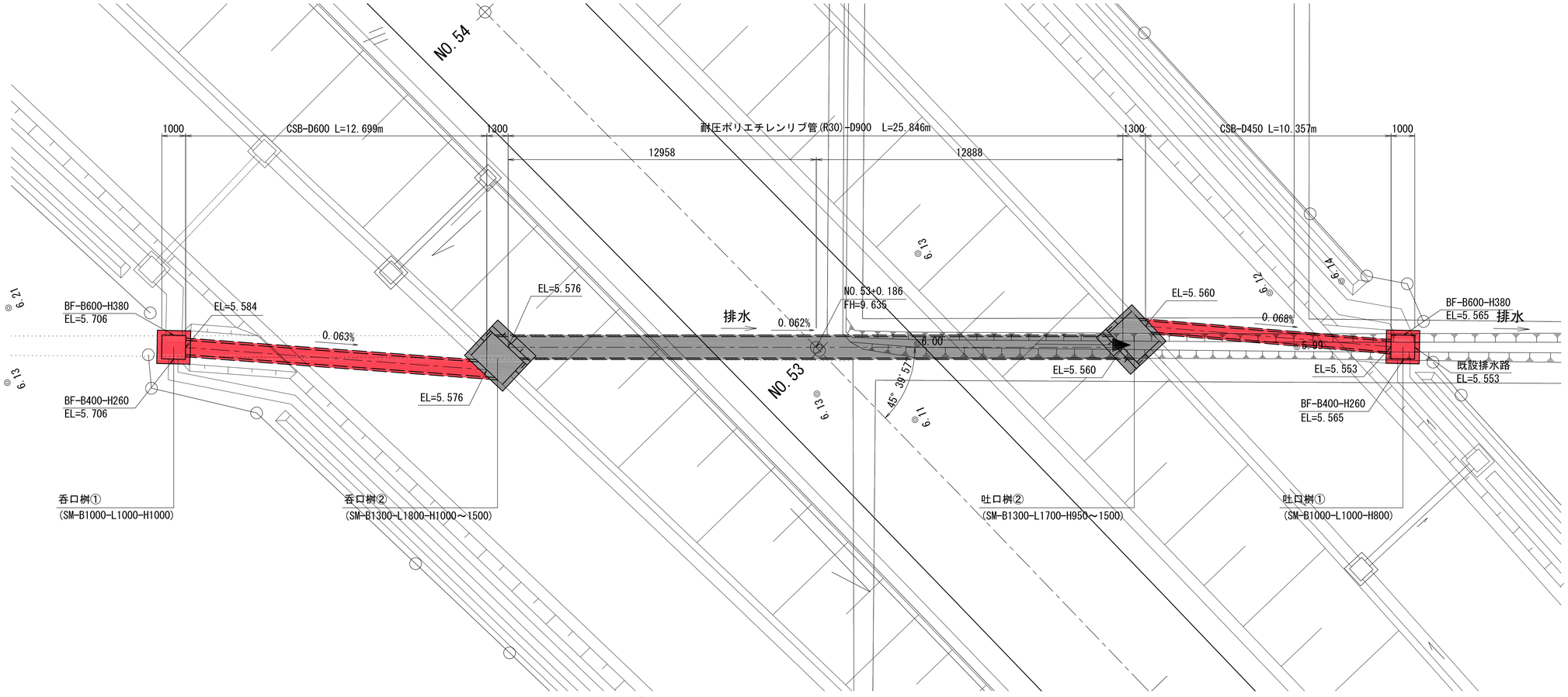
CSB-D600



CSB-D450



平面図 S=1:100



実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	管渠工詳細図(10)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	79 / 134

呑吐口部詳細図(6)

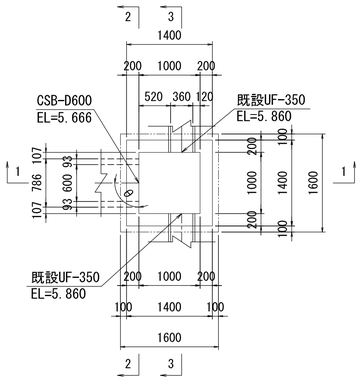
(NO.34+9.402)

呑口部 S=1:50

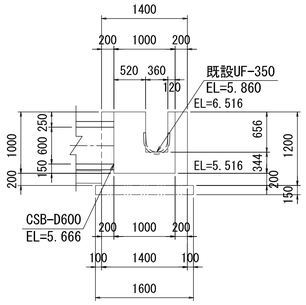
呑口部 ①

(SM-B1000-L1000-H1000)

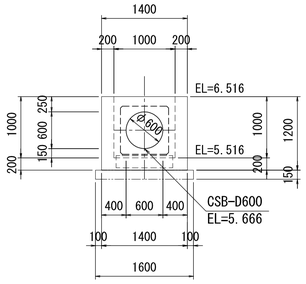
平面図



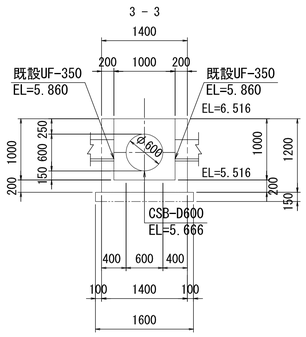
1－1



2－2



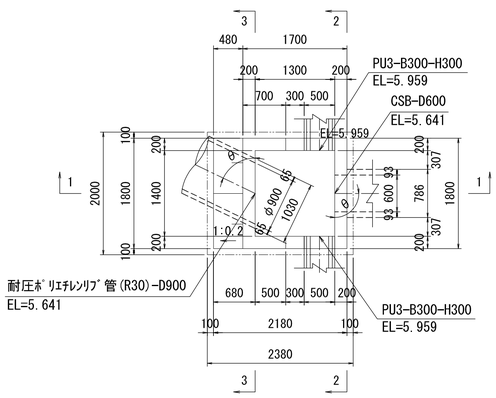
3－3



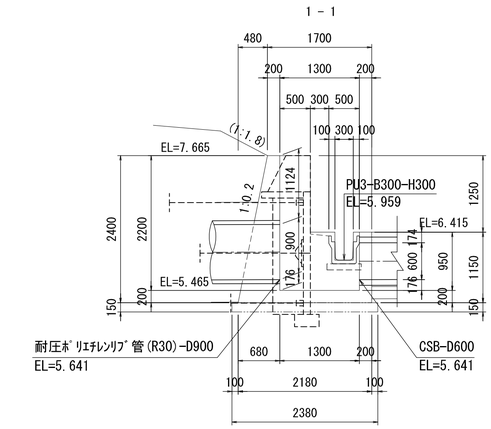
呑口部 ②

(SM-B1300-L1400-H950～2200)

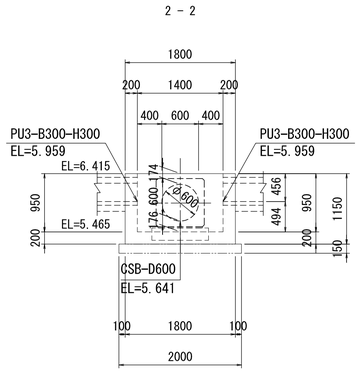
平面図



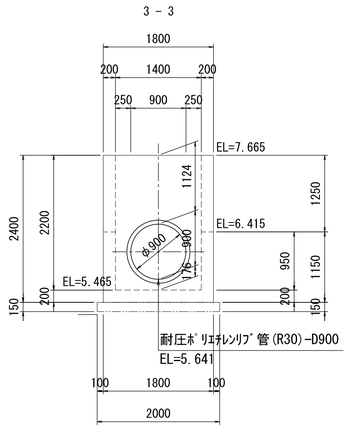
1－1



2－2



3－3

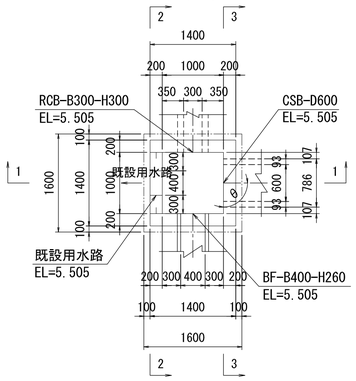


吐口部 S=1:50

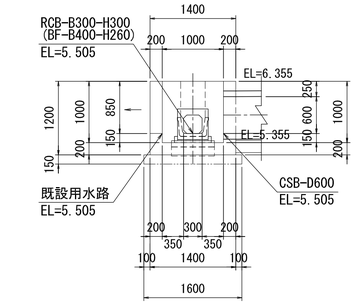
吐口部 ①

(SM-B1000-L1000-H1000)

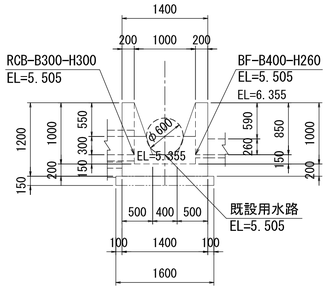
平面図



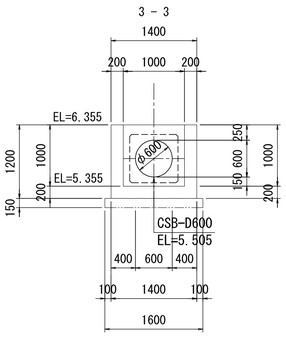
1－1



2－2



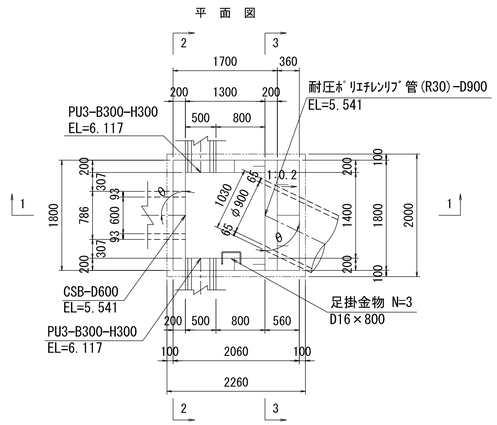
3－3



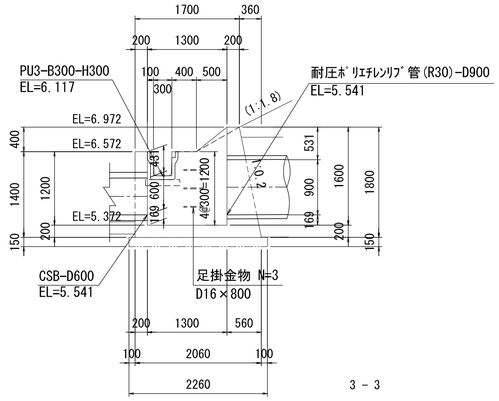
吐口部 ②

(SM-B1300-L1400-H1200～1600)

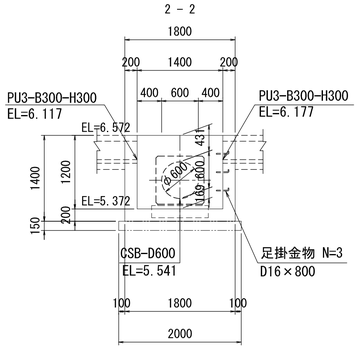
平面図



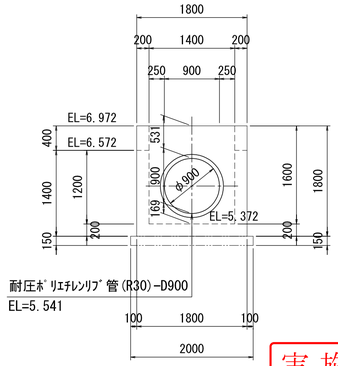
1－1



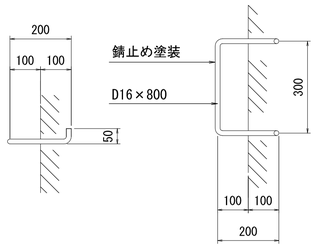
2－2



3－3



足掛金物 S=1:10



実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	呑吐口部詳細図(6)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	80 / 134

呑吐口部詳細図(7)

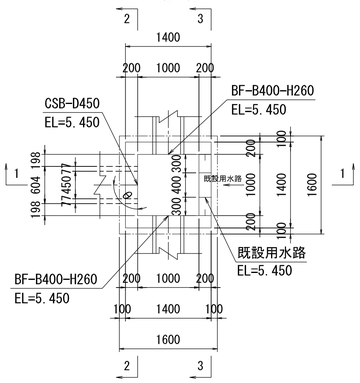
(NO.37+16.543)

呑口部 S=1:50

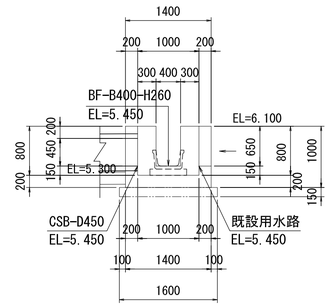
呑口部 ①

(SM-B1000-L1000-H800)

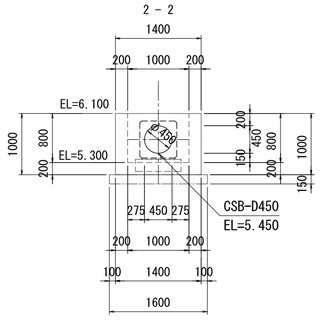
平面図



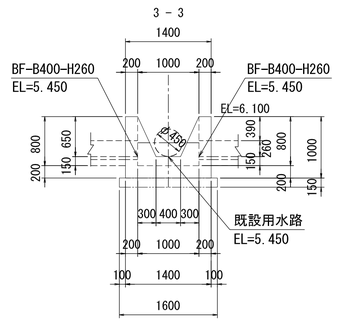
1－1



2－2



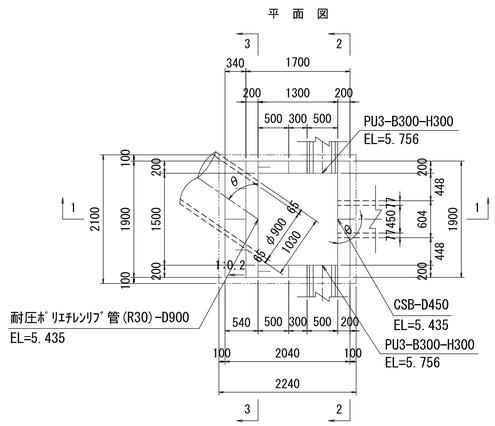
3－3



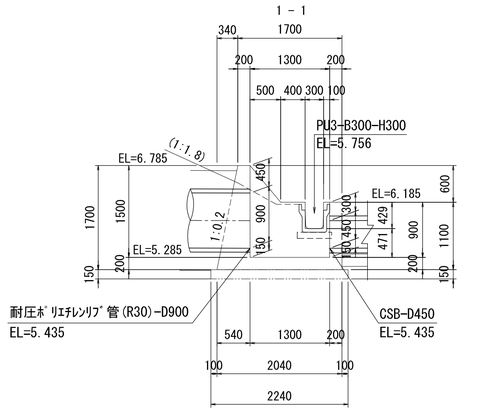
呑口部 ②

(SM-B1300-L1500-H900～1500)

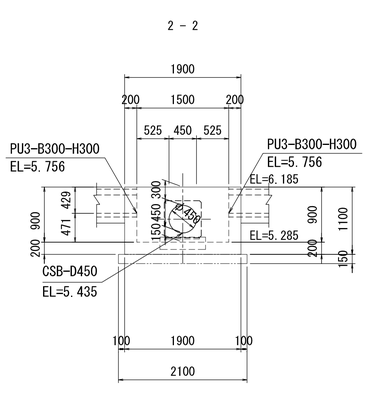
平面図



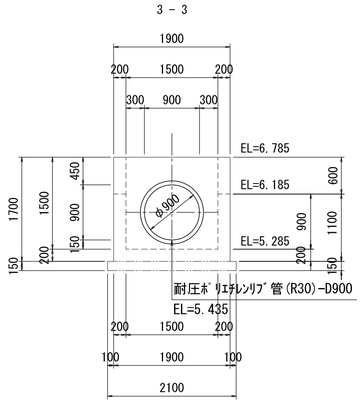
1－1



2－2



3－3

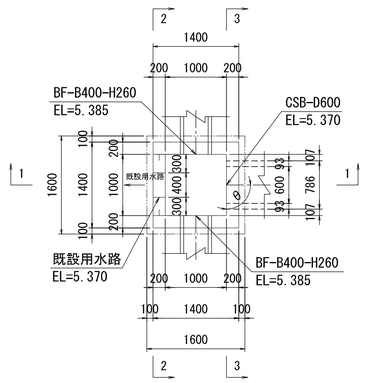


吐口部 S=1:50

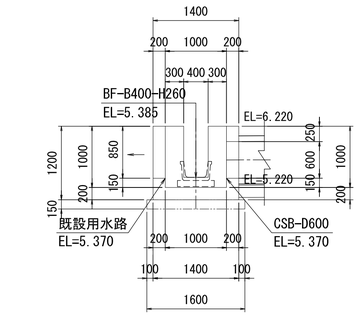
吐口部 ①

(SM-B1000-L1000-H1000)

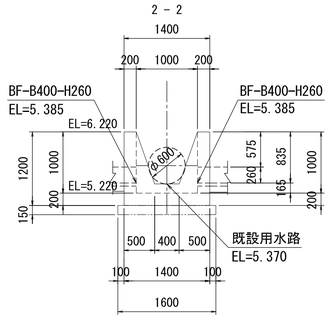
平面図



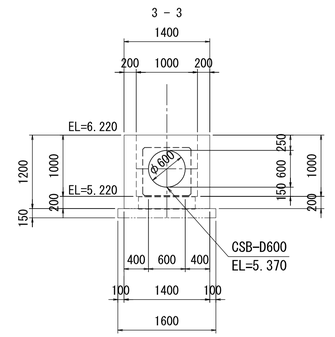
1－1



2－2



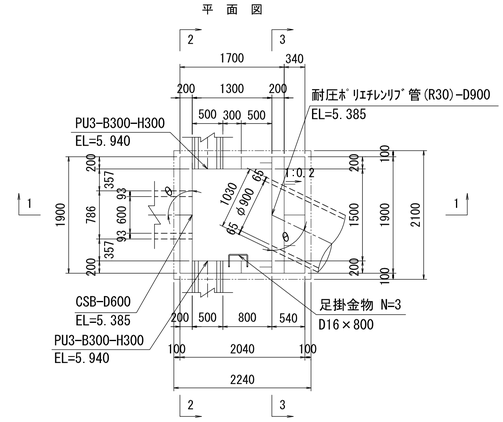
3－3



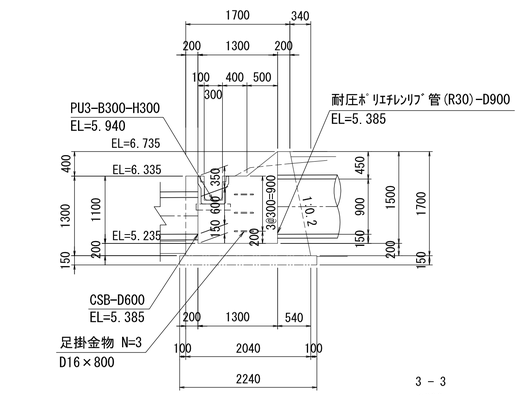
吐口部 ②

(SM-B1300-L1500-H1100～1500)

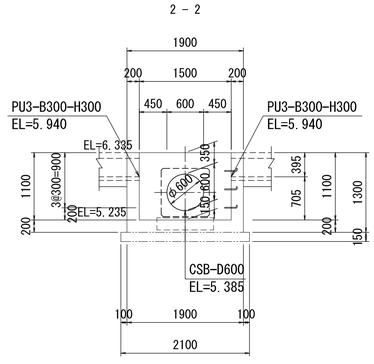
平面図



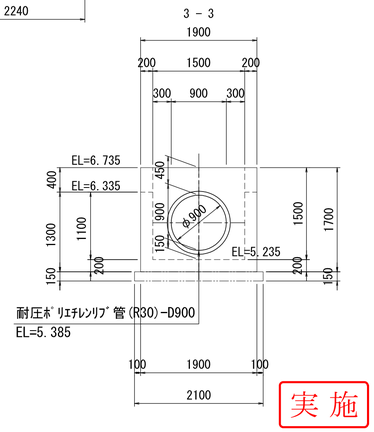
1－1



2－2

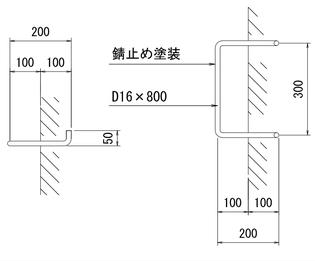


3－3



実施

足掛金物 S=1:10



工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	呑吐口部詳細図(7)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	81 / 134

呑吐口部詳細図(8)

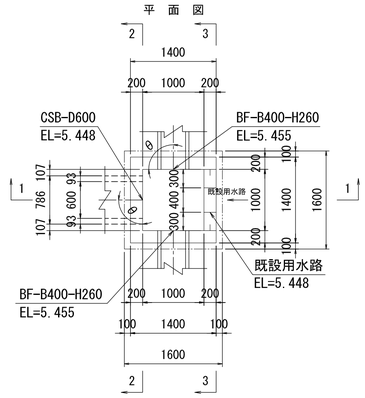
(NO.45+6.038)

呑口部 S=1:50

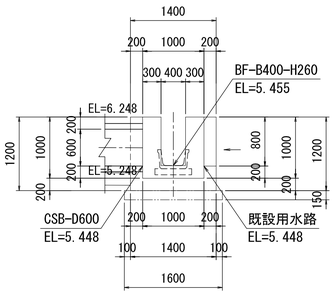
呑口部 ①

(SM-B1000-L1000-H1000)

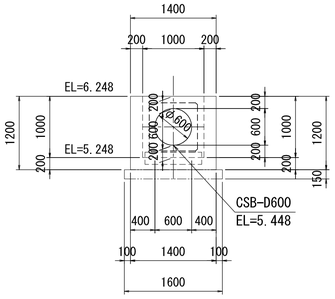
平面図



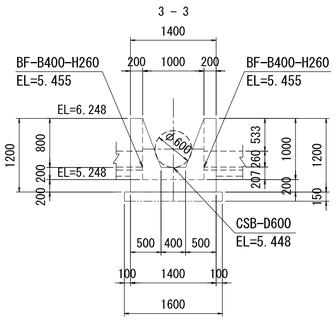
1－1



2－2



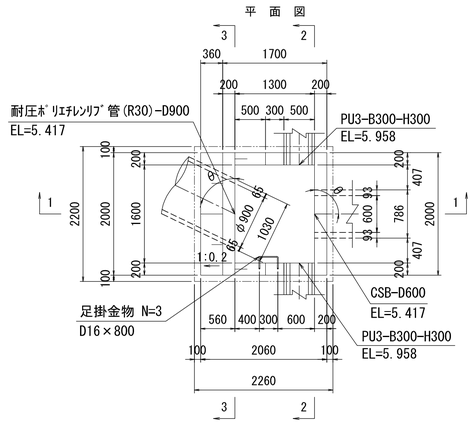
3－3



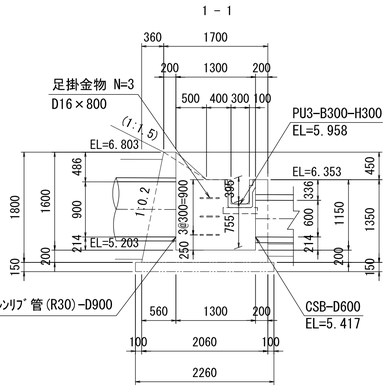
呑口部 ②

(SM-B1300-L1600-H1150～1600)

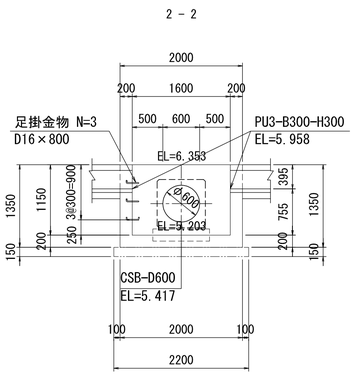
平面図



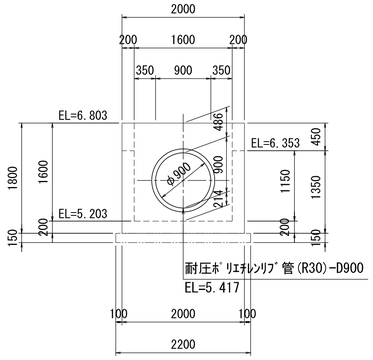
1－1



2－2



3－3

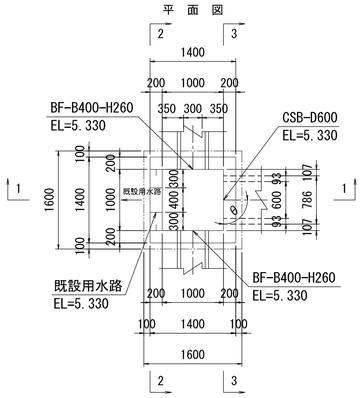


吐口部 S=1:50

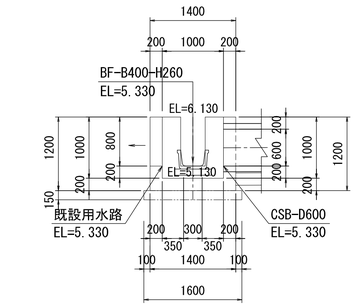
吐口部 ①

(SM-B1000-L1000-H1000)

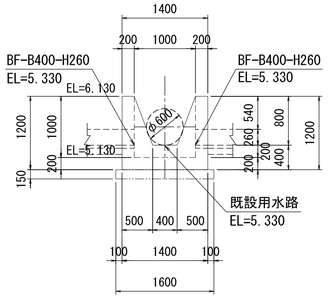
平面図



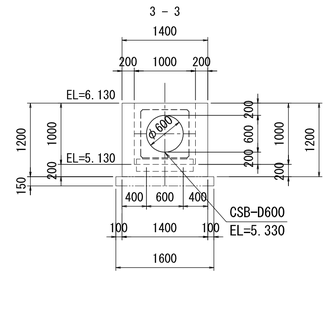
1－1



2－2



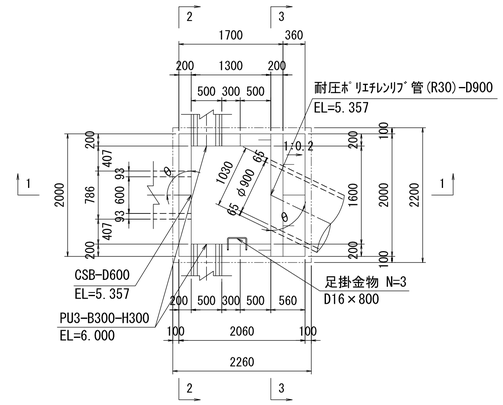
3－3



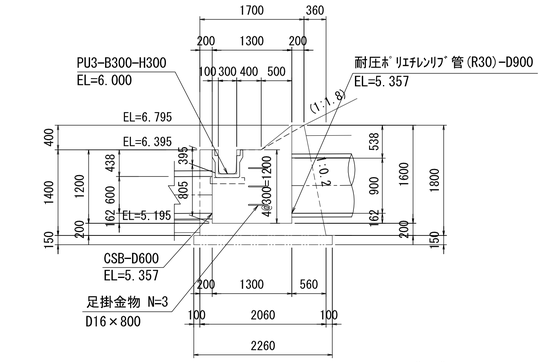
吐口部 ②

(SM-B1300-L1600-H1200～1600)

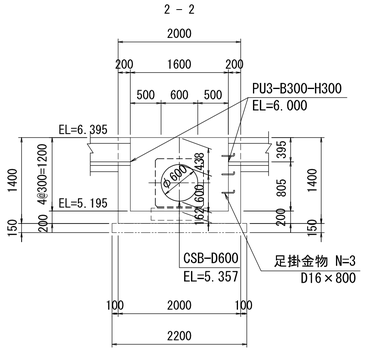
平面図



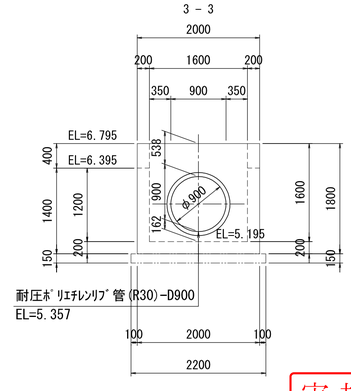
1－1



2－2

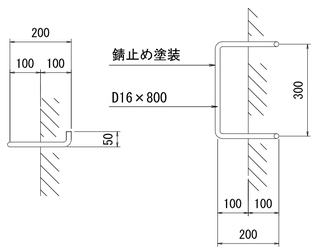


3－3



実施

足掛金物 S=1:10



工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	呑吐口部詳細図(8)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	82 / 134

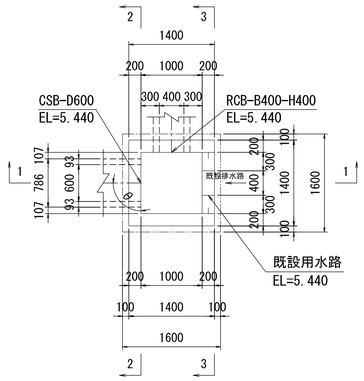
呑吐口部詳細図(9)

(NO.49+0.095)

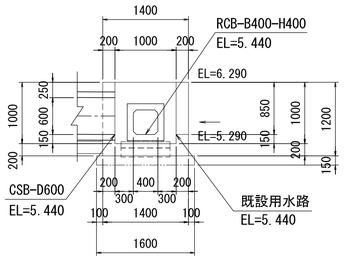
呑口部 S=1:50

呑口部① (SM-B1000-L1000-H1000)

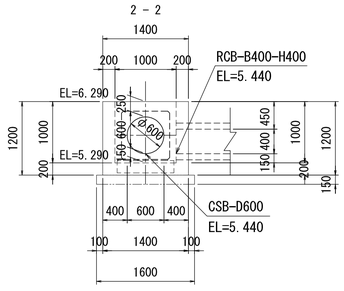
平面図



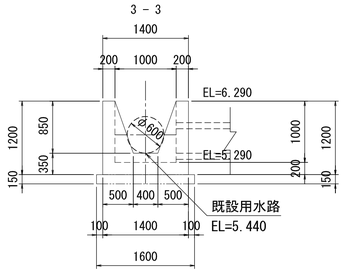
1－1



2－2

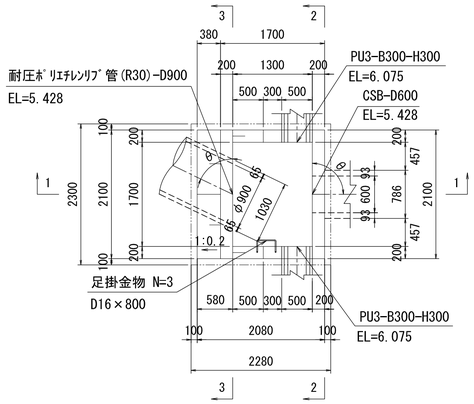


3－3

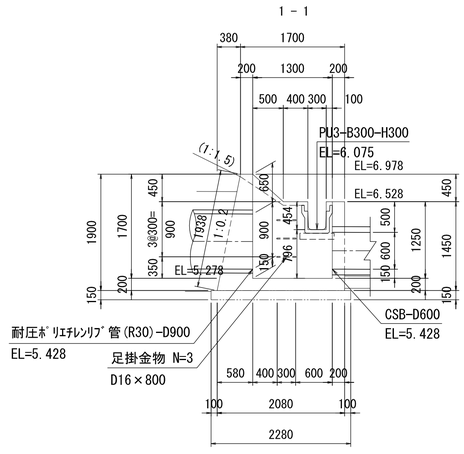


呑口部② (SM-B1300-L1700-H1250～1700)

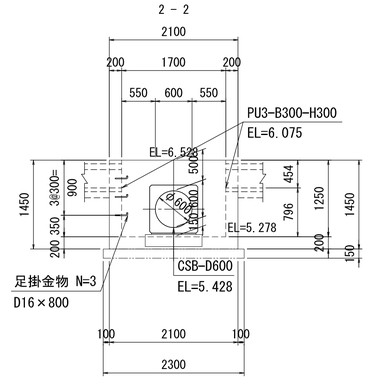
平面図



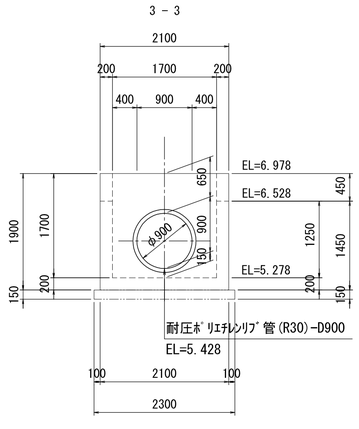
1－1



2－2



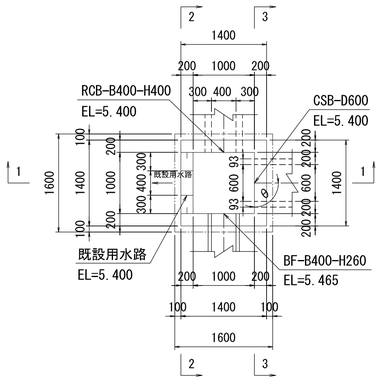
3－3



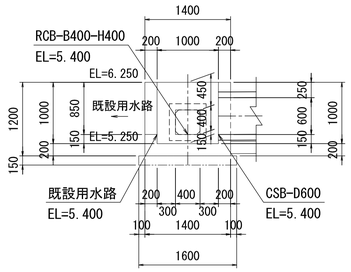
吐口部 S=1:50

吐口部① (SM-B1000-L1000-H1000)

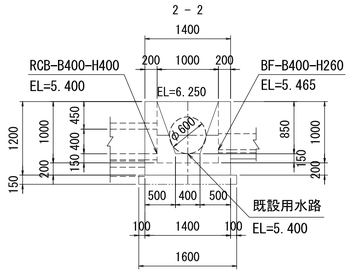
平面図



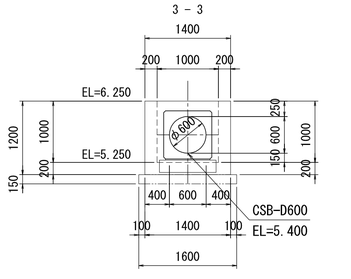
1－1



2－2

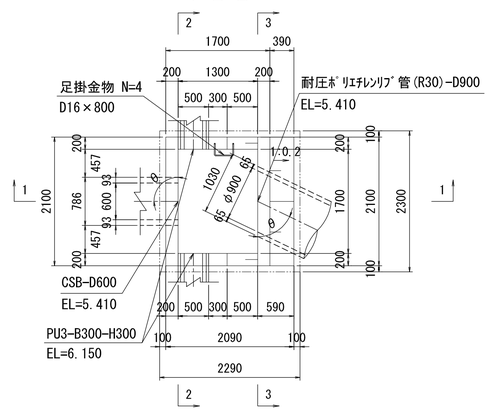


3－3

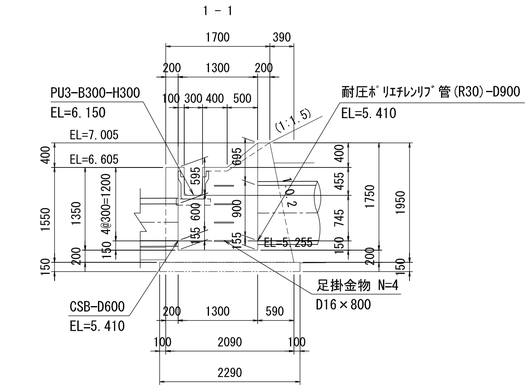


吐口部② (SM-B1300-L1700-H1350～1750)

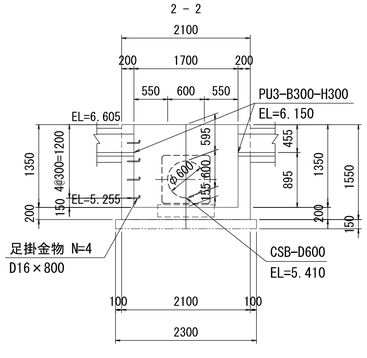
平面図



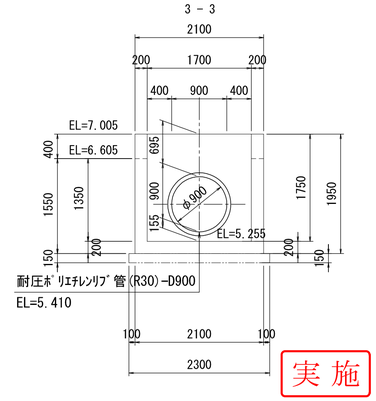
1－1



2－2

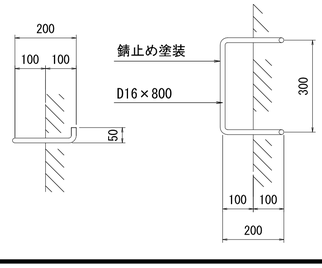


3－3



実施

足掛金物 S=1:10



工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	呑吐口部詳細図(9)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	83 / 134

呑 吐 口 部 詳 細 図 (10)

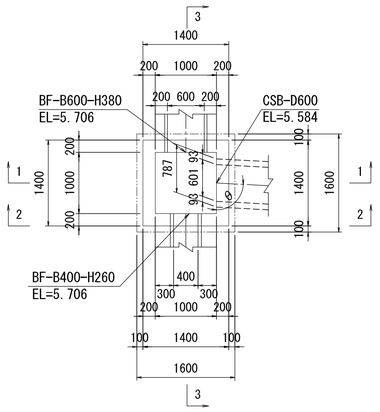
(NO.53+0.186)

呑 口 部 S=1:50

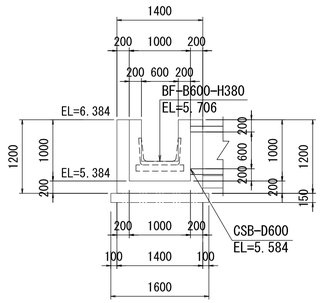
呑 口 部 ①

(SM-B1000-L1000-H1000)

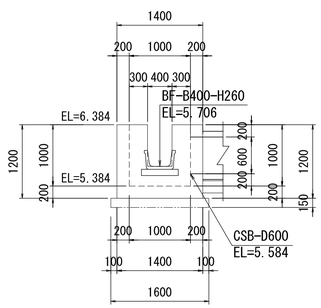
平 面 図



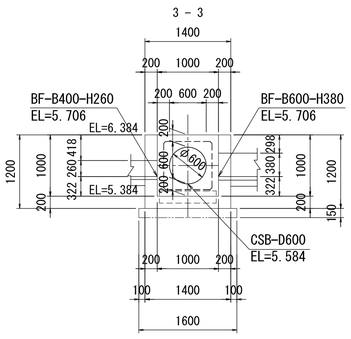
1 － 1



2 － 2



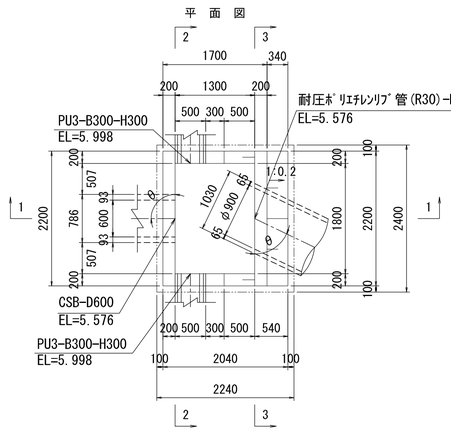
3 － 3



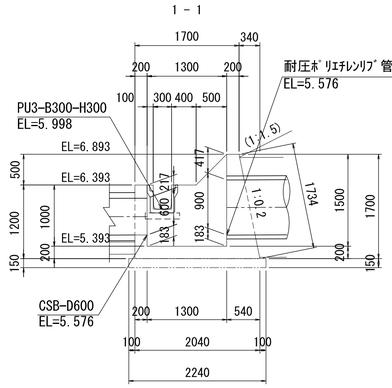
呑 口 部 ②

(SM-B1300-L1800-H1000～1500)

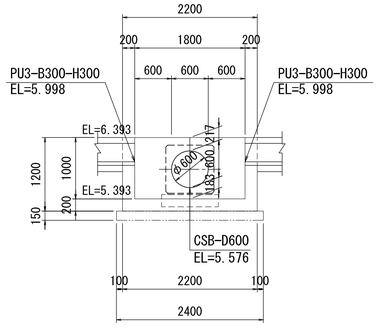
平 面 図



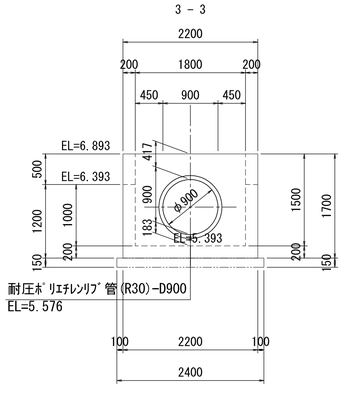
1 － 1



2 － 2



3 － 3

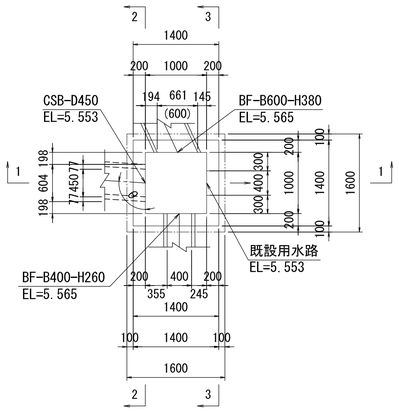


吐 口 部 S=1:50

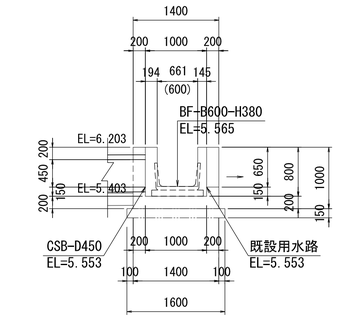
吐 口 部 ①

(SM-B1000-L1000-H800)

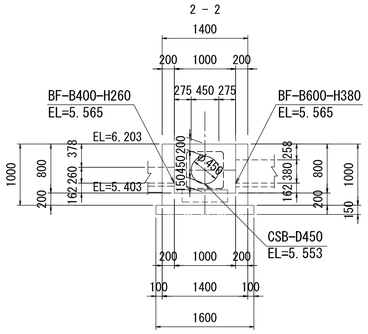
平 面 図



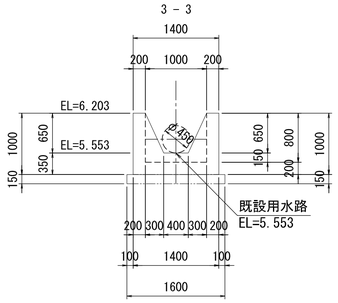
1 － 1



2 － 2



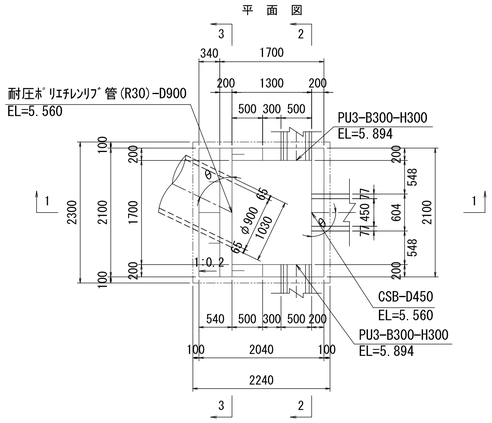
3 － 3



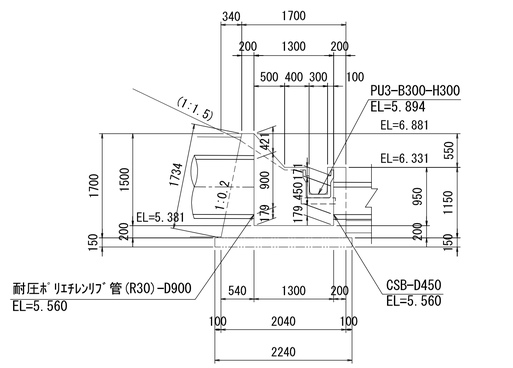
吐 口 部 ②

(SM-B1300-L1700-H950～1500)

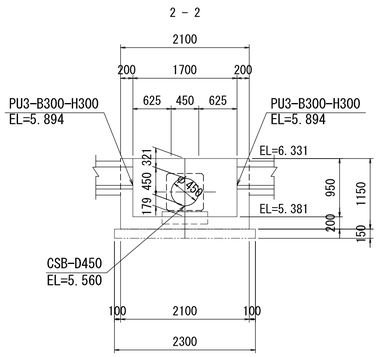
平 面 図



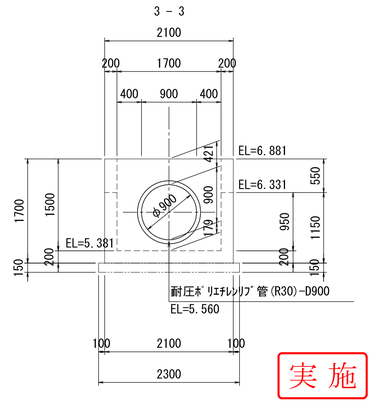
1 － 1



2 － 2



3 － 3

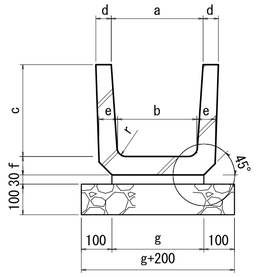


実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	呑吐口部詳細図(10)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	84 / 134

排　水　工　詳　細　図 (1)

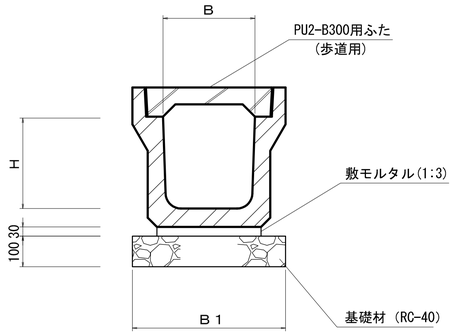
U型側溝（路肩排水用）



寸　法　表

種　別	a	b	c	d	e	f	g	r	L	摘　要
PU1-B300-H300	300	260	300	50	60	60	300	50	600	
PU1-B600-H600	600	540	600	70	80	80	600	70	600	

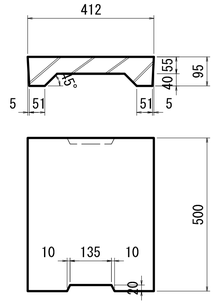
落蓋式U型側溝（歩道用）



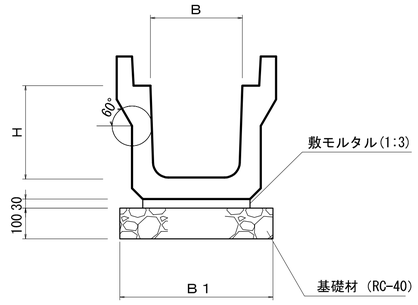
寸　法　表

種　別	B	H	B 1	摘　要
PU2-B300-H300	300	300	500	歩道用

PU2-B300用ふた（歩道用）



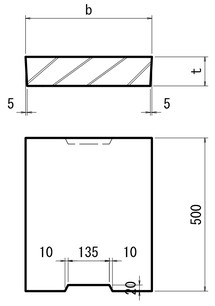
落蓋式U型側溝（車道用）



寸　法　表

種　別	呼び名	B	H	B 1	摘　要
PU3-B300-H300	300A	300	300	500	
PU3-B300-H400	300B	300	400	500	
PU3-B500-H500	500A	500	500	700	

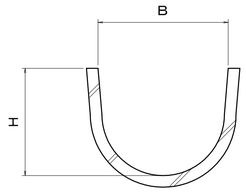
PU3用蓋（3種）（車道用）



寸　法　表

種　別	b	t	参考質量
PU3-B300-H300	412	95	45 kg/枚
PU3-B300-H400	412	95	45 kg/枚
PU3-B500-H500	622	125	92 kg/枚

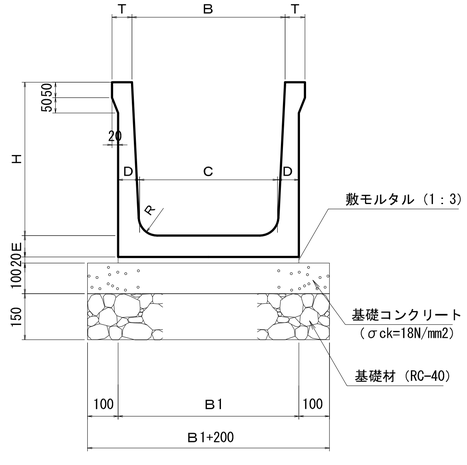
U型フリューム UF-（ ）



寸　法　表

種　別	B	H	摘　要
UF-300	310	275	

U型側溝 PU1-B（ ）-H（ ）

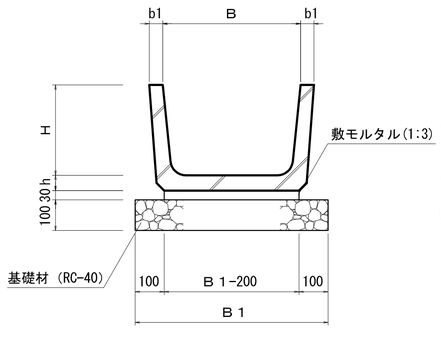


寸　法　表

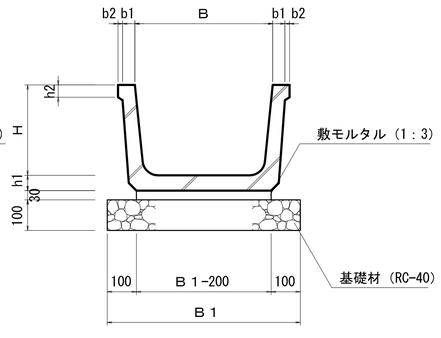
種　別	B	H	C	D	E	R	T	B 1	摘　要
PU1-B500-H500	500	500	450	70	70	60	65	590	
PU1-B700-H900	700	900	610	95	95	80	70	800	
PU1-B700-H1000	700	1000	600	100	100	100	70	800	

BF型側溝 BF-B（ ）-H（ ）

《縁なし》



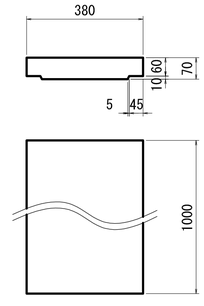
《縁あり》



寸　法　表

種　別	B	H	h1	h2	b1	b2	B 1	摘　要
BFⅡ-B300-H200	300	200	40	30	30	10	500	Ⅱ種
BFⅠ-B400-H260	400	260	50	40	40	15	600	Ⅰ種
BFⅠ-B500-H320	500	320	55	—	45	—	700	Ⅰ種
BFⅠ-B550-H355	550	355	60	—	45	—	750	Ⅰ種
BFⅠ-B600-H380	600	380	60	—	45	—	800	Ⅰ種

BFⅡ-B300用ふた

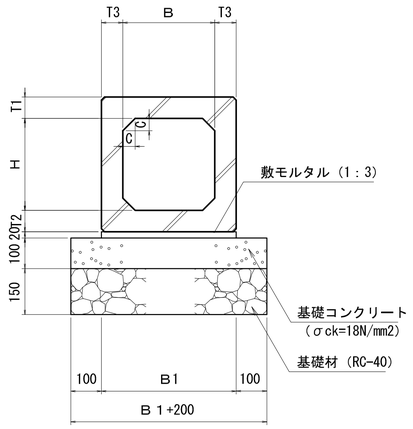


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(1)		
縮尺	1:10	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	85 / 134

排　水　工　詳　細　図(2)

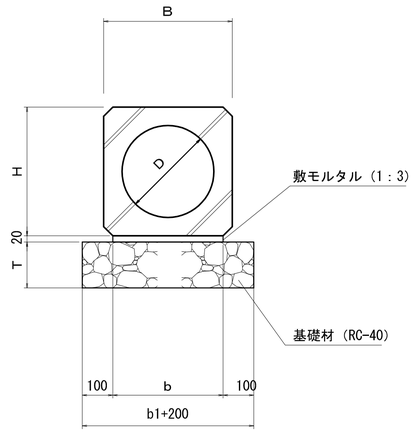
プレキャストBOX　S=1:10
RCB-B（ ）-H（ ）



寸　法　表

種　別	B	H	T１	T２	T３	C	B１	摘　要
RCB-B300-H300	300	300	100	100	100	50	500	
RCB-B400-H400	400	400	100	100	100	50	600	
RCB-B500-H500	500	500	110	110	110	70	720	
RCB-B600-H600	600	600	130	130	130	100	860	
RCB-B700-H700	700	700	130	130	130	100	960	
RCB-B1000-H1000	1000	1000	130	130	130	150	1260	

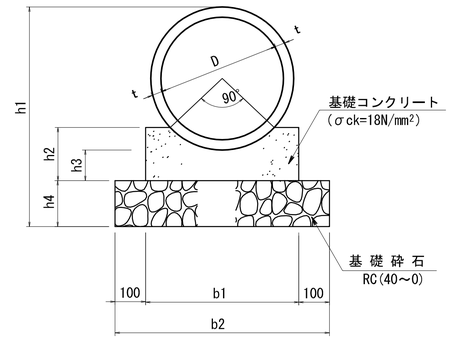
Ｃ　Ｓ　Ｂ　管　S=1:10
CSB管-D（ ）



寸　法　表

種　別	B	H	b	b１	T	摘　要
CSB管-D300	420	420	360	560	150	
CSB管-D450	604	604	544	744	150	
CSB管-D600	786	786	726	926	200	
CSB管-D900	1152	1152	1092	1292	200	

管　渠　S=1:10
P-φ（ ）



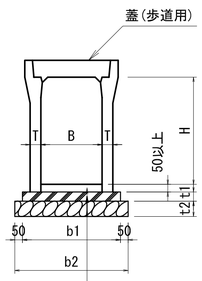
材　料　表

（10m当り）

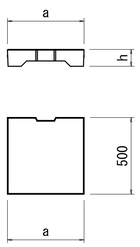
細別名称	寸法表（mm） t	b1	b2	h1	h2	h3	h4	材料表 遠心鉄筋コンクリート管（本）	コンクリート σck=18N/mm² m3	型枠 m2	基礎砕石 RC(40～0) m2	摘　要
P1-RC-1-D 200	27	400	600	504	140	100	150	5.0	0.509	2.800	6.000	JIS A 5303
P1-RC-1-D 300	30	500	700	610	160	100	150	5.0	0.688	3.200	7.000	〃

自　由　勾　配　側　溝　S=1:20
自由勾配側溝 B（ ）

側　面　図



B 型 用 蓋



インバートコンクリート(σCK=18N/mm2)
ベースコンクリート(σCK=18N/mm2)
基　礎　材（40～0）

寸　法　表

B	H	T	b1	b2	t1	t2	a	h
300	300	50	500	600	50	100	400	95
	400	55	510	610				
	500							
	600	65	530	630				
	700							
	800	75	550	650				
	900							
	1000	85	570	670				
	1100							
600	400	65	830	930	100	100	700	140
	500							
	600							
	700	75	850	950				
	800							
	900							
	1000	90	880	980				
	1100							
	1200							
	1300	100	900	1000				
	1400							
	1500							

寸　法　表

B	H	T	b1	b2	t1	t2	a	h
700	500	135	1070	1170	100	150	820	150
	600							
	700							
	800							
	900							
	1000							
	1100							
	1200							
	1300							
	1400							
	1500							
	1600							
	1700							
1000	800	150	1400	1500	150	150	1130	180
	900							
	1000							
	1100							
	1200							
	1300							
	1400							
	1500							
	1600							
	1700							
	1800							
	1900							
	2000							

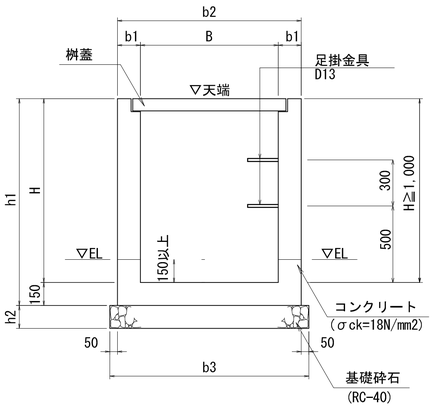
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(2)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	86 / 134

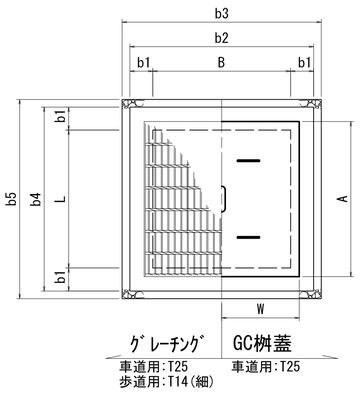
排 水 工 詳 細 図 (4)

集 水 桝 S=1:20
(G1:車道用/歩道用)

断 面 図

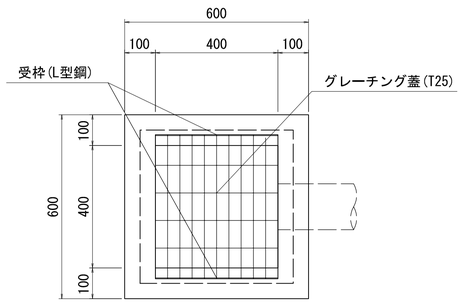


平 面 図

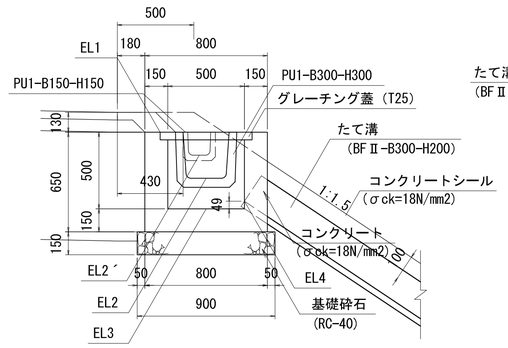


路面排水桝(RHM型:T25) S=1:10

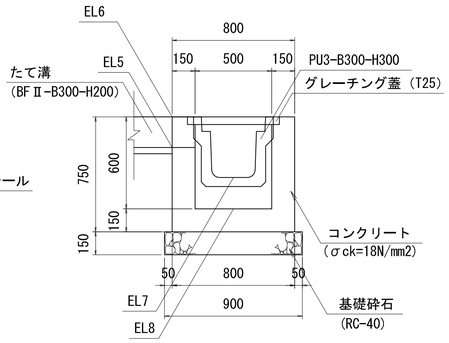
平 面 図



上段路肩桝 S=1:20
(A部詳細)



下段路肩桝 S=1:20



集 水 桝 S=1:20
(G2桝)

蓋 無 し 縞鋼板蓋

蓋 無 し 縞鋼板蓋

断 面 図

縞鋼板蓋 (1枚掛) S=1:20

取 手 S=1:20
(φ13)

足掛金具 S=1:10

縞鋼板蓋 (2枚掛) S=1:30

縞鋼板蓋寸法表(mm)

桝寸法	寸 法		摘要
	B	B/2	
500×500用	800	—	
600×600用	900	—	
700×700用	1000	—	
800×800用	1100	—	
1000×1000用	1400	—	
1100×1100用	1500	750	2枚掛
1200×1200用	1600	800	2枚掛
1400×1400用	1800	900	2枚掛
1500×1500用	1900	950	2枚掛

GC型街渠桝蓋 S=1:20

GC型街渠桝蓋寸法表(mm)

桝寸法	寸 法								摘要
	A	W	K	W1	W2	W3	a1	a2	
GC-B500-L500	630	310	500(=5×100)	80	60	55	410	110	
GC-B600-L600	730	360	600(=6×100)	80	70	70	510	110	
GC-B700-L700	830	410	700(=7×100)	100	80	75	390	220	
GC-B800-L800	930	460	800(=8×100)	100	100	80	490	220	
GC-B900-L900	1030	510	900(=9×100)	240	70	65	590	220	

つり金具詳細図 S=1:5

実 施

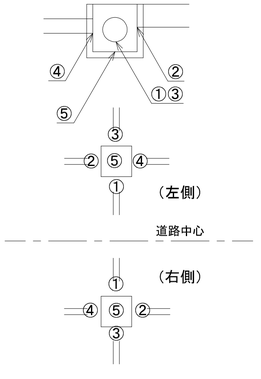
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(4)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	87 / 134

排　水　工　詳　細　図(5)

【本線-左側(NO.0～NO.32)】

測点	左右	桝サイズ					桝天端高	排水構造物及び設置高					備考
		B	L	H		他		①	②	③	④	⑤(桝底高)	
No.15+15.6	L	500	500	500	-		11.362	-	-	BF-B300-H200 10.911	PU1-B300-H300 11.062	10.862	上段路肩桝
No.17+11.0	L	500	500	500	-		11.757	-	PU1-B300-H300 11.457	BF-B300-H200 11.307	PU1-B300-H300 11.457	11.257	上段路肩桝
No.23+12.5	L	500	500	500	-		12.473	-	PU1-B300-H300 12.173	BF-B300-H200 12.022	PU1-B300-H300 12.173	11.973	上段路肩桝
No.26+13.7	L	500	500	500	-		12.806	-	PU1-B300-H300 12.506	BF-B300-H200 12.355	PU1-B300-H300 -	12.306	上段路肩桝
No.17+11.0	L	800	800	1200	-	縞	6.250	BF-B300-H200 6.050	BF-B400-H260 5.990	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.200	PU3-B300-H300 5.834	5.050	側道路肩桝
No.22+9.5	L	700	700	800	-	T25	6.921	-	-	RCB-B300-H300 6.321	PU3-B300-H300 6.526	6.121	側道路肩桝
No.23+12.5	L	700	700	600	-	T25	7.140	BF-B300-H200 6.940	PU3-B300-H300 6.745	-	PU3-B300-H300 6.745	6.540	側道路肩桝
No.26+13.4	L	700	700	600	-	T25	7.166	BF-B300-H200 6.966	PU3-B300-H300 6.771	-	PU3-B300-H300 6.771	6.566	側道路肩桝
No.1+16.3	L	1400	1400	1600	-	縞	6.300	-	自由勾配側溝B1000 4.873	既設用水路 5.265	自由勾配側溝B1000 4.873	4.700	既設用排水路に接続
No.7+18.0	L	1000	1400	1500	-			ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.123	BF-B400-H260 5.682	-	BF-B400-H260 5.682	4.960	呑口桝
No.10+6.2	L	800	800	500	-	縞	6.090	-	BF-B400-H260 5.830	-	BF-B400-H260 5.830	5.590	
No.14+0.2	L	1000	1000	900	-	縞	6.120	-	PU3-B500-H500 5.485	-	既設用水路 5.485	5.220	既設用排水路に接続
No.15+15.6	L	700	700	500	-	縞	6.090	BF-B300-H200 6.940	BF-B400-H260 6.877	-	BF-B400-H260 6.877	6.640	
No.17+9.6	L	1400	1400	1500	-		6.075	ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.725	-	既設排水路 4.725	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.080	4.575	呑口桝
No.18+0.9	L	700	700	1200	-	縞	6.340	-	P-φ0.3 5.325	-	BF-B400-H260 6.075	5.140	流末
No.19+2.9	L	1000	1000	500	900			CSB-D450 6.100	BF-B400-H260 6.100	-	BF-B400-H260 6.100	5.950	吐口桝①
No.19+2.9	L	1500	1300	1100	1500			ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 6.102	PU3-B300-H300 6.655	CSB-D450 6.102	PU3-B300-H300 6.655	5.950	吐口桝②
No.21+2.8	L	800	800	1700	-	縞	6.380	-	BF-B400-H260 6.075	-	RCB-B300-H300 4.830	4.680	
No.21+4.9	L	1400	1400	1700	-	縞	6.360	CSB-D900 4.822	RCB-B300-H300 4.822	既設排水路 4.822	-	4.660	吐口桝① 既設排水路に接続
No.21+10.8	L	1400	1400	2200	-	縞	6.870	ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.829	PU3-B300-H300 6.475	CSB-D900 4.829	RCB-B400-H400 5.480	4.670	吐口桝②
No.21+13.2	L	800	800	1400	-	T25	6.890	PU3-B300-H300 6.495	RCB-B400-H400 5.650	-	RCB-B400-H400 5.650	5.490	
No.22+0.3	L	800	800	900	-	縞	6.422	-	RCB-B400-H400 5.672	-	BF-B400-H260 5.672	5.522	
No.22+9.2	L	700	700	800	-	縞	6.345	RCB-B300-H300 5.695	BF-B400-H260 5.695	-	BF-B400-H260 5.695	5.545	
No.24+8.1	L	1000	1000	500	-	縞	6.160	BF-B400-H260 5.810	-	既設用水路 5.810	BF-B400-H260 5.810	5.660	既設用水路に接続
No.27+13.8	L	700	700	500	-	縞	6.240	既設用水路 5.891	BF-B400-H260 5.891	既設用水路 5.891	-	5.740	既設用水路に接続
No.28+2.0	L	700	700	500	-	縞	6.260	-	-	既設用水路 5.910	BF-B400-H260 5.995	5.760	既設用水路に接続
No.30+14.8	L	700	700	800	-	縞	6.660	-	BF-B400-H260 6.055	-	CSB-D300 6.055	5.860	
No.30+19.9	L	700	700	700	-	T25	7.130	PU3-B300-H300 6.734	PU3-B300-H300 6.734	-	CSB-D300 6.657	6.430	
No.31+4.8	L	900	900	800	-	T25	7.150	自由勾配側溝B600 6.644	CSB-D300 6.644	既設用水路 UF-B600 6.644	RCB-B300-H300 6.549	6.350	分水桝 既設用水路に接続
No.31+7.5	L	1000	1000	800	-	T25	7.210	場所打ちU型側溝 B650-H650 6.637	CSB-D300 6.637	自由勾配側溝 B600 6.637	-	6.410	
No.31+11.8	L	800	800	800	-	縞	6.293	RCB-B300-H300 5.643	RCB-B300-H300 5.643	-	BF-B400-H260 5.643	5.493	
No.31+13.9	L	700	700	800	-	T25	7.060	PU3-B300-H300 6.656	-	RCB-B300-H300 6.460	-	6.260	
No.31+16.0	L	700	700	500	-	縞	5.987	-	BF-B400-H260 5.637	既設用水路 5.637	BF-B400-H260 5.637	5.487	既設用水路に接続

桝高表示案内図



※P-φ：ｺﾙｹﾞｰﾄ管（円形1形）
※ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ：耐圧ﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管（R30）
※CSB：CSB管（Ⅰ型）

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(5)		
縮尺	-	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	88 / 134

排 水 工 詳 細 図 (6)

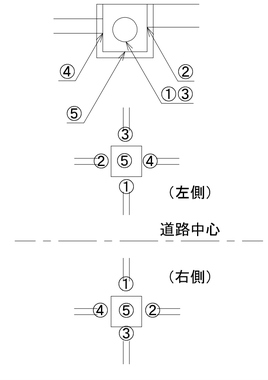
【本線-左側(NO.32～NO.70)】

測点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	排水構造物及び設置高 ①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.42+8.3	L	500	500	500	-	12.075	-	PU1-B300-H300 11.775	BF-B300-H200 11.624	PU1-B300-H300 11.775	11.575	上段路肩桝
No.39+18.5	L	500	500	500	-	11.015	-	PU1-B300-H300 10.715	BF-B300-H200 10.564	-	10.515	上段路肩桝
No.46+7.5	L	500	500	500	-	9.081	-	PU1-B300-H300 8.781	BF-B300-H200 8.630	PU1-B300-H300 8.781	8.581	上段路肩桝
No.49+9.4	L	500	500	500	-	8.500	-	PU1-B300-H300 8.200	BF-B300-H200 8.049	PU1-B300-H300 8.200	8.000	上段路肩桝
No.53+15.0	L	500	500	500	-	9.756	-	PU1-B300-H300 9.456	BF-B300-H200 9.305	PU1-B300-H300 9.456	9.256	上段路肩桝
No.57+0.0	L	500	500	500	-	11.232	-	PU1-B300-H300 10.932	BF-B300-H200 10.781	PU1-B300-H300 10.932	10.732	上段路肩桝
No.63+0.0	L	500	500	500	-	13.956	-	PU1-B300-H300 13.656	BF-B300-H200 13.505	PU1-B300-H300 13.656	13.456	上段路肩桝
No.67+12.5	L	500	500	500	-	16.420	-	PU1-B300-H300 16.120	BF-B300-H200 15.969	PU1-B300-H300 16.120	15.920	上段路肩桝
No.34+16.4	L	1300	1400	1200	1600		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.541	PU3-B300-H300 6.177	CSB-D600 5.541	PU3-B300-H300 6.177	5.372	側道路肩桝(吐口桝)
No.36+0.0	L	700	700	700	-	T25 6.565	BF-B300-H200 6.265	PU3-B300-H300 6.070	-	PU3-B300-H300 6.070	5.865	側道路肩桝
No.38+5.5	L	1300	1500	1100	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.385	PU3-B300-H300 5.940	CSB-D600 5.385	PU3-B300-H300 5.940	5.235	側道路肩桝(吐口桝)
No.39+18.5	L	700	700	600	-	T25 6.227	BF-B300-H200 6.027	PU3-B300-H300 5.832	-	PU3-B300-H300 5.832	5.627	側道路肩桝
No.41+11.8	L	700	700	900	-	T25 6.132	-	PU3-B300-H300 5.737	RCB-B400-H400 5.432	-	5.232	側道路肩桝
No.42+13.1	L	700	700	900	-	T25 4.970	-	-	RCB-B400-H400 5.162	PU3-B300-H300 5.467	4.970	側道路肩桝
No.45+15.1	L	1300	1600	1200	1600		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.357	PU3-B300-H300 6.000	CSB-D600 5.357	PU3-B300-H300 6.000	5.195	側道路肩桝(吐口桝)
No.46+7.5	L	700	700	600	-	T25 5.792	BF-B300-H200 6.192	PU3-B300-H300 5.997	-	PU3-B300-H300 5.997	5.792	側道路肩桝
No.49+6.8	L	1300	1700	1350	1750		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.410	PU3-B300-H300 6.150	CSB-D600 5.410	PU3-B300-H300 6.150	5.255	側道路肩桝(吐口桝)
No.49+9.4	L	700	700	600	-	T25 5.975	BF-B300-H200 6.375	PU3-B300-H300 6.180	-	PU3-B300-H300 6.180	5.975	側道路肩桝
No.53+9.3	L	1300	1800	1000	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.576	PU3-B300-H300 5.998	CSB-D600 5.576	PU3-B300-H300 5.998	5.393	側道路肩桝(吐口桝)
No.53+15.0	L	700	700	600	-	T25 5.763	BF-B300-H200 6.163	PU3-B300-H300 5.968	-	PU3-B300-H300 5.968	5.763	側道路肩桝
No.54+2.4	L	700	700	800	-	T25 6.380	-	PU3-B300-H300 5.985	RCB-B300-H300 5.780	PU3-B300-H300 5.985	5.580	側道路肩桝
No.56+8.7	L	700	700	600	-	T25 6.170	BF-B300-H200 6.375	PU3-B300-H300 6.375	-	PU3-B300-H300 6.375	6.170	側道路肩桝
No.57+0.0	L	700	700	600	-	T25 6.091	BF-B300-H200 6.691	PU3-B300-H300 6.496	-	PU3-B300-H300 6.496	6.091	側道路肩桝
No.57+7.7	L	700	700	800	-	T25 6.162	-	PU3-B300-H300 6.349	RCB-B400-H400 6.349	PU3-B300-H300 6.349	6.162	側道路肩桝

【本線-左側(NO.32～NO.70)】

測点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	排水構造物及び設置高 ①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.34+16.4	L	1300	1400	1200	1600		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.541	PU3-B300-H300 6.117	CSB-D600 5.541	PU3-B300-H300 6.117	5.372	吐口桝
No.35+1.8	L	1000	1000	1000	-	6.355	CSB-D600 5.505	BF-B400-H260 5.505	既設用水路 5.505	RCB-B300-H300 5.505	5.355	吐口桝(流末)
No.35+8.7	L	700	700	800	-	縞 6.115	-	RCB-B300-H300 5.493	-	BF-B400-H260 5.493	5.315	
No.38+5.5	L	1300	1500	1100	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.385	PU3-B300-H300 5.940	CSB-D600 5.385	PU3-B300-H300 5.940	5.235	吐口桝
No.38+11.6	L	1000	1000	1000	-	6.220	CSB-D600 5.370	BF-B400-H260 5.385	既設用水路 5.370	BF-B400-H260 5.385	5.220	吐口桝(流末)
No.41+11.8	L	700	700	900	-	縞 5.941	RCB-B400-H400 5.203	BF-B400-H260 5.203	-	BF-B400-H260 5.203	5.103	
No.42+0.5	L	800	800	900	-	縞 5.928	BF-B400-H260 5.178	-	-	RCB-B400-H400 5.178	5.028	流末
No.42+13.6	L	1000	1000	900	-	縞 5.959	RCB-B400-H400 5.209	RCB-B400-H400 5.209	-	BF-B400-H260 5.209	5.059	流末
No.45+15.1	L	1300	1600	1200	1600		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.357	PU3-B300-H300 6.000	CSB-D600 5.357	PU3-B300-H300 6.000	5.195	吐口桝
No.46+3.2	L	1000	1000	1000	-	6.130	CSB-D600 5.330	BF-B400-H260 5.330	既設用水路 5.330	BF-B400-H260 5.330	5.130	吐口桝(流末)
No.49+6.8	L	1300	1700	1350	1750		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.410	PU3-B300-H300 6.150	CSB-D600 5.410	PU3-B300-H300 6.150	5.255	吐口桝
No.49+15.2	L	1000	1000	1000	-	6.250	CSB-D600 5.400	BF-B400-H260 5.465	既設用水路 5.400	RCB-B400-H400 5.400	5.250	吐口桝(流末)
No.50+4.2	L	800	800	900	-	縞 6.616	-	RCB-B400-H400 5.866	-	BF-B400-H260 5.866	5.716	
No.53+9.3	L	1300	1800	1000	1500		ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.576	PU3-B300-H300 5.998	CSB-D600 5.576	PU3-B300-H300 5.998	5.393	呑口桝
No.53+19.3	L	1000	1000	1000	-	6.384	CSB-D600 5.584	BF-B400-H260 5.706	-	BF-B600-H380 5.706	5.384	呑口桝
No.54+2.3	L	800	800	800	-	縞 6.320	RCB-B300-H300 5.720	BF-B600-H380 5.720	-	BF-B500-H320 5.720	5.520	
No.57+7.4	L	700	700	900	-	縞 6.601	RCB-B400-H400 5.851	BF-B500-H320 5.851	-	-	5.701	
No.57+13.5	L	700	700	800	-	縞 7.020	-	RCB-B300-H300 6.370	-	BF-B400-H260 6.370	6.220	
No.63+0.0	L	700	700	500	-	縞 7.060	BF-B300-H200 6.860	BF-B400-H260 6.795	-	BF-B400-H260 6.795	6.560	
No.67+12.5	L	700	700	500	-	縞 7.240	BF-B300-H200 7.040	BF-B400-H260 6.978	-	BF-B400-H260 6.978	6.740	
No.69+7.1	L	700	700	500	-	縞 7.330	-	-	BF-B400-H260 7.063	BF-B400-H260 7.063	6.830	
No.69+16.4	L	700	700	500	-	縞 7.330	BF-B400-H260 7.064	BF-B400-H260 7.064	-	BF-B400-H260 7.064	6.830	

桝高表示案内図



※P-φ : ｺﾙｹﾞｰﾄ管 (円形1形)
※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ : 耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 (R30)
※CSB : CSB管 (Ⅰ型)

実 施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(6)		
縮尺	-	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	89 / 134

排 水 工 詳 細 図 (7)

【本線-右側(NO.0～NO.32)】

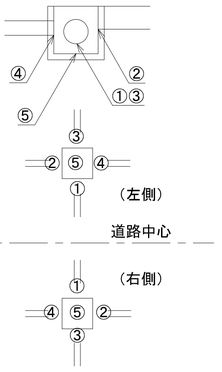
測 点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.6+0.0	R	500	500	500	－		6.284	－	PU1-B300-H300 5.984	－	BF-B300-H200 5.833	－ 5.784	上段路肩桝
No.15+8.0	R	500	500	500	－		11.124	－	PU1-B300-H300 10.824	－	BF-B300-H200 10.673	－ 10.624	上段路肩桝
No.6+0.0	R	600	600	800	－	細	6.125	BF-B300-H200 5.925	PU2-B300-H300 5.730	－	RCB-B300-H300 5.525	自由勾配側溝B300 5.575 5.325	歩道路肩桝
No.15+7.9	R	700	700	600	－	T25	6.650	BF-B300-H200 6.450	PU3-B300-H300 6.249	－	－	PU3-B300-H300 6.249 6.050	側道路肩桝
No.1+16.2	R	1400	1400	1500	－	縞	6.010	－	自由勾配側溝B1000 4.688	－	既設用排水路 4.710	自由勾配側溝B1000 4.688 4.510	既設用排水路に接続
No.4+13.8	R	1400	1400	1400	－	縞	5.978	－	自由勾配側溝B1000 4.798	－	既設用水路 ※5.420	自由勾配側溝B1000 4.798 4.578	分水桝 (既設用水路に接続)
No.6+0.0	R	1400	1400	1300	－	縞	6.095	RCB-B300-H300 5.470	自由勾配側溝B1000 4.915	－	－	自由勾配側溝B1000 4.915 4.770	
No.7+18.0	R	1200	1200	1300	－		6.090	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD600 5.055	PU1-B700-H1000 5.020	－	－	自由勾配側溝B1000 5.020 4.790	吐口桝①
No.10+19.6	R	1000	1000	1100	－		5.370	－	PU1-B700-H900 4.461	－	－	既設暗渠管 ※4.461 4.270	既設排水管に接続 (現地にて要確認)
No.11+6.8	R	1200	1200	1300	－	縞	6.280	RCB-B700-H700 5.148	－	－	－	PU1-B700-H1000 5.148 4.980	
No.11+7.3	R	1200	1200	1600	－	縞	6.560	－	自由勾配側溝B700 5.154	－	RCB-B700-H700 5.154	PU2-B300-H300 6.165 4.960	
No.14+2.7	R	1400	1400	1500	－	縞	5.930	－	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.592	－	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 4.970	PU1-B700-H900 4.592 4.430	
No.14+6.4	R	700	700	1000	－	縞	6.190	－	BF-B400-H260 5.926	－	－	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.340 5.190	
No.15+17.3	R	700	700	500	－	縞	6.280	－	既設用水路 6.015	－	－	BF-B400-H260 6.015 5.780	既設用水路に接続
No.16+2.1	R	1400	1400	2100	－	縞	6.600	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.658	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.392	既設用排水管VPφ200 ※5.458	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.658	PU3-B300-H300 6.205 4.500	吐口桝 (既設用排水管に接続)
No.16+5.8	R	500	500	1000	－	縞	6.200	－	PU1-B300-H300 5.898	－	－	硬質塩化ﾋﾞﾆｰﾙ管φ300 5.400 5.200	既設用水路に接続
No.16+6.6	R	700	700	500	－	縞	6.380	BF-B400-H260 6.115	既設用水路 6.115	－	－	既設用水路 6.115 5.880	既設用水路に接続
No.19+2.9	R	2500	1300	500	1500			ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 6.110	－	－	－	BF-B400-H260 6.110 5.910	呑口桝
No.22+6.6	R	700	700	900	－	縞	6.180	－	RCB-B300-H300 5.434	－	－	PU1-B300-H300 5.873 5.280	
No.22+12.0	R	1400	1400	1700	－	縞	6.320	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 4.855	RCB-B300-H300 5.420	－	既設排水路 4.855	RCB-B300-H300 5.420 4.620	呑口桝 (既設排水路に接続)
No.23+3.2	R	800	800	800	－	T25	6.445	－	－	－	RCB-B300-H300 5.797	RCB-B300-H300 5.797 5.645	
No.23+6.1	R	700	700	800	－	縞	6.420	RCB-B300-H300 5.815	BF-B400-H260 5.815	－	－	－ 5.620	
No.25+16.0	R	700	700	500	－	縞	6.315	－	BF-B400-H260 5.965	－	既設用水路 5.965	BF-B400-H260 5.965 5.815	既設用水路に接続
No.28+16.6	R	700	700	500	－	縞	6.600	－	UF-300 6.325		－	BF-B400-H260 6.325 6.100	
No.7+18.0	R	1000	1400	1800	2300		6.693	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.070	PU2-B300-H300 6.298	－	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD600 5.070	PU2-B300-H300 6.298 4.893	吐口桝②

(※：現地にて既設管高 要確認)

【本線-右側(NO.32～NO.70)】

測 点	左右	桝サイズ B	L	H	他	桝天端高	①	②	③	④	⑤(桝底高)	備考
No.34+2.9	R	1300	1400	950	2200		6.415	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.641	PU3-B300-H300 5.959	CSB-D600 5.641	PU3-B300-H300 5.959	5.465	側道路肩桝(呑口桝)
No.37+7.1	R	1300	1500	900	1500		6.185	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.435	PU3-B300-H300 5.756	CSB-D450 5.435	PU3-B300-H300 5.756	5.285	側道路肩桝(呑口桝)
No.39+0.0	R	700	700	600	－	T25	6.009	－	自由勾配側溝B300 5.614	－	PU3-B300-H300 5.614	5.409	側道路肩桝
No.40+6.8	R	700	700	800	－	T25	6.073	－	－	RCB-B300-H300 5.473	自由勾配側溝B300 5.678	5.273	側道路肩桝
No.41+11.6	R	700	700	800	－	T25	6.148	－	PU3-B300-H300 5.753	RCB-B300-H300 5.548	－	5.348	側道路肩桝
No.44+18.2	R	1300	1600	1150	1600		6.353	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.417	PU3-B300-H300 5.958	CSB-D600 5.417	PU3-B300-H300 5.958	5.203	側道路肩桝(呑口桝)
No.48+13.1	R	1300	1700	1250	1700		6.528	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.428	PU3-B300-H300 6.075	CSB-D600 5.428	PU3-B300-H300 6.075	5.278	側道路肩桝(呑口桝)
No.51+17.6	R	700	700	800	－	T25	6.063	－	PU3-B300-H300 5.668	RCB-B300-H300 5.463	PU3-B300-H300 5.668	5.263	側道路肩桝
No.52+11.2	R	1300	1700	950	1500		6.331	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.560	PU3-B300-H300 5.894	CSB-D450 5.560	PU3-B300-H300 5.894	5.381	側道路肩桝(呑口桝)
No.56+8.7	R	700	700	600	－	T25	7.180	PU3-B300-H300 6.785	－	－	PU3-B300-H300 6.785	6.580	側道路肩桝
No.33+19.1	R	1000	1000	1000	－		6.516	CSB-600 5.666	既設用水路 5.860	－	既設用水路 5.860	5.516	呑口桝
No.34+2.9	R	1300	1400	950	2200			ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.641	PU3-B300-H300 5.959	CSB-600 5.641	PU3-B300-H300 5.959	5.465	呑口桝
No.37+1.6	R	1000	1000	800	－		6.100	CSB-450 5.641	BF-B400-H260 5.450	既設用水路 5.450	BF-B400-H260 5.450	5.300	呑口桝
No.37+7.1	R	1300	1500	900	1500			ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.435	PU3-B300-H300 5.756	CSB-450 5.435	PU3-B300-H300 5.756	5.285	呑口桝
No.40+7.2	R	1000	1000	800	－	縞	5.899	RCB-B300-H300 5.249	RCB-B300-H300 5.249	－	BF-B400-H260 5.249	5.099	流末
No.41+0.2	R	800	800	800	－	縞	5.965	BF-B400-H260 5.315	－	－	RCB-B300-H300 5.315	5.165	流末
No.41+11.8	R	700	700	800	－	縞	5.990	RCB-B300-H300 5.340	BF-B400-H260 5.340	－	BF-B400-H260 5.340	5.190	
No.44+9.2	R	1000	1000	1000	－		6.248	CSB-600 5.448	BF-B400-H260 5.455	既設用水路 5.448	BF-B400-H260 5.455	5.248	呑口桝
No.44+18.2	R	1300	1600	1150	1600			ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.417	PU3-B300-H300 5.958	CSB-600 5.417	PU3-B300-H300 5.958	5.203	呑口桝
No.48+4.2	R	1000	1000	1000	－		6.290	CSB-600 5.440	RCB-B400-H400 5.440	既設用水路 5.440	－	5.290	呑口桝
No.48+13.1	R	1300	1700	1250	1700			ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.428	PU3-B300-H300 6.075	CSB-600 5.428	PU3-B300-H300 6.075	5.278	呑口桝
No.48+9.5	R	1000	1000	900	－	縞	6.200	BF-B400-H260 5.578	－	－	RCB-B400-H400 5.450	5.300	
No.51+17.6	R	700	700	900	－	縞	6.020	RCB-B300-H300 5.311	BF-B400-H260 5.575	－	BF-B400-H260 5.575	5.120	
No.52+3.1	R	1000	1000	800	－		6.203	CSB-450 5.553	BF-B600-H380 5.565	既設用水路 5.553	BF-B400-H260 5.565	5.403	吐口桝(流末)
No.52+11.2	R	1300	1700	950	1500			ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD900 5.560	PU3-B300-H300 5.894	CSB-450 5.560	PU3-B300-H300 5.894	5.381	吐口桝
No.53+16.7	R	800	800	600	－	縞	6.000	－	BF-B550-H355 5.620	既設用水路 5.620	BF-B600-H380 5.620	5.400	既設用水路に接続
No.55+14.1	R	800	800	1200	－	縞	6.691	－	RCB-B500-H500 5.861	－	BF-B550-H355 5.731	5.491	
No.55+17.3	R	800	800	1000	－	T25	7.180	BF-B550-H355 6.710	－	－	RCB-B500-H500 6.330	6.180	
No.56+14.4	R	900	900	600	－	T25	7.225	－	BF-B500-H320 6.775	既設用水路 6.775	BF-B550-H355 6.775	6.625	既設用水路に接続
No.63+0.0	R	700	700	500	－	縞	8.620	－	BF-B400-H260 7.356	－	BF-B500-H320 7.296	7.116	
No.69+7.3	R	700	700	500	－	縞	7.360	－	BF-B400-H260 7.093	BF-B400-H260 7.093	－	6.860	
No.69+16.3	R	700	700	500	－	縞	7.350	BF-B400-H260 7.090	－	－	BF-B400-H260 7.090	6.850	

桝高表示案内図



※P-φ：ｺﾙｹﾞｰﾄ管 (円形1形)
※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ：耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 (R30)
※CSB：CSB管 (Ⅰ型)

実 施

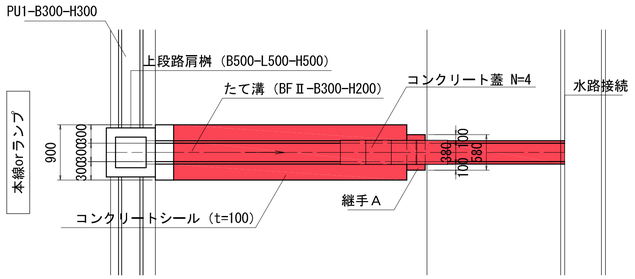
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(7)		
縮尺	－	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	90 / 134

排　水　工　詳　細　図（10）

路肩排水工　S=1:10

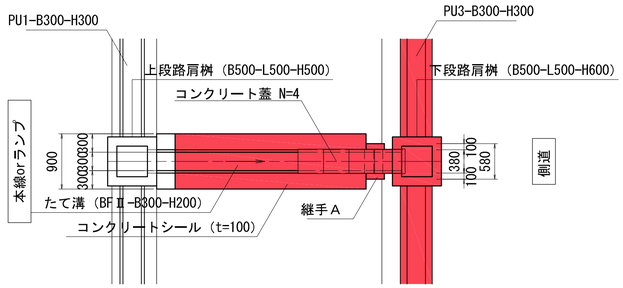
平　面　図

上段路肩桝⇒たて溝⇒水路接続



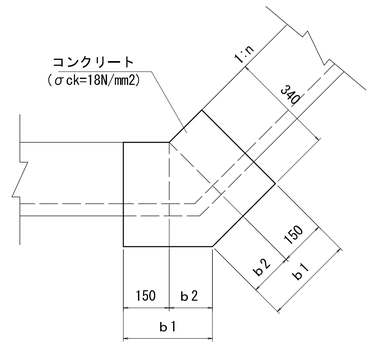
平　面　図

上段路肩桝⇒たて溝⇒下段路肩桝

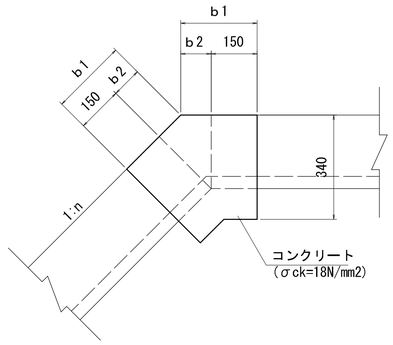


継手コンクリート（BF300用）詳細図　S=1:10

A,C,Dタイプ



Bタイプ



寸 法 表（BFⅡ-B300-H200）

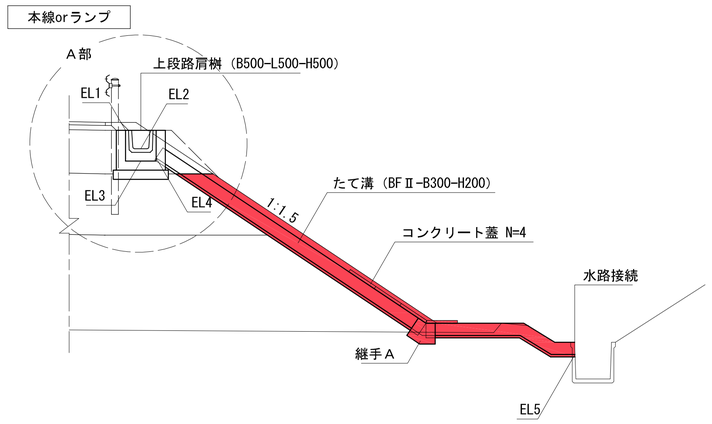
タイプ	b1	b2	摘　要
A	253	103	1:1.5
C	238	88	1:1.8
D	235	85	1:1.5

寸 法 表（BFⅡ-B300-H200）

タイプ	b1	b2	摘　要
B	200	50	1:1.8

断　面　図

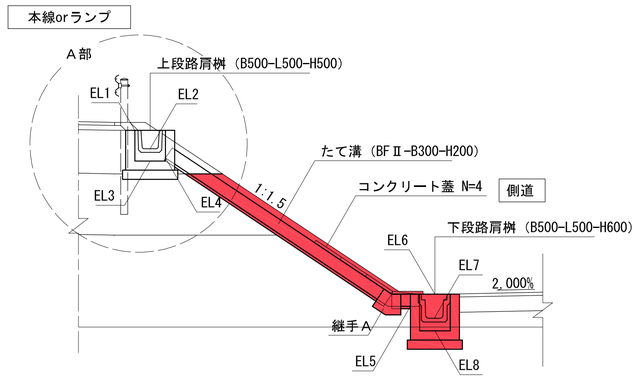
上段路肩桝⇒たて溝⇒水路接続



※ 接続水路が600×600以上（法尻側溝）の場合は直接接続

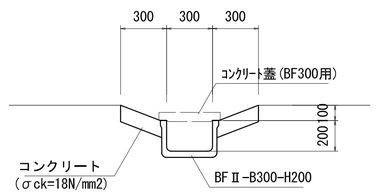
断　面　図

上段路肩桝⇒たて溝⇒下段路肩桝

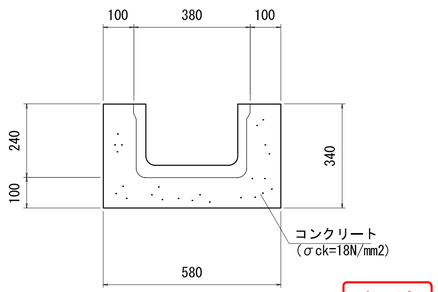


※ PU3-B300-H300とのみ接続の場合は下段路肩桝設置

1 － 1　S=1:20



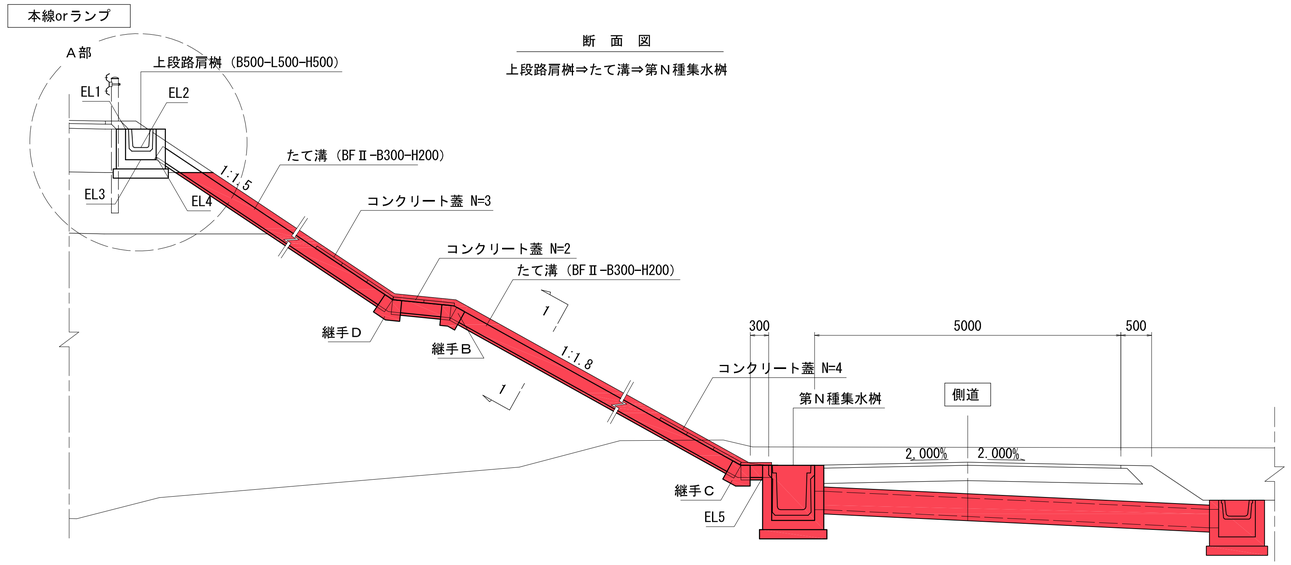
断面図



本線orランプ

断　面　図

上段路肩桝⇒たて溝⇒第Ｎ種集水桝

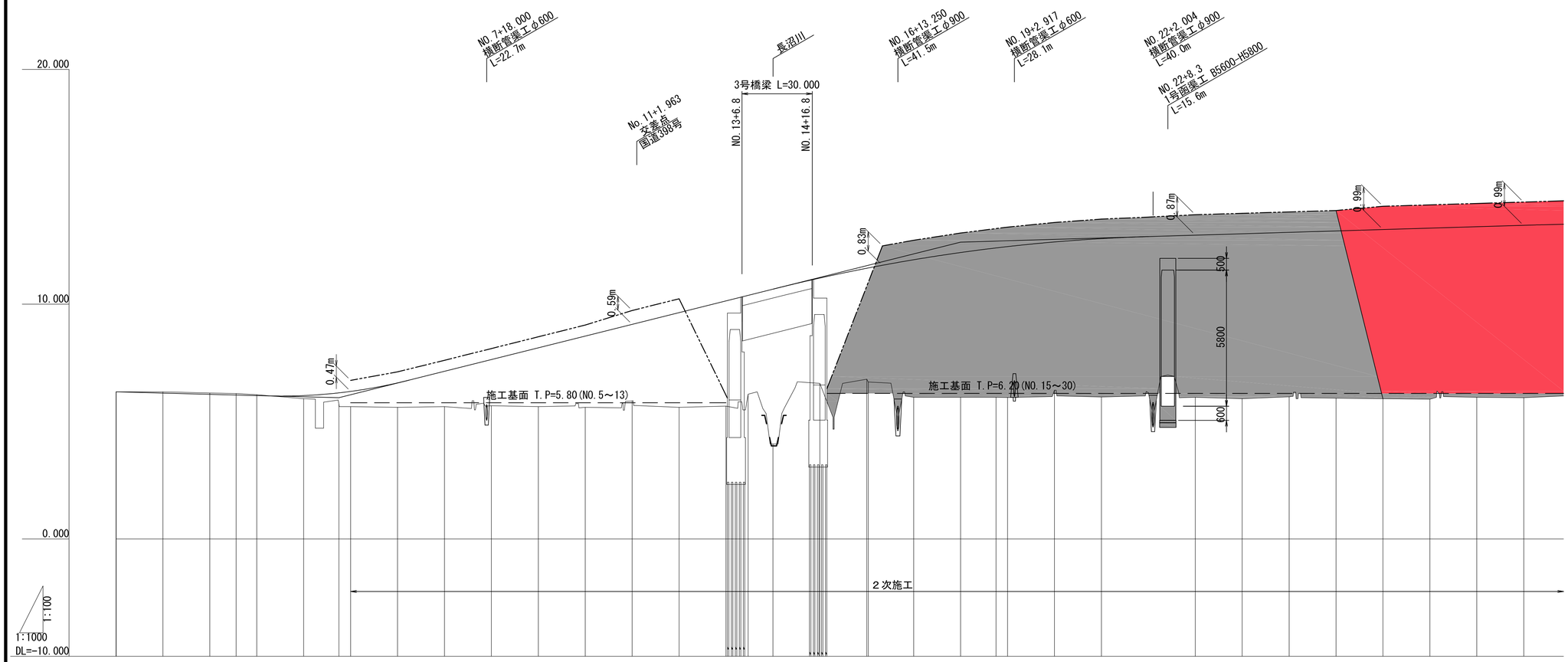


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工詳細図(10)		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	91 / 134

地盤改良縦断図(1)

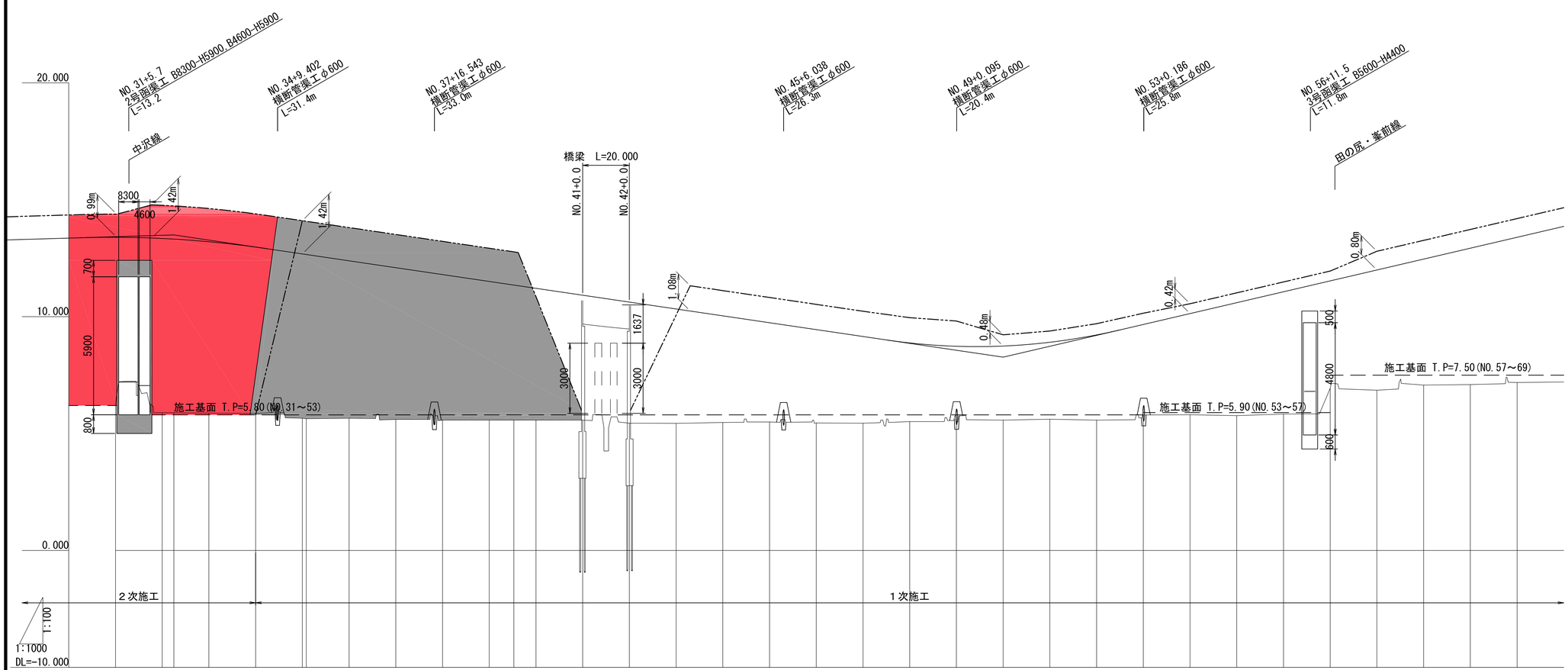
V=1: 100
H=1:1000



| | | |

地盤改良縦断図(2)

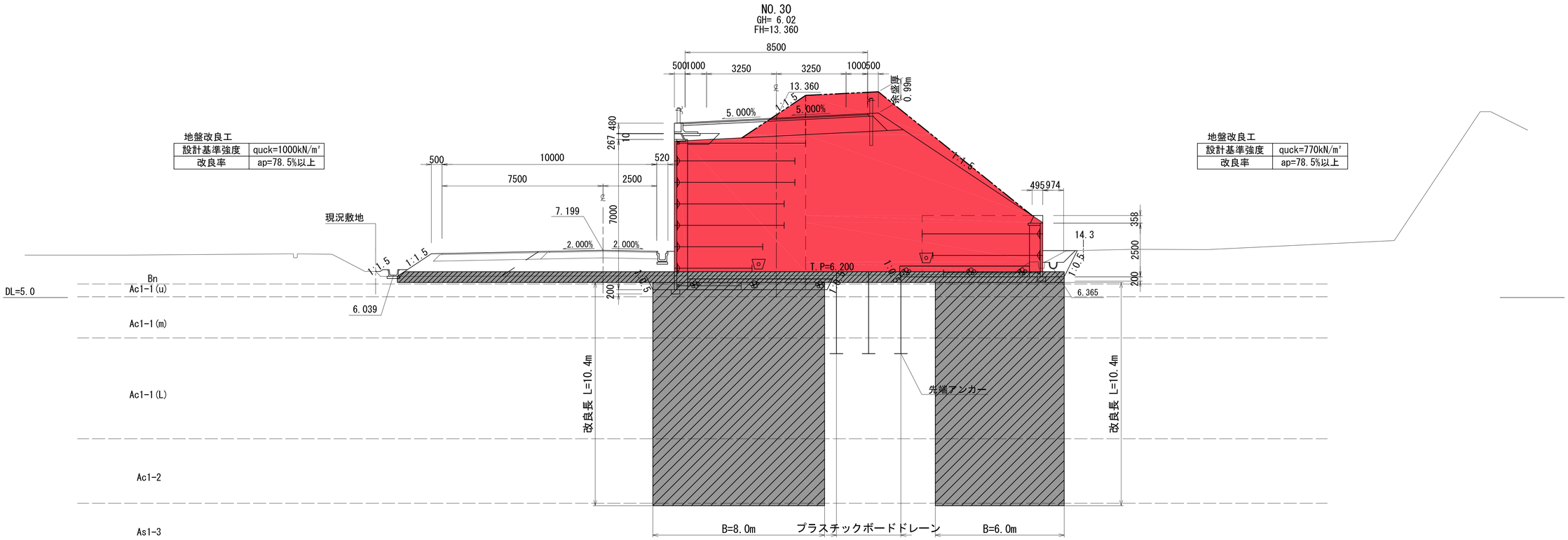
V=1：100
H=1:1000



| | | |

地盤改良標準断面図（4）

宮崎前区間及び補強土壁区間（深層混合）

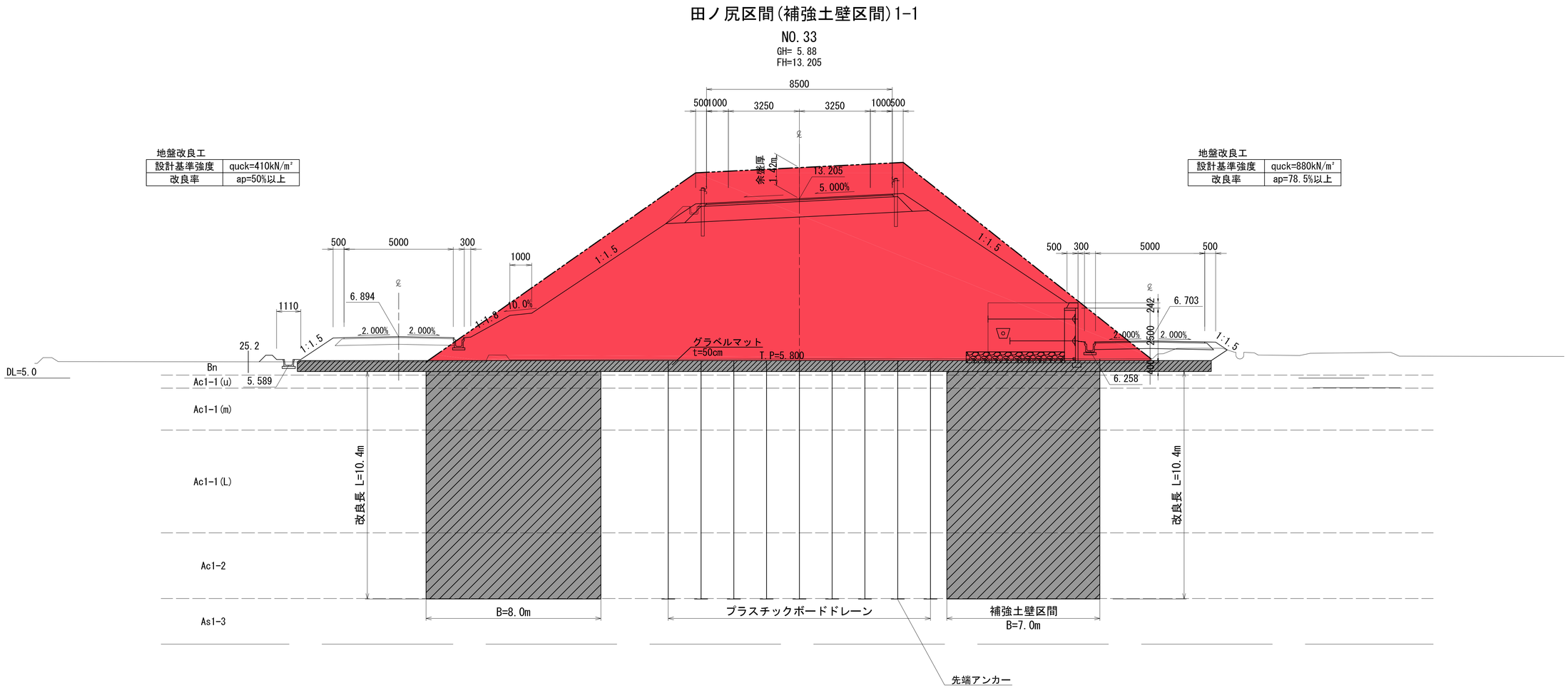


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやざ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやざ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	地盤改良標準断面図 (4)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	94 / 134

地盤改良標準断面図（5）

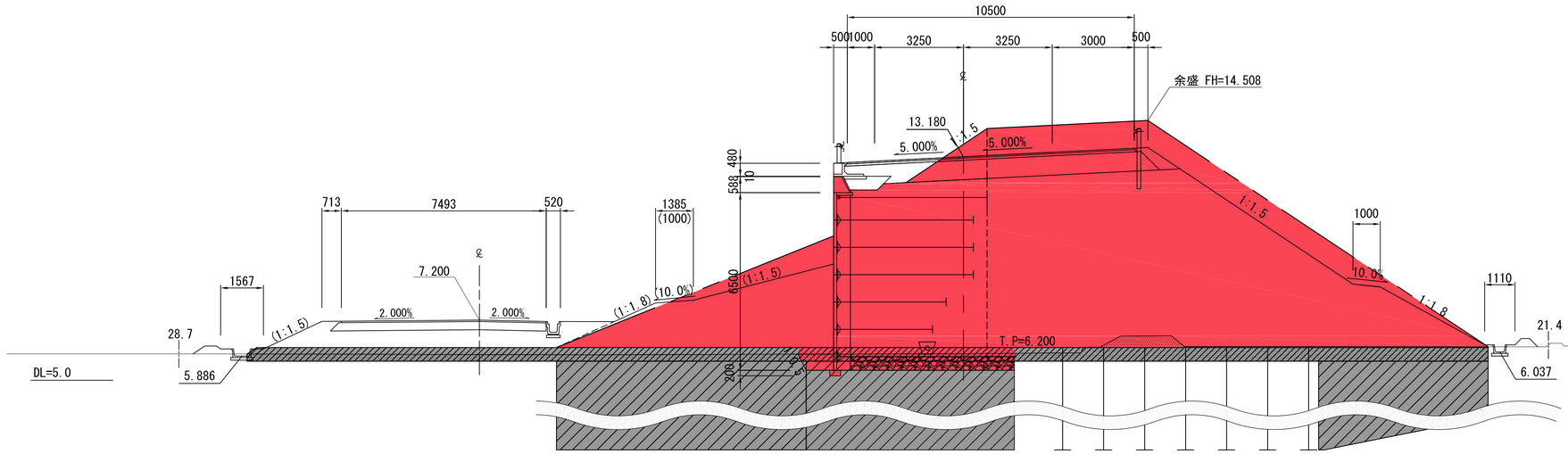
田ノ尻区間(補強土壁区間)1-1（深層混合）



実 施

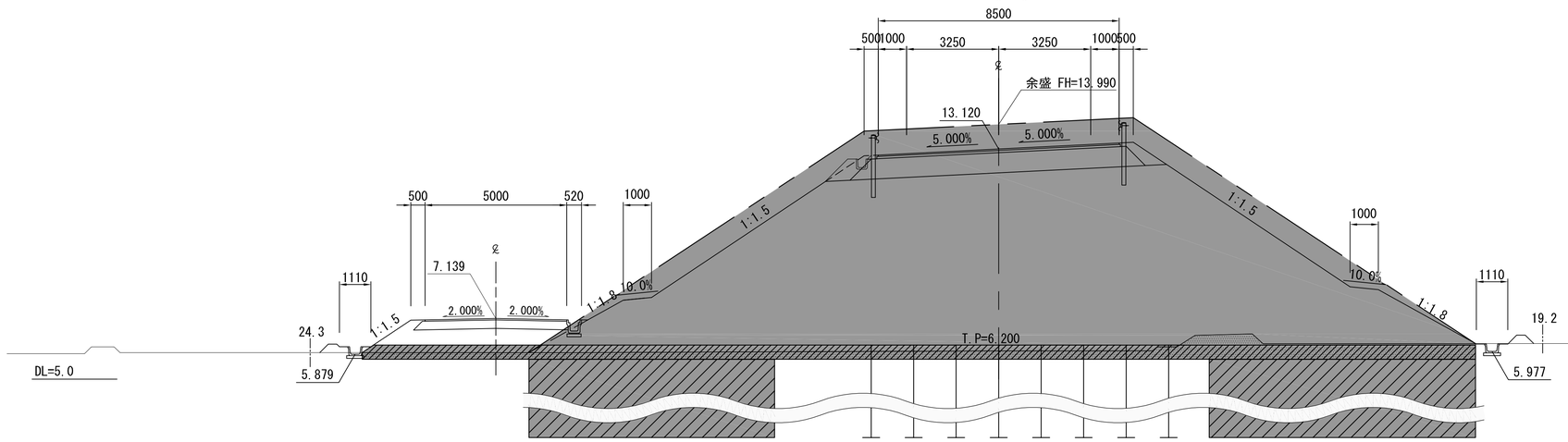
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	地盤改良標準断面図（5）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	95 / 134

NO.27
GH= 5.98
FH=13.180



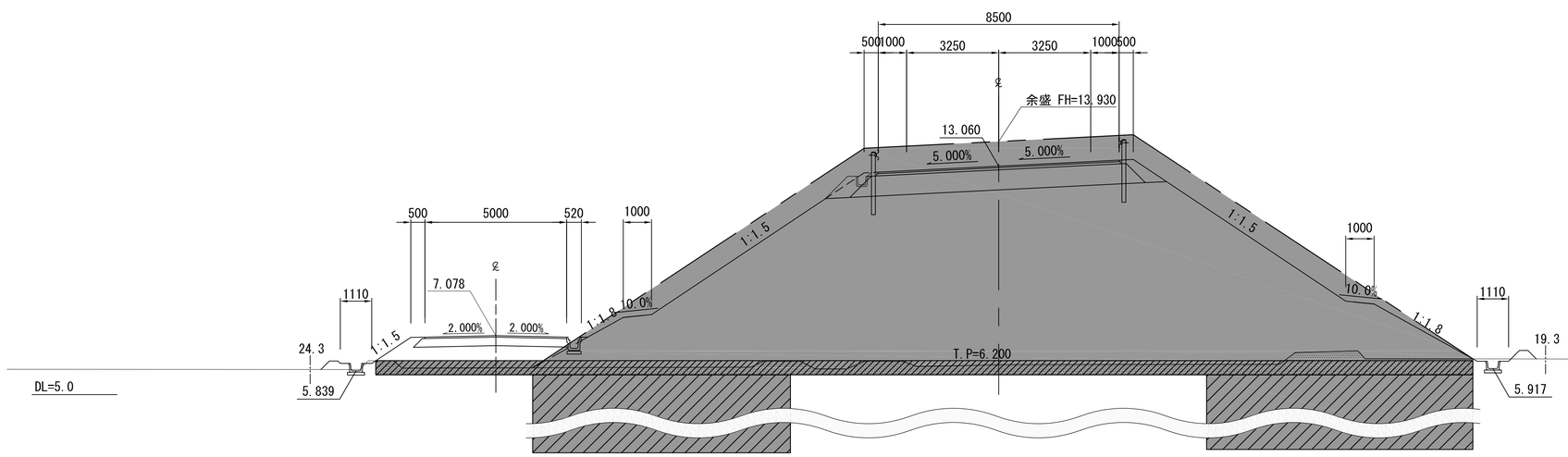
NO.27			
地盤高	5.98	設計高	13.180
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	16.7 m2	路体	123.2 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	22.7 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.26
GH= 6.00
FH=13.120



NO.26			
地盤高	6.00	設計高	13.120
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	14.2 m2	路体	165.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.6 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.25
GH= 6.06
FH=13.060



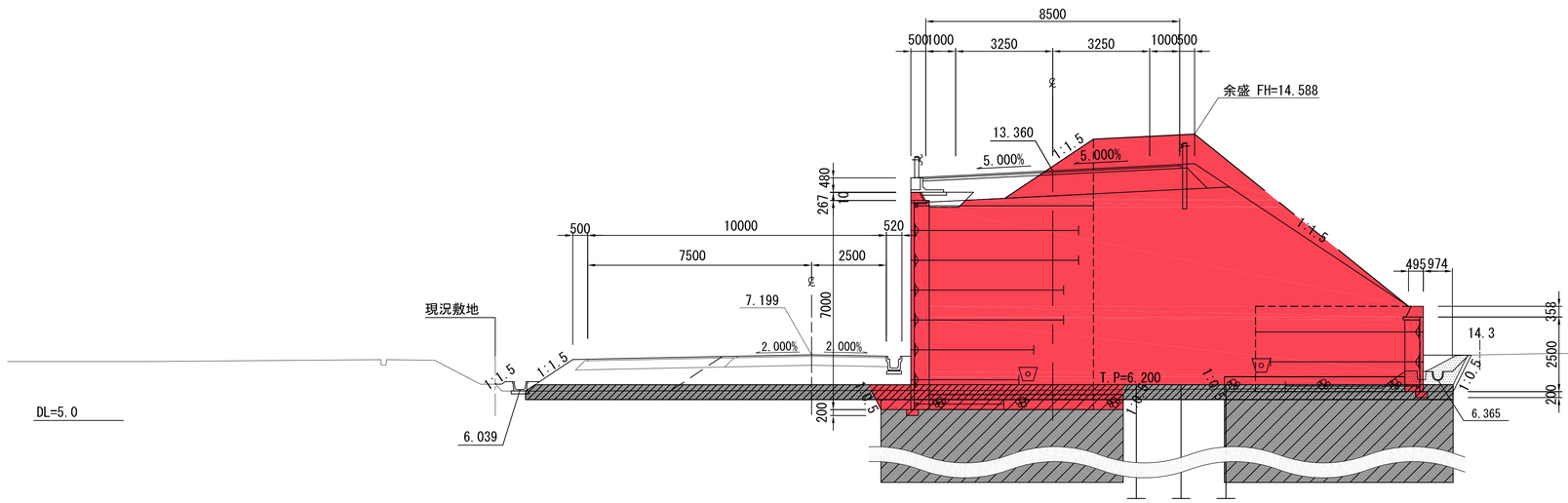
NO.25			
地盤高	6.06	設計高	13.060
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	14.7 m2	路体	163.9 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.4 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

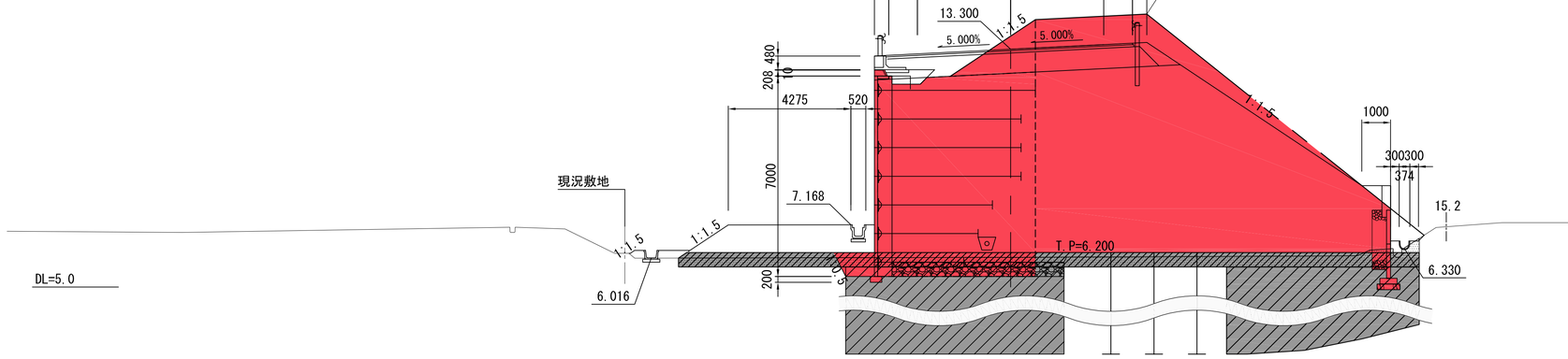
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	地盤改良横断図(9)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	96 / 134

NO.30
GH= 6.02
FH=13.360



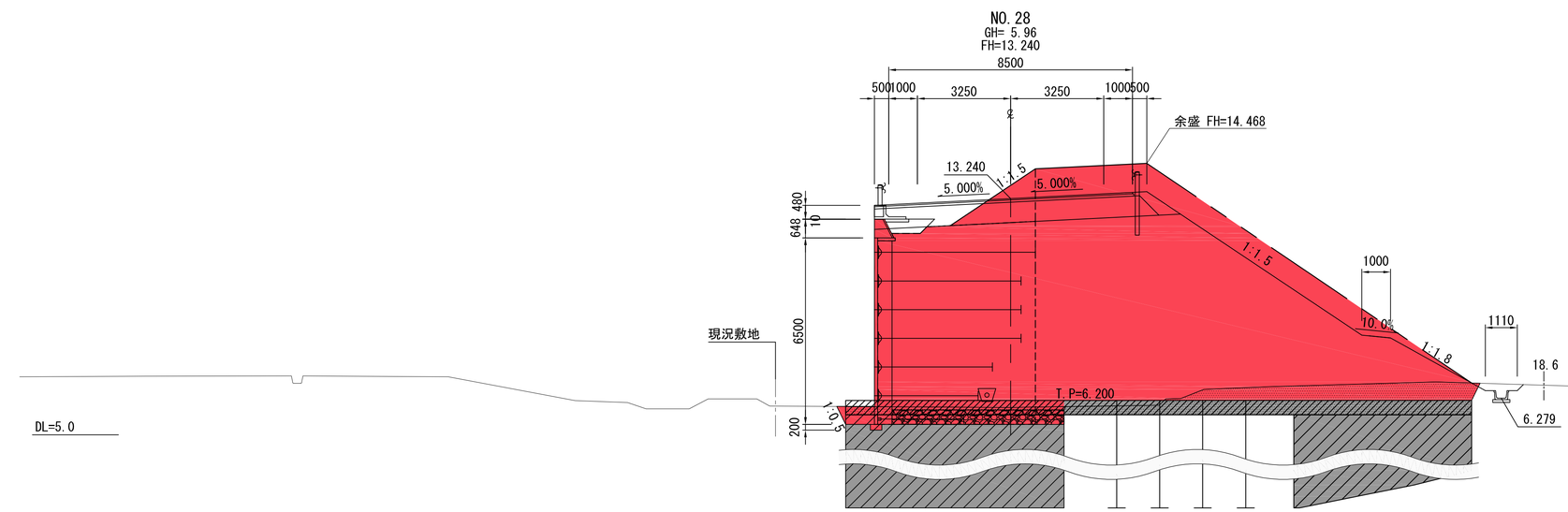
NO.30			
地盤高	6.02	設計高	13.360
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	11.6 m2	路体	56.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	15.5 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.29
GH= 6.04
FH=13.300



NO.29			
地盤高	6.04	設計高	13.300
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	9.4 m2	路体	77.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	12.9 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.28
GH= 5.96
FH=13.240

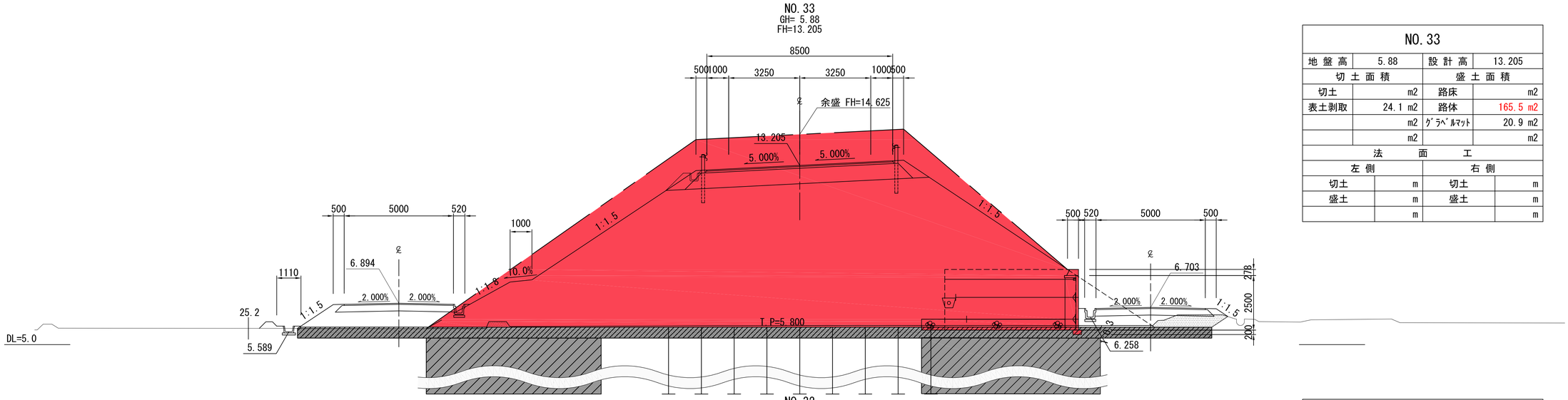


NO.28			
地盤高	5.96	設計高	13.240
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	13.8 m2	路体	84.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	10.9 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

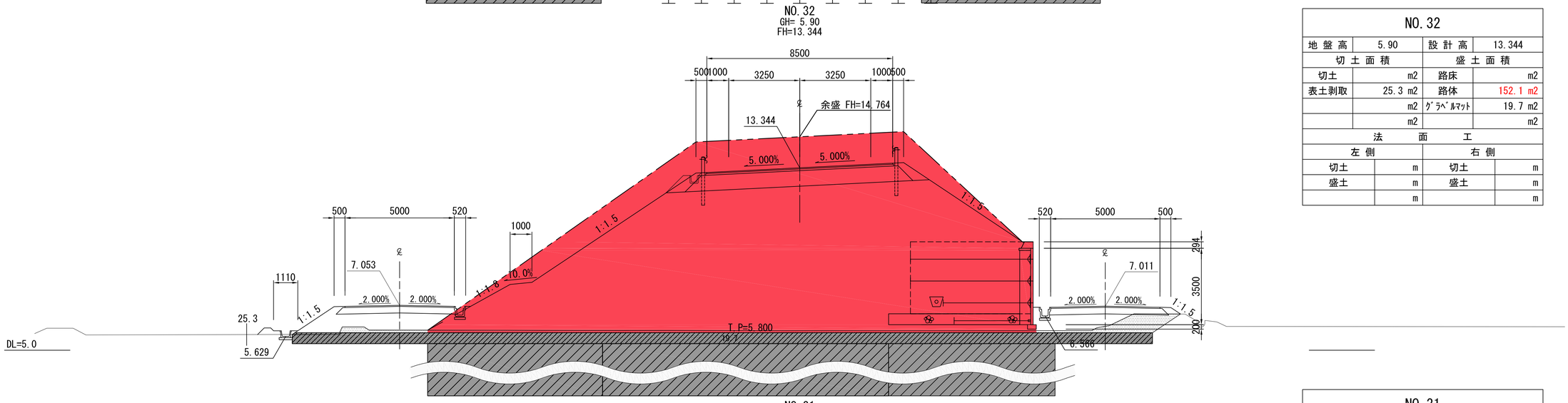
実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

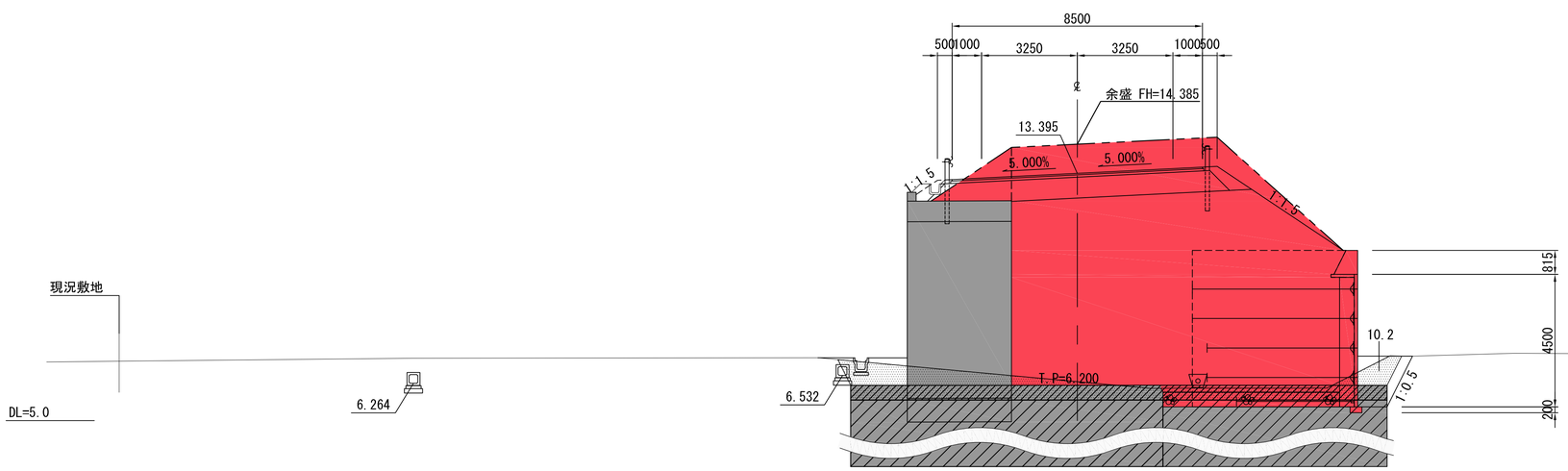
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	地盤改良横断図(10)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	97 / 134



NO.33			
地盤高	5.88	設計高	13.205
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	24.1 m2	路体	165.5 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	20.9 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m



NO.32			
地盤高	5.90	設計高	13.344
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	25.3 m2	路体	152.1 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	19.7 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m



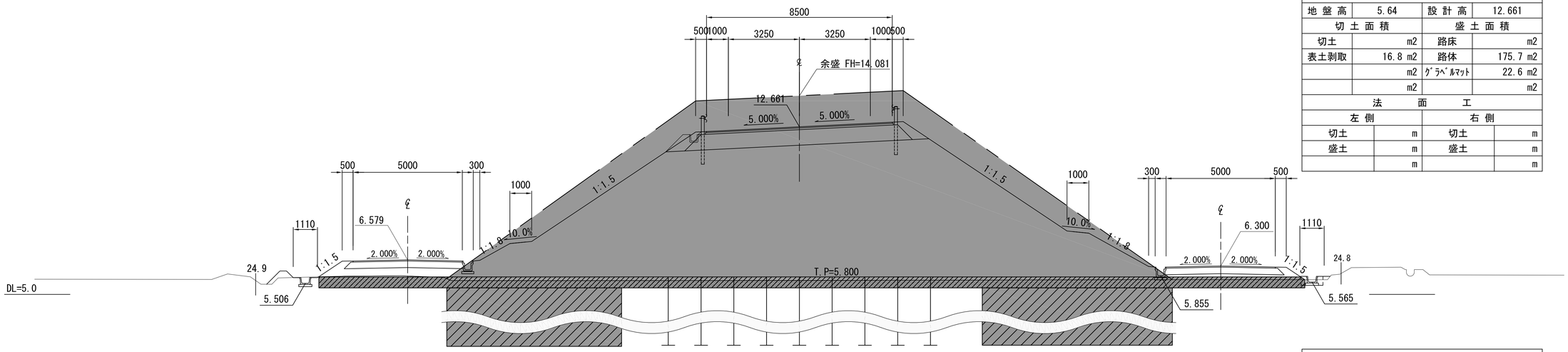
NO.31			
地盤高	6.32	設計高	13.395
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	13.5 m2	路体	64.4 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	9.1 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

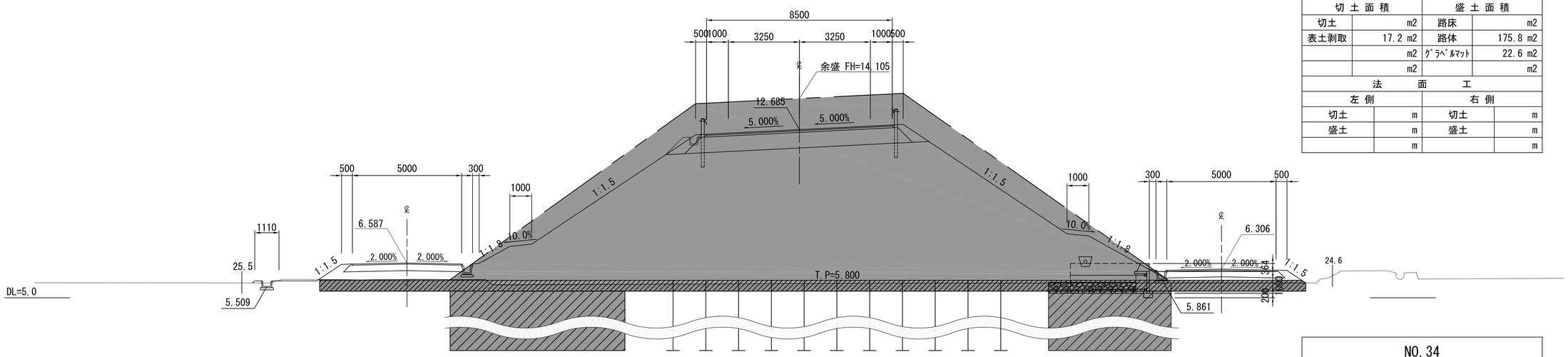
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	地盤改良横断図(11)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	98 / 134

NO.35+01.661
GH= 5.64
FH=12.661



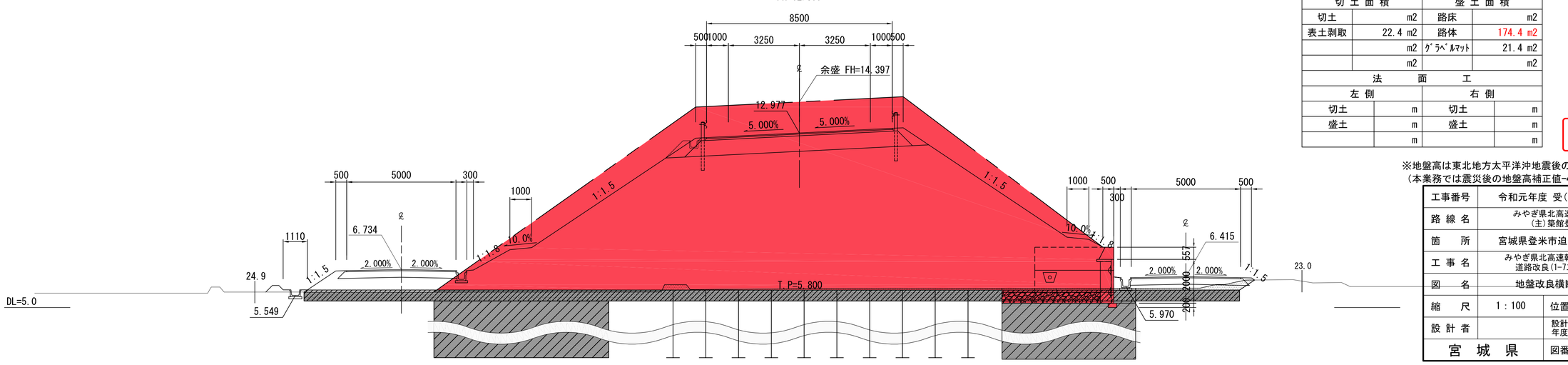
NO.35+01.661			
地盤高	5.64	設計高	12.661
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	16.8 m2	路体	175.7 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	22.6 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.35
GH= 5.66
FH=12.685



NO.35			
地盤高	5.66	設計高	12.685
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	17.2 m2	路体	175.8 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	22.6 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

NO.34
GH= 5.87
FH=12.977



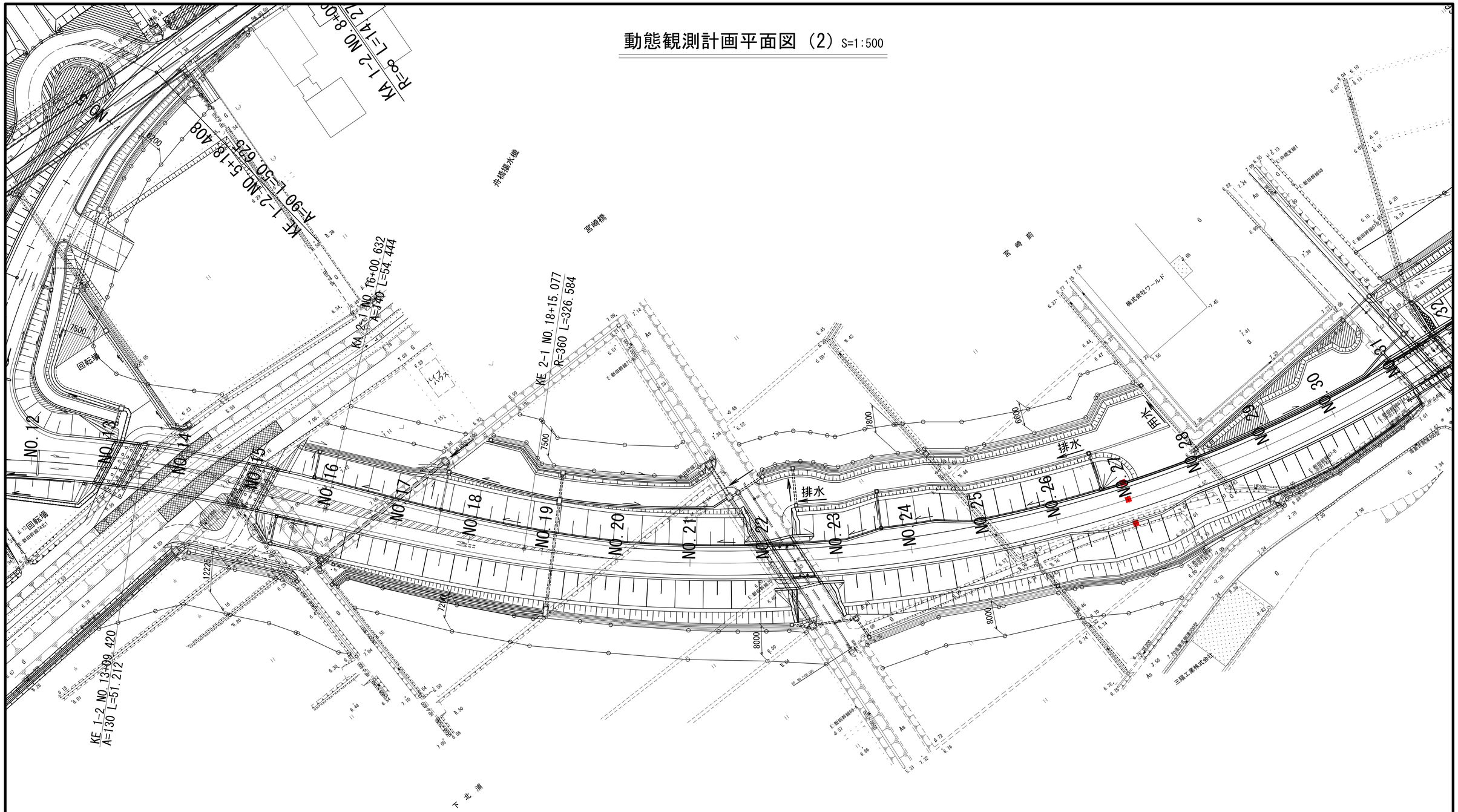
NO.34			
地盤高	5.87	設計高	12.977
切土面積		盛土面積	
切土	m2	路床	m2
表土剥取	22.4 m2	路体	174.4 m2
	m2	ｸﾞﾗﾍﾞﾙﾏｯﾄ	21.4 m2
	m2		m2
法面工			
左側		右側	
切土	m	切土	m
盛土	m	盛土	m
	m		m

実施

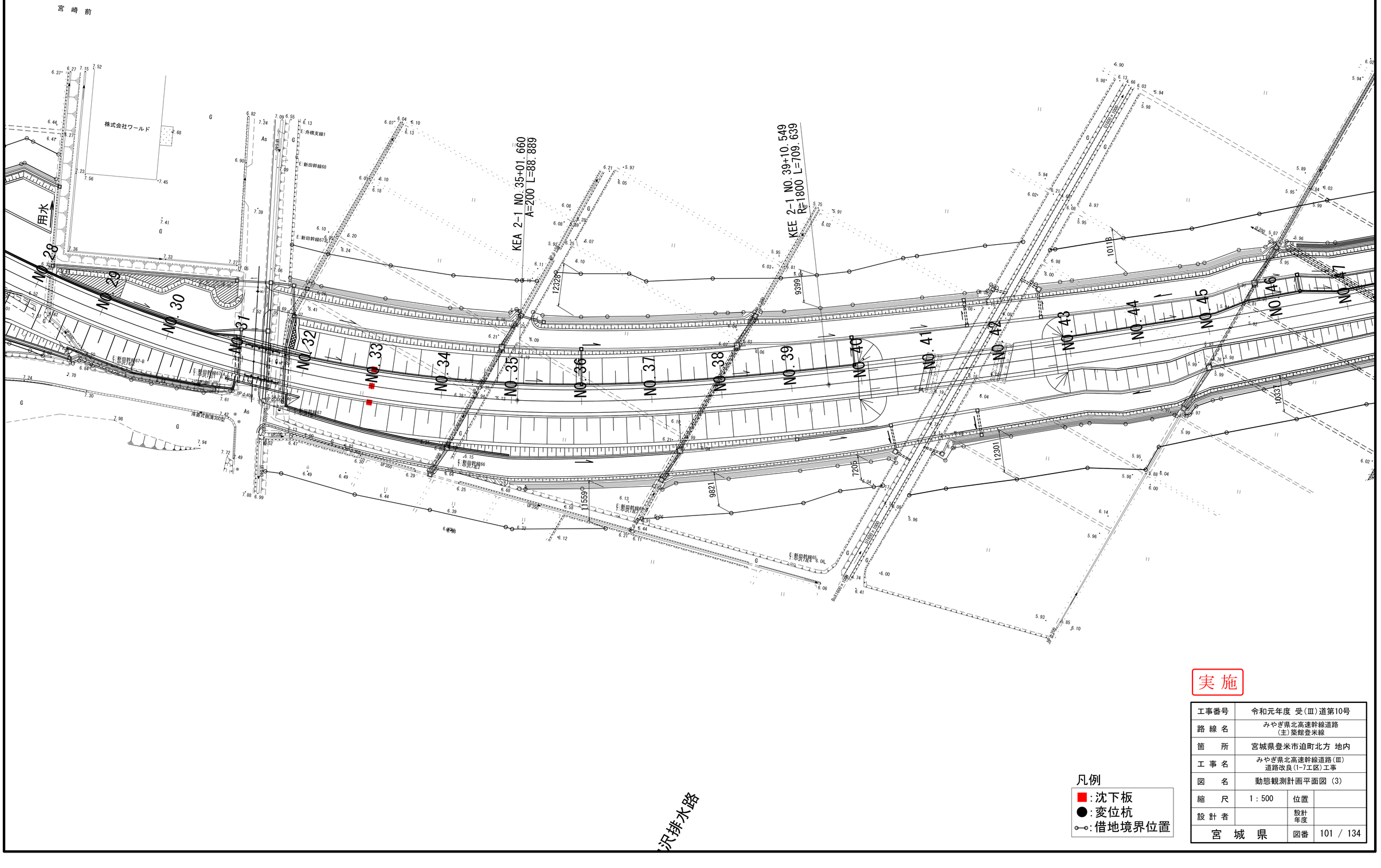
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	地盤改良横断図(12)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	99 / 134

動態観測計画平面図（2）S=1:500


KA 1-2 NO. 8+00
R=∞ L=14.27
KE 1-2 NO. 5+18.408
A=90 L=50.625
KA 2-1 NO. 16+00.632
A=120 L=54.444
KE 2-1 NO. 18+15.077
R=360 L=326.584
KE 1-2 NO. 13+09.420
A=130 L=51.212
NO. 5
NO. 12
NO. 13
NO. 14
NO. 15
NO. 16
NO. 17
NO. 18
NO. 19
NO. 20
NO. 21
NO. 22
NO. 23
NO. 24
NO. 25
NO. 26
NO. 27
NO. 28
NO. 29
NO. 30
NO. 31
NO. 32
回転場
舟橋揚水機
宮崎橋
宮崎前
株式会社ワールド
三陽工業株式会社
排水
堤防
下北浦
E 新田幹線(1)
E 新田幹線(2)
E 新田幹線(3)
E 新田幹線(4)
E 新田幹線(5)
E 新田幹線(6)
E 新田幹線(7)
E 新田幹線(8)
E 新田幹線(9)
E 新田幹線(10)
E 新田幹線(11)
E 新田幹線(12)
E 新田幹線(13)
E 新田幹線(14)
E 新田幹線(15)
E 新田幹線(16)
E 新田幹線(17)
E 新田幹線(18)
E 新田幹線(19)
E 新田幹線(20)
E 新田幹線(21)
E 新田幹線(22)
E 新田幹線(23)
E 新田幹線(24)
E 新田幹線(25)
E 新田幹線(26)
E 新田幹線(27)
E 新田幹線(28)
E 新田幹線(29)
E 新田幹線(30)
E 新田幹線(31)
E 新田幹線(32)
E 新田幹線(33)
E 新田幹線(34)
E 新田幹線(35)
E 新田幹線(36)
E 新田幹線(37)
E 新田幹線(38)
E 新田幹線(39)
E 新田幹線(40)
E 新田幹線(41)
E 新田幹線(42)
E 新田幹線(43)
E 新田幹線(44)
E 新田幹線(45)
E 新田幹線(46)
E 新田幹線(47)
E 新田幹線(48)
E 新田幹線(49)
E 新田幹線(50)
E 新田幹線(51)
E 新田幹線(52)
E 新田幹線(53)
E 新田幹線(54)
E 新田幹線(55)
E 新田幹線(56)
E 新田幹線(57)
E 新田幹線(58)
E 新田幹線(59)
E 新田幹線(60)
E 新田幹線(61)
E 新田幹線(62)
E 新田幹線(63)
E 新田幹線(64)
E 新田幹線(65)
E 新田幹線(66)
E 新田幹線(67)
E 新田幹線(68)
E 新田幹線(69)
E 新田幹線(70)
E 新田幹線(71)
E 新田幹線(72)
E 新田幹線(73)
E 新田幹線(74)
E 新田幹線(75)
E 新田幹線(76)
E 新田幹線(77)
E 新田幹線(78)
E 新田幹線(79)
E 新田幹線(80)
E 新田幹線(81)
E 新田幹線(82)
E 新田幹線(83)
E 新田幹線(84)
E 新田幹線(85)
E 新田幹線(86)
E 新田幹線(87)
E 新田幹線(88)
E 新田幹線(89)
E 新田幹線(90)
E 新田幹線(91)
E 新田幹線(92)
E 新田幹線(93)
E 新田幹線(94)
E 新田幹線(95)
E 新田幹線(96)
E 新田幹線(97)
E 新田幹線(98)
E 新田幹線(99)
E 新田幹線(100)
E 新田幹線(101)
E 新田幹線(102)
E 新田幹線(103)
E 新田幹線(104)
E 新田幹線(105)
E 新田幹線(106)
E 新田幹線(107)
E 新田幹線(108)
E 新田幹線(109)
E 新田幹線(110)
E 新田幹線(111)
E 新田幹線(112)
E 新田幹線(113)
E 新田幹線(114)
E 新田幹線(115)
E 新田幹線(116)
E 新田幹線(117)
E 新田幹線(118)
E 新田幹線(119)
E 新田幹線(120)
E 新田幹線(121)
E 新田幹線(122)
E 新田幹線(123)
E 新田幹線(124)
E 新田幹線(125)
E 新田幹線(126)
E 新田幹線(127)
E 新田幹線(128)
E 新田幹線(129)
E 新田幹線(130)
E 新田幹線(131)
E 新田幹線(132)
E 新田幹線(133)
E 新田幹線(134)
E 新田幹線(135)
E 新田幹線(136)
E 新田幹線(137)
E 新田幹線(138)
E 新田幹線(139)
E 新田幹線(140)
E 新田幹線(141)
E 新田幹線(142)
E 新田幹線(143)
E 新田幹線(144)
E 新田幹線(145)
E 新田幹線(146)
E 新田幹線(147)
E 新田幹線(148)
E 新田幹線(149)
E 新田幹線(150)
E 新田幹線(151)
E 新田幹線(152)
E 新田幹線(153)
E 新田幹線(154)
E 新田幹線(155)
E 新田幹線(156)
E 新田幹線(157)
E 新田幹線(158)
E 新田幹線(159)
E 新田幹線(160)
E 新田幹線(161)
E 新田幹線(162)
E 新田幹線(163)
E 新田幹線(164)
E 新田幹線(165)
E 新田幹線(166)
E 新田幹線(167)
E 新田幹線(168)
E 新田幹線(169)
E 新田幹線(170)
E 新田幹線(171)
E 新田幹線(172)
E 新田幹線(173)
E 新田幹線(174)
E 新田幹線(175)
E 新田幹線(176)
E 新田幹線(177)
E 新田幹線(178)
E 新田幹線(179)
E 新田幹線(180)
E 新田幹線(181)
E 新田幹線(182)
E 新田幹線(183)
E 新田幹線(184)
E 新田幹線(185)
E 新田幹線(186)
E 新田幹線(187)
E 新田幹線(188)
E 新田幹線(189)
E 新田幹線(190)
E 新田幹線(191)
E 新田幹線(192)
E 新田幹線(193)
E 新田幹線(194)
E 新田幹線(195)
E 新田幹線(196)
E 新田幹線(197)
E 新田幹線(198)
E 新田幹線(199)
E 新田幹線(200)
E 新田幹線(201)
E 新田幹線(202)
E 新田幹線(203)
E 新田幹線(204)
E 新田幹線(205)
E 新田幹線(206)
E 新田幹線(207)
E 新田幹線(208)
E 新田幹線(209)
E 新田幹線(210)
E 新田幹線(211)
E 新田幹線(212)
E 新田幹線(213)
E 新田幹線(214)
E 新田幹線(215)
E 新田幹線(216)
E 新田幹線(217)
E 新田幹線(218)
E 新田幹線(219)
E 新田幹線(220)
E 新田幹線(221)
E 新田幹線(222)
E 新田幹線(223)
E 新田幹線(224)
E 新田幹線(225)
E 新田幹線(226)
E 新田幹線(227)
E 新田幹線(228)
E 新田幹線(229)
E 新田幹線(230)
E 新田幹線(231)
E 新田幹線(232)
E 新田幹線(233)
E 新田幹線(234)
E 新田幹線(235)
E 新田幹線(236)
E 新田幹線(237)
E 新田幹線(238)
E 新田幹線(239)
E 新田幹線(240)
E 新田幹線(241)
E 新田幹線(242)
E 新田幹線(243)
E 新田幹線(244)
E 新田幹線(245)
E 新田幹線(246)
E 新田幹線(247)
E 新田幹線(248)
E 新田幹線(249)
E 新田幹線(250)
E 新田幹線(251)
E 新田幹線(252)
E 新田幹線(253)
E 新田幹線(254)
E 新田幹線(255)
E 新田幹線(256)
E 新田幹線(257)
E 新田幹線(258)
E 新田幹線(259)
E 新田幹線(260)
E 新田幹線(261)
E 新田幹線(262)
E 新田幹線(263)
E 新田幹線(264)
E 新田幹線(265)
E 新田幹線(266)
E 新田幹線(267)
E 新田幹線(268)
E 新田幹線(269)
E 新田幹線(270)
E 新田幹線(271)
E 新田幹線(272)
E 新田幹線(273)
E 新田幹線(274)
E 新田幹線(275)
E 新田幹線(276)
E 新田幹線(277)
E 新田幹線(278)
E 新田幹線(279)
E 新田幹線(280)
E 新田幹線(281)
E 新田幹線(282)
E 新田幹線(283)
E 新田幹線(284)
E 新田幹線(285)
E 新田幹線(286)
E 新田幹線(287)
E 新田幹線(288)
E 新田幹線(289)
E 新田幹線(290)
E 新田幹線(291)
E 新田幹線(292)
E 新田幹線(293)
E 新田幹線(294)
E 新田幹線(295)
E 新田幹線(296)
E 新田幹線(297)
E 新田幹線(298)
E 新田幹線(299)
E 新田幹線(300)
E 新田幹線(301)
E 新田幹線(302)
E 新田幹線(303)
E 新田幹線(304)
E 新田幹線(305)
E 新田幹線(306)
E 新田幹線(307)
E 新田幹線(308)
E 新田幹線(309)
E 新田幹線(310)
E 新田幹線(311)
E 新田幹線(312)
E 新田幹線(313)
E 新田幹線(314)
E 新田幹線(315)
E 新田幹線(316)
E 新田幹線(317)
E 新田幹線(318)
E 新田幹線(319)
E 新田幹線(320)
E 新田幹線(321)
E 新田幹線(322)
E 新田幹線(323)
E 新田幹線(324)
E 新田幹線(325)
E 新田幹線(326)
E 新田幹線(327)
E 新田幹線(328)
E 新田幹線(329)
E 新田幹線(330)
E 新田幹線(331)
E 新田幹線(332)
E 新田幹線(333)
E 新田幹線(334)
E 新田幹線(335)
E 新田幹線(336)
E 新田幹線(337)
E 新田幹線(338)
E 新田幹線(339)
E 新田幹線(340)
E 新田幹線(341)
E 新田幹線(342)
E 新田幹線(343)
E 新田幹線(344)
E 新田幹線(345)
E 新田幹線(346)
E 新田幹線(347)
E 新田幹線(348)
E 新田幹線(349)
E 新田幹線(350)
E 新田幹線(351)
E 新田幹線(352)
E 新田幹線(353)
E 新田幹線(354)
E 新田幹線(355)
E 新田幹線(356)
E 新田幹線(357)
E 新田幹線(358)
E 新田幹線(359)
E 新田幹線(360)
E 新田幹線(361)
E 新田幹線(362)
E 新田幹線(363)
E 新田幹線(364)
E 新田幹線(365)
E 新田幹線(366)
E 新田幹線(367)
E 新田幹線(368)
E 新田幹線(369)
E 新田幹線(370)
E 新田幹線(371)
E 新田幹線(372)
E 新田幹線(373)
E 新田幹線(374)
E 新田幹線(375)
E 新田幹線(376)
E 新田幹線(377)
E 新田幹線(378)
E 新田幹線(379)
E 新田幹線(380)
E 新田幹線(381)
E 新田幹線(382)
E 新田幹線(383)
E 新田幹線(384)
E 新田幹線(385)
E 新田幹線(386)
E 新田幹線(387)
E 新田幹線(388)
E 新田幹線(389)
E 新田幹線(390)
E 新田幹線(391)
E 新田幹線(392)
E 新田幹線(393)
E 新田幹線(394)
E 新田幹線(395)
E 新田幹線(396)
E 新田幹線(397)
E 新田幹線(398)
E 新田幹線(399)
E 新田幹線(400)
E 新田幹線(401)
E 新田幹線(402)
E 新田幹線(403)
E 新田幹線(404)
E 新田幹線(405)
E 新田幹線(406)
E 新田幹線(407)
E 新田幹線(408)
E 新田幹線(409)
E 新田幹線(410)
E 新田幹線(411)
E 新田幹線(412)
E 新田幹線(413)
E 新田幹線(414)
E 新田幹線(415)
E 新田幹線(416)
E 新田幹線(417)
E 新田幹線(418)
E 新田幹線(419)
E 新田幹線(420)
E 新田幹線(421)
E 新田幹線(422)
E 新田幹線(423)
E 新田幹線(424)
E 新田幹線(425)
E 新田幹線(426)
E 新田幹線(427)
E 新田幹線(428)
E 新田幹線(429)
E 新田幹線(430)
E 新田幹線(431)
E 新田幹線(432)
E 新田幹線(433)
E 新田幹線(434)
E 新田幹線(435)
E 新田幹線(436)
E 新田幹線(437)
E 新田幹線(438)
E 新田幹線(439)
E 新田幹線(440)
E 新田幹線(441)
E 新田幹線(442)
E 新田幹線(443)
E 新田幹線(444)
E 新田幹線(445)
E 新田幹線(446)
E 新田幹線(447)
E 新田幹線(448)
E 新田幹線(449)
E 新田幹線(450)
E 新田幹線(451)
E 新田幹線(452)
E 新田幹線(453)
E 新田幹線(454)
E 新田幹線(455)
E 新田幹線(456)
E 新田幹線(457)
E 新田幹線(458)
E 新田幹線(459)
E 新田幹線(460)
E 新田幹線(461)
E 新田幹線(462)
E 新田幹線(463)
E 新田幹線(464)
E 新田幹線(465)
E 新田幹線(466)
E 新田幹線(467)
E 新田幹線(468)
E 新田幹線(469)
E 新田幹線(470)
E 新田幹線(471)
E 新田幹線(472)
E 新田幹線(473)
E 新田幹線(474)
E 新田幹線(475)
E 新田幹線(476)
E 新田幹線(477)
E 新田幹線(478)
E 新田幹線(479)
E 新田幹線(480)
E 新田幹線(481)
E 新田幹線(482)
E 新田幹線(483)
E 新田幹線(484)
E 新田幹線(485)
E 新田幹線(486)
E 新田幹線(487)
E 新田幹線(488)
E 新田幹線(489)
E 新田幹線(490)
E 新田幹線(491)
E 新田幹線(492)
E 新田幹線(493)
E 新田幹線(494)
E 新田幹線(495)
E 新田幹線(496)
E 新田幹線(497)
E 新田幹線(498)
E 新田幹線(499)
E 新田幹線(500)
E 新田幹線(501)
E 新田幹線(502)
E 新田幹線(503)
E 新田幹線(504)
E 新田幹線(505)
E 新田幹線(506)
E 新田幹線(507)
E 新田幹線(508)
E 新田幹線(509)
E 新田幹線(510)
E 新田幹線(511)
E 新田幹線(512)
E 新田幹線(513)
E 新田幹線(514)
E 新田幹線(515)
E 新田幹線(516)
E 新田幹線(517)
E 新田幹線(518)
E 新田幹線(519)
E 新田幹線(520)
E 新田幹線(521)
E 新田幹線(522)
E 新田幹線(523)
E 新田幹線(524)
E 新田幹線(525)
E 新田幹線(526)
E 新田幹線(527)
E 新田幹線(528)
E 新田幹線(529)
E 新田幹線(530)
E 新田幹線(531)
E 新田幹線(532)
E 新田幹線(533)
E 新田幹線(534)
E 新田幹線(535)
E 新田幹線(536)
E 新田幹線(537)
E 新田幹線(538)
E 新田幹線(539)
E 新田幹線(540)
E 新田幹線(541)
E 新田幹線(542)
E 新田幹線(543)
E 新田幹線(544)
E 新田幹線(545)
E 新田幹線(546)
E 新田幹線(547)
E 新田幹線(548)
E 新田幹線(549)
E 新田幹線(550)
E 新田幹線(551)
E 新田幹線(552)
E 新田幹線(553)
E 新田幹線(554)
E 新田幹線(555)
E 新田幹線(556)
E 新田幹線(557)
E 新田幹線(558)
E 新田幹線(559)
E 新田幹線(560)
E 新田幹線(561)
E 新田幹線(562)
E 新田幹線(563)
E 新田幹線(564)
E 新田幹線(565)
E 新田幹線(566)
E 新田幹線(567)
E 新田幹線(568)
E 新田幹線(569)
E 新田幹線(570)
E 新田幹線(571)
E 新田幹線(572)
E 新田幹線(573)
E 新田幹線(574)
E 新田幹線(575)
E 新田幹線(576)
E 新田幹線(577)
E 新田幹線(578)
E 新田幹線(579)
E 新田幹線(580)
E 新田幹線(581)
E 新田幹線(582)
E 新田幹線(583)
E 新田幹線(584)
E 新田幹線(585)
E 新田幹線(586)
E 新田幹線(587)
E 新田幹線(588)
E 新田幹線(589)
E 新田幹線(590)
E 新田幹線(591)
E 新田幹線(592)
E 新田幹線(593)
E 新田幹線(594)
E 新田幹線(595)
E 新田幹線(596)
E 新田幹線(597)
E 新田幹線(598)
E 新田幹線(599)
E 新田幹線(600)
E 新田幹線(601)
E 新田幹線(602)
E 新田幹線(603)
E 新田幹線(604)
E 新田幹線(605)
E 新田幹線(606)
E 新田幹線(607)
E 新田幹線(608)
E 新田幹線(609)
E 新田幹線(610)
E 新田幹線(611)
E 新田幹線(612)
E 新田幹線(613)
E 新田幹線(614)
E 新田幹線(615)
E 新田幹線(616)
E 新田幹線(617)
E 新田幹線(618)
E 新田幹線(619)
E 新田幹線(620)
E 新田幹線(621)
E 新田幹線(622)
E 新田幹線(623)
E 新田幹線(624)
E 新田幹線(625)
E 新田幹線(626)
E 新田幹線(627)
E 新田幹線(628)
E 新田幹線(629)
E 新田幹線(630)
E 新田幹線(631)
E 新田幹線(632)
E 新田幹線(633)
E 新田幹線(634)
E 新田幹線(635)
E 新田幹線(636)
E 新田幹線(637)
E 新田幹線(638)
E 新田幹線(639)
E 新田幹線(640)
E 新田幹線(641)
E 新田幹線(642)
E 新田幹線(643)
E 新田幹線(644)
E 新田幹線(645)
E 新田幹線(646)
E 新田幹線(647)
E 新田幹線(648)
E 新田幹線(649)
E 新田幹線(650)
E 新田幹線(651)
E 新田幹線(652)
E 新田幹線(653)
E 新田幹線(654)
E 新田幹線(655)
E 新田幹線(656)
E 新田幹線(657)
E 新田幹線(658)
E 新田幹線(659)
E 新田幹線(660)
E 新田幹線(661)
E 新田幹線(662)
E 新田幹線(663)
E 新田幹線(664)
E 新田幹線(665)
E 新田幹線(666)
E 新田幹線(667)
E 新田幹線(668)
E 新田幹線(669)
E 新田幹線(670)
E 新田幹線(671)
E 新田幹線(672)
E 新田幹線(673)
E 新田幹線(674)
E 新田幹線(675)
E 新田幹線(676)
E 新田幹線(677)
E 新田幹線(678)
E 新田幹線(679)
E 新田幹線(680)
E 新田幹線(681)
E 新田幹線(682)
E 新田幹線(683)
E 新田幹線(684)
E 新田幹線(685)
E 新田幹線(686)
E 新田幹線(687)
E 新田幹線(688)
E 新田幹線(689)
E 新田幹線(690)
E 新田幹線(691)
E 新田幹線(692)
E 新田幹線(693)
E 新田幹線(694)
E 新田幹線(695)
E 新田幹線(696)
E 新田幹線(697)
E 新田幹線(698)
E 新田幹線(699)
E 新田幹線(700)
E 新田幹線(701)
E 新田幹線(702)
E 新田幹線(703)
E 新田幹線(704)
E 新田幹線(705)
E 新田幹線(706)
E 新田幹線(707)
E 新田幹線(708)
E 新田幹線(709)
E 新田幹線(710)
E 新田幹線(711)
E 新田幹線(712)
E 新田幹線(713)
E 新田幹線(714)
E 新田幹線(715)
E 新田幹線(716)
E 新田幹線(717)
E 新田幹線(718)
E 新田幹線(719)
E 新田幹線(720)
E 新田幹線(721)
E 新田幹線(722)
E 新田幹線(723)
E 新田幹線(724)
E 新田幹線(725)
E 新田幹線(726)
E 新田幹線(727)
E 新田幹線(728)
E 新田幹線(729)
E 新田幹線(730)
E 新田幹線(731)
E 新田幹線(732)
E 新田幹線(733)
E 新田幹線(734)
E 新田幹線(735)
E 新田幹線(736)
E 新田幹線(737)
E 新田幹線(738)
E 新田幹線(739)
E 新田幹線(740)
E 新田幹線(741)
E 新田幹線(742)
E 新田幹線(743)
E 新田幹線(744)
E 新田幹線(745)
E 新田幹線(746)
E 新田幹線(747)
E 新田幹線(748)
E 新田幹線(749)
E 新田幹線(750)
E 新田幹線(751)
E 新田幹線(752)
E 新田幹線(753)
E 新田幹線(754)
E 新田幹線(755)
E 新田幹線(756)
E 新田幹線(757)
E 新田幹線(758)
E 新田幹線(759)
E 新田幹線(760)
E 新田幹線(761)
E 新田幹線(762)
E 新田幹線(763)
E 新田幹線(764)
E 新田幹線(765)
E 新田幹線(766)
E 新田幹線(767)
E 新田幹線(768)
E 新田幹線(769)
E 新田幹線(770)
E 新田幹線(771)
E 新田幹線(772)
E 新田幹線(773)
E 新田幹線(774)
E 新田幹線(775)
E 新田幹線(776)
E 新田幹線(777)
E 新田幹線(778)
E 新田幹線(779)
E 新田幹線(780)
E 新田幹線(781)
E 新田幹線(782)
E 新田幹線(783)
E 新田幹線(784)
E 新田幹線(785)
E 新田幹線(786)
E 新田幹線(787)
E 新田幹線(788)
E 新田幹線(789)
E 新田幹線(790)
E 新田幹線(791)
E 新田幹線(792)
E 新田幹線(793)
E 新田幹線(794)
E 新田幹線(795)
E 新田幹線(796)
E 新田幹線(797)
E 新田幹線(798)
E 新田幹線(799)
E 新田幹線(800)
E 新田幹線(801)
E 新田幹線(802)
E 新田幹線(803)
E 新田幹線(804)
E 新田幹線(805)
E 新田幹線(806)
E 新田幹線(807)
E 新田幹線(808)
E 新田幹線(809)
E 新田幹線(810)
E 新田幹線(811)
E 新田幹線(812)
E 新田幹線(813)
E 新田幹線(814)
E 新田幹線(815)
E 新田幹線(816)
E 新田幹線(817)
E 新田幹線(818)
E 新田幹線(819)
E 新田幹線(820)
E 新田幹線(821)
E 新田幹線(822)
E 新田幹線(823)
E 新田幹線(824)
E 新田幹線(825)
E 新田幹線(826)
E 新田幹線(827)
E 新田幹線(828)
E 新田幹線(829)
E 新田幹線(830)
E 新田幹線(831)
E 新田幹線(832)
E 新田幹線(833)
E 新田幹線(834)
E 新田幹線(835)
E 新田幹線(836)
E 新田幹線(837)
E 新田幹線(838)
E 新田幹線(839)
E 新田幹線(840)
E 新田幹線(841)
E 新田幹線(842)
E 新田幹線(843)
E 新田幹線(844)
E 新田幹線(845)
E 新田幹線(846)
E 新田幹線(847)
E 新田幹線(848)
E 新田幹線(849)
E 新田幹線(850)
E 新田幹線(851)
E 新田幹線(852)
E 新田幹線(853)
E 新田幹線(854)
E 新田幹線(855)
E 新田幹線(856)
E 新田幹線(857)
E 新田幹線(858)
E 新田幹線(859)
E 新田幹線(860)
E 新田幹線(861)
E 新田幹線(862)
E 新田幹線(863)
E 新田幹線(864)
E 新田幹線(865)
E 新田幹線(866)
E 新田幹線(867)
E 新田幹線(868)
E 新田幹線(869)
E 新田幹線(870)
E 新田幹線(871)
E 新田幹線(872)
E 新田幹線(873)
E 新田幹線(874)
E 新田幹線(875)
E 新田幹線(876)
E 新田幹線(877)
E 新田幹線(878)
E 新田幹線(879)
E 新田幹線(880)
E 新田幹線(881)
E 新田幹線(882)
E 新田幹線(883)
E 新田幹線(884)
E 新田幹線(885)
E 新田幹線(886)
E 新田幹線(887)
E 新田幹線(888)
E 新田幹線(889)
E 新田幹線(890)
E 新田幹線(891)
E 新田幹線(892)
E 新田幹線(893)
E 新田幹線(894)
E 新田幹線(895)
E 新田幹線(896)
E 新田幹線(897)
E 新田幹線(898)
E 新田幹線(899)
E 新田幹線(900)
E 新田幹線(901)
E 新田幹線(902)
E 新田幹線(903)
E 新田幹線(904)
E 新田幹線(905)
E 新田幹線(906)
E 新田幹線(907)
E 新田幹線(908)
E 新田幹線(909)
E 新田幹線(910)
E 新田幹線(911)
E 新田幹線(912)
E 新田幹線(913)
E 新田幹線(914)
E 新田幹線(915)
E 新田幹線(916)
E 新田幹線(917)
E 新田幹線(918)
E 新田幹線(919)
E 新田幹線(920)
E 新田幹線(921)
E 新田幹線(922)
E 新田幹線(923)
E 新田幹線(924)
E 新田幹線(925)
E 新田幹線(926)
E 新田幹線(927)
E 新田幹線(928)
E 新田幹線(929)
E 新田幹線(930)
E 新田幹線(931)
E 新田幹線(932)
E 新田幹線(933)
E 新田幹線(934)
E 新田幹線(935)
E 新田幹線(936)
E 新田幹線(937)
E 新田幹線(938)
E 新田幹線(939)
E 新田幹線(940)
E 新田幹線(941)
E 新田幹線(942)
E 新田幹線(943)
E 新田幹線(944)
E 新田幹線(945)
E 新田幹線(946)
E 新田幹線(947)
E 新田幹線(948)
E 新田幹線(949)
E 新田幹線(950)
E 新田幹線(951)
E 新田幹線(952)
E 新田幹線(953)
E 新田幹線(954)
E 新田幹線(955)
E 新田幹線(956)
E 新田幹線(957)
E 新田幹線(958)
E 新田幹線(959)
E 新田幹線(960)
E 新田幹線(961)
E 新田幹線(962)
E 新田幹線(963)
E 新田幹線(964)
E 新田幹線(965)
E 新田幹線(966)
E 新田幹線(967)
E 新田幹線(968)
E 新田幹線(969)
E 新田幹線(970)
E 新田幹線(971)
E 新田幹線(972)
E 新田幹線(973)
E 新田幹線(974)
E 新田幹線(975)
E 新田幹線(976)
E 新田幹線(977)
E 新田幹線(978)
E 新田幹線(979)
E 新田幹線(980)
E 新田幹線(981)
E 新田幹線(982)
E 新田幹線(983)
E 新田幹線(984)
E 新田幹線(985)
E 新田幹線(986)
E 新田幹線(987)
E 新田幹線(988)
E 新田幹線(989)
E 新田幹線(990)
E 新田幹線(991)
E 新田幹線(992)
E 新田幹線(993)
E 新田幹線(994)
E 新田幹線(995)
E 新田幹線(996)
E 新田幹線(997)
E 新田幹線(998)
E 新田幹線(999)
E 新田幹線(1000)
E 新田幹線(1001)
E 新田幹線(1002)
E 新田幹線(1003)
E 新田幹線(1004)
E 新田幹線(1005)
E 新田幹線(1006)
E 新田幹線(1007)
E 新田幹線(1008)
E 新田幹線(1009)
E 新田幹線(1010)
E 新田幹線(1011)
E 新田幹線(1012)
E 新田幹線(1013)
E 新田幹線(1014)
E 新田幹線(1015)
E 新田幹線(1016)
E 新田幹線(1017)
E 新田幹線(1018)
E 新田幹線(1019)
E 新田幹線(1020)
E 新田幹線(1021)
E 新田幹線(1022)
E 新田幹線(1023)
E 新田幹線(1024)
E 新田幹線(1025)
E 新田幹線(1026)
E 新田幹線(1027)
E 新田幹線(1028)
E 新田幹線(1029)
E 新田幹線(1030)
E 新田幹線(1031)
E 新田幹線(1032)
E 新田幹線(1033)
E 新田幹線(1034)
E 新田幹線(1035)
E 新田幹線(1036)
E 新田幹線(1037)
E 新田幹線(1038)
E 新田幹線(1039)
E 新田幹線(1040)
E 新田幹線(1041)
E 新田幹線(1042)
E 新田幹線(1043)
E 新田幹線(1044)
E 新田幹線(1045)
E 新田幹線(1046)
E 新田幹線(1047)
E 新田幹線(1048)
E 新田幹線(1049)
E 新田幹線(1050)
E 新田幹線(1051)
E 新田幹線(1052)
E 新田幹線(1053)
E 新田幹線(1054)
E 新田幹線(1055)
E 新田幹線(1056)
E 新田幹線(1057)
E 新田幹線(1058)
E 新田幹線(1059)
E 新田幹線(1060)
E 新田幹線(1061)
E 新田幹線(1062)
E 新田幹線(1063)
E 新田幹線(1064)
E 新田幹線(1065)
E 新田幹線(1066)
E 新田幹線(1067)
E 新田幹線(1068)
E 新田幹線(1069)
E 新田幹線(1070)
E 新田幹線(1071)
E 新田幹線(1072)
E 新田幹線(1073)
E 新田幹線(1074)
E 新田幹線(1075)
E 新田幹線(1076)
E 新田幹線(1077)
E 新田幹線(1078)
E 新田幹線(1079)
E 新田幹線(1080)
E 新田幹線(1081)
E 新田幹線(1082)
E 新田幹線(1083)
E 新田幹線(1084)
E 新田幹線(1085)
E 新田幹線(1086)
E 新田幹線(1087)
E 新田幹線(1088)
E 新田幹線(1089)
E 新田幹線(1090)
E 新田幹線(1091)
E 新田幹線(1092)
E 新田幹線(1093)
E 新田幹線(1094)
E 新田幹線(1095)
E 新田幹線(1096)
E 新田幹線(1097)
E 新田幹線(1098)
E 新田幹線(1099)
E 新田幹線(1100)
E 新田幹線(1101)
E 新田幹線(1102)
E 新田幹線(1103)
E 新田幹線(1104)
E 新田幹線(1105)
E 新田幹線(1106)
E 新田幹線(1107)
E 新田幹線(1108)
E 新田幹線(1109)
E 新田幹線(1110)
E 新田幹線(1111)
E 新田幹線(1112)
E 新田幹線(1113)
E 新田幹線(1114)
E 新田幹線(1115)
E 新田幹線(1116)
E 新田幹線(1117)
E 新田幹線(1118)
E 新田幹線(1119)
E 新田幹線(1120)
E 新田幹線(1121)
E 新田幹線(1122)
E 新田幹線(1123)
E 新田幹線(1124)
E 新田幹線(1125)
E 新田幹線(1126)
E 新田幹線(1127)
E 新田幹線(1128)
E 新田幹線(1129)
E 新田幹線(1130)
E 新田幹線(1131)
E 新田幹線(1132)
E 新田幹線(1133)
E 新田幹線(1134)
E 新田幹線(1135)
E 新田幹線(1136)
E 新田幹線(1137)
E 新田幹線(1138)
E 新田幹線(1139)
E 新田幹線(1140)
E 新田幹線(1141)
E 新田幹線(1142)
E 新田幹線(1143)
E 新田幹線(1144)
E 新田幹線(1145)
E 新田幹線(1146)
E 新田幹線(1147)
E 新田幹線(1148)
E 新田幹線(1149)
E 新田幹線(1150)
E 新田幹線(1151)
E 新田幹線(1152)
E 新田幹線(1153)
E 新田幹線(1154)
E 新田幹線(1155)
E 新田幹線(1156)
E 新田幹線(1157)
E 新田幹線(1158)
E 新田幹線(1159)
E 新田幹線(1160)
E 新田幹線(1161)
E 新田幹線(1162)
E 新田幹線(1163)
E 新田幹線(1164)
E 新田幹線(1165)
E 新田幹線(1166)
E 新田幹線(1167)
E 新田幹線(1168)
E 新田幹線(1169)
E 新田幹線(1170)
E 新田幹線(1171)
E 新田幹線(1172)
E 新田幹線(1173)
E 新田幹線(1174)
E 新田幹線(1175)
E 新田幹線(1176)
E 新田幹線(1177)
E 新田幹線(1178)
E 新田幹線(1179)
E 新田幹線(1180)
E 新田幹線(1181)
E 新田幹線(1182)
E 新田幹線(1183)
E 新田幹線(1184)
E 新田幹線(1185)
E 新田幹線(1186)
E 新田幹線(1187)
E 新田幹線(1188)
E 新田幹線(1189)
E 新田幹線(1190)
E 新田幹線(1191)
E 新田幹線(1192)
E 新田幹線(1193)
E 新田幹線(1194)
E 新田幹線(1195)
E 新田幹線(1196)
E 新田幹線(1197)
E 新田幹線(1198)
E 新田幹線(1199)
E 新田幹線(1200)
E 新田幹線(1201)
E 新田幹線(1202)
E 新田幹線(1203)
E 新田幹線(1204)
E 新田幹線(1205)
E 新田幹線(1206)
E 新田幹線(1207)
E 新田幹線(1208)
E 新田幹線(1209)
E 新田幹線(1210)
E 新田幹線(1211)
E 新田幹線(1212)
E 新田幹線(1213)
E 新田幹線(1214)
E 新田幹線(1215)
E 新田幹線(1216)
E 新田幹線(1217)
E 新田幹線(1218)
E 新田幹線(1219)
E 新田幹線(1220)
E 新田幹線(1221)
E 新田幹線(1222)
E 新田幹線(1223)
E 新田幹線(1224)
E 新田幹線(1225)
E 新田幹線(1226)
E 新田幹線(1227)
E 新田幹線(1228)
E 新田幹線(1229)
E 新田幹線(1230)
E 新田幹線(1231)
E 新田幹線(1232)
E 新田幹線(1233)
E 新田幹線(1234)
E 新田幹線(1235)
E 新田幹線(1236)
E 新田幹線(1237)
E 新田幹線(1238)
E 新田幹線(1239)
E 新田幹線(1240)
E 新田幹線(1241)
E 新田幹線(1242)
E 新田幹線(1243)
E 新田幹線(1244)
E 新田幹線(1245)
E 新田幹線(1246)
E 新田幹線(1247)
E 新田幹線(1248)
E 新田幹線(1249)
E 新田幹線(1250)
E 新田幹線(1251)
E 新田幹線(1252)
E 新田幹線(1253)
E 新田幹線(1254)
E 新田幹線(1255)
E 新田幹線(1256)
E 新田幹線(1257)
E 新田幹線(1258)
E 新田幹線(1259)
E 新田幹線(1260)
E 新田幹線(1261)
E 新田幹線(1262)
E 新田幹線(1263)
E 新田幹線(1264)
E 新田幹線(1265)
E 新田幹線(1266)
E 新田幹線(1267)
E 新田幹線(1268)
E 新田幹線(1269)
E 新田幹線(1270)
E 新田幹線(1271)
E 新田幹線(1272)
E 新田幹線(1273)
E 新田幹線(1274)
E 新田幹線(1275)
E 新田幹線(1276)
E 新田幹線(1277)
E 新田幹線(1278)
E 新田幹線(1279)
E 新田幹線(1280)
E 新田幹線(1281)
E 新田幹線(1282)
E 新田幹線(1283)
E 新田幹線(1284)
E 新田幹線(1285)
E 新田幹線(1286)
E 新田幹線(1287)
E 新田幹線(1288)
E 新田幹線(1289)
E 新田幹線(1290)
E 新田幹線(1291)
E 新田幹線(1292)
E 新田幹線(1293)
E 新田幹線(1294)
E 新田幹線(1295)
E 新田幹線(1296)
E 新田幹線(1297)
E 新田幹線(1298)
E 新田幹線(1299)
E 新田幹線(1300)
E 新田幹線(1301)
E 新田幹線(1302)
E 新田幹線(1303)
E 新田幹線(1304)
E 新田幹線(1305)
E 新田幹線(1306)
E 新田幹線(1307)
E 新田幹線(1308)
E 新田幹線(1309)
E 新田幹線(1310)
E 新田幹線(1311)
E 新田幹線(1312)
E 新田幹線(1313)
E 新田幹線(1314)
E 新田幹線(1315)
E 新田幹線(1316)
E 新田幹線(1317)
E 新田幹線(1318)
E 新田幹線(1319)
E 新田幹線(1320)
E 新田幹線(1321)
E 新田幹線(1322)
E 新田幹線(1323)
E 新田幹線(1324)
E 新田幹線(1325)
E 新田幹線(1326)
E 新田幹線(1327)
E 新田幹線(1328)
E 新田幹線(1329)
E 新田幹線(1330)
E 新田幹線(1331)
E 新田幹線(1332)
E 新田幹線(1333)
E 新田幹線(1334)
E 新田幹線(1335)
E 新田幹線(1336)
E 新田幹線(1337)
E 新田幹線(1338)
E 新田幹線(1339)
E 新田幹線(1340)
E 新田幹線(1341)
E 新田幹線(1342)
E 新田幹線(1343)
E 新田幹線(1344)
E 新田幹線(1345)
E 新田幹線(1346)
E 新田幹線(1347)
E 新田幹線(1348)
E 新田幹線(1349)
E 新田幹線(1350)
E 新田幹線(1351)
E 新田幹線(1352)
E 新田幹線(1353)
E 新田幹線(1354)
E 新田幹線(1355)
E 新田幹線(1356)
E 新田幹線(1357)
E 新田幹線(1358)
E 新田幹線(1359)
E 新田幹線(1360)
E 新田幹線(1361)
E 新田幹線(1362)
E 新田幹線(1363)
E 新田幹線(1364)
E 新田幹線(1365)
E 新田幹線(1366)
E 新田幹線(1367)
E 新田幹線(1368)
E 新田幹線(1369)
E 新田幹線(1370)
E 新田幹線(1371)
E 新田幹線(1372)
E 新田幹線(1373)
E 新田幹線(1374)
E 新田幹線(1375)
E 新田幹線(1376)
E 新田幹線(1377)
E 新田幹線(1378)
E 新田幹線(1379)
E 新田幹線(1380)
E 新田幹線(1381)
E 新田幹線(1382)
E 新田幹線(1

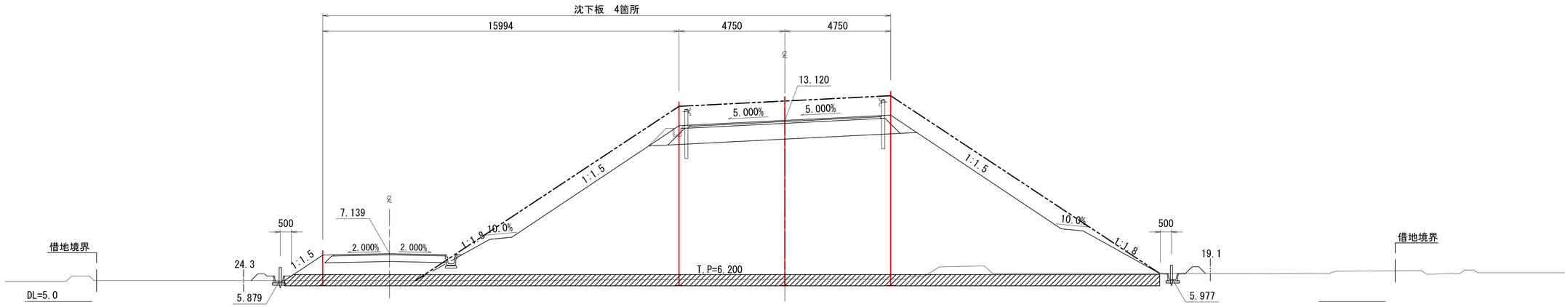
動態観測計画平面図（3）S=1:500


宮 崎 前
株式会社ワールド
用水
KEA 2-1 NO.35+01.660
A=200 L=88.889
KEE 2-1 NO.39+10.549
R=1800 L=709.639
NO.28
NO.29
NO.30
NO.31
NO.32
NO.33
NO.34
NO.35
NO.36
NO.37
NO.38
NO.39
NO.40
NO.41
NO.42
NO.43
NO.44
NO.45
NO.46
NO.47
E:舟橋支線1
E:新田幹線68
E:新田幹線67
E:新田幹線67-B
E:新田幹線67-A
E:新田幹線66
E:新田幹線65
E:新田幹線64
E:新田幹線63
E:新田幹線62
E:新田幹線61
E:新田幹線60
E:新田幹線59
E:新田幹線58
E:新田幹線57
E:新田幹線56
E:新田幹線55
E:新田幹線54
E:新田幹線53
E:新田幹線52
E:新田幹線51
E:新田幹線50
E:新田幹線49
E:新田幹線48
E:新田幹線47
E:新田幹線46
E:新田幹線45
E:新田幹線44
E:新田幹線43
E:新田幹線42
E:新田幹線41
E:新田幹線40
E:新田幹線39
E:新田幹線38
E:新田幹線37
E:新田幹線36
E:新田幹線35
E:新田幹線34
E:新田幹線33
E:新田幹線32
E:新田幹線31
E:新田幹線30
E:新田幹線29
E:新田幹線28
E:新田幹線27
E:新田幹線26
E:新田幹線25
E:新田幹線24
E:新田幹線23
E:新田幹線22
E:新田幹線21
E:新田幹線20
E:新田幹線19
E:新田幹線18
E:新田幹線17
E:新田幹線16
E:新田幹線15
E:新田幹線14
E:新田幹線13
E:新田幹線12
E:新田幹線11
E:新田幹線10
E:新田幹線9
E:新田幹線8
E:新田幹線7
E:新田幹線6
E:新田幹線5
E:新田幹線4
E:新田幹線3
E:新田幹線2
E:新田幹線1
E:新田幹線0
E:新田幹線-1
E:新田幹線-2
E:新田幹線-3
E:新田幹線-4
E:新田幹線-5
E:新田幹線-6
E:新田幹線-7
E:新田幹線-8
E:新田幹線-9
E:新田幹線-10
E:新田幹線-11
E:新田幹線-12
E:新田幹線-13
E:新田幹線-14
E:新田幹線-15
E:新田幹線-16
E:新田幹線-17
E:新田幹線-18
E:新田幹線-19
E:新田幹線-20
E:新田幹線-21
E:新田幹線-22
E:新田幹線-23
E:新田幹線-24
E:新田幹線-25
E:新田幹線-26
E:新田幹線-27
E:新田幹線-28
E:新田幹線-29
E:新田幹線-30
E:新田幹線-31
E:新田幹線-32
E:新田幹線-33
E:新田幹線-34
E:新田幹線-35
E:新田幹線-36
E:新田幹線-37
E:新田幹線-38
E:新田幹線-39
E:新田幹線-40
E:新田幹線-41
E:新田幹線-42
E:新田幹線-43
E:新田幹線-44
E:新田幹線-45
E:新田幹線-46
E:新田幹線-47
E:新田幹線-48
E:新田幹線-49
E:新田幹線-50
E:新田幹線-51
E:新田幹線-52
E:新田幹線-53
E:新田幹線-54
E:新田幹線-55
E:新田幹線-56
E:新田幹線-57
E:新田幹線-58
E:新田幹線-59
E:新田幹線-60
E:新田幹線-61
E:新田幹線-62
E:新田幹線-63
E:新田幹線-64
E:新田幹線-65
E:新田幹線-66
E:新田幹線-67
E:新田幹線-67-A
E:新田幹線-67-B
E:新田幹線-68
E:新田幹線-69
E:新田幹線-70
E:新田幹線-71
E:新田幹線-72
E:新田幹線-73
E:新田幹線-74
E:新田幹線-75
E:新田幹線-76
E:新田幹線-77
E:新田幹線-78
E:新田幹線-79
E:新田幹線-80
E:新田幹線-81
E:新田幹線-82
E:新田幹線-83
E:新田幹線-84
E:新田幹線-85
E:新田幹線-86
E:新田幹線-87
E:新田幹線-88
E:新田幹線-89
E:新田幹線-90
E:新田幹線-91
E:新田幹線-92
E:新田幹線-93
E:新田幹線-94
E:新田幹線-95
E:新田幹線-96
E:新田幹線-97
E:新田幹線-98
E:新田幹線-99
E:新田幹線-100
E:新田幹線-101
E:新田幹線-102
E:新田幹線-103
E:新田幹線-104
E:新田幹線-105
E:新田幹線-106
E:新田幹線-107
E:新田幹線-108
E:新田幹線-109
E:新田幹線-110
E:新田幹線-111
E:新田幹線-112
E:新田幹線-113
E:新田幹線-114
E:新田幹線-115
E:新田幹線-116
E:新田幹線-117
E:新田幹線-118
E:新田幹線-119
E:新田幹線-120
E:新田幹線-121
E:新田幹線-122
E:新田幹線-123
E:新田幹線-124
E:新田幹線-125
E:新田幹線-126
E:新田幹線-127
E:新田幹線-128
E:新田幹線-129
E:新田幹線-130
E:新田幹線-131
E:新田幹線-132
E:新田幹線-133
E:新田幹線-134
E:新田幹線-135
E:新田幹線-136
E:新田幹線-137
E:新田幹線-138
E:新田幹線-139
E:新田幹線-140
E:新田幹線-141
E:新田幹線-142
E:新田幹線-143
E:新田幹線-144
E:新田幹線-145
E:新田幹線-146
E:新田幹線-147
E:新田幹線-148
E:新田幹線-149
E:新田幹線-150
E:新田幹線-151
E:新田幹線-152
E:新田幹線-153
E:新田幹線-154
E:新田幹線-155
E:新田幹線-156
E:新田幹線-157
E:新田幹線-158
E:新田幹線-159
E:新田幹線-160
E:新田幹線-161
E:新田幹線-162
E:新田幹線-163
E:新田幹線-164
E:新田幹線-165
E:新田幹線-166
E:新田幹線-167
E:新田幹線-168
E:新田幹線-169
E:新田幹線-170
E:新田幹線-171
E:新田幹線-172
E:新田幹線-173
E:新田幹線-174
E:新田幹線-175
E:新田幹線-176
E:新田幹線-177
E:新田幹線-178
E:新田幹線-179
E:新田幹線-180
E:新田幹線-181
E:新田幹線-182
E:新田幹線-183
E:新田幹線-184
E:新田幹線-185
E:新田幹線-186
E:新田幹線-187
E:新田幹線-188
E:新田幹線-189
E:新田幹線-190
E:新田幹線-191
E:新田幹線-192
E:新田幹線-193
E:新田幹線-194
E:新田幹線-195
E:新田幹線-196
E:新田幹線-197
E:新田幹線-198
E:新田幹線-199
E:新田幹線-200
E:新田幹線-201
E:新田幹線-202
E:新田幹線-203
E:新田幹線-204
E:新田幹線-205
E:新田幹線-206
E:新田幹線-207
E:新田幹線-208
E:新田幹線-209
E:新田幹線-210
E:新田幹線-211
E:新田幹線-212
E:新田幹線-213
E:新田幹線-214
E:新田幹線-215
E:新田幹線-216
E:新田幹線-217
E:新田幹線-218
E:新田幹線-219
E:新田幹線-220
E:新田幹線-221
E:新田幹線-222
E:新田幹線-223
E:新田幹線-224
E:新田幹線-225
E:新田幹線-226
E:新田幹線-227
E:新田幹線-228
E:新田幹線-229
E:新田幹線-230
E:新田幹線-231
E:新田幹線-232
E:新田幹線-233
E:新田幹線-234
E:新田幹線-235
E:新田幹線-236
E:新田幹線-237
E:新田幹線-238
E:新田幹線-239
E:新田幹線-240
E:新田幹線-241
E:新田幹線-242
E:新田幹線-243
E:新田幹線-244
E:新田幹線-245
E:新田幹線-246
E:新田幹線-247
E:新田幹線-248
E:新田幹線-249
E:新田幹線-250
E:新田幹線-251
E:新田幹線-252
E:新田幹線-253
E:新田幹線-254
E:新田幹線-255
E:新田幹線-256
E:新田幹線-257
E:新田幹線-258
E:新田幹線-259
E:新田幹線-260
E:新田幹線-261
E:新田幹線-262
E:新田幹線-263
E:新田幹線-264
E:新田幹線-265
E:新田幹線-266
E:新田幹線-267
E:新田幹線-268
E:新田幹線-269
E:新田幹線-270
E:新田幹線-271
E:新田幹線-272
E:新田幹線-273
E:新田幹線-274
E:新田幹線-275
E:新田幹線-276
E:新田幹線-277
E:新田幹線-278
E:新田幹線-279
E:新田幹線-280
E:新田幹線-281
E:新田幹線-282
E:新田幹線-283
E:新田幹線-284
E:新田幹線-285
E:新田幹線-286
E:新田幹線-287
E:新田幹線-288
E:新田幹線-289
E:新田幹線-290
E:新田幹線-291
E:新田幹線-292
E:新田幹線-293
E:新田幹線-294
E:新田幹線-295
E:新田幹線-296
E:新田幹線-297
E:新田幹線-298
E:新田幹線-299
E:新田幹線-300
E:新田幹線-301
E:新田幹線-302
E:新田幹線-303
E:新田幹線-304
E:新田幹線-305
E:新田幹線-306
E:新田幹線-307
E:新田幹線-308
E:新田幹線-309
E:新田幹線-310
E:新田幹線-311
E:新田幹線-312
E:新田幹線-313
E:新田幹線-314
E:新田幹線-315
E:新田幹線-316
E:新田幹線-317
E:新田幹線-318
E:新田幹線-319
E:新田幹線-320
E:新田幹線-321
E:新田幹線-322
E:新田幹線-323
E:新田幹線-324
E:新田幹線-325
E:新田幹線-326
E:新田幹線-327
E:新田幹線-328
E:新田幹線-329
E:新田幹線-330
E:新田幹線-331
E:新田幹線-332
E:新田幹線-333
E:新田幹線-334
E:新田幹線-335
E:新田幹線-336
E:新田幹線-337
E:新田幹線-338
E:新田幹線-339
E:新田幹線-340
E:新田幹線-341
E:新田幹線-342
E:新田幹線-343
E:新田幹線-344
E:新田幹線-345
E:新田幹線-346
E:新田幹線-347
E:新田幹線-348
E:新田幹線-349
E:新田幹線-350
E:新田幹線-351
E:新田幹線-352
E:新田幹線-353
E:新田幹線-354
E:新田幹線-355
E:新田幹線-356
E:新田幹線-357
E:新田幹線-358
E:新田幹線-359
E:新田幹線-360
E:新田幹線-361
E:新田幹線-362
E:新田幹線-363
E:新田幹線-364
E:新田幹線-365
E:新田幹線-366
E:新田幹線-367
E:新田幹線-368
E:新田幹線-369
E:新田幹線-370
E:新田幹線-371
E:新田幹線-372
E:新田幹線-373
E:新田幹線-374
E:新田幹線-375
E:新田幹線-376
E:新田幹線-377
E:新田幹線-378
E:新田幹線-379
E:新田幹線-380
E:新田幹線-381
E:新田幹線-382
E:新田幹線-383
E:新田幹線-384
E:新田幹線-385
E:新田幹線-386
E:新田幹線-387
E:新田幹線-388
E:新田幹線-389
E:新田幹線-390
E:新田幹線-391
E:新田幹線-392
E:新田幹線-393
E:新田幹線-394
E:新田幹線-395
E:新田幹線-396
E:新田幹線-397
E:新田幹線-398
E:新田幹線-399
E:新田幹線-400
E:新田幹線-401
E:新田幹線-402
E:新田幹線-403
E:新田幹線-404
E:新田幹線-405
E:新田幹線-406
E:新田幹線-407
E:新田幹線-408
E:新田幹線-409
E:新田幹線-410
E:新田幹線-411
E:新田幹線-412
E:新田幹線-413
E:新田幹線-414
E:新田幹線-415
E:新田幹線-416
E:新田幹線-417
E:新田幹線-418
E:新田幹線-419
E:新田幹線-420
E:新田幹線-421
E:新田幹線-422
E:新田幹線-423
E:新田幹線-424
E:新田幹線-425
E:新田幹線-426
E:新田幹線-427
E:新田幹線-428
E:新田幹線-429
E:新田幹線-430
E:新田幹線-431
E:新田幹線-432
E:新田幹線-433
E:新田幹線-434
E:新田幹線-435
E:新田幹線-436
E:新田幹線-437
E:新田幹線-438
E:新田幹線-439
E:新田幹線-440
E:新田幹線-441
E:新田幹線-442
E:新田幹線-443
E:新田幹線-444
E:新田幹線-445
E:新田幹線-446
E:新田幹線-447
E:新田幹線-448
E:新田幹線-449
E:新田幹線-450
E:新田幹線-451
E:新田幹線-452
E:新田幹線-453
E:新田幹線-454
E:新田幹線-455
E:新田幹線-456
E:新田幹線-457
E:新田幹線-458
E:新田幹線-459
E:新田幹線-460
E:新田幹線-461
E:新田幹線-462
E:新田幹線-463
E:新田幹線-464
E:新田幹線-465
E:新田幹線-466
E:新田幹線-467
E:新田幹線-468
E:新田幹線-469
E:新田幹線-470
E:新田幹線-471
E:新田幹線-472
E:新田幹線-473
E:新田幹線-474
E:新田幹線-475
E:新田幹線-476
E:新田幹線-477
E:新田幹線-478
E:新田幹線-479
E:新田幹線-480
E:新田幹線-481
E:新田幹線-482
E:新田幹線-483
E:新田幹線-484
E:新田幹線-485
E:新田幹線-486
E:新田幹線-487
E:新田幹線-488
E:新田幹線-489
E:新田幹線-490
E:新田幹線-491
E:新田幹線-492
E:新田幹線-493
E:新田幹線-494
E:新田幹線-495
E:新田幹線-496
E:新田幹線-497
E:新田幹線-498
E:新田幹線-499
E:新田幹線-500
E:新田幹線-501
E:新田幹線-502
E:新田幹線-503
E:新田幹線-504
E:新田幹線-505
E:新田幹線-506
E:新田幹線-507
E:新田幹線-508
E:新田幹線-509
E:新田幹線-510
E:新田幹線-511
E:新田幹線-512
E:新田幹線-513
E:新田幹線-514
E:新田幹線-515
E:新田幹線-516
E:新田幹線-517
E:新田幹線-518
E:新田幹線-519
E:新田幹線-520
E:新田幹線-521
E:新田幹線-522
E:新田幹線-523
E:新田幹線-524
E:新田幹線-525
E:新田幹線-526
E:新田幹線-527
E:新田幹線-528
E:新田幹線-529
E:新田幹線-530
E:新田幹線-531
E:新田幹線-532
E:新田幹線-533
E:新田幹線-534
E:新田幹線-535
E:新田幹線-536
E:新田幹線-537
E:新田幹線-538
E:新田幹線-539
E:新田幹線-540
E:新田幹線-541
E:新田幹線-542
E:新田幹線-543
E:新田幹線-544
E:新田幹線-545
E:新田幹線-546
E:新田幹線-547
E:新田幹線-548
E:新田幹線-549
E:新田幹線-550
E:新田幹線-551
E:新田幹線-552
E:新田幹線-553
E:新田幹線-554
E:新田幹線-555
E:新田幹線-556
E:新田幹線-557
E:新田幹線-558
E:新田幹線-559
E:新田幹線-560
E:新田幹線-561
E:新田幹線-562
E:新田幹線-563
E:新田幹線-564
E:新田幹線-565
E:新田幹線-566
E:新田幹線-567
E:新田幹線-568
E:新田幹線-569
E:新田幹線-570
E:新田幹線-571
E:新田幹線-572
E:新田幹線-573
E:新田幹線-574
E:新田幹線-575
E:新田幹線-576
E:新田幹線-577
E:新田幹線-578
E:新田幹線-579
E:新田幹線-580
E:新田幹線-581
E:新田幹線-582
E:新田幹線-583
E:新田幹線-584
E:新田幹線-585
E:新田幹線-586
E:新田幹線-587
E:新田幹線-588
E:新田幹線-589
E:新田幹線-590
E:新田幹線-591
E:新田幹線-592
E:新田幹線-593
E:新田幹線-594
E:新田幹線-595
E:新田幹線-596
E:新田幹線-597
E:新田幹線-598
E:新田幹線-599
E:新田幹線-600
E:新田幹線-601
E:新田幹線-602
E:新田幹線-603
E:新田幹線-604
E:新田幹線-605
E:新田幹線-606
E:新田幹線-607
E:新田幹線-608
E:新田幹線-609
E:新田幹線-610
E:新田幹線-611
E:新田幹線-612
E:新田幹線-613
E:新田幹線-614
E:新田幹線-615
E:新田幹線-616
E:新田幹線-617
E:新田幹線-618
E:新田幹線-619
E:新田幹線-620
E:新田幹線-621
E:新田幹線-622
E:新田幹線-623
E:新田幹線-624
E:新田幹線-625
E:新田幹線-626
E:新田幹線-627
E:新田幹線-628
E:新田幹線-629
E:新田幹線-630
E:新田幹線-631
E:新田幹線-632
E:新田幹線-633
E:新田幹線-634
E:新田幹線-635
E:新田幹線-636
E:新田幹線-637
E:新田幹線-638
E:新田幹線-639
E:新田幹線-640
E:新田幹線-641
E:新田幹線-642
E:新田幹線-643
E:新田幹線-644
E:新田幹線-645
E:新田幹線-646
E:新田幹線-647
E:新田幹線-648
E:新田幹線-649
E:新田幹線-650
E:新田幹線-651
E:新田幹線-652
E:新田幹線-653
E:新田幹線-654
E:新田幹線-655
E:新田幹線-656
E:新田幹線-657
E:新田幹線-658
E:新田幹線-659
E:新田幹線-660
E:新田幹線-661
E:新田幹線-662
E:新田幹線-663
E:新田幹線-664
E:新田幹線-665
E:新田幹線-666
E:新田幹線-667
E:新田幹線-668
E:新田幹線-669
E:新田幹線-670
E:新田幹線-671
E:新田幹線-672
E:新田幹線-673
E:新田幹線-674
E:新田幹線-675
E:新田幹線-676
E:新田幹線-677
E:新田幹線-678
E:新田幹線-679
E:新田幹線-680
E:新田幹線-681
E:新田幹線-682
E:新田幹線-683
E:新田幹線-684
E:新田幹線-685
E:新田幹線-686
E:新田幹線-687
E:新田幹線-688
E:新田幹線-689
E:新田幹線-690
E:新田幹線-691
E:新田幹線-692
E:新田幹線-693
E:新田幹線-694
E:新田幹線-695
E:新田幹線-696
E:新田幹線-697
E:新田幹線-698
E:新田幹線-699
E:新田幹線-700
E:新田幹線-701
E:新田幹線-702
E:新田幹線-703
E:新田幹線-704
E:新田幹線-705
E:新田幹線-706
E:新田幹線-707
E:新田幹線-708
E:新田幹線-709
E:新田幹線-710
E:新田幹線-711
E:新田幹線-712
E:新田幹線-713
E:新田幹線-714
E:新田幹線-715
E:新田幹線-716
E:新田幹線-717
E:新田幹線-718
E:新田幹線-719
E:新田幹線-720
E:新田幹線-721
E:新田幹線-722
E:新田幹線-723
E:新田幹線-724
E:新田幹線-725
E:新田幹線-726
E:新田幹線-727
E:新田幹線-728
E:新田幹線-729
E:新田幹線-730
E:新田幹線-731
E:新田幹線-732
E:新田幹線-733
E:新田幹線-734
E:新田幹線-735
E:新田幹線-736
E:新田幹線-737
E:新田幹線-738
E:新田幹線-739
E:新田幹線-740
E:新田幹線-741
E:新田幹線-742
E:新田幹線-743
E:新田幹線-744
E:新田幹線-745
E:新田幹線-746
E:新田幹線-747
E:新田幹線-748
E:新田幹線-749
E:新田幹線-750
E:新田幹線-751
E:新田幹線-752
E:新田幹線-753
E:新田幹線-754
E:新田幹線-755
E:新田幹線-756
E:新田幹線-757
E:新田幹線-758
E:新田幹線-759
E:新田幹線-760
E:新田幹線-761
E:新田幹線-762
E:新田幹線-763
E:新田幹線-764
E:新田幹線-765
E:新田幹線-766
E:新田幹線-767
E:新田幹線-768
E:新田幹線-769
E:新田幹線-770
E:新田幹線-771
E:新田幹線-772
E:新田幹線-773
E:新田幹線-774
E:新田幹線-775
E:新田幹線-776
E:新田幹線-777
E:新田幹線-778
E:新田幹線-779
E:新田幹線-780
E:新田幹線-781
E:新田幹線-782
E:新田幹線-783
E:新田幹線-784
E:新田幹線-785
E:新田幹線-786
E:新田幹線-787
E:新田幹線-788
E:新田幹線-789
E:新田幹線-790
E:新田幹線-791
E:新田幹線-792
E:新田幹線-793
E:新田幹線-794
E:新田幹線-795
E:新田幹線-796
E:新田幹線-797
E:新田幹線-798
E:新田幹線-799
E:新田幹線-800
E:新田幹線-801
E:新田幹線-802
E:新田幹線-803
E:新田幹線-804
E:新田幹線-805
E:新田幹線-806
E:新田幹線-807
E:新田幹線-808
E:新田幹線-809
E:新田幹線-810
E:新田幹線-811
E:新田幹線-812
E:新田幹線-813
E:新田幹線-814
E:新田幹線-815
E:新田幹線-816
E:新田幹線-817
E:新田幹線-818
E:新田幹線-819
E:新田幹線-820
E:新田幹線-821
E:新田幹線-822
E:新田幹線-823
E:新田幹線-824
E:新田幹線-825
E:新田幹線-826
E:新田幹線-827
E:新田幹線-828
E:新田幹線-829
E:新田幹線-830
E:新田幹線-831
E:新田幹線-832
E:新田幹線-833
E:新田幹線-834
E:新田幹線-835
E:新田幹線-836
E:新田幹線-837
E:新田幹線-838
E:新田幹線-839
E:新田幹線-840
E:新田幹線-841
E:新田幹線-842
E:新田幹線-843
E:新田幹線-844
E:新田幹線-845
E:新田幹線-846
E:新田幹線-847
E:新田幹線-848
E:新田幹線-849
E:新田幹線-850
E:新田幹線-851
E:新田幹線-852
E:新田幹線-853
E:新田幹線-854
E:新田幹線-855
E:新田幹線-856
E:新田幹線-857
E:新田幹線-858
E:新田幹線-859
E:新田幹線-860
E:新田幹線-861
E:新田幹線-862
E:新田幹線-863
E:新田幹線-864
E:新田幹線-865
E:新田幹線-866
E:新田幹線-867
E:新田幹線-868
E:新田幹線-869
E:新田幹線-870
E:新田幹線-871
E:新田幹線-872
E:新田幹線-873
E:新田幹線-874
E:新田幹線-875
E:新田幹線-876
E:新田幹線-877
E:新田幹線-878
E:新田幹線-879
E:新田幹線-880
E:新田幹線-881
E:新田幹線-882
E:新田幹線-883
E:新田幹線-884
E:新田幹線-885
E:新田幹線-886
E:新田幹線-887
E:新田幹線-888
E:新田幹線-889
E:新田幹線-890
E:新田幹線-891
E:新田幹線-892
E:新田幹線-893
E:新田幹線-894
E:新田幹線-895
E:新田幹線-896
E:新田幹線-897
E:新田幹線-898
E:新田幹線-899
E:新田幹線-900
E:新田幹線-901
E:新田幹線-902
E:新田幹線-903
E:新田幹線-904
E:新田幹線-905
E:新田幹線-906
E:新田幹線-907
E:新田幹線-908
E:新田幹線-909
E:新田幹線-910
E:新田幹線-911
E:新田幹線-912
E:新田幹線-913
E:新田幹線-914
E:新田幹線-915
E:新田幹線-916
E:新田幹線-917
E:新田幹線-918
E:新田幹線-919
E:新田幹線-920
E:新田幹線-921
E:新田幹線-922
E:新田幹線-923
E:新田幹線-924
E:新田幹線-925
E:新田幹線-926
E:新田幹線-927
E:新田幹線-928
E:新田幹線-929
E:新田幹線-930
E:新田幹線-931
E:新田幹線-932
E:新田幹線-933
E:新田幹線-934
E:新田幹線-935
E:新田幹線-936
E:新田幹線-937
E:新田幹線-938
E:新田幹線-939
E:新田幹線-940
E:新田幹線-941
E:新田幹線-942
E:新田幹線-943
E:新田幹線-944
E:新田幹線-945
E:新田幹線-946
E:新田幹線-947
E:新田幹線-948
E:新田幹線-949
E:新田幹線-950
E:新田幹線-951
E:新田幹線-952
E:新田幹線-953
E:新田幹線-954
E:新田幹線-955
E:新田幹線-956
E:新田幹線-957
E:新田幹線-958
E:新田幹線-959
E:新田幹線-960
E:新田幹線-961
E:新田幹線-962
E:新田幹線-963
E:新田幹線-964
E:新田幹線-965
E:新田幹線-966
E:新田幹線-967
E:新田幹線-968
E:新田幹線-969
E:新田幹線-970
E:新田幹線-971
E:新田幹線-972
E:新田幹線-973
E:新田幹線-974
E:新田幹線-975
E:新田幹線-976
E:新田幹線-977
E:新田幹線-978
E:新田幹線-979
E:新田幹線-980
E:新田幹線-981
E:新田幹線-982
E:新田幹線-983
E:新田幹線-984
E:新田幹線-985
E:新田幹線-986
E:新田幹線-987
E:新田幹線-988
E:新田幹線-989
E:新田幹線-990
E:新田幹線-991
E:新田幹線-992
E:新田幹線-993
E:新田幹線-994
E:新田幹線-995
E:新田幹線-996
E:新田幹線-997
E:新田幹線-998
E:新田幹線-999
E:新田幹線-1000
E:新田幹線-1001
E:新田幹線-1002
E:新田幹線-1003
E:新田幹線-1004
E:新田幹線-1005
E:新田幹線-1006
E:新田幹線-1007
E:新田幹線-1008
E:新田幹線-1009
E:新田幹線-1010
E:新田幹線-1011
E:新田幹線-1012
E:新田幹線-1013
E:新田幹線-1014
E:新田幹線-1015
E:新田幹線-1016
E:新田幹線-1017
E:新田幹線-1018
E:新田幹線-1019
E:新田幹線-1020
E:新田幹線-1021
E:新田幹線-1022
E:新田幹線-1023
E:新田幹線-1024
E:新田幹線-1025
E:新田幹線-1026
E:新田幹線-1027
E:新田幹線-1028
E:新田幹線-1029
E:新田幹線-1030
E:新田幹線-1031
E:新田幹線-1032
E:新田幹線-1033
E:新田幹線-1034
E:新田幹線-1035
E:新田幹線-1036
E:新田幹線-1037
E:新田幹線-1038
E:新田幹線-1039
E:新田幹線-1040
E:新田幹線-1041
E:新田幹線-1042
E:新田幹線-1043
E:新田幹線-1044
E:新田幹線-1045
E:新田幹線-1046
E:新田幹線-1047
E:新田幹線-1048
E:新田幹線-1049
E:新田幹線-1050
E:新田幹線-1051
E:新田幹線-1052
E:新田幹線-1053
E:新田幹線-1054
E:新田幹線-1055
E:新田幹線-1056
E:新田幹線-1057
E:新田幹線-1058
E:新田幹線-1059
E:新田幹線-1060
E:新田幹線-1061
E:新田幹線-1062
E:新田幹線-1063
E:新田幹線-1064
E:新田幹線-1065
E:新田幹線-1066
E:新田幹線-1067
E:新田幹線-1068
E:新田幹線-1069
E:新田幹線-1070
E:新田幹線-1071
E:新田幹線-1072
E:新田幹線-1073
E:新田幹線-1074
E:新田幹線-1075
E:新田幹線-1076
E:新田幹線-1077
E:新田幹線-1078
E:新田幹線-1079
E:新田幹線-1080
E:新田幹線-1081
E:新田幹線-1082
E:新田幹線-1083
E:新田幹線-1084
E:新田幹線-1085
E:新田幹線-1086
E:新田幹線-1087
E:新田幹線-1088
E:新田幹線-1089
E:新田幹線-1090
E:新田幹線-1091
E:新田幹線-1092
E:新田幹線-1093
E:新田幹線-1094
E:新田幹線-1095
E:新田幹線-1096
E:新田幹線-1097
E:新田幹線-1098
E:新田幹線-1099
E:新田幹線-1100
E:新田幹線-1101
E:新田幹線-1102
E:新田幹線-1103
E:新田幹線-1104
E:新田幹線-1105
E:新田幹線-1106
E:新田幹線-1107
E:新田幹線-1108
E:新田幹線-1109
E:新田幹線-1110
E:新田幹線-1111
E:新田幹線-1112
E:新田幹線-1113
E:新田幹線-1114
E:新田幹線-1115
E:新田幹線-1116
E:新田幹線-1117
E:新田幹線-1118
E:新田幹線-1119
E:新田幹線-1120
E:新田幹線-1121
E:新田幹線-1122
E:新田幹線-1123
E:新田幹線-1124
E:新田幹線-1125
E:新田幹線-1126
E:新田幹線-1127
E:新田幹線-1128
E:新田幹線-1129
E:新田幹線-1130
E:新田幹線-1131
E:新田幹線-1132
E:新田幹線-1133
E:新田幹線-1134
E:新田幹線-1135
E:新田幹線-1136
E:新田幹線-1137
E:新田幹線-1138
E:新田幹線-1139
E:新田幹線-1140
E:新田幹線-1141
E:新田幹線-1142
E:新田幹線-1143
E:新田幹線-1144
E:新田幹線-1145
E:新田幹線-1146
E:新田幹線-1147
E:新田幹線-1148
E:新田幹線-1149
E:新田幹線-1150
E:新田幹線-1151
E:新田幹線-1152
E:新田幹線-1153
E:新田幹線-1154
E:新田幹線-1155
E:新田幹線-1156
E:新田幹線-1157
E:新田幹線-1158
E:新田幹線-1159
E:新田幹線-1160
E:新田幹線-1161
E:新田幹線-1162
E:新田幹線-1163
E:新田幹線-1164
E:新田幹線-1165
E:新田幹線-1166
E:新田幹線-1167
E:新田幹線-1168
E:新田幹線-1169
E:新田幹線-1170
E:新田幹線-1171
E:新田幹線-1172
E:新田幹線-1173
E:新田幹線-1174
E:新田幹線-1175
E:新田幹線-1176
E:新田幹線-1177
E:新田幹線-1178
E:新田幹線-1179
E:新田幹線-1180
E:新田幹線-1181
E:新田幹線-1182
E:新田幹線-1183
E:新田幹線-1184
E:新田幹線-1185
E:新田幹線-1186
E:新田幹線-1187
E:新田幹線-1188
E:新田幹線-1189
E:新田幹線-1190
E:新田幹線-1191
E:新田幹線-1192
E:新田幹線-1193
E:新田幹線-1194
E:新田幹線-1195
E:新田幹線-1196
E:新田幹線-1197
E:新田幹線-1198
E:新田幹線-1199
E:新田幹線-1200
E:新田幹線-1201
E:新田幹線-1202
E:新田幹線-1203
E:新田幹線-1204
E:新田幹線-1205
E:新田幹線-1206
E:新田幹線-1207
E:新田幹線-1208
E:新田幹線-1209
E:新田幹線-1210
E:新田幹線-1211
E:新田幹線-1212
E:新田幹線-1213
E:新田幹線-1214
E:新田幹線-1215
E:新田幹線-1216
E:新田幹線-1217
E:新田幹線-1218
E:新田幹線-1219
E:新田幹線-1220
E:新田幹線-1221
E:新田幹線-1222
E:新田幹線-1223
E:新田幹線-1224
E:新田幹線-1225
E:新田幹線-1226
E:新田幹線-1227
E:新田幹線-1228
E:新田幹線-1229
E:新田幹線-1230
E:新田幹線-1231
E:新田幹線-1232
E:新田幹線-1233
E:新田幹線-1234
E:新田幹線-1235
E:新田幹線-1236
E:新田幹線-1237
E:新田幹線-1238
E:新田幹線-1239
E:新田幹線-1240
E:新田幹線-1241
E:新田幹線-1242
E:新田幹線-1243
E:新田幹線-1244
E:新田幹線-1245
E:新田幹線-1246
E:新田幹線-1247
E:新田幹線-1248
E:新田幹線-1249
E:新田幹線-1250
E:新田幹線-1251
E:新田幹線-1252
E:新田幹線-1253
E:新田幹線-1254
E:新田幹線-1255
E:新田幹線-1256
E:新田幹線-1257
E:新田幹線-1258
E:新田幹線-1259
E:新田幹線-1260
E:新田幹線-1261
E:新田幹線-1262
E:新田幹線-1263
E:新田幹線-1264
E:新田幹線-1265
E:新田幹線-1266
E:新田幹線-1267
E:新田幹線-1268
E:新田幹線-1269
E:新田幹線-1270
E:新田幹線-1271
E:新田幹線-1272
E:新田幹線-1273
E:新田幹線-1274
E:新田幹線-1275
E:新田幹線-1276
E:新田幹線-1277
E:新田幹線-1278
E:新田幹線-1279
E:新田幹線-1280
E:新田幹線-1281
E:新田幹線-1282
E:新田幹線-1283
E:新田幹線-1284
E:新田幹線-1285
E:新田幹線-1286
E:新田幹線-1287
E:新田幹線-1288
E:新田幹線-1289
E:新田幹線-1290
E:新田幹線-1291
E:新田幹線-1292
E:新田幹線-1293
E:新田幹線-1294
E:新田幹線-1295
E:新田幹線-1296
E:新田幹線-1297
E:新田幹線-1298
E:新田幹線-1299
E:新田幹線-1300
E:新田幹線-1301
E:新田幹線-1302
E:新田幹線-1303
E:新田幹線-1304
E:新田幹線-1305
E:新田幹線-1306
E:新田幹線-1307
E:新田幹線-1308
E:新田幹線-1309
E:新田幹線-1310
E:新田幹線-1311
E:新田幹線-1312
E:新田幹線-1313
E:新田幹線-1314
E:新田幹線-1315
E:新田幹線-1316
E:新田幹線-1317
E:新田幹線-1318
E:新田幹線-1319
E:新田幹線-1320
E:新田幹線-1321
E:新田幹線-1322
E:新田幹線-1323
E:新田幹線-1324
E:新田幹線-1325
E:新田幹線-1326
E:新田幹線-1327
E:新田幹線-1328
E:新田幹線-1329
E:新田幹線-1330
E:新田幹線-1331
E:新田幹線-1332
E:新田幹線-1333
E:新田幹線-1334
E:新田幹線-1335
E:新田幹線-1336
E:新田幹線-1337
E:新田幹線-1338
E:新田幹線-1339
E:新田幹線-1340
E:新田幹線-1341
E:新田幹線-1342
E:新田幹線-1343
E:新田幹線-1344
E:新田幹線-1345
E:新田幹線-1346
E:新田幹線-1347
E:新田幹線-1348
E:新田幹線-1349
E:新田幹線-1350
E:新田幹線-1351
E:新田幹線-1352
E:新田幹線-1353
E:新田幹線-1354
E:新田幹線-1355
E:新田幹線-1356
E:新田幹線-1357
E:新田幹線-1358
E:新田幹線-1359
E:新田幹線-1360
E:新田幹線-1361
E:新田幹線-1362
E:新田幹線-1363
E:新田幹線-1364
E:新田幹線-1365
E:新田幹線-1366
E:新田幹線-1367
E:新田幹線-1368
E:新田幹線-1369
E:新田幹線-1370
E:新田幹線-1371
E:新田幹線-1372
E:新田幹線-1373
E:新田幹線-1374
E:新田幹線-1375
E:新田幹線-1376
E:新田幹線-1377
E:新田幹線-1378
E:新田幹線-1379
E:新田幹線-1380
E:新田幹線-1381
E:新田幹線-1382
E:新田幹線-1383
E:新田幹線-1384
E:新田幹線-1385
E:新田幹線-1386
E:新田幹線-1387
E:新田幹線-1388
E:新田幹線-1389
E:新田幹線-1390
E:新田幹線-1391
E:新田幹線-1392
E:新田幹線-1393
E:新田幹線-1394
E:新田幹線-1395
E:新田幹線-1396
E:新田幹線-1397
E:新田幹線-1398
E:新田幹線-1399
E:新田幹線-1400
E:新田幹線-1401
E:新田幹線-1402
E:新田幹線-1403
E:新田幹線-1404
E:新田幹線-1405
E:新田幹線-1406
E:新田幹線-1407
E:新田幹線-1408
E:新田幹線-1409
E:新田幹線-1410
E:新田幹線-1411
E:新田幹線-1412
E:新田幹線-1413
E:新田幹線-1414
E:新田幹線-1415
E:新田幹線-1416
E:新田幹線-1417
E:新田幹線-1418
E:新田幹線-1419
E:新田幹線-1420
E:新田幹線-1421
E:新田幹線-1422
E:新田幹線-1423
E:新田幹線-1424
E:新田幹線-1425
E:新田幹線-1426
E:新田幹線-1427
E:新田幹線-1428
E:新田幹線-1429
E:新田幹線-1430
E:新田幹線-1431
E:新田幹線-1432
E:新田幹線-1433
E:新田幹線-1434
E:新田幹線-1435
E:新田幹線-1436
E:新田幹線-1437
E:新田幹線-1438
E:新田幹線-1439
E:新田幹線-1440
E:新田幹線-1441
E:新田幹線-1442
E:新田幹線-1443
E:新田幹線-1444
E:新田幹線-1445
E:新田幹線-1446
E:新田幹線-1447
E:新田幹線-1448
E:新田幹線-1449
E:新田幹線-1450
E:新田幹線-1451
E:新田幹線-1452
E:新田幹線-1453
E:新田幹線-1454
E:新田幹線-1455
E:新田幹線-1456
E:新田幹線-1457
E:新田幹線-1458
E:新田幹線-1459
E:新田幹線-1460
E:新田

動態観測計画 標準断面図（4）
宮崎前区間（沈下板・変位杭設置図）

宮崎前区間

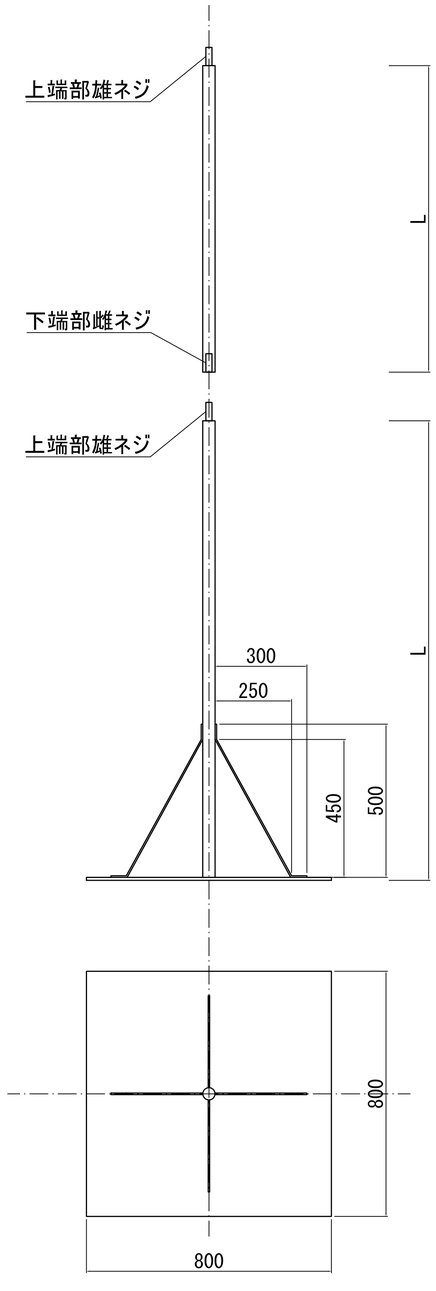
NO.26
GH= 6.00
FH=13.120



実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	動態観測計画 標準断面図（4）		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	102 / 134

沈下板詳細図　S=1:20

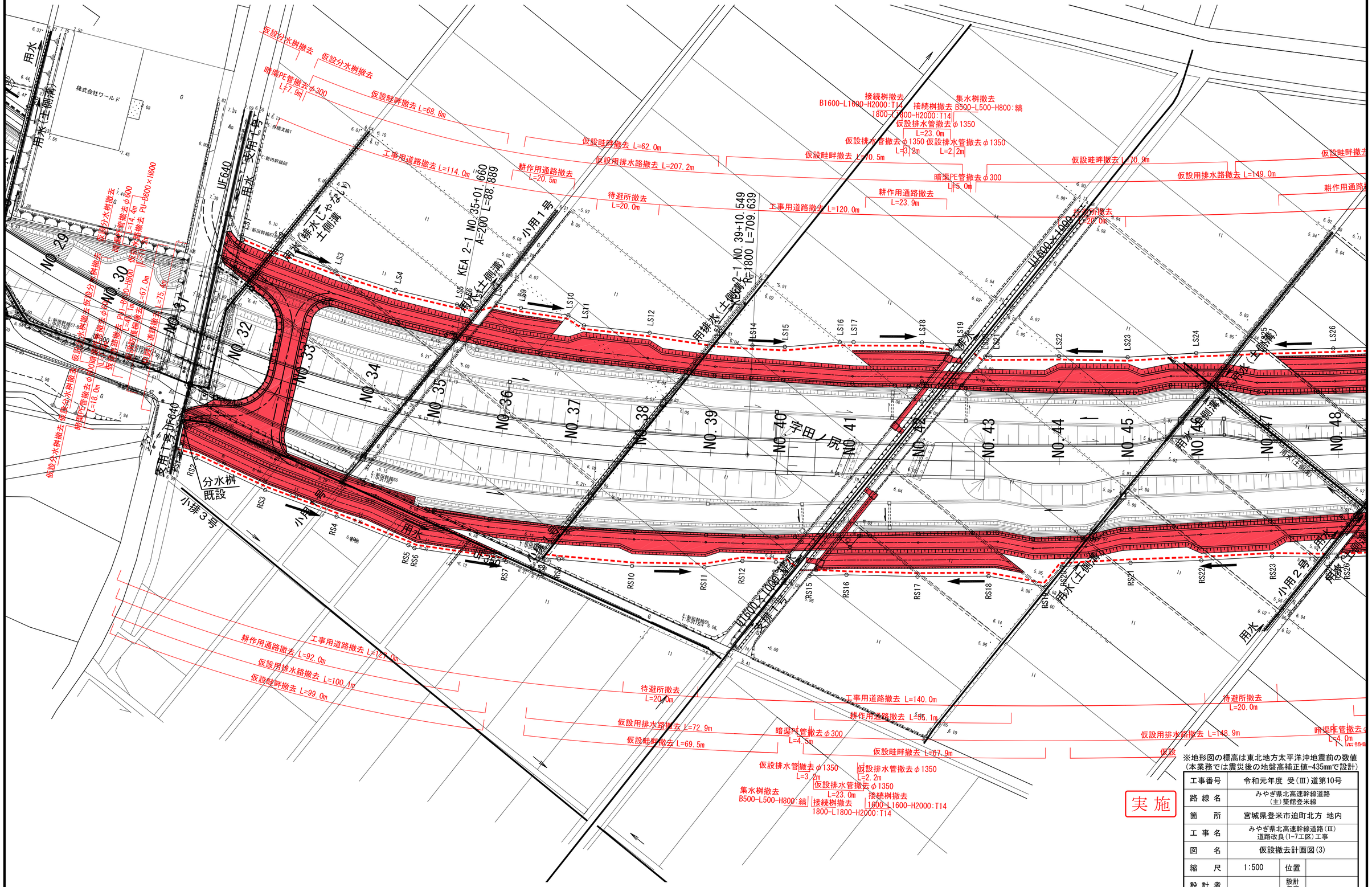


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	沈下板詳細図		
縮尺	1：200	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	103 / 134

仮設撤去計画図(3)

S=1:500

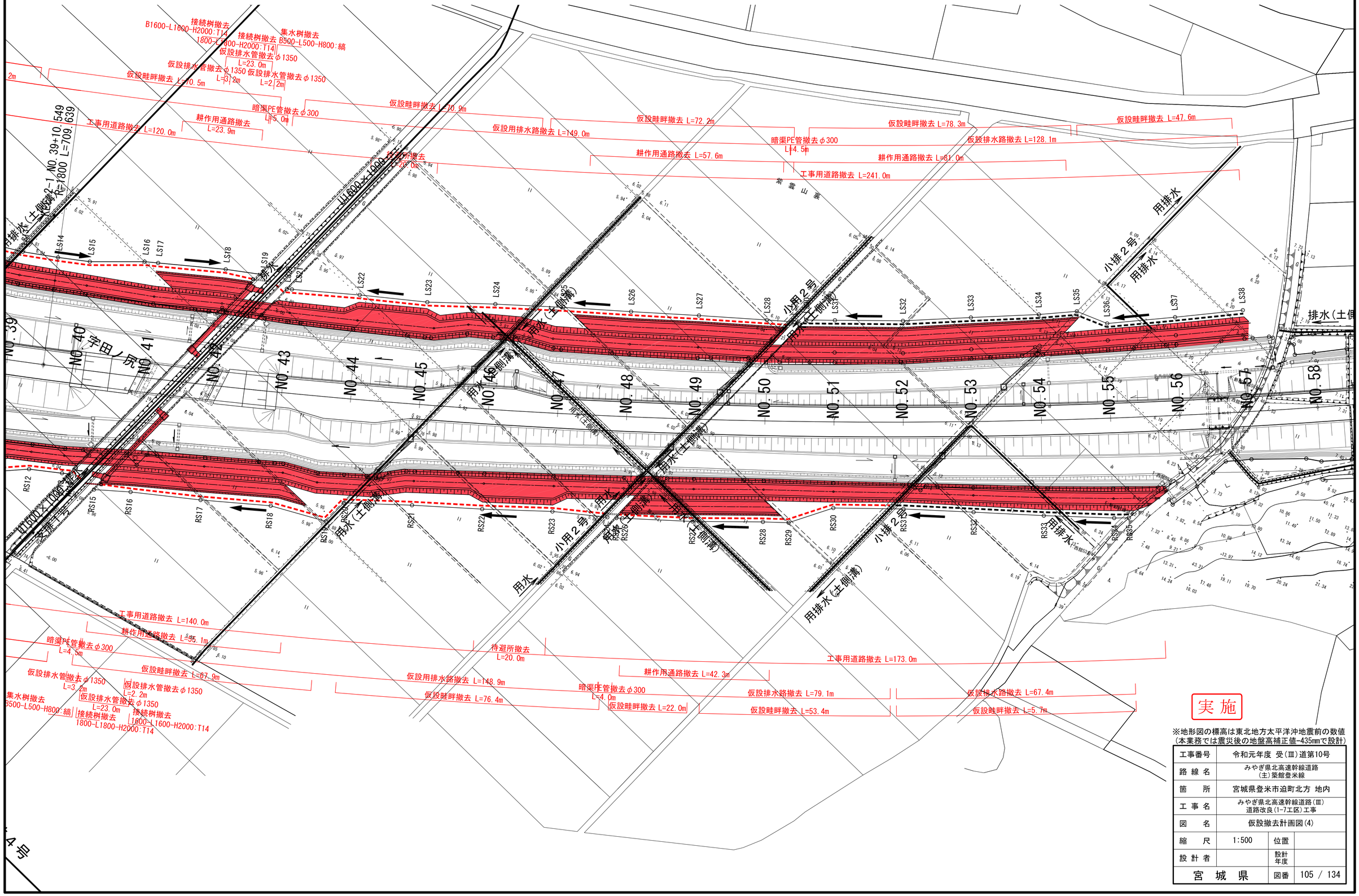


※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設撤去計画図(3)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	104 / 134

仮設撤去計画図(4)

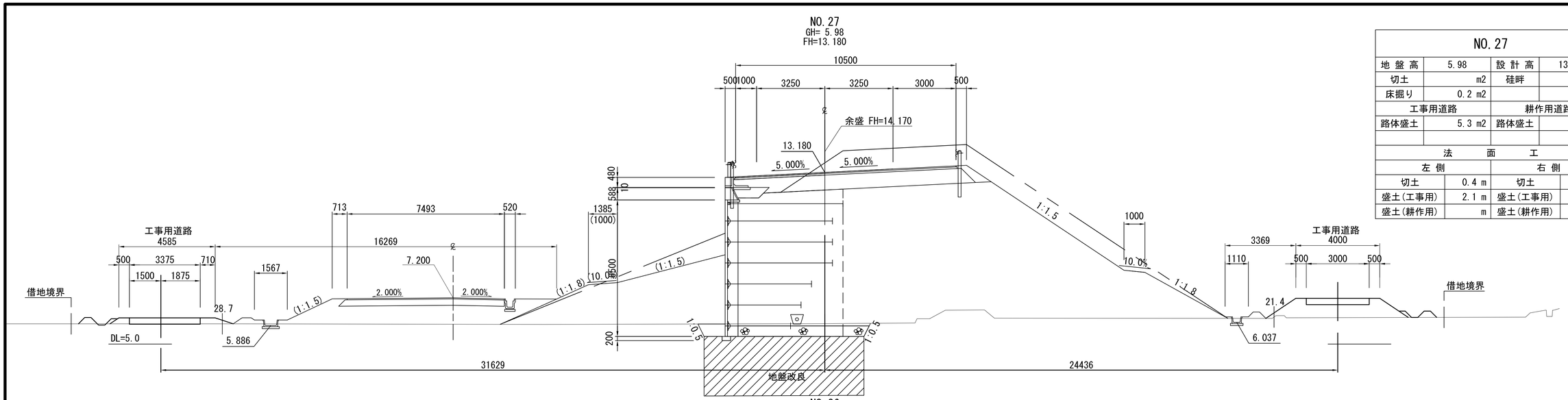
S=1:500



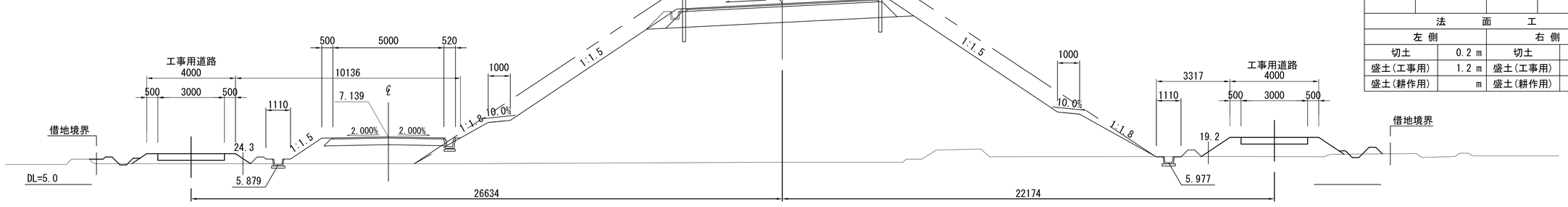
実施

※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

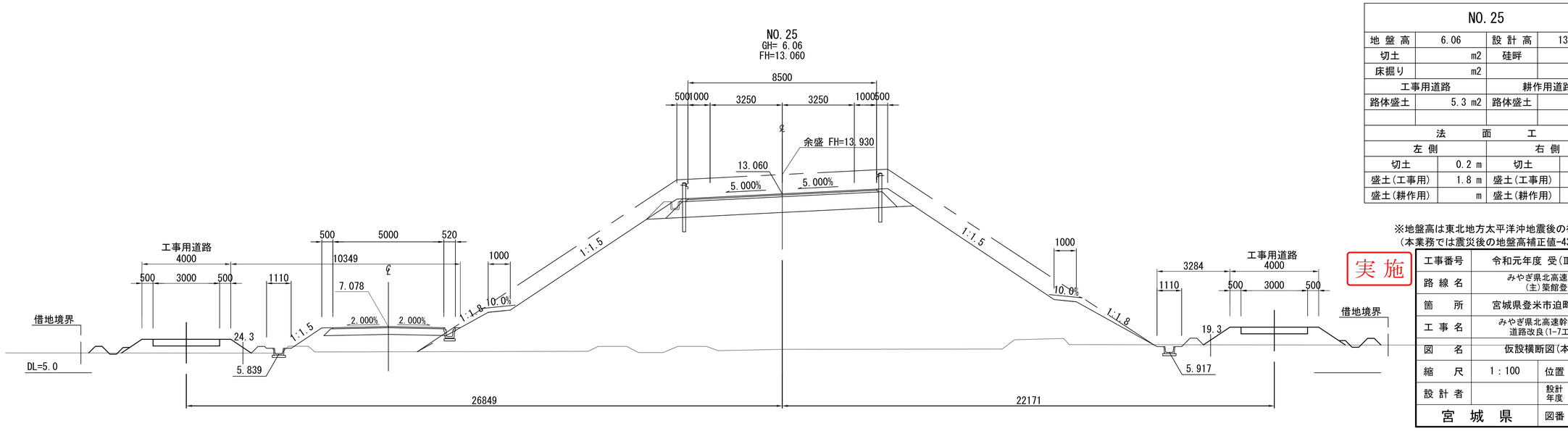
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設撤去計画図(4)		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	105 / 134



NO.27			
地 盤 高	5.98	設 計 高	13.180
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.3 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.4 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	2.1 m	盛土(工事用)	2.4 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m



NO.26			
地 盤 高	6.00	設 計 高	13.120
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.8 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.2 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	1.2 m	盛土(工事用)	2.7 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

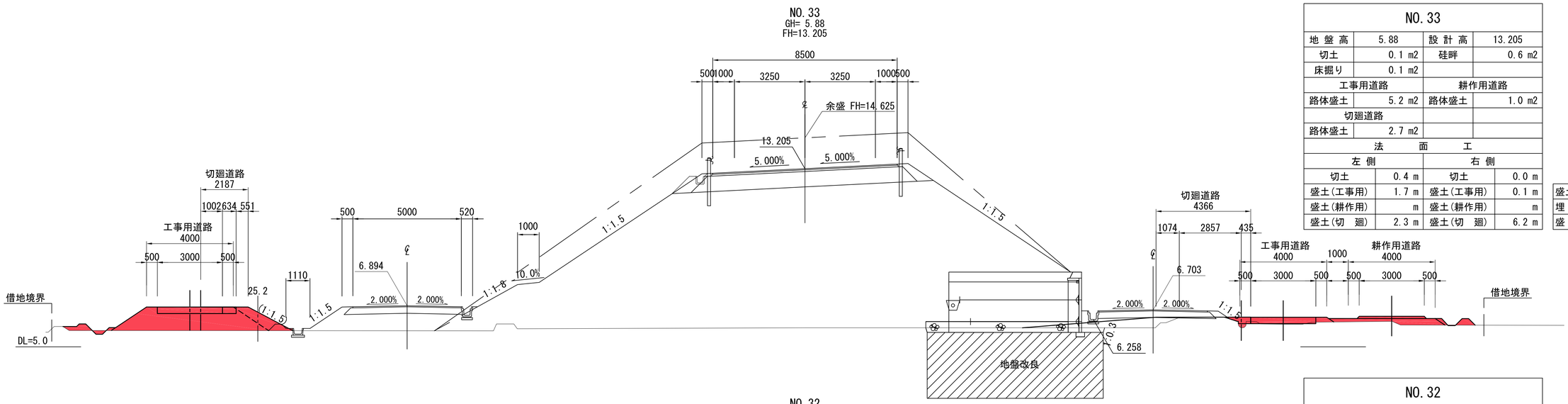


NO.25			
地 盤 高	6.06	設 計 高	13.060
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.3 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.2 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	1.8 m	盛土(工事用)	2.5 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

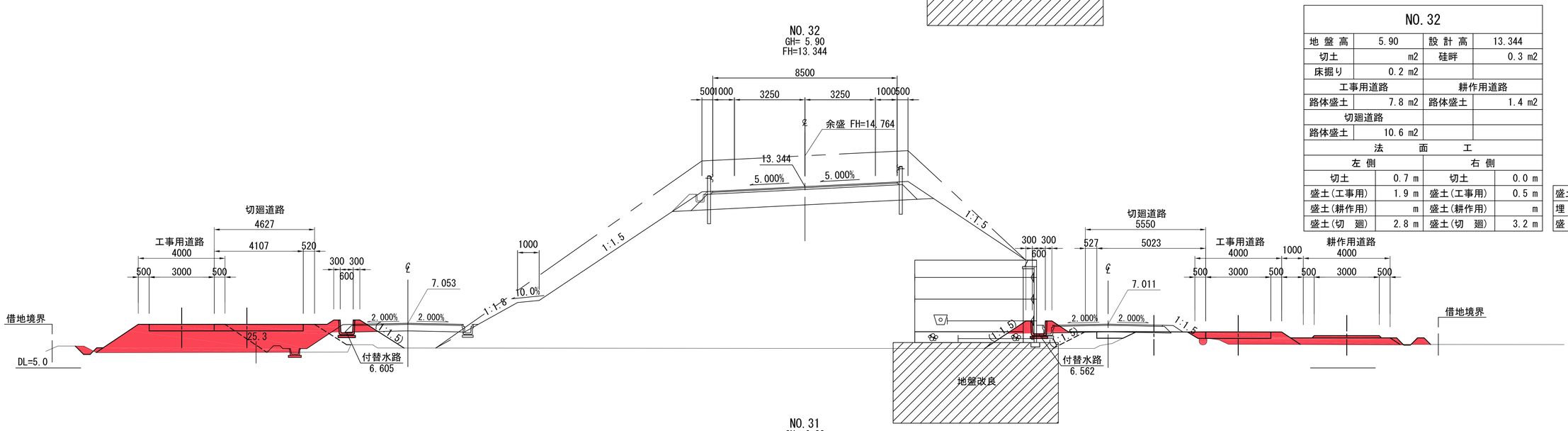
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(10)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	106 / 134



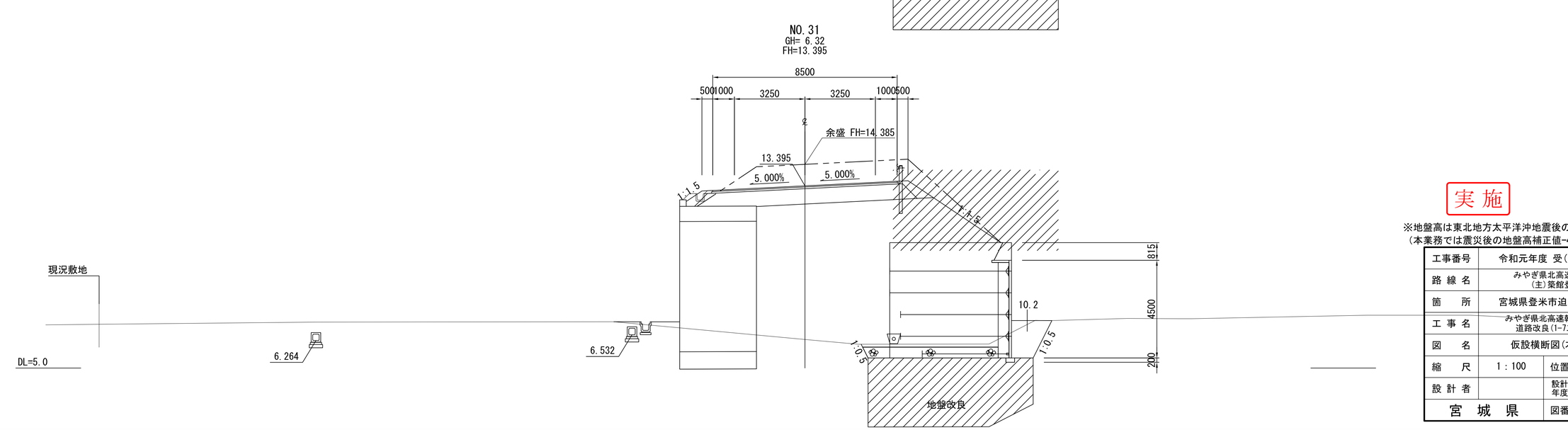
NO.33			
地盤高	5.88	設計高	13.205
切土	0.1 m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.2 m2	路体盛土	1.0 m2
切廻道路			
路体盛土	2.7 m2		
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.0 m
盛土(工事用)	1.7 m	盛土(工事用)	0.1 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m
盛土(切廻)	2.3 m	盛土(切廻)	6.2 m

盛土撤去	11.5 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	0.1 ㎥



NO.32			
地盤高	5.90	設計高	13.344
切土	m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	7.8 m2	路体盛土	1.4 m2
切廻道路			
路体盛土	10.6 m2		
法面工			
左側		右側	
切土	0.7 m	切土	0.0 m
盛土(工事用)	1.9 m	盛土(工事用)	0.5 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m
盛土(切廻)	2.8 m	盛土(切廻)	3.2 m

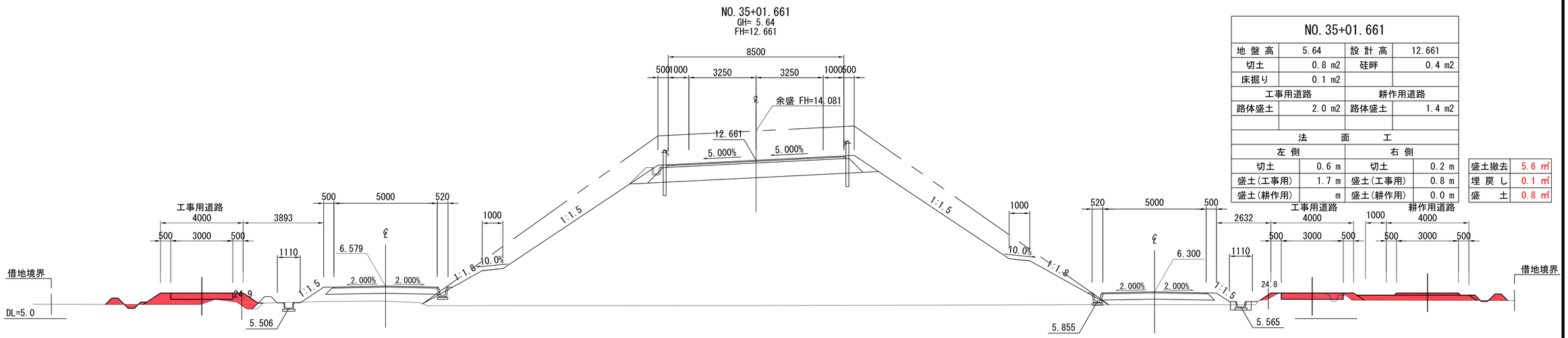
盛土撤去	23.1 ㎥
埋戻し	0.2 ㎥
盛土	- ㎥



実施

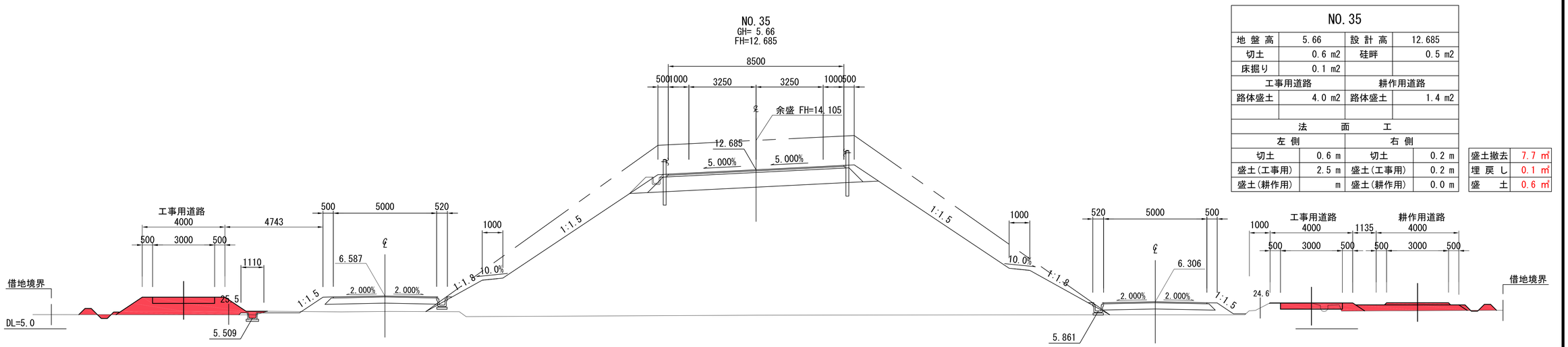
※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435㎜で設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(11)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	107 / 134



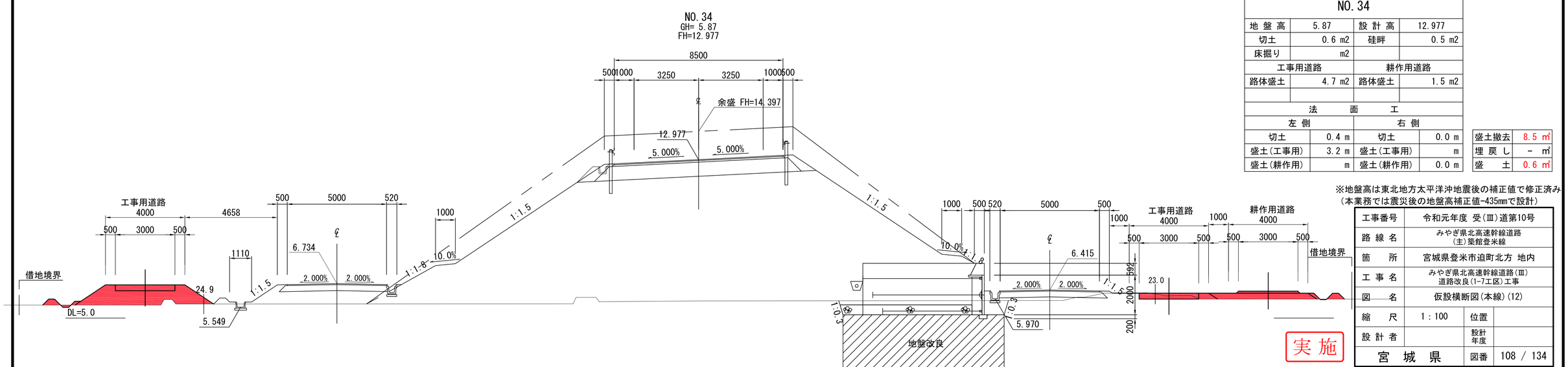
NO.35+01.661			
地盤高	5.64	設計高	12.661
切土	0.8 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	2.0 m2	路体盛土	1.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	1.7 m	盛土(工事用)	0.8 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	0.0 m

盛土撤去	5.6 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	0.8 ㎥



NO.35			
地盤高	5.66	設計高	12.685
切土	0.6 m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.0 m2	路体盛土	1.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	2.5 m	盛土(工事用)	0.2 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	0.0 m

盛土撤去	7.7 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	0.6 ㎥



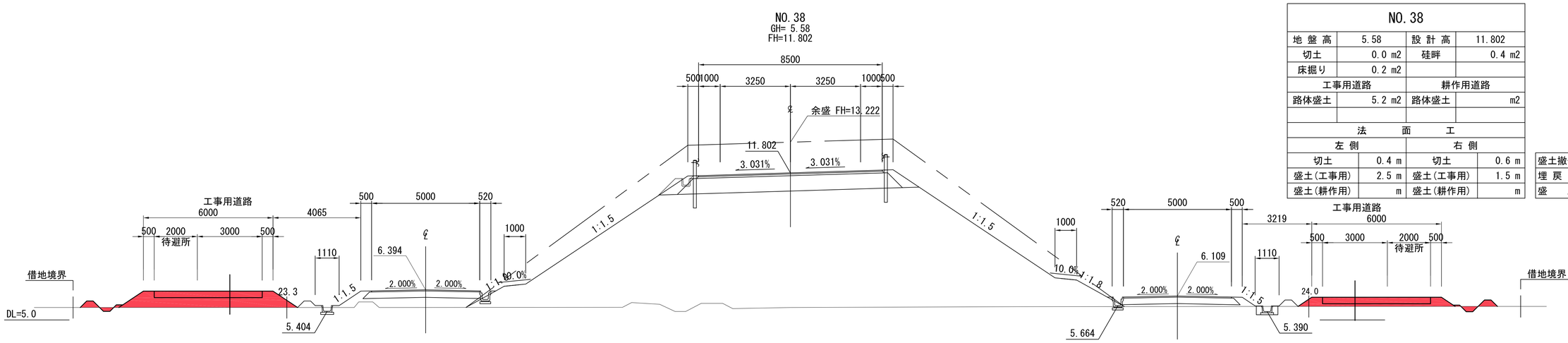
NO.34			
地盤高	5.87	設計高	12.977
切土	0.6 m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.7 m2	路体盛土	1.5 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.0 m
盛土(工事用)	3.2 m	盛土(工事用)	m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	0.0 m

盛土撤去	8.5 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	0.6 ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

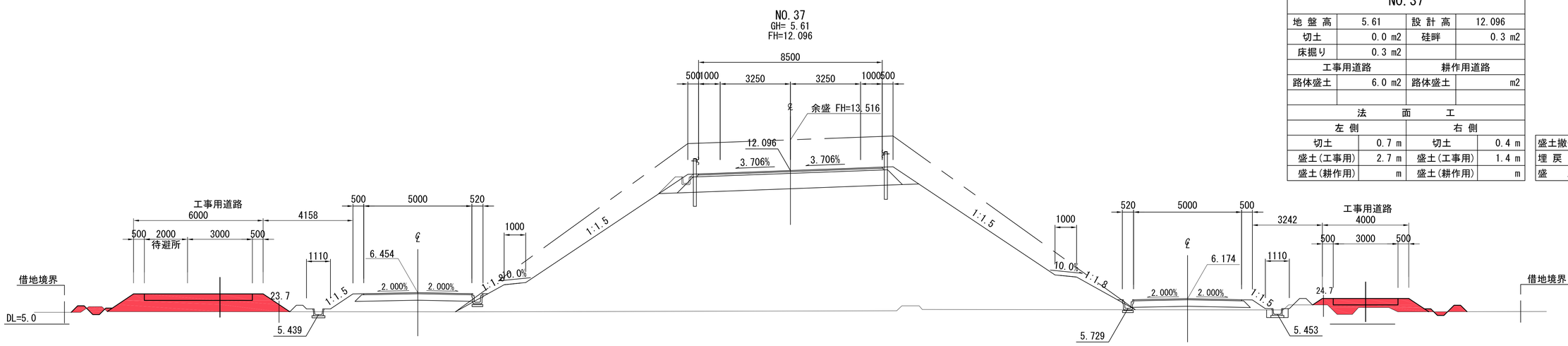
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事
図名	仮設横断図(本線)(12)
縮尺	1:100
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 108 / 134

実施



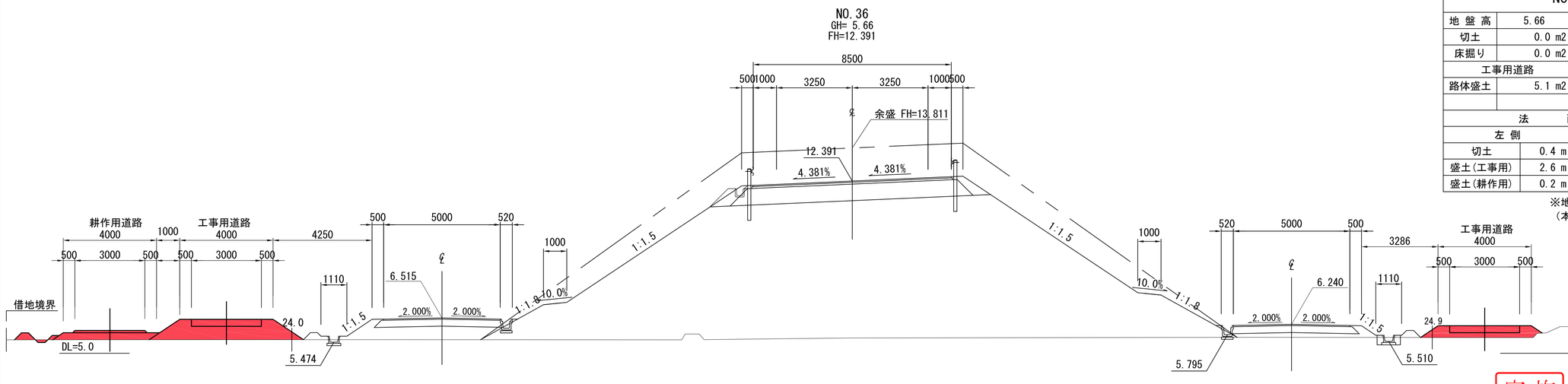
NO.38			
地盤高	5.58	設計高	11.802
切土	0.0 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.2 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.6 m
盛土(工事用)	2.5 m	盛土(工事用)	1.5 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	8.6 m³
埋戻し	0.2 m³
盛土	- m³



NO.37			
地盤高	5.61	設計高	12.096
切土	0.0 m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.3 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	6.0 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.7 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	2.7 m	盛土(工事用)	1.4 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	8.7 m³
埋戻し	0.3 m³
盛土	- m³



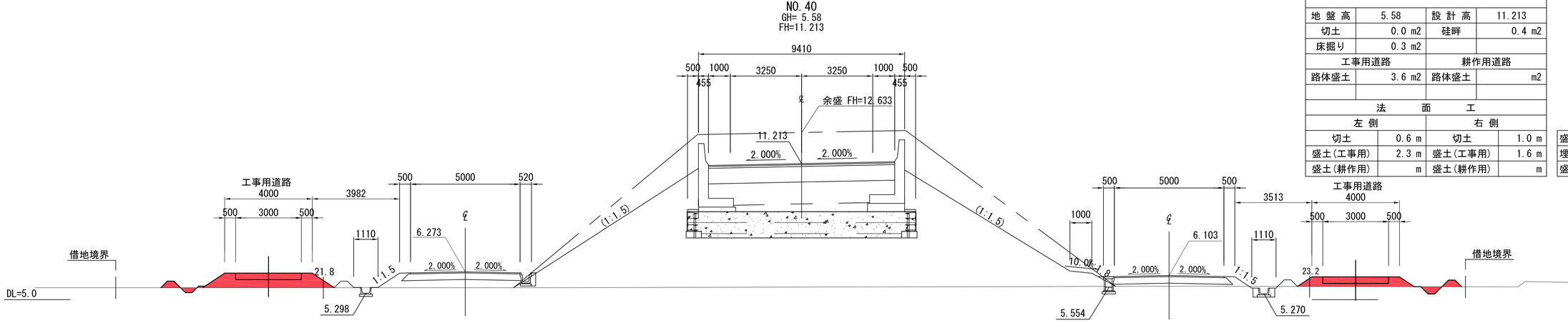
NO.36			
地盤高	5.66	設計高	12.391
切土	0.0 m2	硅畔	0.0 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.1 m2	路体盛土	1.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.0 m
盛土(工事用)	2.6 m	盛土(工事用)	1.5 m
盛土(耕作用)	0.2 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	8.1 m³
埋戻し	- m³
盛土	- m³

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

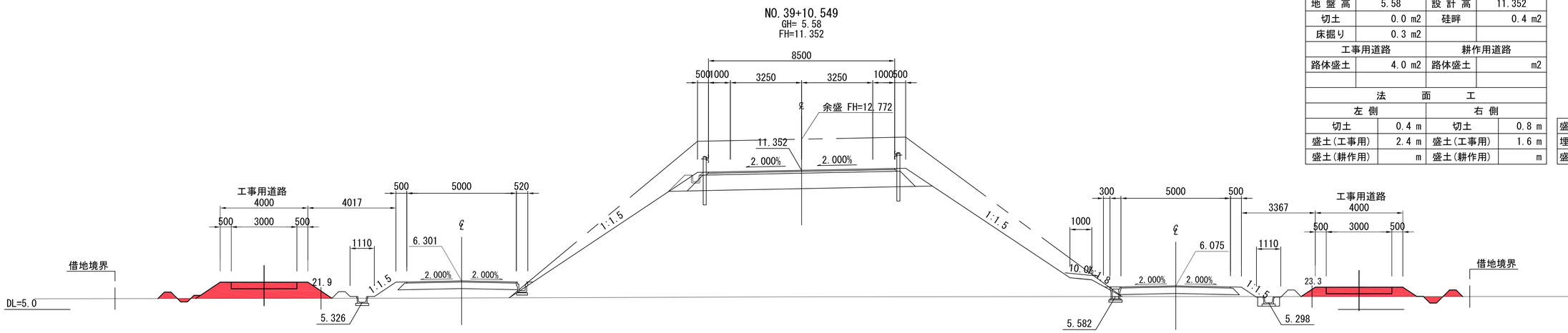
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(13)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	109 / 134

実施



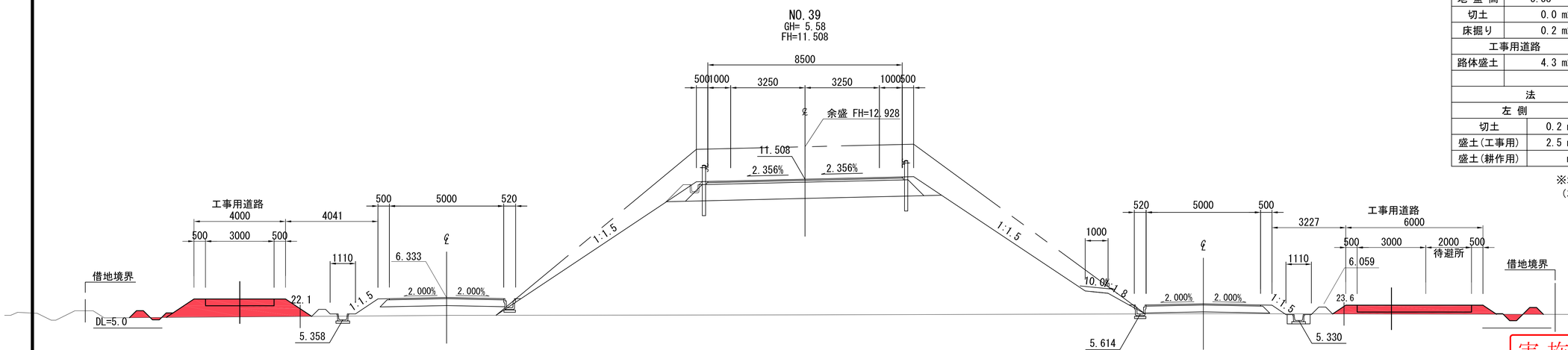
NO.40			
地盤高	5.58	設計高	11.213
切土	0.0 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.3 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	3.6 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	1.0 m
盛土(工事用)	2.3 m	盛土(工事用)	1.6 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	5.8 ㎥
埋戻し	0.3 ㎥
盛土	- ㎥



NO.39+10.549			
地盤高	5.58	設計高	11.352
切土	0.0 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.3 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.0 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.8 m
盛土(工事用)	2.4 m	盛土(工事用)	1.6 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	6.2 ㎥
埋戻し	0.3 ㎥
盛土	- ㎥



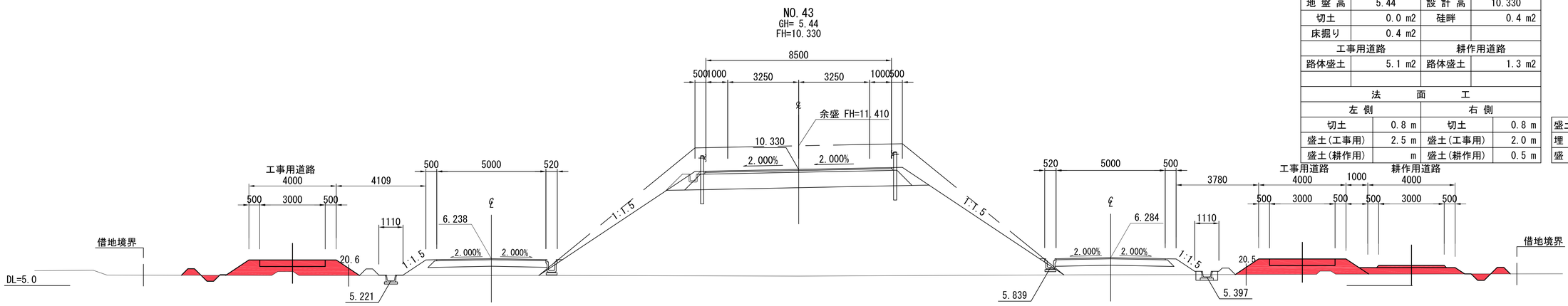
NO.39			
地盤高	5.58	設計高	11.508
切土	0.0 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.3 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.8 m
盛土(工事用)	2.5 m	盛土(工事用)	1.4 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	7.1 ㎥
埋戻し	0.2 ㎥
盛土	- ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

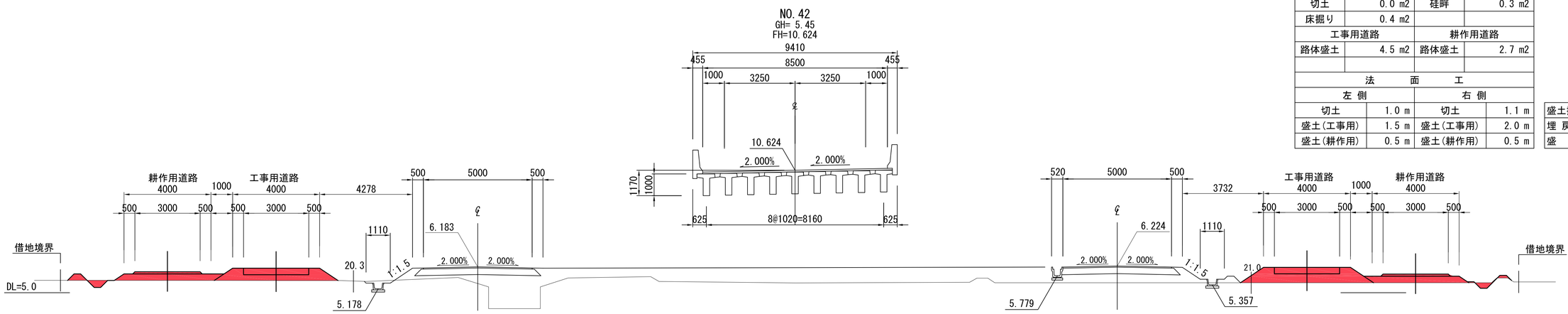
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(14)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	110 / 134

実施



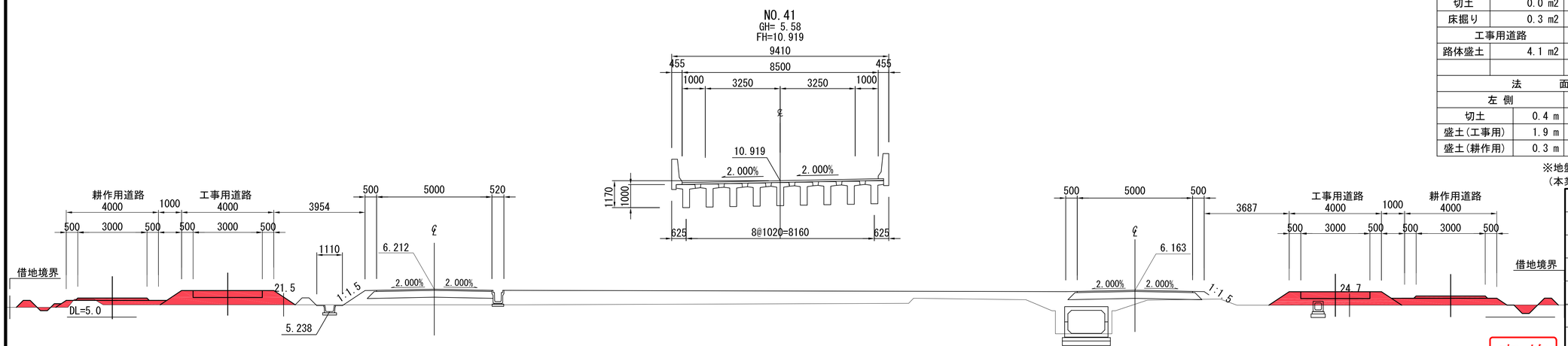
NO.43			
地盤高	5.44	設計高	10.330
切土	0.0 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.4 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.1 m2	路体盛土	1.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.8 m	切土	0.8 m
盛土(工事用)	2.5 m	盛土(工事用)	2.0 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	0.5 m

盛土撤去	8.6 ㎥
埋戻し	0.4 ㎥
盛土	- ㎥



NO.42			
地盤高	5.45	設計高	10.624
切土	0.0 m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.4 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.5 m2	路体盛土	2.7 m2
法面工			
左側		右側	
切土	1.0 m	切土	1.1 m
盛土(工事用)	1.5 m	盛土(工事用)	2.0 m
盛土(耕作用)	0.5 m	盛土(耕作用)	0.5 m

盛土撤去	9.3 ㎥
埋戻し	0.4 ㎥
盛土	- ㎥



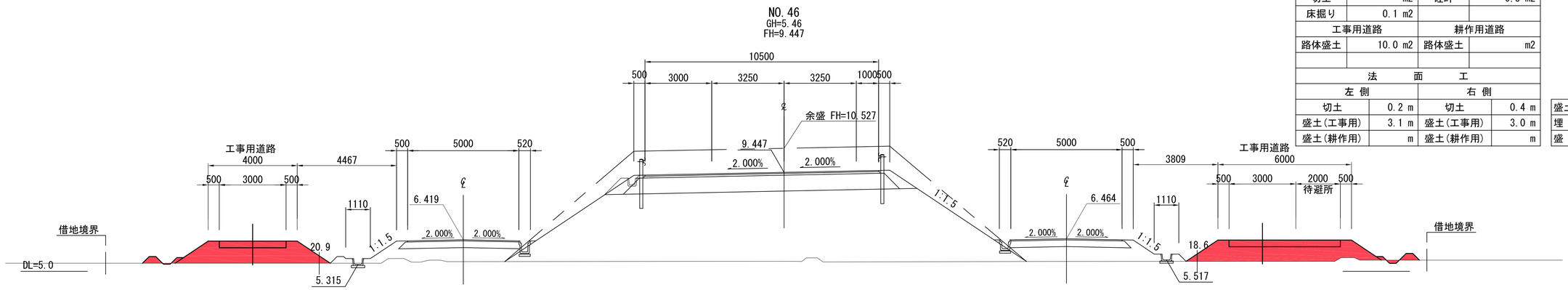
NO.41			
地盤高	5.58	設計高	10.919
切土	0.0 m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.3 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.1 m2	路体盛土	2.0 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	1.0 m
盛土(工事用)	1.9 m	盛土(工事用)	1.6 m
盛土(耕作用)	0.3 m	盛土(耕作用)	0.5 m

盛土撤去	8.3 ㎥
埋戻し	0.3 ㎥
盛土	- ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

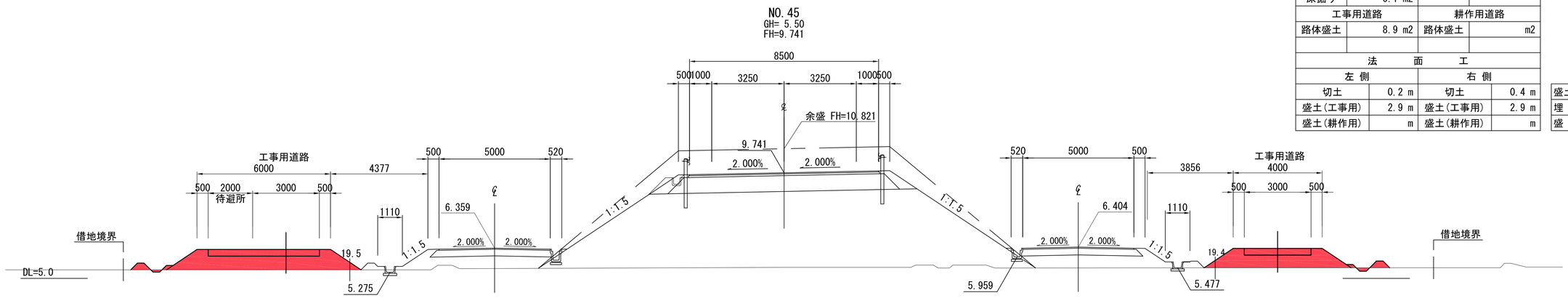
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(15)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	111 / 134

実施



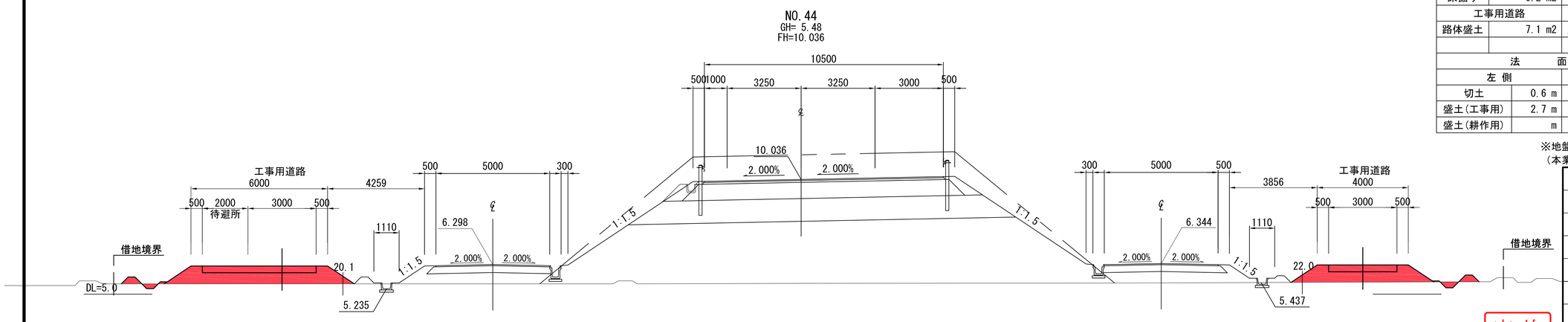
NO.46			
地盤高	5.46	設計高	9.447
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	10.0 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	3.1 m	盛土(工事用)	3.0 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	12.9 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	- ㎥



NO.45			
地盤高	5.50	設計高	9.741
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	8.9 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	2.9 m	盛土(工事用)	2.9 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	11.7 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	- ㎥



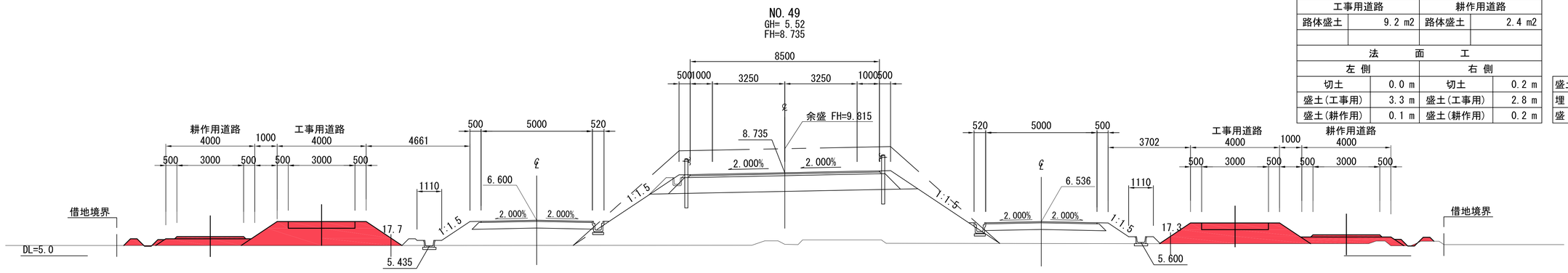
NO.44			
地盤高	5.48	設計高	10.036
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	7.1 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.6 m	切土	0.8 m
盛土(工事用)	2.7 m	盛土(工事用)	2.7 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	9.3 ㎥
埋戻し	0.2 ㎥
盛土	- ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

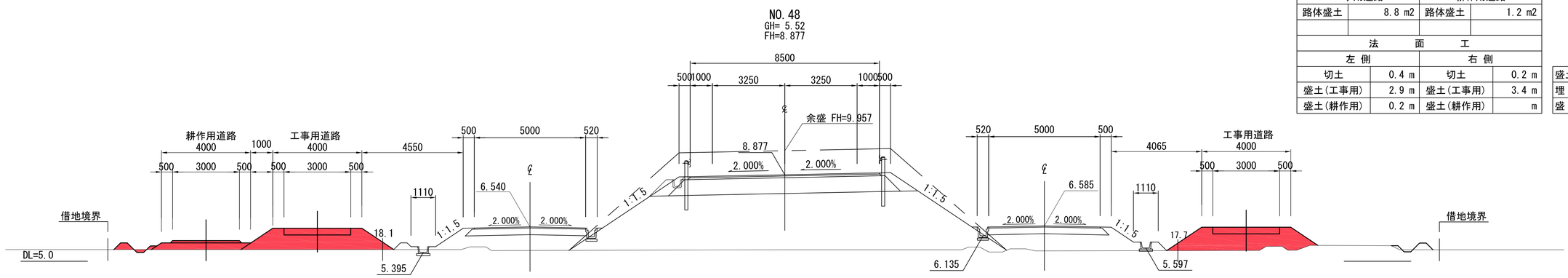
実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(16)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	112 / 134



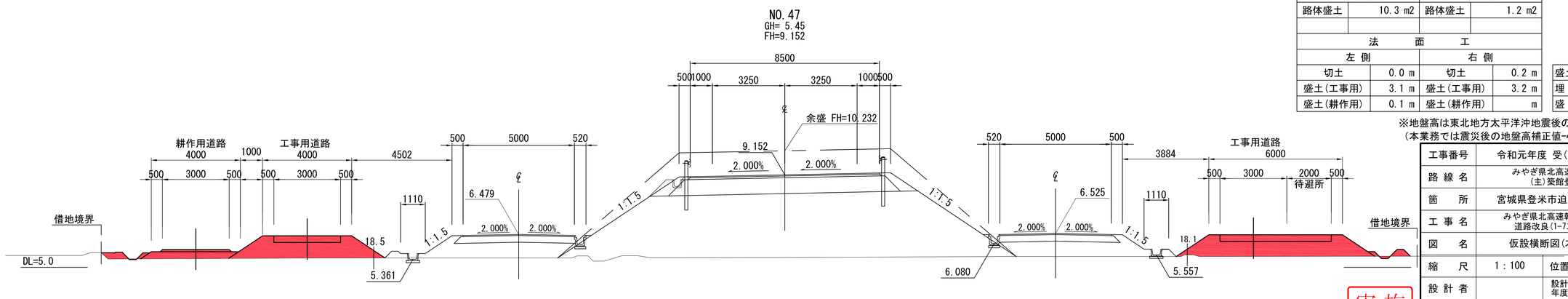
NO.49			
地盤高	5.52	設計高	8.732
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	9.2 m2	路体盛土	2.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	3.3 m	盛土(工事用)	2.8 m
盛土(耕作用)	0.1 m	盛土(耕作用)	0.2 m

盛土撤去	13.9 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	- ㎥



NO.48			
地盤高	5.52	設計高	8.877
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	8.8 m2	路体盛土	1.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.4 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	2.9 m	盛土(工事用)	3.4 m
盛土(耕作用)	0.2 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	12.2 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	- ㎥



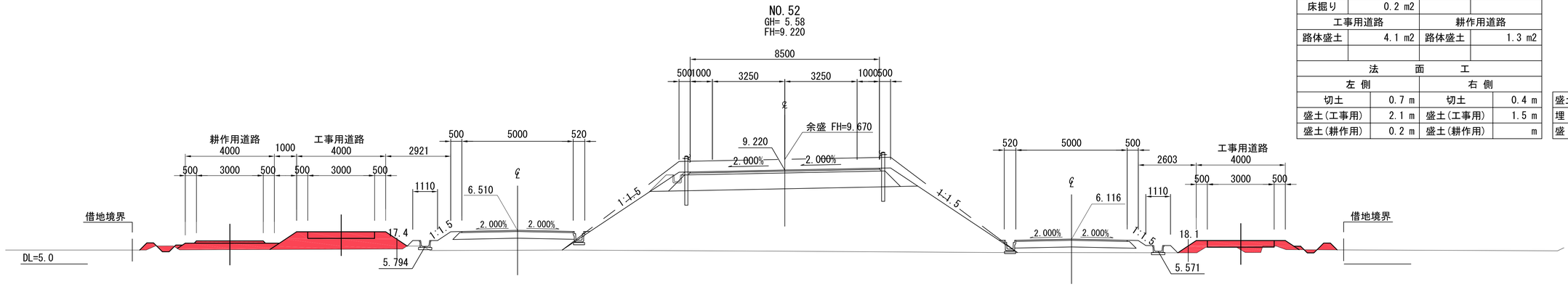
NO.47			
地盤高	5.45	設計高	9.152
切土	m2	硅畔	0.7 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	10.3 m2	路体盛土	1.2 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	3.1 m	盛土(工事用)	3.2 m
盛土(耕作用)	0.1 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	14.6 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	- ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

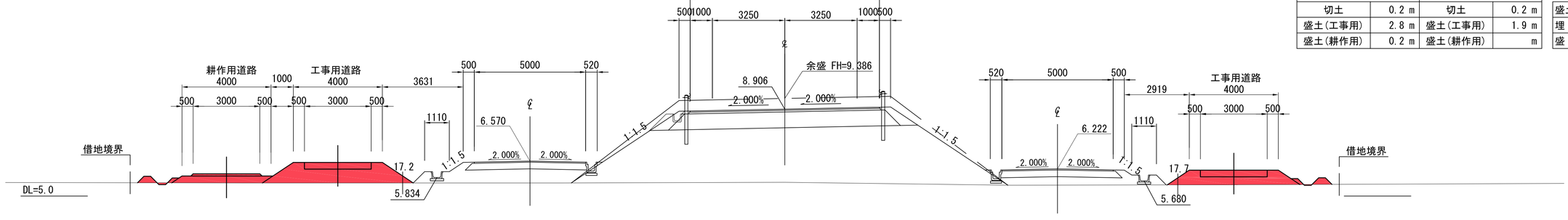
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(17)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	113 / 134

実施



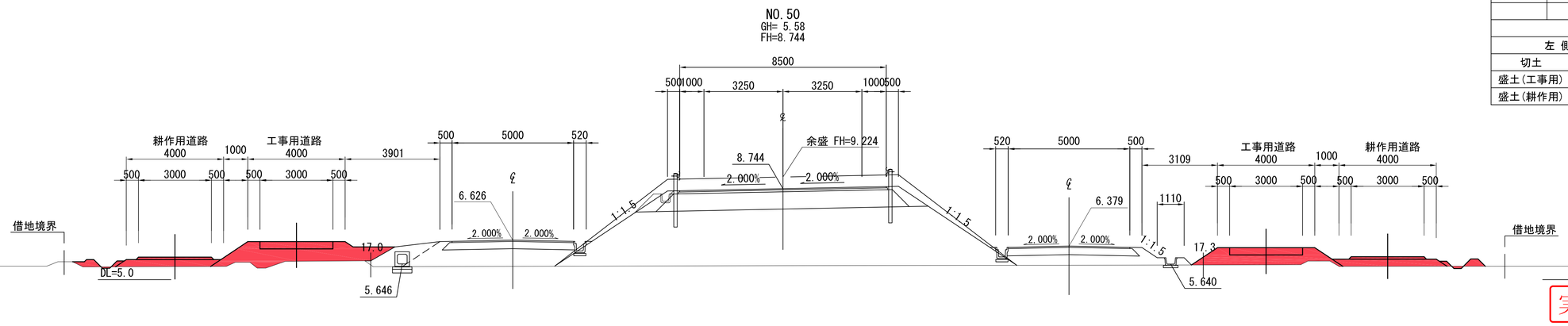
NO.52			
地盤高	5.58	設計高	9.196
切土	m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.2 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.1 m2	路体盛土	1.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.7 m	切土	0.4 m
盛土(工事用)	2.1 m	盛土(工事用)	1.5 m
盛土(耕作用)	0.2 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	7.5 ㎥
埋戻し	0.2 ㎥
盛土	- ㎥



NO.51			
地盤高	5.62	設計高	8.891
切土	m2	硅畔	0.4 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	6.5 m2	路体盛土	1.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	2.8 m	盛土(工事用)	1.9 m
盛土(耕作用)	0.2 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	10.0 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	- ㎥



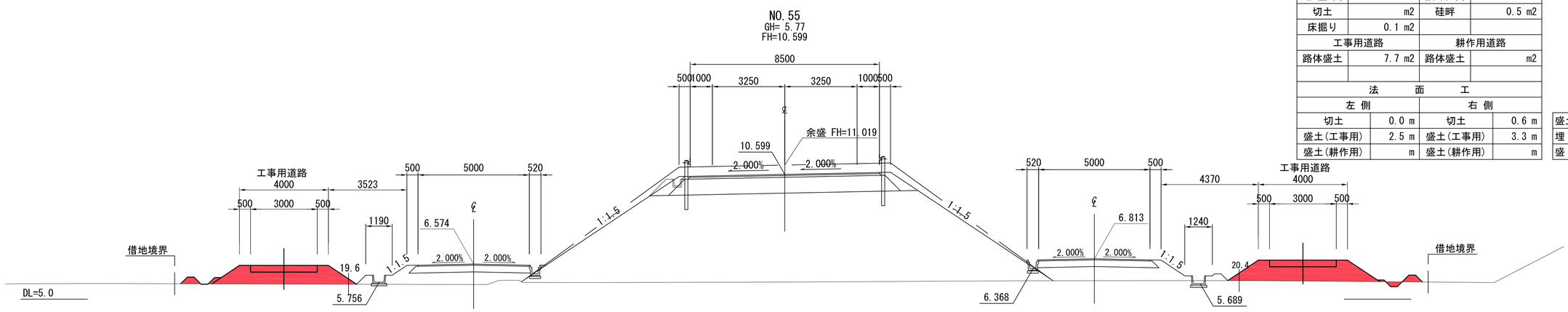
NO.50			
地盤高	5.58	設計高	8.737
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	6.7 m2	路体盛土	2.4 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.2 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	1.7 m	盛土(工事用)	2.2 m
盛土(耕作用)	0.1 m	盛土(耕作用)	0.2 m

盛土撤去	11.5 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	- ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

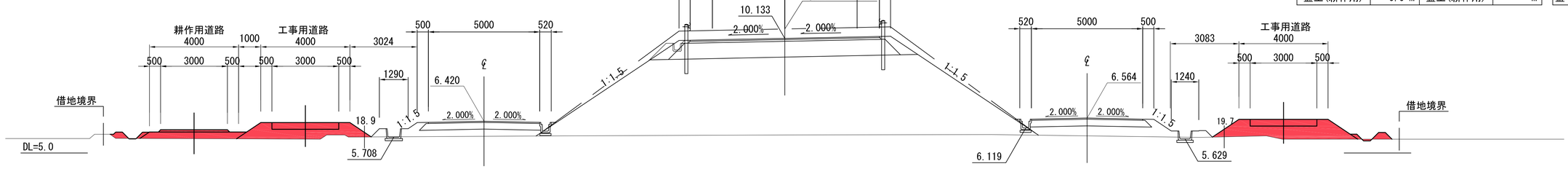
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(18)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	114 / 134

実施



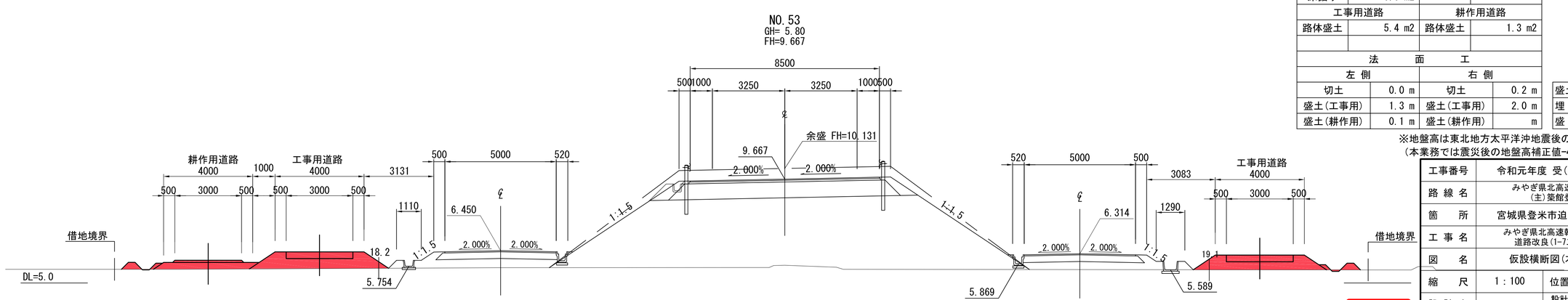
NO.55			
地盤高	5.77	設計高	10.539
切土	m2	硅畔	0.5 m2
床掘り	0.1 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	7.7 m2	路体盛土	m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.6 m
盛土(工事用)	2.5 m	盛土(工事用)	3.3 m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	10.0 ㎥
埋戻し	0.1 ㎥
盛土	- ㎥



NO.54			
地盤高	5.81	設計高	10.085
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	6.1 m2	路体盛土	1.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	2.0 m	盛土(工事用)	2.6 m
盛土(耕作用)	0.0 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	9.8 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	- ㎥



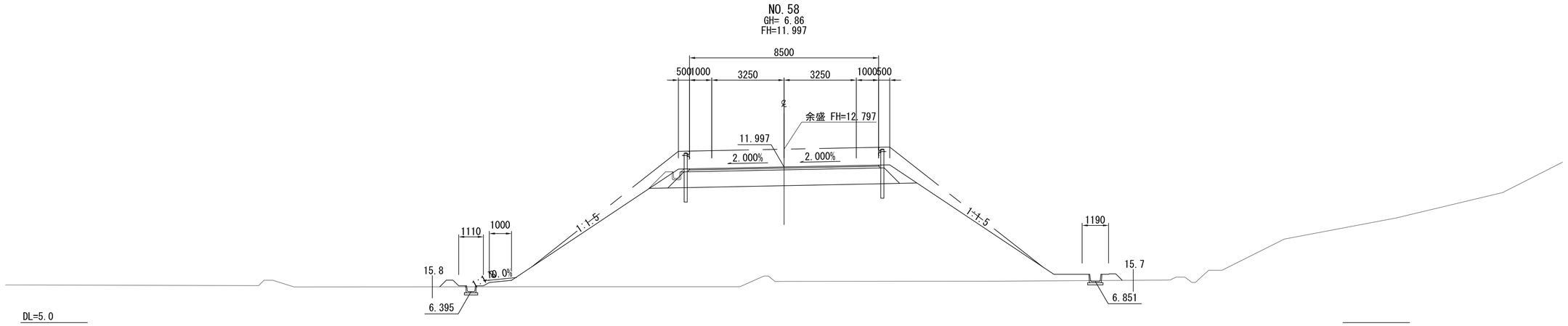
NO.53			
地盤高	5.80	設計高	9.631
切土	m2	硅畔	0.6 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	5.4 m2	路体盛土	1.3 m2
法面工			
左側		右側	
切土	0.0 m	切土	0.2 m
盛土(工事用)	1.3 m	盛土(工事用)	2.0 m
盛土(耕作用)	0.1 m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	9.1 ㎥
埋戻し	- ㎥
盛土	- ㎥

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
(本業務では震災後の地盤高補正値-435㎜で設計)

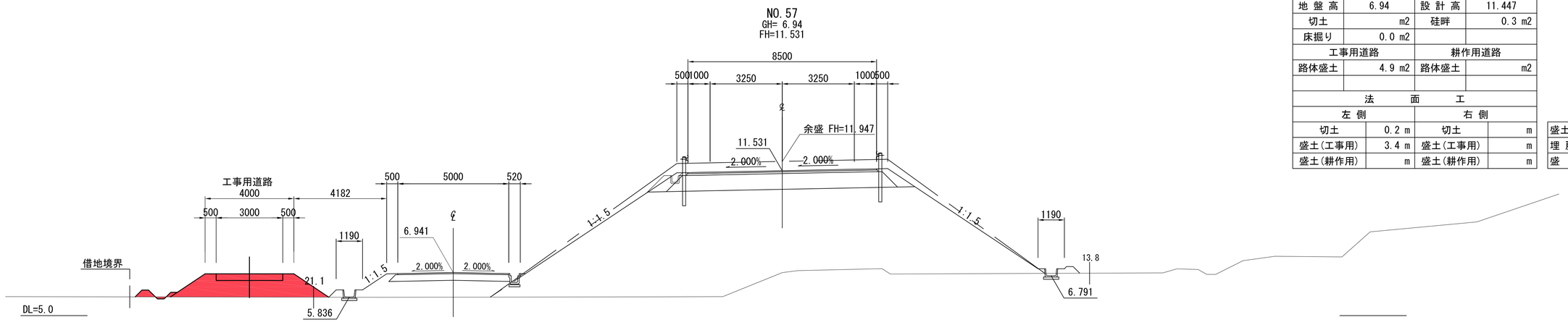
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事
図名	仮設横断図(本線)(19)
縮尺	1:100
位置	
設計者	
設計年度	
宮城県	図番 115 / 134

実施



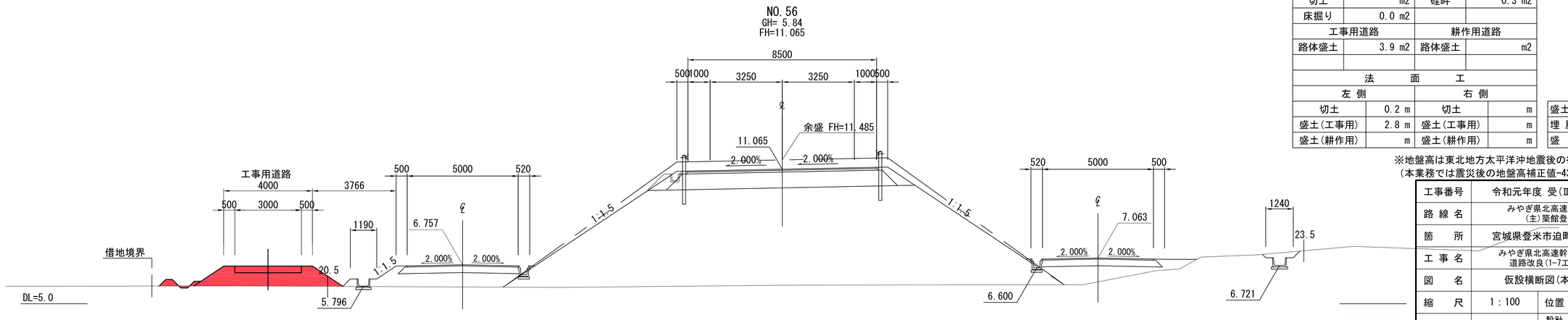
NO.57			
地 盤 高	6.94	設 計 高	11.447
切土	m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	4.9 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.2 m	切土	m
盛土(工事用)	3.4 m	盛土(工事用)	m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	6.1 m³
埋 戻 し	- m³
盛 土	- m³



NO.56			
地 盤 高	5.84	設 計 高	10.993
切土	m2	硅畔	0.3 m2
床掘り	0.0 m2		
工事用道路		耕作用道路	
路体盛土	3.9 m2	路体盛土	m2
法 面 工			
左 側		右 側	
切土	0.2 m	切土	m
盛土(工事用)	2.8 m	盛土(工事用)	m
盛土(耕作用)	m	盛土(耕作用)	m

盛土撤去	5.1 m³
埋 戻 し	- m³
盛 土	- m³



※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設横断図(本線)(20)		
縮尺	1：100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	116 / 134

実施

工事用道路撤去平面図

1：500

工事用道路曲線要素

IP.1	IP.2	IP.3
IA=125°13′44″	IA=94°23′17″	IA=11°14′40″
R = 15	R = 15	R = 90
TL= 28.956	TL= 16.195	TL= 8.860
CL= 32.749	CL= 24.711	CL= 17.663
SL= 17.610	SL= 7.075	SL= 0.435

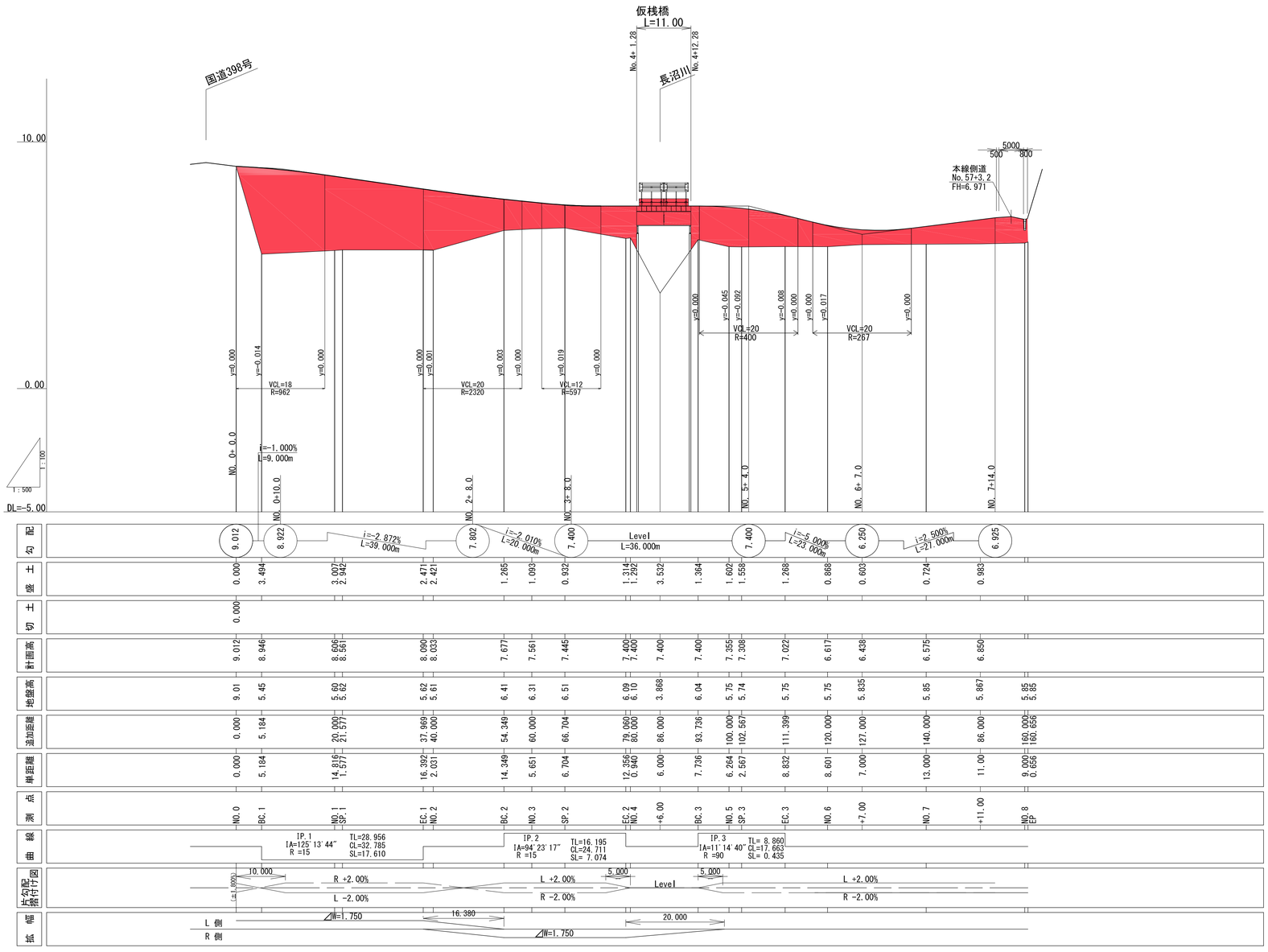
舟橋前
舟橋
国道398号線
T:谷地1
T:西館54
迫町佐沼
字西舘北
字七日市場
七日市場
迫川（右岸）18.0km
長沼川
國道398号
国道398号線
至築館市
工事用道路撤去
高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管撤去（φ300）NO.2+16.1～NO.3+16.1 L=20.0m
高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管撤去（φ300）NO.3+11.1～NO.3+16.1 L=10.0m
取付坂路撤去 W=2.3 L=15.6m
取付坂路撤去 W=2.3 L=16.4m
集水桝撤去(SM-B300-H700) NO.4+17.4
集水桝撤去(SM-B300-H700) NO.4+19.2
土側溝撤去(B300) L=34.4 NO.4+17.4～NO.4+19.2
W=4.0 L=156.6m NO.0+0.0～NO.7+16.6
土側溝撤去(B300) L=41.2 NO.4+10.7～NO.4+12.9
土側溝撤去(B300) L=42.0 NO.4+19.2～NO.7+2.7
高密度ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管撤去（φ300）L=10.0m
土側溝撤去 L=38.2m
工事用道路(側道) 仮設ｽﾛｰﾌﾟ L=238.2m
配水管復旧（φ75）NO.59～NO.64 L=288.8
仮設用配水管撤去（φ75）NO.59～NO.64 L=100.0
紫雲山
字紫雲山裏
中沢
柴神社
西館46
西館47
西館48
休田
栗畑
梅
A=310m2
U200-180
NO.53
NO.54
NO.55
NO.56
NO.57
NO.58
NO.59
NO.60
NO.61
NO.62
NO.63
NO.64
NO.65
NO.66
NO.67
NO.68
NO.69
NO.70
NO.71
NO.72
NO.73
NO.74
NO.75
NO.76
NO.77
NO.78
NO.79
NO.80
NO.81
NO.82
NO.83
NO.84
NO.85
NO.86
NO.87
NO.88
NO.89
NO.90
NO.91
NO.92
NO.93
NO.94
NO.95
NO.96
NO.97
NO.98
NO.99
NO.100
NO.101
NO.102
NO.103
NO.104
NO.105
NO.106
NO.107
NO.108
NO.109
NO.110
NO.111
NO.112
NO.113
NO.114
NO.115
NO.116
NO.117
NO.118
NO.119
NO.120
NO.121
NO.122
NO.123
NO.124
NO.125
NO.126
NO.127
NO.128
NO.129
NO.130
NO.131
NO.132
NO.133
NO.134
NO.135
NO.136
NO.137
NO.138
NO.139
NO.140
NO.141
NO.142
NO.143
NO.144
NO.145
NO.146
NO.147
NO.148
NO.149
NO.150
NO.151
NO.152
NO.153
NO.154
NO.155
NO.156
NO.157
NO.158
NO.159
NO.160
NO.161
NO.162
NO.163
NO.164
NO.165
NO.166
NO.167
NO.168
NO.169
NO.170
NO.171
NO.172
NO.173
NO.174
NO.175
NO.176
NO.177
NO.178
NO.179
NO.180
NO.181
NO.182
NO.183
NO.184
NO.185
NO.186
NO.187
NO.188
NO.189
NO.190
NO.191
NO.192
NO.193
NO.194
NO.195
NO.196
NO.197
NO.198
NO.199
NO.200
NO.201
NO.202
NO.203
NO.204
NO.205
NO.206
NO.207
NO.208
NO.209
NO.210
NO.211
NO.212
NO.213
NO.214
NO.215
NO.216
NO.217
NO.218
NO.219
NO.220
NO.221
NO.222
NO.223
NO.224
NO.225
NO.226
NO.227
NO.228
NO.229
NO.230
NO.231
NO.232
NO.233
NO.234
NO.235
NO.236
NO.237
NO.238
NO.239
NO.240
NO.241
NO.242
NO.243
NO.244
NO.245
NO.246
NO.247
NO.248
NO.249
NO.250
NO.251
NO.252
NO.253
NO.254
NO.255
NO.256
NO.257
NO.258
NO.259
NO.260
NO.261
NO.262
NO.263
NO.264
NO.265
NO.266
NO.267
NO.268
NO.269
NO.270
NO.271
NO.272
NO.273
NO.274
NO.275
NO.276
NO.277
NO.278
NO.279
NO.280
NO.281
NO.282
NO.283
NO.284
NO.285
NO.286
NO.287
NO.288
NO.289
NO.290
NO.291
NO.292
NO.293
NO.294
NO.295
NO.296
NO.297
NO.298
NO.299
NO.300
NO.301
NO.302
NO.303
NO.304
NO.305
NO.306
NO.307
NO.308
NO.309
NO.310
NO.311
NO.312
NO.313
NO.314
NO.315
NO.316
NO.317
NO.318
NO.319
NO.320
NO.321
NO.322
NO.323
NO.324
NO.325
NO.326
NO.327
NO.328
NO.329
NO.330
NO.331
NO.332
NO.333
NO.334
NO.335
NO.336
NO.337
NO.338
NO.339
NO.340
NO.341
NO.342
NO.343
NO.344
NO.345
NO.346
NO.347
NO.348
NO.349
NO.350
NO.351
NO.352
NO.353
NO.354
NO.355
NO.356
NO.357
NO.358
NO.359
NO.360
NO.361
NO.362
NO.363
NO.364
NO.365
NO.366
NO.367
NO.368
NO.369
NO.370
NO.371
NO.372
NO.373
NO.374
NO.375
NO.376
NO.377
NO.378
NO.379
NO.380
NO.381
NO.382
NO.383
NO.384
NO.385
NO.386
NO.387
NO.388
NO.389
NO.390
NO.391
NO.392
NO.393
NO.394
NO.395
NO.396
NO.397
NO.398
NO.399
NO.400
NO.401
NO.402
NO.403
NO.404
NO.405
NO.406
NO.407
NO.408
NO.409
NO.410
NO.411
NO.412
NO.413
NO.414
NO.415
NO.416
NO.417
NO.418
NO.419
NO.420
NO.421
NO.422
NO.423
NO.424
NO.425
NO.426
NO.427
NO.428
NO.429
NO.430
NO.431
NO.432
NO.433
NO.434
NO.435
NO.436
NO.437
NO.438
NO.439
NO.440
NO.441
NO.442
NO.443
NO.444
NO.445
NO.446
NO.447
NO.448
NO.449
NO.450
NO.451
NO.452
NO.453
NO.454
NO.455
NO.456
NO.457
NO.458
NO.459
NO.460
NO.461
NO.462
NO.463
NO.464
NO.465
NO.466
NO.467
NO.468
NO.469
NO.470
NO.471
NO.472
NO.473
NO.474
NO.475
NO.476
NO.477
NO.478
NO.479
NO.480
NO.481
NO.482
NO.483
NO.484
NO.485
NO.486
NO.487
NO.488
NO.489
NO.490
NO.491
NO.492
NO.493
NO.494
NO.495
NO.496
NO.497
NO.498
NO.499
NO.500
NO.501
NO.502
NO.503
NO.504
NO.505
NO.506
NO.507
NO.508
NO.509
NO.510
NO.511
NO.512
NO.513
NO.514
NO.515
NO.516
NO.517
NO.518
NO.519
NO.520
NO.521
NO.522
NO.523
NO.524
NO.525
NO.526
NO.527
NO.528
NO.529
NO.530
NO.531
NO.532
NO.533
NO.534
NO.535
NO.536
NO.537
NO.538
NO.539
NO.540
NO.541
NO.542
NO.543
NO.544
NO.545
NO.546
NO.547
NO.548
NO.549
NO.550
NO.551
NO.552
NO.553
NO.554
NO.555
NO.556
NO.557
NO.558
NO.559
NO.560
NO.561
NO.562
NO.563
NO.564
NO.565
NO.566
NO.567
NO.568
NO.569
NO.570
NO.571
NO.572
NO.573
NO.574
NO.575
NO.576
NO.577
NO.578
NO.579
NO.580
NO.581
NO.582
NO.583
NO.584
NO.585
NO.586
NO.587
NO.588
NO.589
NO.590
NO.591
NO.592
NO.593
NO.594
NO.595
NO.596
NO.597
NO.598
NO.599
NO.600
NO.601
NO.602
NO.603
NO.604
NO.605
NO.606
NO.607
NO.608
NO.609
NO.610
NO.611
NO.612
NO.613
NO.614
NO.615
NO.616
NO.617
NO.618
NO.619
NO.620
NO.621
NO.622
NO.623
NO.624
NO.625
NO.626
NO.627
NO.628
NO.629
NO.630
NO.631
NO.632
NO.633
NO.634
NO.635
NO.636
NO.637
NO.638
NO.639
NO.640
NO.641
NO.642
NO.643
NO.644
NO.645
NO.646
NO.647
NO.648
NO.649
NO.650
NO.651
NO.652
NO.653
NO.654
NO.655
NO.656
NO.657
NO.658
NO.659
NO.660
NO.661
NO.662
NO.663
NO.664
NO.665
NO.666
NO.667
NO.668
NO.669
NO.670
NO.671
NO.672
NO.673
NO.674
NO.675
NO.676
NO.677
NO.678
NO.679
NO.680
NO.681
NO.682
NO.683
NO.684
NO.685
NO.686
NO.687
NO.688
NO.689
NO.690
NO.691
NO.692
NO.693
NO.694
NO.695
NO.696
NO.697
NO.698
NO.699
NO.700
NO.701
NO.702
NO.703
NO.704
NO.705
NO.706
NO.707
NO.708
NO.709
NO.710
NO.711
NO.712
NO.713
NO.714
NO.715
NO.716
NO.717
NO.718
NO.719
NO.720
NO.721
NO.722
NO.723
NO.724
NO.725
NO.726
NO.727
NO.728
NO.729
NO.730
NO.731
NO.732
NO.733
NO.734
NO.735
NO.736
NO.737
NO.738
NO.739
NO.740
NO.741
NO.742
NO.743
NO.744
NO.745
NO.746
NO.747
NO.748
NO.749
NO.750
NO.751
NO.752
NO.753
NO.754
NO.755
NO.756
NO.757
NO.758
NO.759
NO.760
NO.761
NO.762
NO.763
NO.764
NO.765
NO.766
NO.767
NO.768
NO.769
NO.770
NO.771
NO.772
NO.773
NO.774
NO.775
NO.776
NO.777
NO.778
NO.779
NO.780
NO.781
NO.782
NO.783
NO.784
NO.785
NO.786
NO.787
NO.788
NO.789
NO.790
NO.791
NO.792
NO.793
NO.794
NO.795
NO.796
NO.797
NO.798
NO.799
NO.800
NO.801
NO.802
NO.803
NO.804
NO.805
NO.806
NO.807
NO.808
NO.809
NO.810
NO.811
NO.812
NO.813
NO.814
NO.815
NO.816
NO.817
NO.818
NO.819
NO.820
NO.821
NO.822
NO.823
NO.824
NO.825
NO.826
NO.827
NO.828
NO.829
NO.830
NO.831
NO.832
NO.833
NO.834
NO.835
NO.836
NO.837
NO.838
NO.839
NO.840
NO.841
NO.842
NO.843
NO.844
NO.845
NO.846
NO.847
NO.848
NO.849
NO.850
NO.851
NO.852
NO.853
NO.854
NO.855
NO.856
NO.857
NO.858
NO.859
NO.860
NO.861
NO.862
NO.863
NO.864
NO.865
NO.866
NO.867
NO.868
NO.869
NO.870
NO.871
NO.872
NO.873
NO.874
NO.875
NO.876
NO.877
NO.878
NO.879
NO.880
NO.881
NO.882
NO.883
NO.884
NO.885
NO.886
NO.887
NO.888
NO.889
NO.890
NO.891
NO.892
NO.893
NO.894
NO.895
NO.896
NO.897
NO.898
NO.899
NO.900
NO.901
NO.902
NO.903
NO.904
NO.905
NO.906
NO.907
NO.908
NO.909
NO.910
NO.911
NO.912
NO.913
NO.914
NO.915
NO.916
NO.917
NO.918
NO.919
NO.920
NO.921
NO.922
NO.923
NO.924
NO.925
NO.926
NO.927
NO.928
NO.929
NO.930
NO.931
NO.932
NO.933
NO.934
NO.935
NO.936
NO.937
NO.938
NO.939
NO.940
NO.941
NO.942
NO.943
NO.944
NO.945
NO.946
NO.947
NO.948
NO.949
NO.950
NO.951
NO.952
NO.953
NO.954
NO.955
NO.956
NO.957
NO.958
NO.959
NO.960
NO.961
NO.962
NO.963
NO.964
NO.965
NO.966
NO.967
NO.968
NO.969
NO.970
NO.971
NO.972
NO.973
NO.974
NO.975
NO.976
NO.977
NO.978
NO.979
NO.980
NO.981
NO.982
NO.983
NO.984
NO.985
NO.986
NO.987
NO.988
NO.989
NO.990
NO.991
NO.992
NO.993
NO.994
NO.995
NO.996
NO.997
NO.998
NO.999
NO.1000

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去平面図		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	117 / 134

工事用道路撤去縦断図

V=1：100
H=1：500

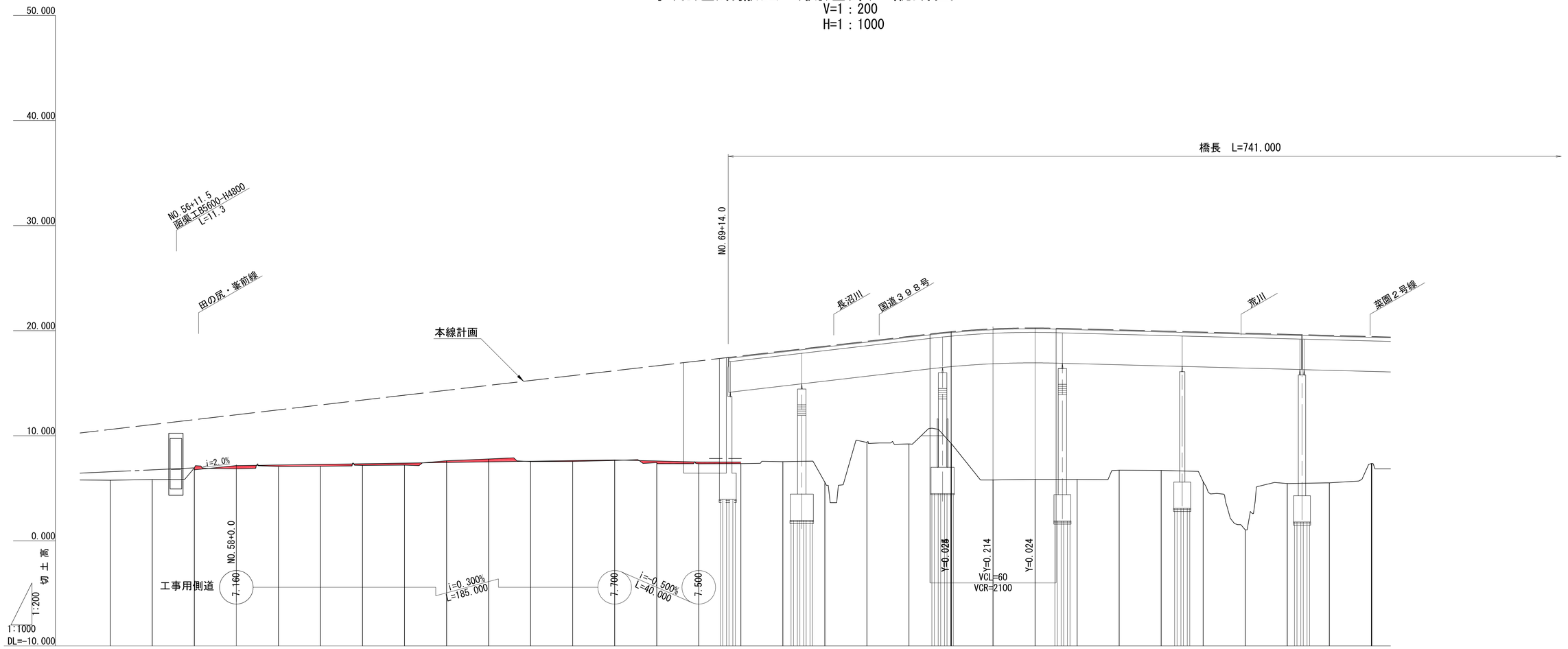


実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去縦断図		
縮尺	V=1:100 H=1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	118 / 134

工事用道路撤去（側道部）縦断図

V=1：200
H=1：1000

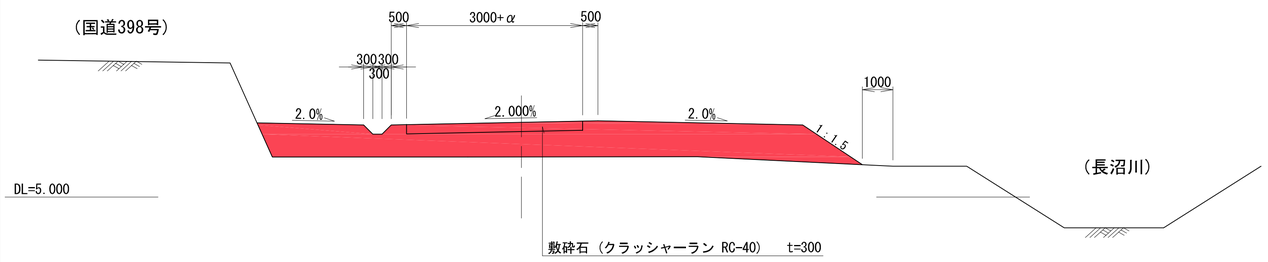


| | | |

工事用道路撤去標準横断図

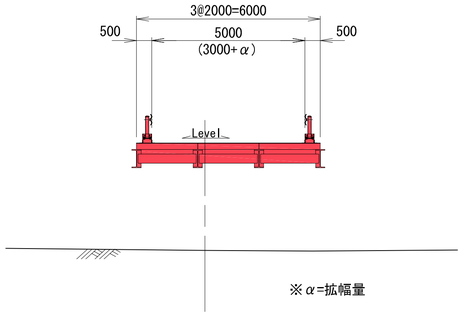
1：100

起点部（国道398号～長沼川）



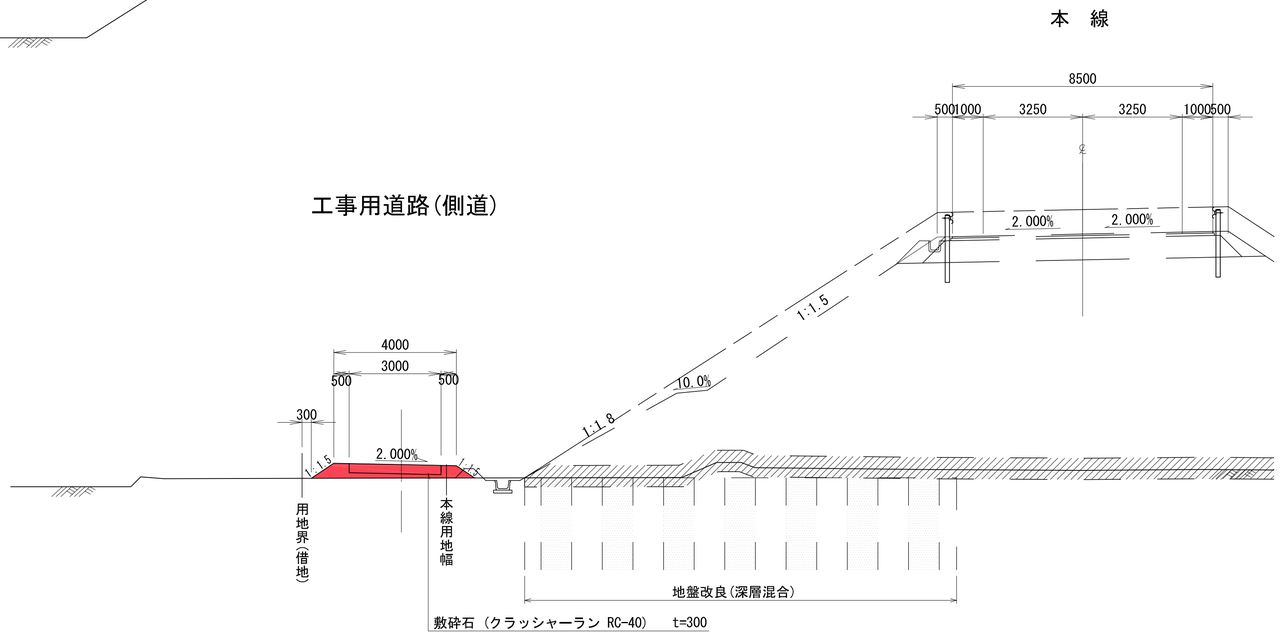
※α=拡幅量

仮桟橋（長沼川）



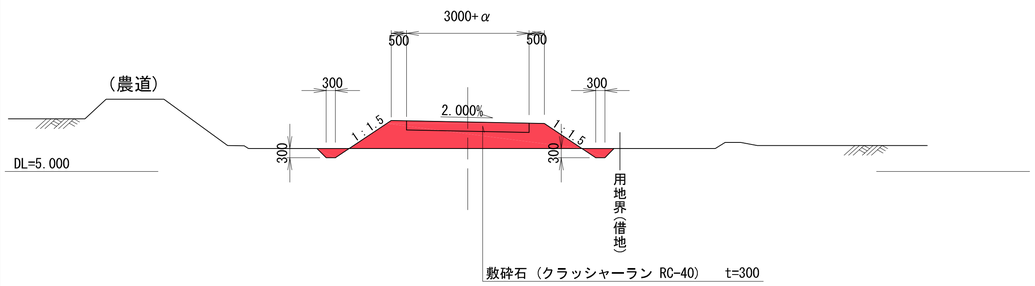
※α=拡幅量

側道部（本線並行）



工事用道路（側道）

終点部（長沼川～本線）



※α=拡幅量

実施

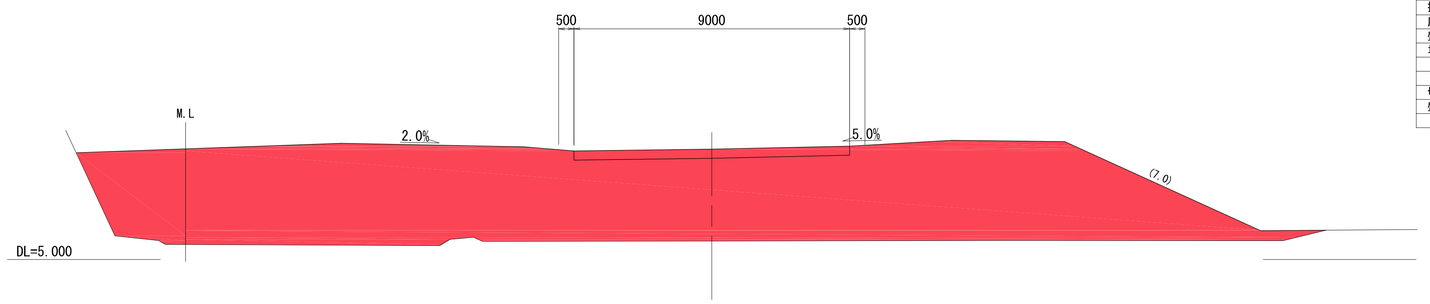
工事番号	令和元年度 受（Ⅲ）道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路（主）築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）道路改良（1-7工区）工事		
図名	工事用道路撤去標準横断図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	120 / 134

工事用道路撤去横断図(1)

1：100

NO.1

GH=5.599
FH=8.606

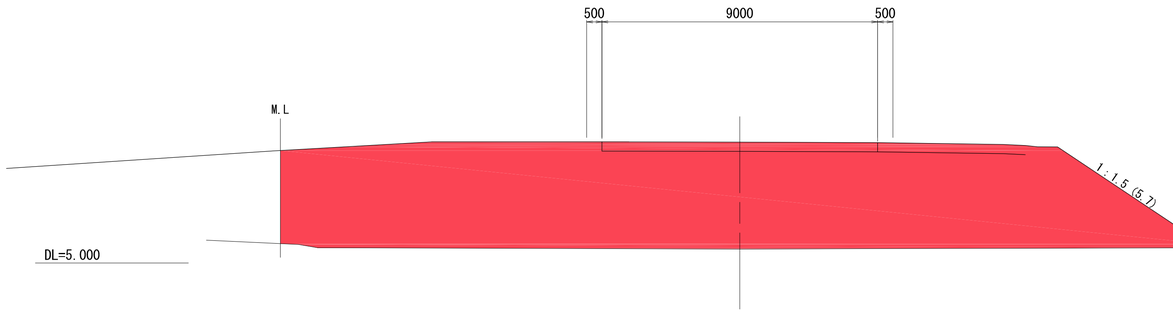


NO.1		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	98.6
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	7.0

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	101.3
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

BC.1(NO.0+5.184)

GH=5.452
FH=8.946

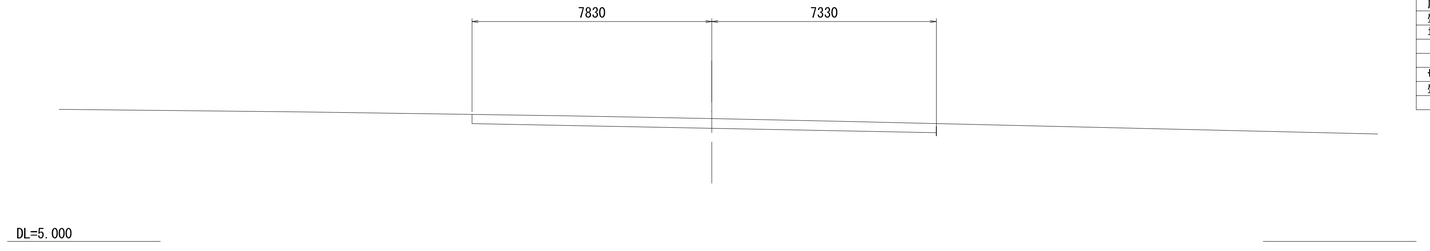


BC.1(NO.0+5.184)		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	91.2
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	5.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	93.9
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

NO.0

GH=9.012
FH=9.012



NO.0		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	－
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	－

※本図の地形線は実測平面からのペーロケである。

実施

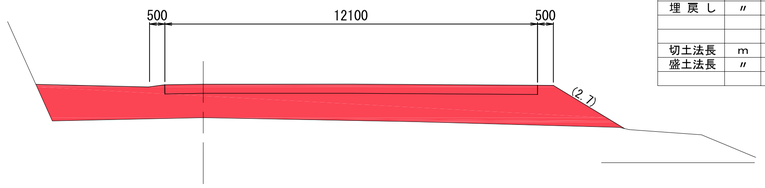
工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去横断図(1)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	121 / 134

工事用道路撤去横断図(2)

1：100

NO.3

GH=6.469
FH=7.561

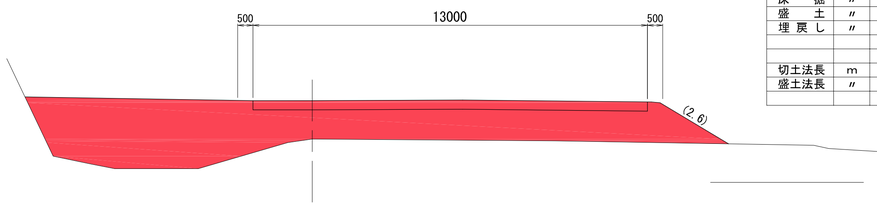


NO.3		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	17.2
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	2.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	20.8
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

BC.2(NO.2+14.349)

GH=6.412
FH=7.677

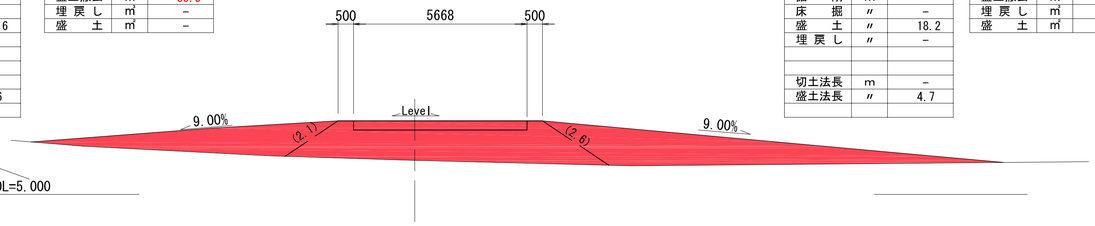


BC.2(NO.2+14.349)		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	29.6
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	2.6

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	33.5
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

NO.4

GH=6.108
FH=7.400

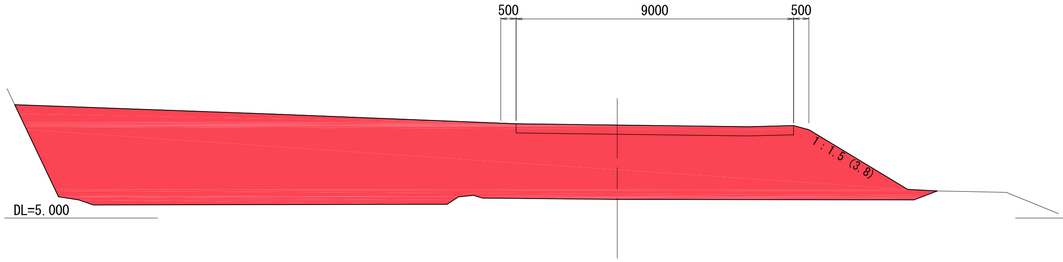


NO.4		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	18.2
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	4.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	19.9
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

NO.2

GH=5.612
FH=8.033

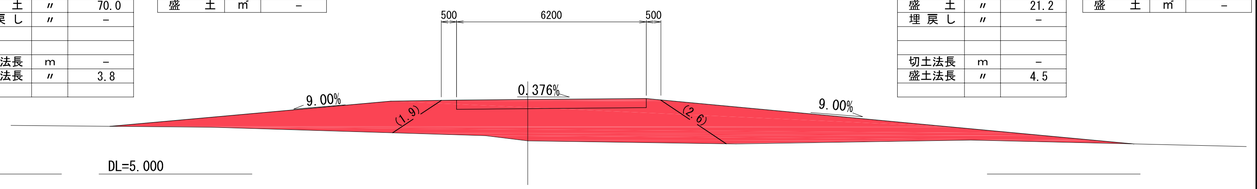


NO.2		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	70.0
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	3.8

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	72.7
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

EC.2(NO.3+19.060)

GH=6.086
FH=7.400

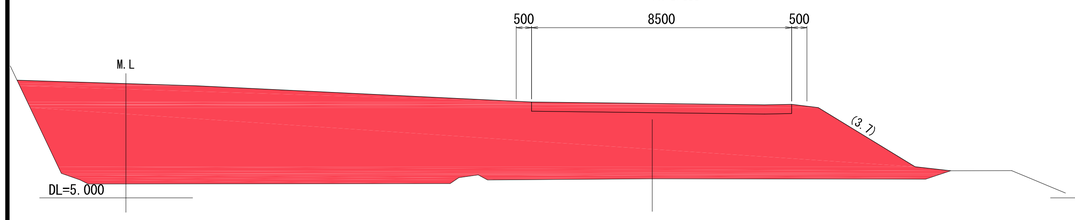


EC.2(NO.3+19.060)		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	21.2
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	4.5

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	23.1
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

EC.1(NO.1+17.969)

GH=5.619
FH=8.090

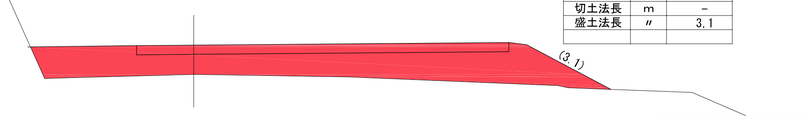


EC.1(NO.1+17.969)		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	64.2
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	3.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	66.8
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

SP.2(NO.3+6.704)

GH=6.513
FH=7.445

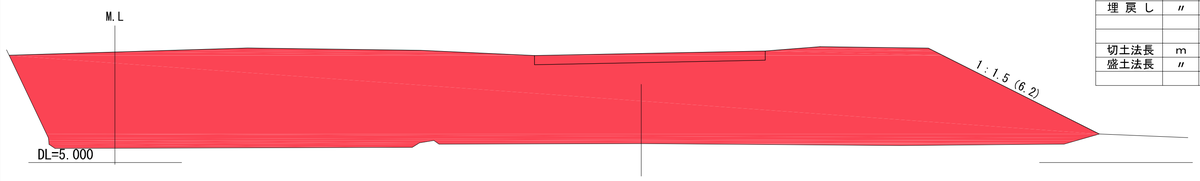


SP.2(NO.3+6.704)		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	15.5
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	3.1

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	19.1
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

SP.1(NO.1+1.577)

GH=5.619
FH=8.561



SP.1(NO.1+1.577)		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	89.4
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	6.2

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	97.2
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去横断図(2)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	122 / 134

※本図の地形線は実測平面からのペーロケである。

工事用道路撤去横断図(3)

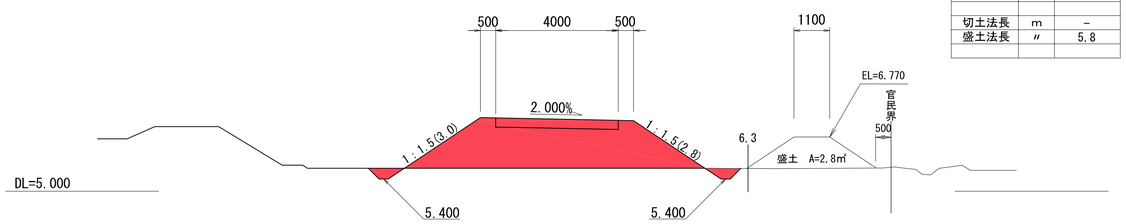
1：100

NO.5

GH=5.753
FH=7.355

NO.5		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	10.7
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	5.8

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	11.6
埋戻し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

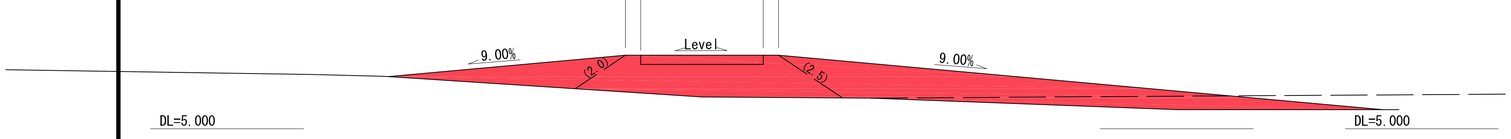


BC.3(NO.4+13.736)

GH=6.036
FH=7.400

BC.3		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	20.5
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	4.5

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	21.7
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

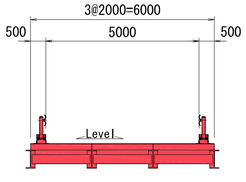


NO.4+6.0

GH=3.900　GH=3.868
FH=7.400

+6.0		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	－
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	－

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	－
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

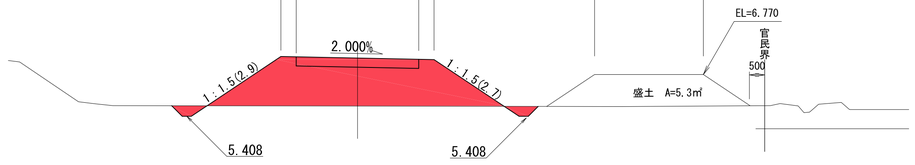


SP.3

GH=5.743
FH=7.308

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	11.5
埋戻し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

SP.3		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	10.3
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	5.6



実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去横断図(3)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	123 / 134

※本図の地形線は実測平面からのペーロケである。

工事用道路撤去横断図(4)

1：100

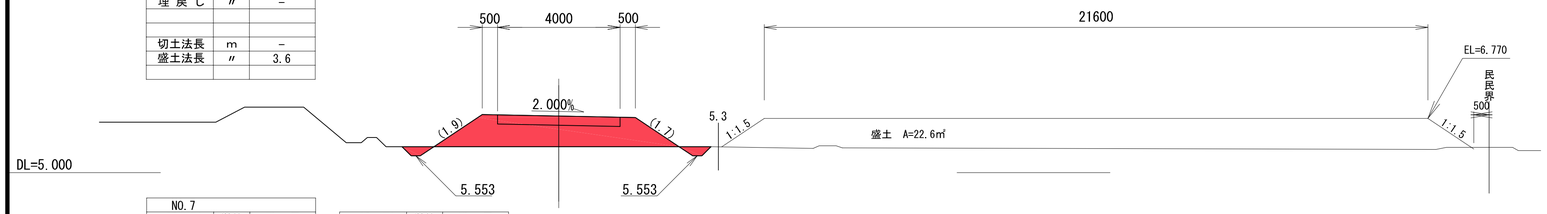
+11.0

種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	5.3
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	3.6

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	6.5
埋 戻 し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

NO.7+11.0

GH=5.867
FH=6.850



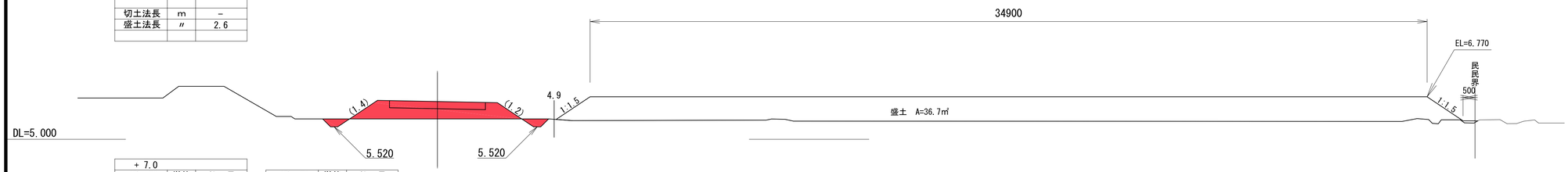
NO.7

種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	3.2
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	2.6

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	4.4
埋 戻 し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

NO.7

GH=5.851
FH=6.575



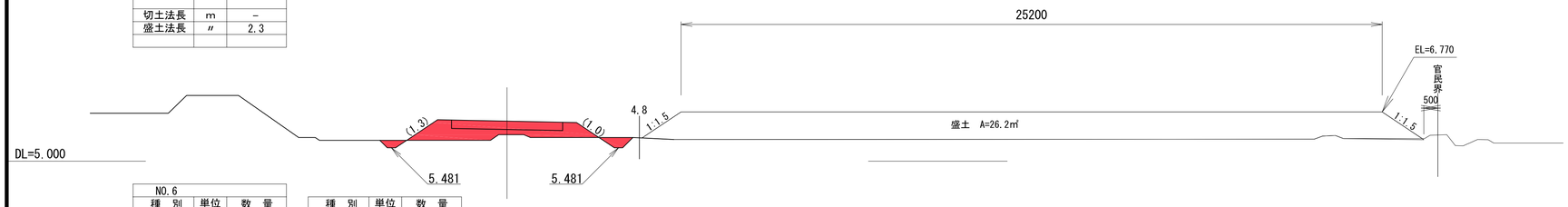
+ 7.0

種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	2.5
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	2.3

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	3.7
埋 戻 し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

No.6+7.0

GH=5.835
FH=6.438



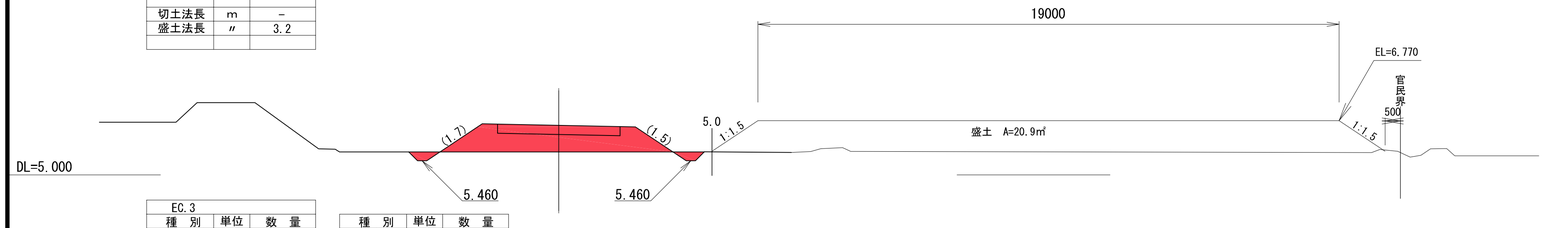
NO.6

種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	4.3
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	3.2

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	5.5
埋 戻 し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

NO.6

GH=5.749
FH=6.617



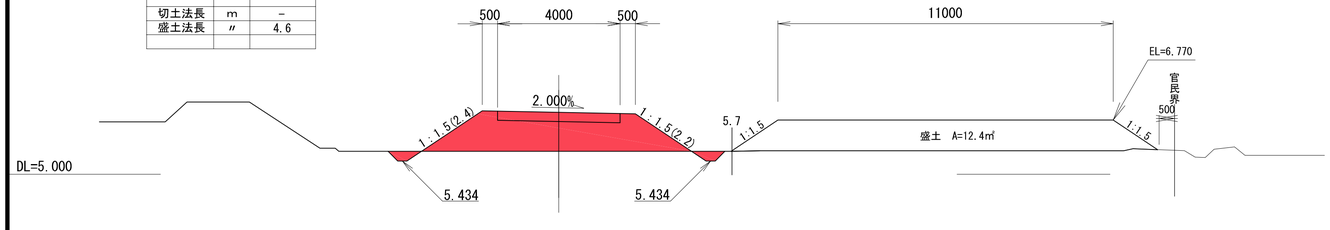
EC.3

種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	0.4
盛　土	〃	7.6
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	4.6

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	8.8
埋 戻 し	㎥	0.4
盛　土	㎥	－

EC.3(NO.5+11.399)

GH=5.754
FH=7.022



※本図の地形線は実測平面からのペーロケである。

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去横断図(4)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	124 / 134

工事用道路撤去(側道部)横断図(1)

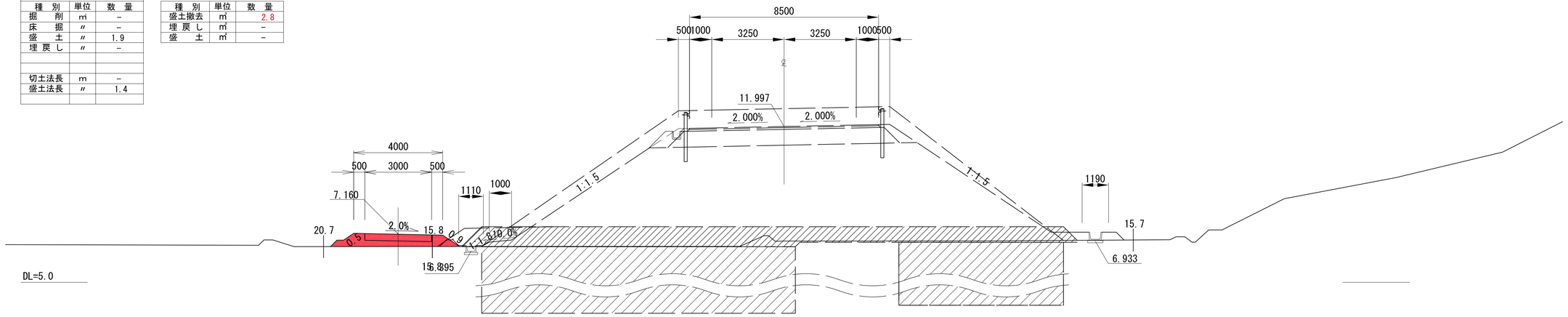
1：100

工事用道路

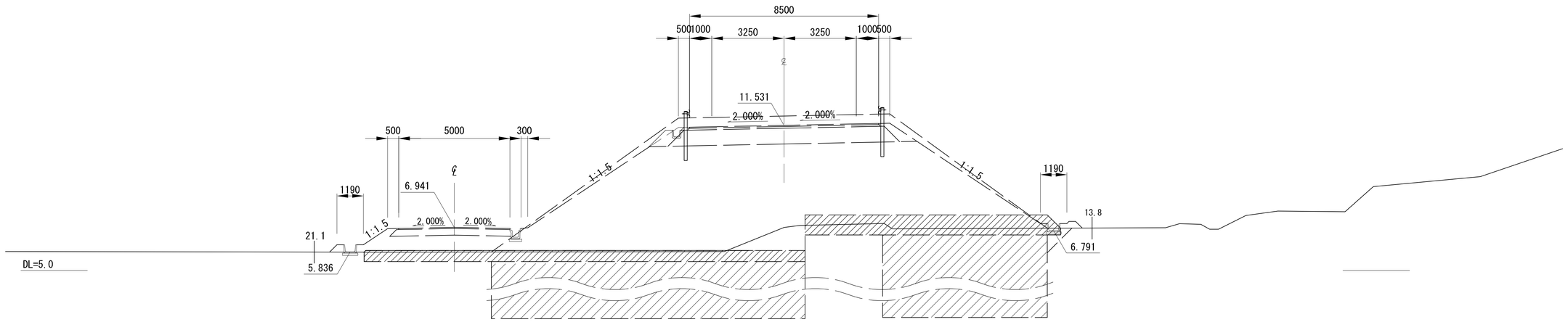
NO.58		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	1.9
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.4

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.8
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

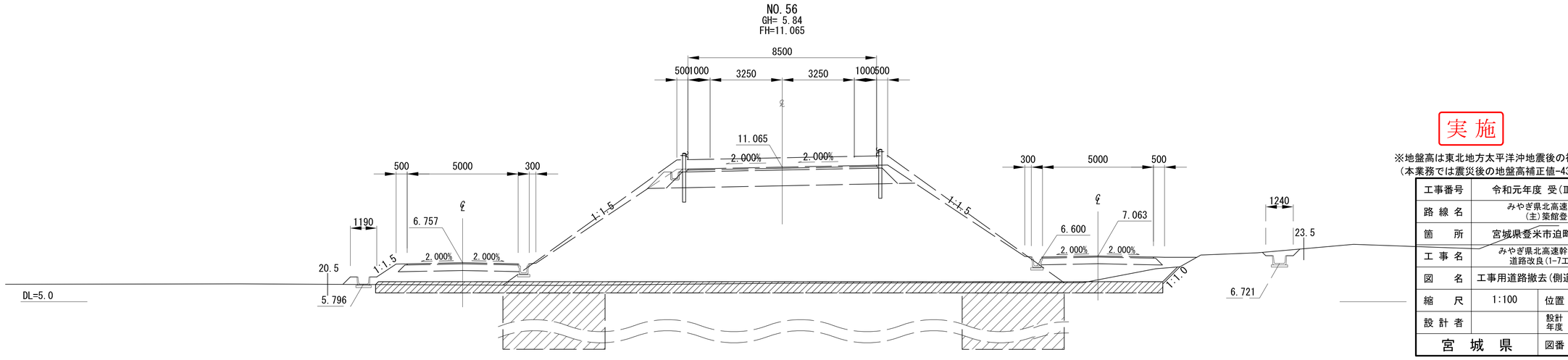
NO.58
GH= 6.86
FH=11.997



NO.57
GH= 6.94
FH=11.531



NO.56
GH= 5.84
FH=11.065



実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去(側道部)横断図(1)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	125 / 134

工事用道路撤去(側道部)横断図(2)

NO.61

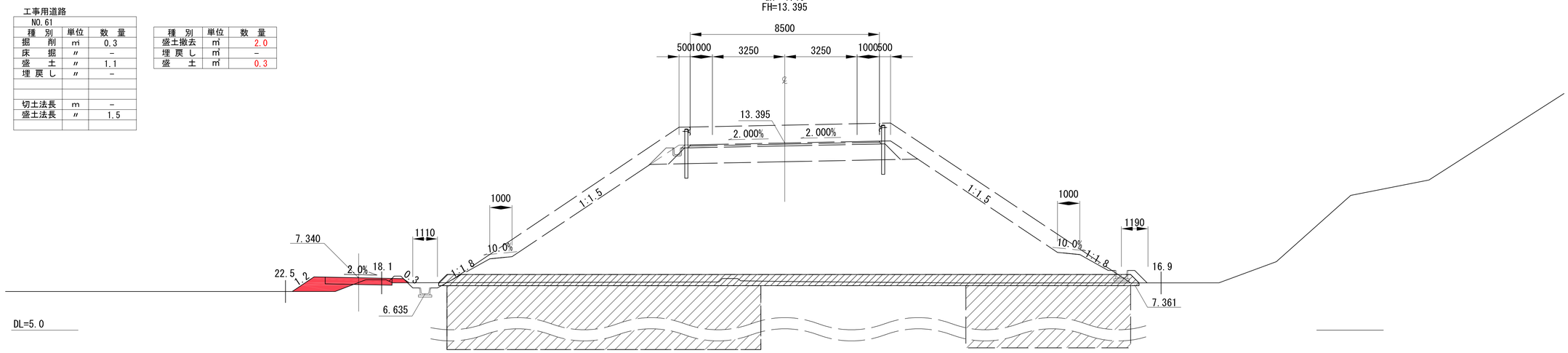
GH= 7.19
FH=13.395

1 : 100

工事用道路

NO.61		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	0.3
床　掘	〃	－
盛　土	〃	1.1
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.5

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.0
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	0.3



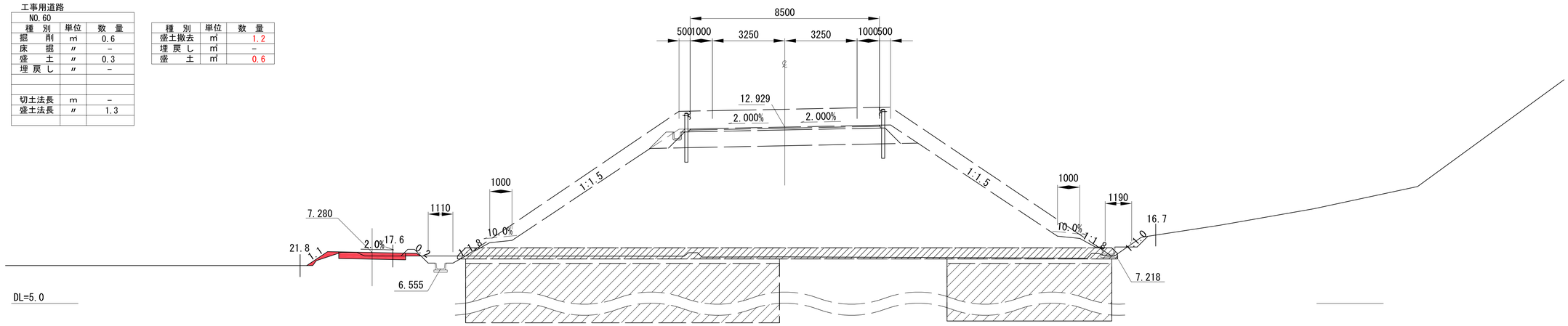
NO.60

GH= 7.10
FH=12.929

工事用道路

NO.60		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	0.6
床　掘	〃	－
盛　土	〃	0.3
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.3

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	1.2
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	0.6



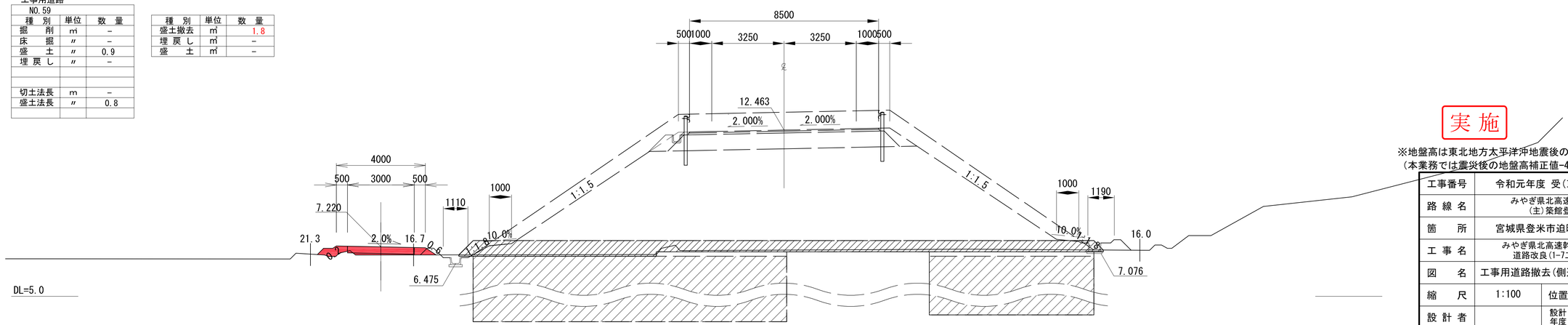
NO.59

GH= 7.08
FH=12.463

工事用道路

NO.59		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	0.9
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	0.8

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	1.8
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－



実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図　名	工事用道路撤去(側道部)横断図(2)		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	126 / 134

工事用道路撤去(側道部)横断図(3)

1：100

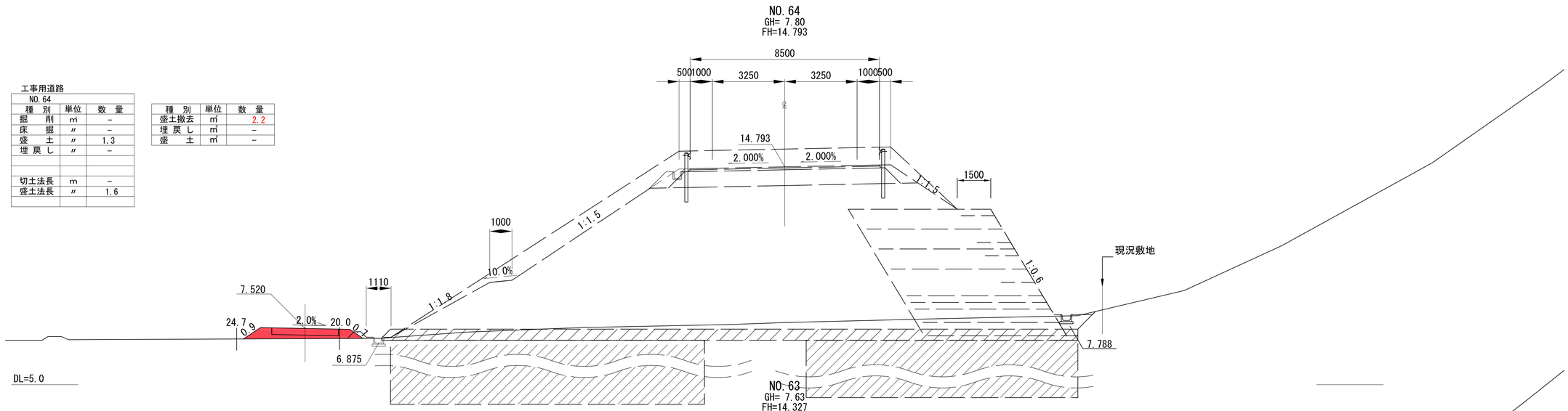
NO.64

GH= 7.80
FH=14.793

工事用道路

NO.64		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	1.3
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.6

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.2
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－



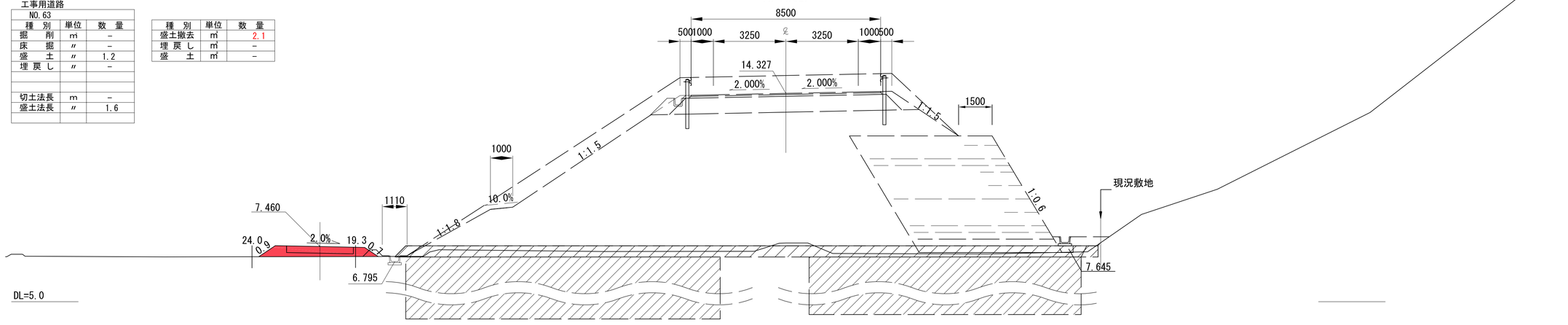
NO.63

GH= 7.63
FH=14.327

工事用道路

NO.63		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	1.2
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.6

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.1
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－



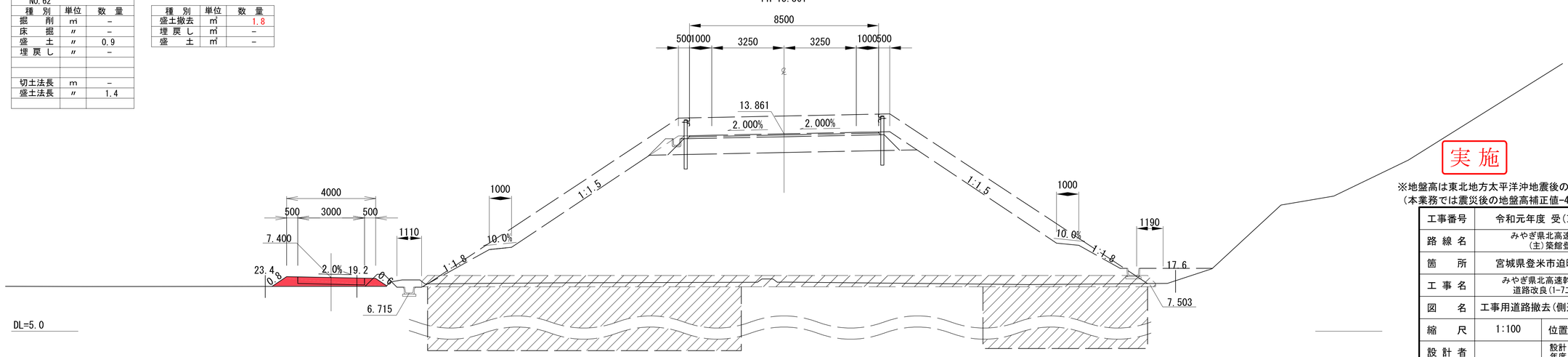
NO.62

GH= 7.21
FH=13.861

工事用道路

NO.62		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	0.9
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.4

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	1.8
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－



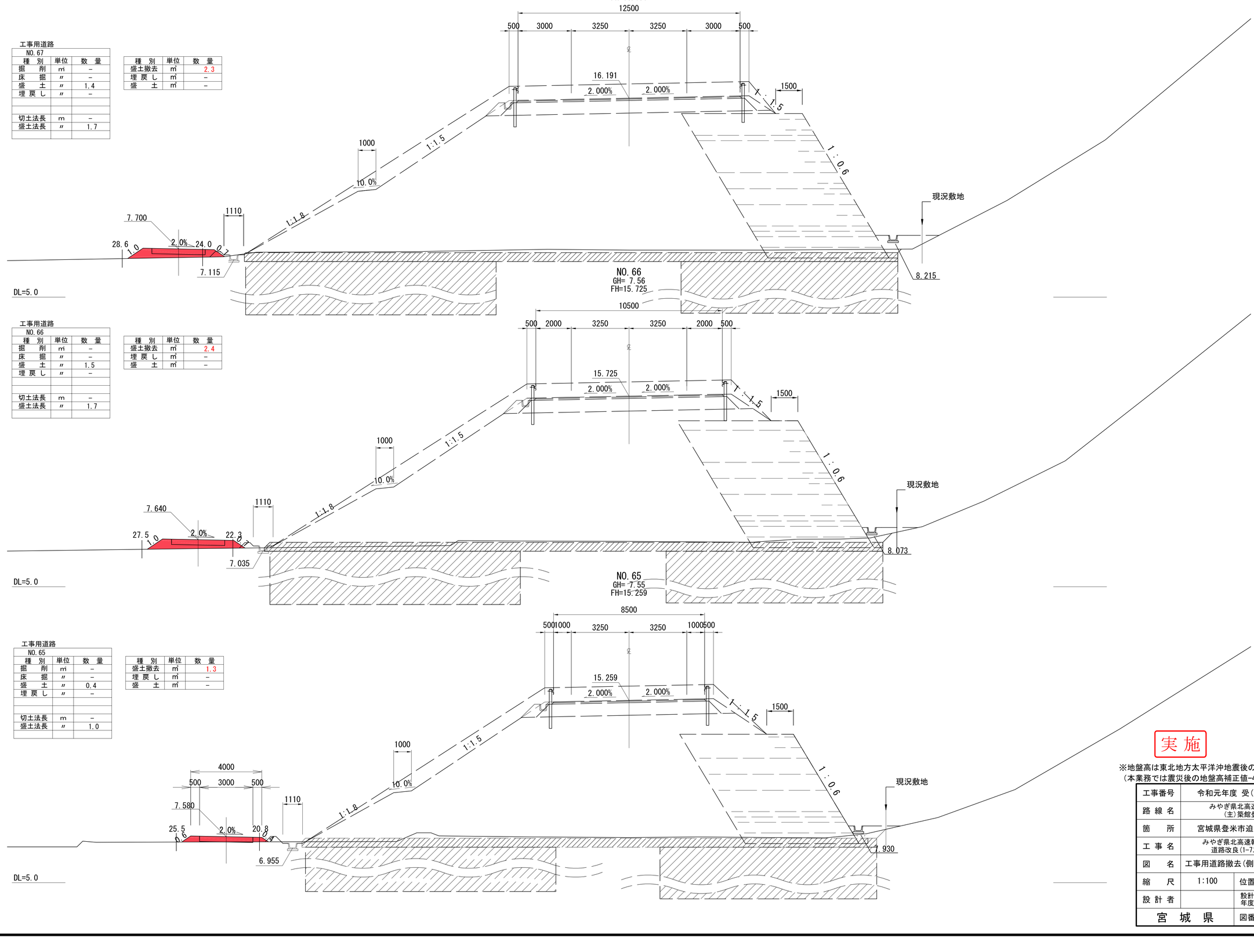
実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去(側道部)横断図(3)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	127 / 134

工事用道路撤去(側道部)横断図(4)

1 : 100



工事用道路

NO.67		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	1.4
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.3
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

工事用道路

NO.66		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	1.5
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.4
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

工事用道路

NO.65		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	0.4
埋戻し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	1.0

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	1.3
埋戻し	㎥	－
盛　土	㎥	－

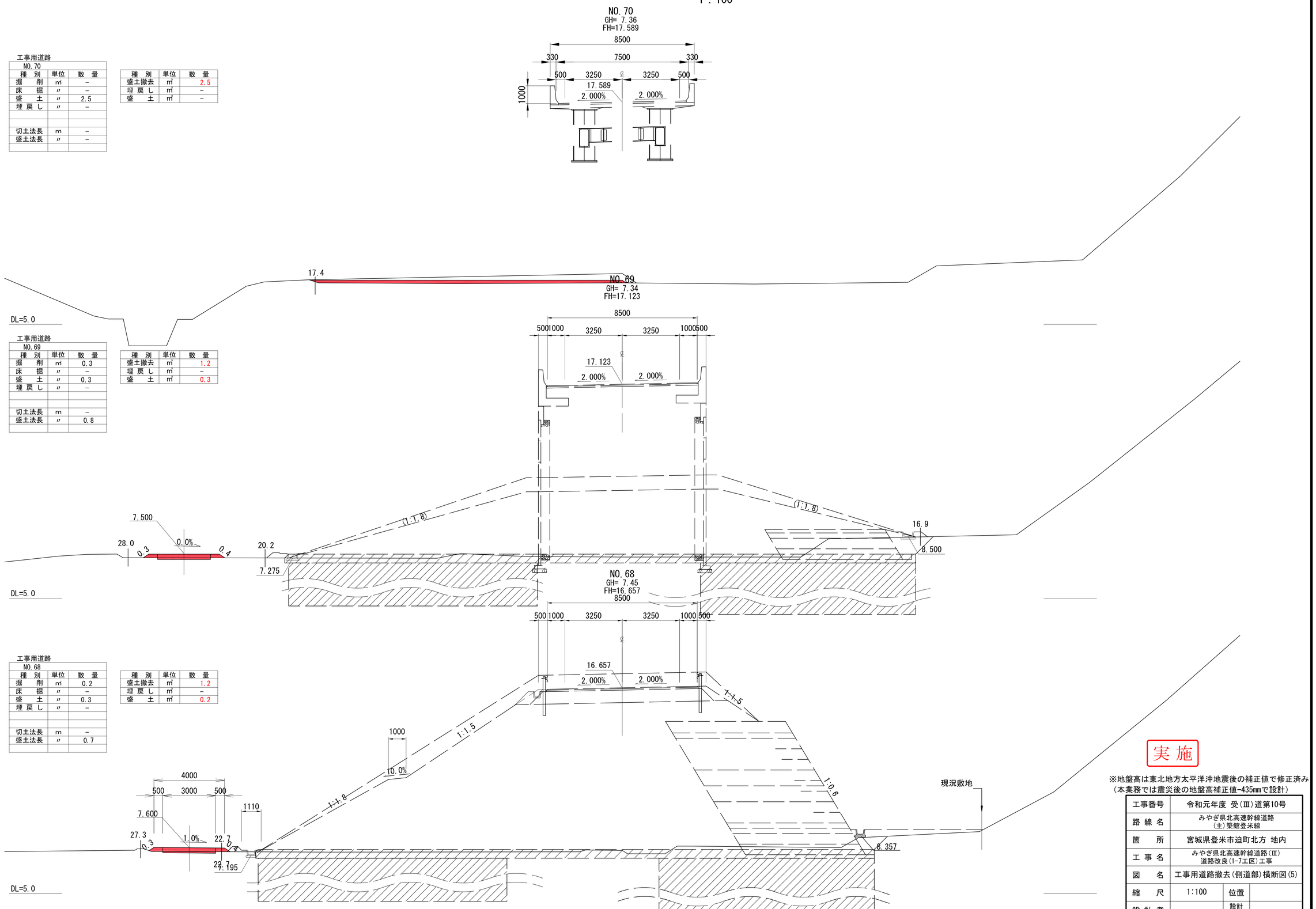
実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435㎜で設計）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路撤去(側道部)横断図(4)		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	128 / 134

工事用道路撤去(側道部)横断図(5)

1：100



工事用道路

NO.70		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	－
床　掘	〃	－
盛　土	〃	2.5
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	－

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	2.5
埋 戻 し	㎥	－
盛　土	㎥	－

工事用道路

NO.69		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	0.3
床　掘	〃	－
盛　土	〃	0.3
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	0.8

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	1.2
埋 戻 し	㎥	－
盛　土	㎥	0.3

工事用道路

NO.68		
種　別	単位	数　量
掘　削	㎥	0.2
床　掘	〃	－
盛　土	〃	0.3
埋 戻 し	〃	－
切土法長	m	－
盛土法長	〃	0.7

種　別	単位	数　量
盛土撤去	㎥	1.2
埋 戻 し	㎥	－
盛　土	㎥	0.2

実施

※地盤高は東北地方太平洋沖地震後の補正値で修正済み
（本業務では震災後の地盤高補正値-435㎜で設計）

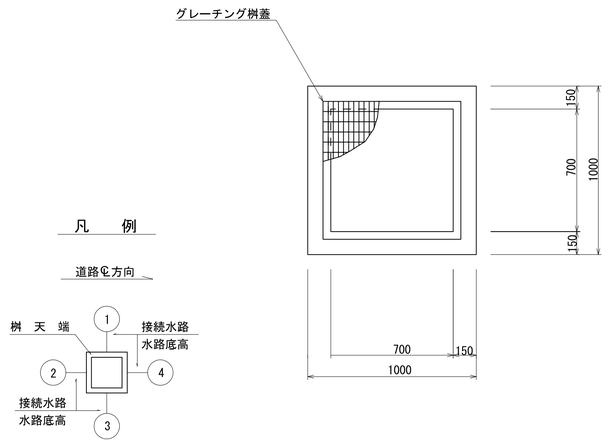
工事番号	令和元年度　受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇　所	宮城県登米市迫町北方　地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図　名	工事用道路撤去(側道部)横断図(5)		
縮　尺	1:100	位置	
設計者		設計年度	
宮　城　県		図番	129 / 134

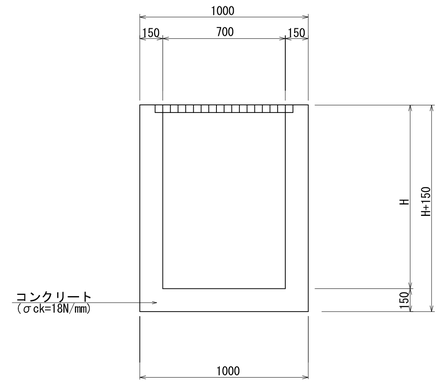
撤去排水工詳細図

S=1:20

集水桝工詳細図

S=1:20

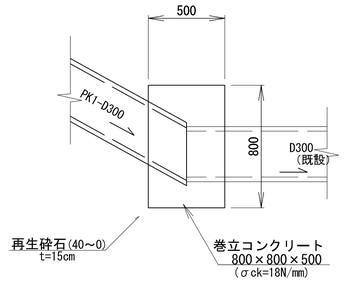


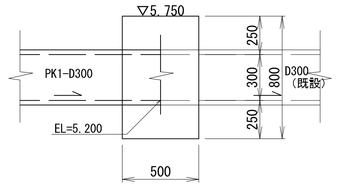


集水桝位置表

設置箇所	L,R	B	L	H	①	②	③	④	EL1	EL2	EL3	EL4	EL5(天端高)	桝蓋	足掛金具	備　考
No. 3 + 16.64	左	700	700	1000	—	土側溝(B300)	—	PK1-D300	—	7.039	—	6.634	7.434	T-14	—	
No. 4 + 17.40	右	700	700	700	土側溝(B300)	PK1-D300	—	—	5.260	5.260	—	—	5.760	軽荷重用	—	
No. 4 + 19.20	右	700	700	700	PK1-D300	—	土側溝(B300)	土側溝(B300)	5.330	—	5.310	5.390	5.810	軽荷重用	—	
No. 4 + 19.20	左	700	700	700	—	—	PK1-D300	土側溝(B300)	—	—	5.390	5.390	5.890	軽荷重用	—	

巻立コンクリート(管渠接続部)





数量表

(1ヶ所当り)

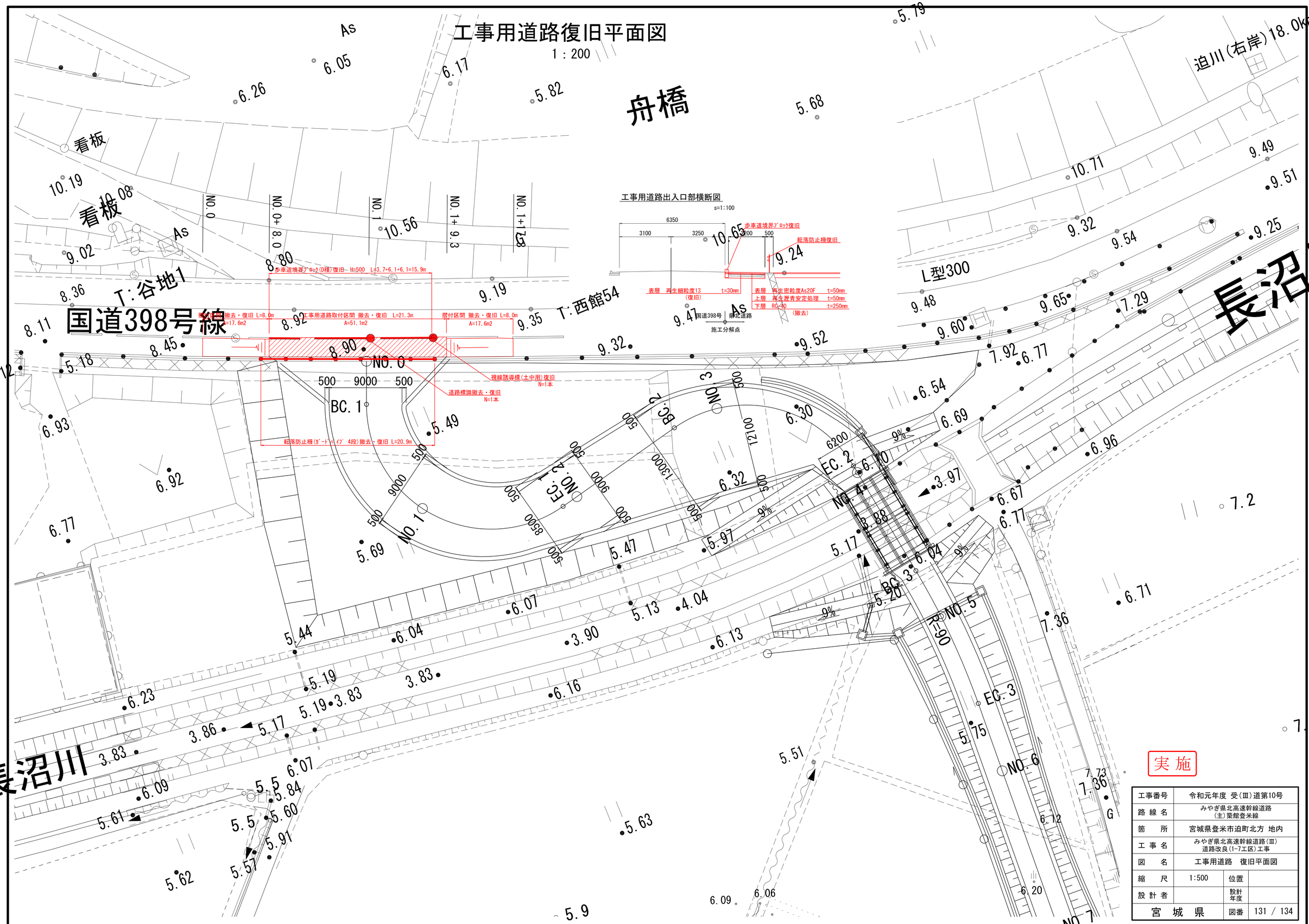
名　称	規　格	単位	数　量	備　考
コンクリート	(σ-18N)	m3	0.27	
型　枠		m2	1.9	

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	撤去排水工標準図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	130 / 134

工事用道路復旧平面図

1 : 200

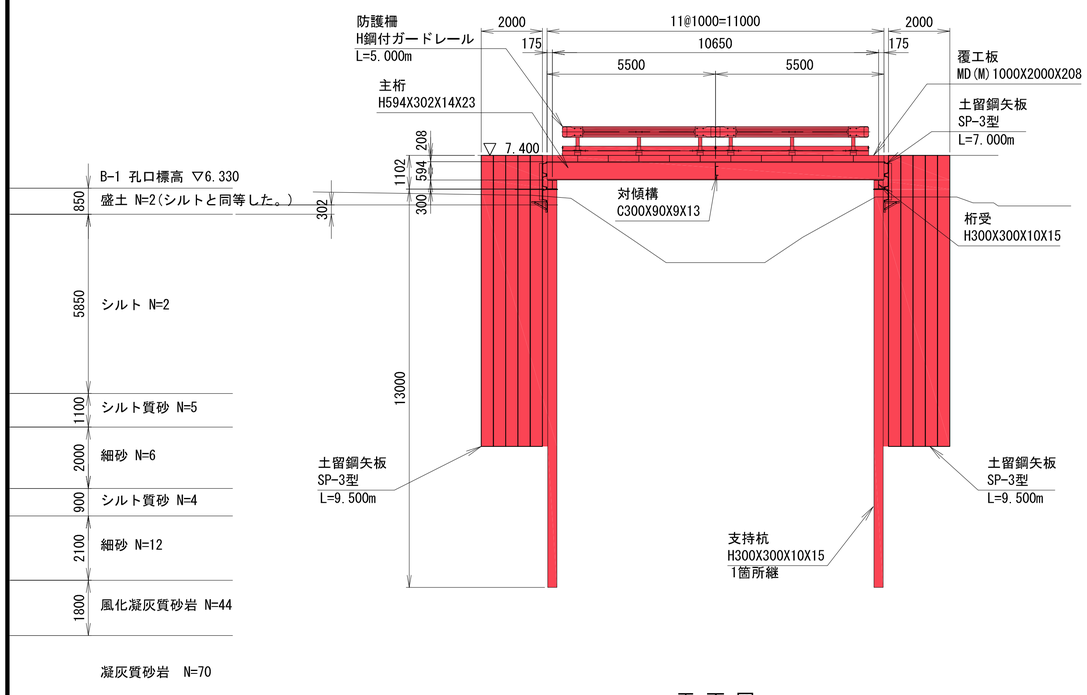


工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	工事用道路 復旧平面図		
縮尺	1:500	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	131 / 134

仮桟橋撤去計画図 （参考図）

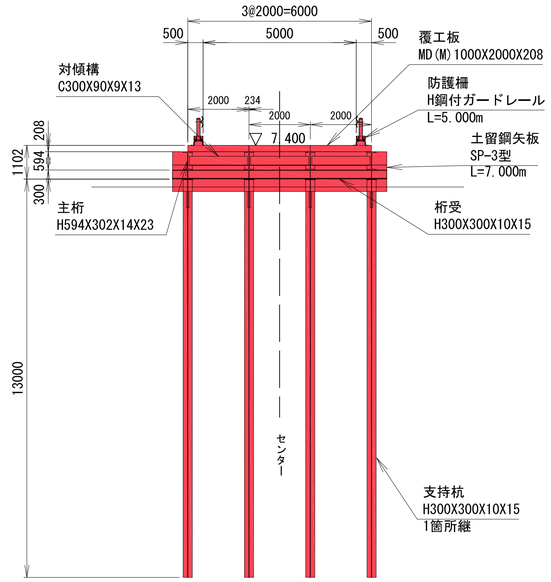
縮尺 1：100

側 面 図

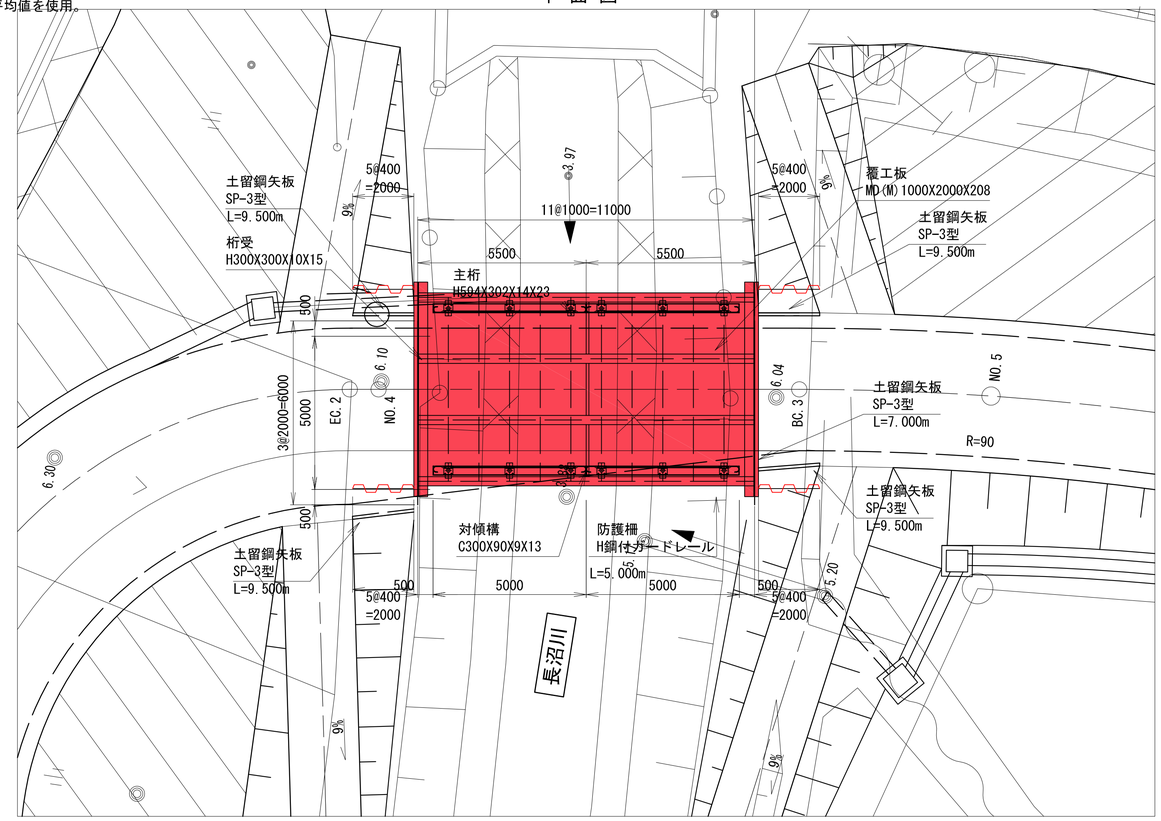


※設計N値は平均値を使用。
E0=2800N

断 面 図



平 面 図



設 計 条 件

上部工	活 荷 重	Ａ活荷重
	衝撃荷重	i = 0.3、覆工板は i=0.4
	た わ み	L／400かつ25mm以下
	横断勾配	Level
	縦断勾配	Level
下部工	形 式	杭橋脚
	水平荷重	Ｔ荷重：活荷重X10%
	た わ み	L／400かつ25mm以下
	支持杭の施工方法	パイプロハンマ （α=1.0 β=0.9）
許容応力度の割増係数		1.5
準拠規準		道路土工－仮設構造物工指針 道路橋示方書・同解説H24.3

実 施

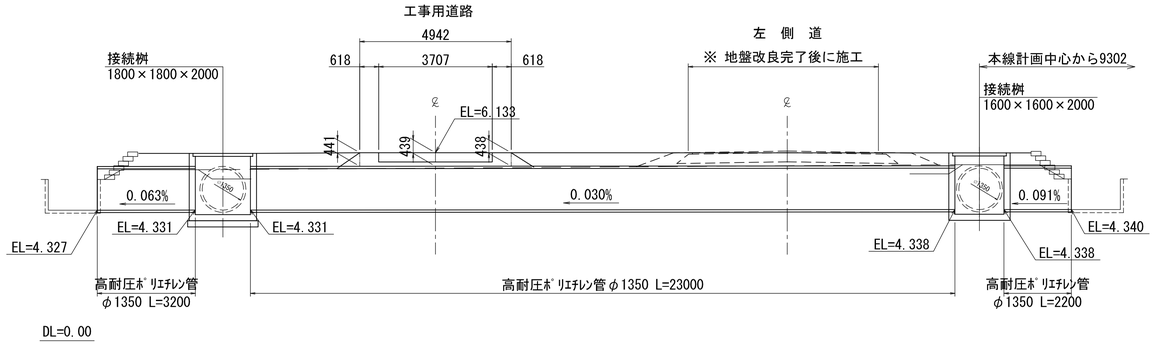
（参考図）

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮桟橋撤去計画図		
縮尺		位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	132 / 134

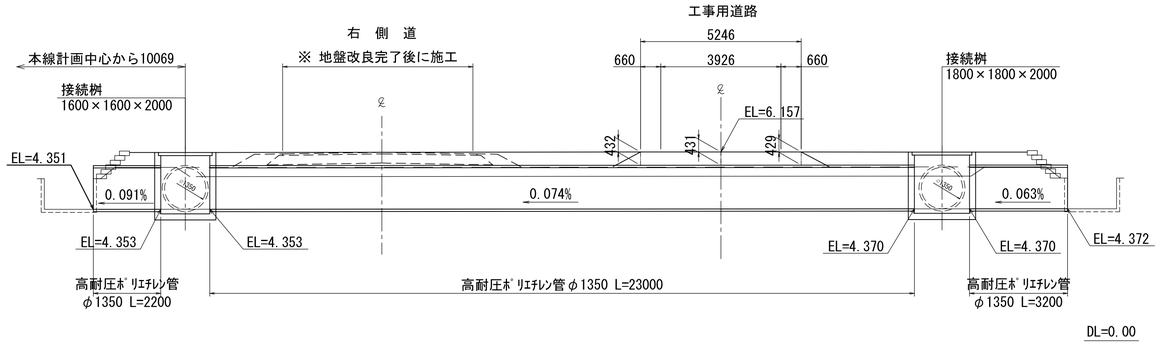
仮設排水工詳細図

(NO.41+10.1)

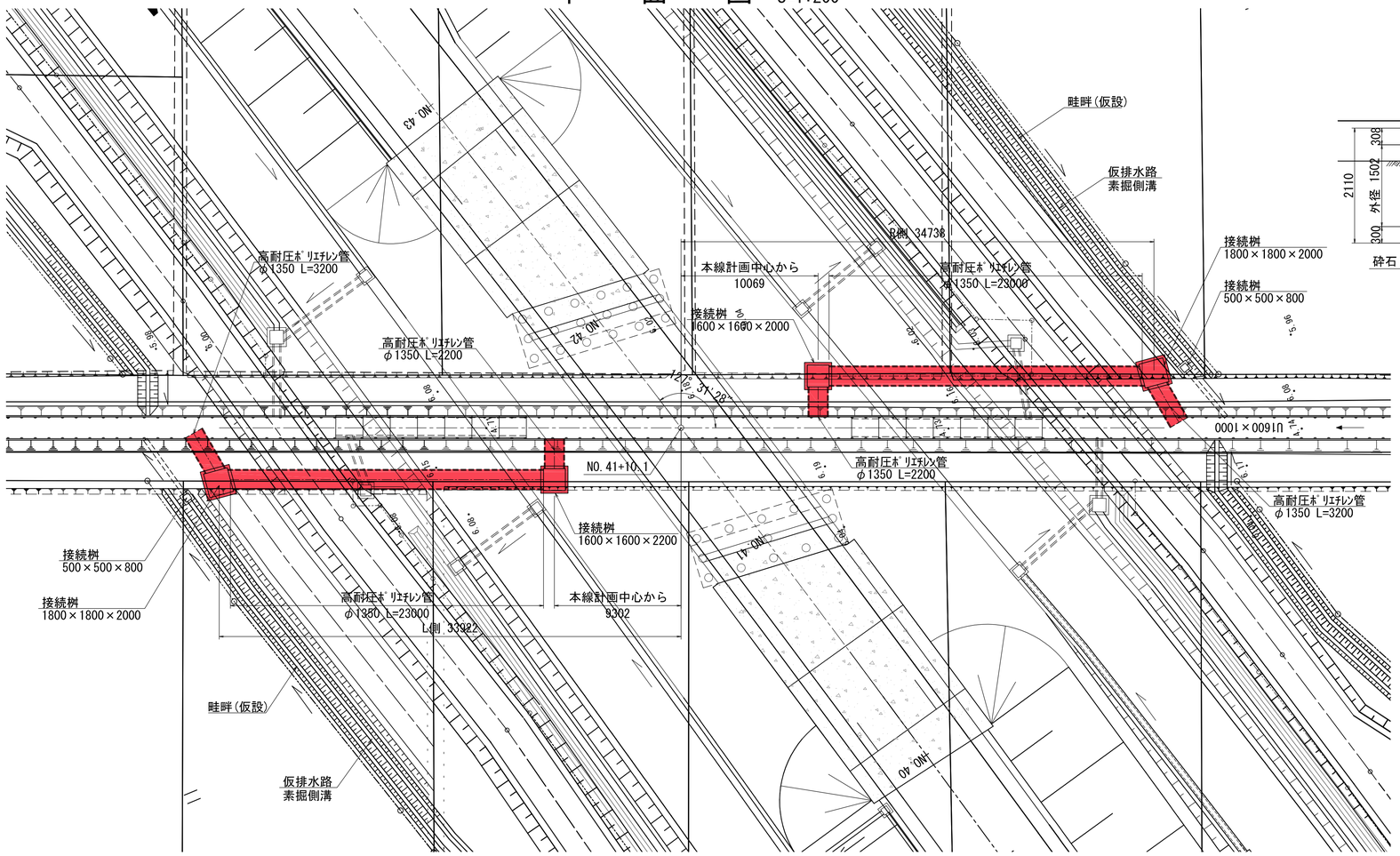
L 側 面 図 S=1:100



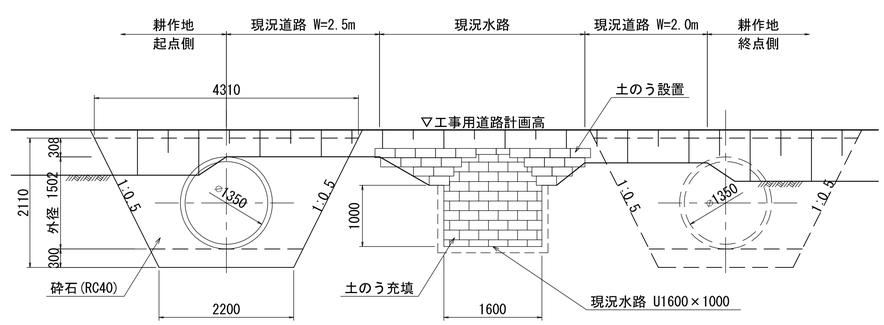
R 側 面 図 S=1:100



平 面 図 S=1:200



標 準 断 面 図 S=1:50



実施

※地形図の標高は東北地方太平洋沖地震前の数値
(本業務では震災後の地盤高補正値-435mmで設計)

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路(主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)道路改良(1-7工区)工事		
図名	仮設排水工撤去詳細図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	133 / 134

排　水　工　詳　細　図(9)

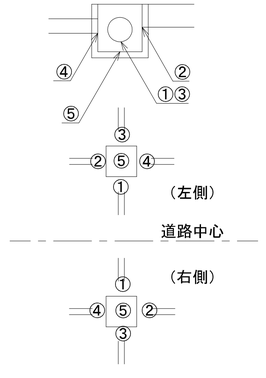
【仮設工-本線(NO.0～NO.32)】

測　点	左右	桝サイズ				排水構造物及び設置高						備　考
		B	L	H	他	桝天端高	①	②	③	④	⑤(桝底高)	
No.10+0.6	L	500	500	1000	縞	6.299	-	□300×300 5.630	-	暗渠PE管φ300 5.499	5.299	仮設用接続桝
No.15+19.7	L	500	500	1400	縞	6.640	-	暗渠PE管φ300 5.404	-	□300×300 6.340	5.240	仮設用接続桝
No.20+17.6	L	500	500	1100	縞	6.270	-	□300×300 5.966	-	暗渠PE管φ300 5.393	5.170	仮設用接続桝
No.21+15.0	L	500	500	1000	縞	6.150	-	暗渠PE管φ300 -	-	□300×300		仮設用接続桝
No.4+19.7	R	500	500	1000	縞	6.240	-	□300×300 5.425	-	暗渠PE管φ300 5.425	5.240	仮設用接続桝
No.13+6.8	R	500	500	1000	縞	6.230	-	□300×300 5.423	-	暗渠PE管φ300 5.423	5.230	仮設用接続桝
No.22+13.3	R	500	500	1000	縞	6.190	-	暗渠PE管φ300 5.383	-	□300×300 5.850	5.190	仮設用接続桝
No.23+8.4	R	500	500	1100	縞	6.360	-	□300×300 6.051	-	暗渠PE管φ300 5.404	5.260	仮設用接続桝

【仮設工-本線(NO.32～NO.40)】

測　点	左右	桝サイズ				排水構造物及び設置高						備　考
		B	L	H	他	桝天端高	①	②	③	④	⑤(桝底高)	
No.31+1.4	L	900	900	1300	細	7.750	暗渠PE管φ600 6.645	-	既設用水路(UF-640) 6.645	暗渠PE管φ300 6.645	6.450	仮設用接続桝
No.31+4.6	L	900	900	1100	細	7.540	-	-	暗渠PE管φ600 6.640	PU1-B600-H600 6.640	6.440	仮設用接続桝
No.31+8.9	L	900	900	800	縞	6.240	-	暗渠PE管φ300 5.639	-	□300×300 5.639	5.440	仮設用接続桝
No.31+17.3	L	900	900	800	縞	7.210	-	PU1-B600-H600 6.607	-	PU1-B600-H600 6.607	6.410	仮設用接続桝
No.42+8.3	L	500	500	800	縞	5.761	-	□300×300 5.221	-	暗渠PE管φ300 5.111	4.961	仮設用接続桝
No.41+12.7	L	1600	1600	2000	T14	6.128	-	-	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.278	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.278	4.128	仮設用接続桝撤去
No.42+7.7	L	1800	1800	2000	T14	6.114	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.264	-	-	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.264	4.114	仮設用接続桝撤去
No.40+11.4	R	500	500	800	縞	5.680	-	□300×300 5.140	-	暗渠PE管φ300 5.030	4.880	仮設用接続桝
No.41+7.0	R	1600	1600	2000	T14	6.140	-	-	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.290	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.290	4.140	仮設用接続桝撤去
No.40+12.4	R	1800	1800	2000	T14	6.155	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.305	-	-	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞD1350 4.305	4.155	仮設用接続桝撤去
No.31+11.0	R	900	900	1100	細	7.260	-	暗渠PE管φ600 6.451	暗渠PE管φ600 6.451	-	6.260	仮設用接続桝
No.31+13.9	R	900	900	1100	細	7.340	暗渠PE管φ600 6.433	□300×300 6.433	-	-	6.240	仮設用接続桝
No.31+19.0	R	900	900	1000	縞	7.360	-	PU1-B600-H600 6.562	-	暗渠PE管φ600 6.458	6.360	仮設用接続桝

桝高表示案内図



※P-φ：ｺﾙｹﾞｰﾄ管 (円形1形)
※ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ：耐圧ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾘﾌﾞ管 (R30)
※CSB：CSB管 (Ⅰ型)

実施

工事番号	令和元年度 受(Ⅲ)道第10号		
路線名	みやぎ県北高速幹線道路 (主)築館登米線		
箇所	宮城県登米市迫町北方 地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 道路改良(1-7工区)工事		
図名	排水工撤去詳細図(9)		
縮尺	-	位置	
設計者		設計年度	
宮城県		図番	134 / 134